V402SH 基本操作編

V402SH 基本操作編

vodafone

This Manual includes an English Abridgement

V402SH
基本操作編

V402SH 取扱説明書 基本操作編

2004年7月　第１版

ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：V402SH
製造元：シャープ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（メモリダイヤル・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

TINSJA060AFZZ
04G 154.0 YM AI380①

はじめに

このたびは、「V402SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

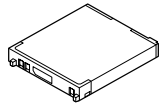
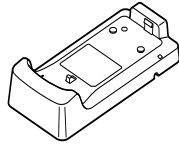
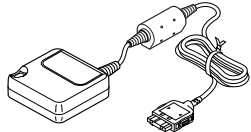
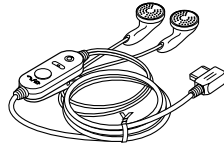
- V402SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V402SHのボーダフォンライブ！に関する説明は付　のVodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.17-20）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V402SHは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。
V402SHは、日本国外ではご使用になれません。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.17-20）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBV01）※
（1タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■卓上ホルダー（SHEV01）※

■急速充電器（SHCV01）※

■TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク（SHLV01）※

※ オプション品としても取り扱いしております。

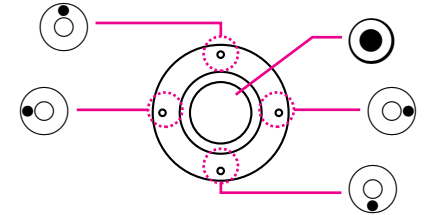
- 付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.17-20）までご連絡ください。
- V402SHは、SDメモリカードを利用することができますが、本製品にはSDメモリカードは同梱されていません。市販のSDメモリカードをお買い求めいただくことにより、SDメモリカードに関する機能をご利用いただくことができます。

本書の見かた

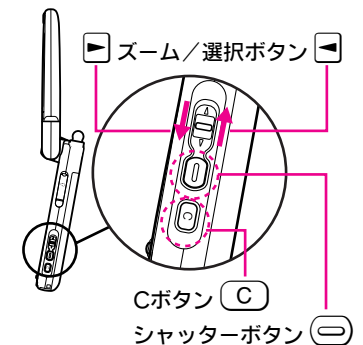
本書では、V402SHをオープンポジション（☞P.1-10）にした状態での操作を中心に説明しています。
また、本書で記載されている画面は、登　状況などによって、実際の画面とは異なります。操作の目安としてご利用ください。

マルチガイドボタン

メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどは、マルチガイドボタンを使用します。
本書では、マルチガイドボタンでの操作を右のように表記しています。

- 使用するボタンによっては、下のように表記していることもあります。
  - ■上または下を押すとき ……………上下
  - ■左または右を押すとき ……………左右
  - ■上下左右を押すとき ………………上下左右

サイドボタン

ビューアポジション（☞P.1-11）で使用するときなどは、本体右側面の各ボタンを使用します。
本書では、各ボタンでの操作を右のように表記しています。

- ズーム／選択ボタンは、スライドする方向により、働きが異なります。（☞P.1-7）
  本書では、スライド方向別に表記（◄または►）を変えています。

本書の表記

■本文中のマーク

📶：Vodafone live!編を示しています。

■補足操作

操作の目的を示します。　項目などの選択を示します。　押すボタンを示します。

操作の中止や待受画面に戻るなど、一連の操作に関連する内容を示します。

目次

はじめに i
お買い上げ品の確認 ii
本書の見かた iii
目次 iv
安全上のご注意 xvi
お願いとご注意 xxvi
携帯電話機の比吸収率（SAR）について xxviii

1 ご利用になる前に

代表的な機能 1-2
各部の名称と機能 1-4
■本体 1-4
■ディスプレイ 1-8
V402SH の取り扱い 1-10
■４つのポジションから選ぶ 1-10
■ボタンの押し方 1-12
■ビューアポジション時のボタン操作 1-12
電池パックと充電器の取り扱い 1-13
■電池パックと充電器をご利用になる前に 1-13
■電池パックを取り付ける／取り外す 1-17
■急速充電器を利用して充電する 1-19
■卓上ホルダーを利用して充電する 1-20
■シガーライター充電器を利用して充電する 1-21
電源を入れる／切る 1-22
■誤ってボタンが押されるのを防ぐ 1-23
日付／時刻の設定 1-24
機能の呼び出し方 1-25
■インデックスメニューから機能を呼び出す 1-25
■ファンクションメニューから機能を呼び出す 1-26
■ソフトキーの使い方 1-27
■クイックオペレーション 1-29
■機能の操作方法を確認する 1-30
暗証番号 1-31
■操作用暗証番号 1-31
■交換機用暗証番号 1-31

2 基本的な操作のご案内

電話をかける 2-2
●ビューアポジションで電話をかける 2-3
■以前かけた電話番号にもう一度かける 2-4
●プリセット登 2-5
●国際発信／セット発信 2-5
電話を受ける 2-6
●ビューアポジションで電話を受ける 2-6
■かけてきた相手にかけ直す 2-8
電話に出られないとき 2-9
■着信を保留にする 2-9
●ビューアポジションでの応答保留 2-9
■メッセージを　音する 2-10
迷惑電話を防止する 2-11
通話中の操作 2-12
■受話音量を調節する 2-12
■通話中に相手の声を　音する 2-13
■数字のメモを登　する 2-14
●ノートパッドメモリの確認 2-14
リダイヤル／着信履歴の確認 2-15
●リダイヤル／着信履歴の消去 2-15
シンプルモード 2-17
■シンプルモードを設定／解除する 2-17
■シンプルモード設定時の操作 2-18
通話時間表示 2-21
●累積通話時間 2-21
●累積通話時間消去 2-21
通話料金表示 2-22
●累積通話料金 2-22
●累積通話料金消去 2-22
通話時間／通話料金の自動表示 2-23
自分の電話番号とプロフィールの確認 2-24
●オーナー情報の登 2-24
●オーナー情報の消去 2-24
●オーナー情報のコピー 2-24

3 マナーモード

マナーについて 3-2
マナーモード設定 3-3
■マナーモードを設定／解除する 3-3
■マナーモードの設定内容を変更する 3-4
●簡易留守　／マナートークモード 3-4
●着信音量／バイブレータ 3-4
●ランプ設定 3-5
●サウンド再生音量／Vアプリ再生音量 3-5
●Vアプリバイブレータ 3-5
電波の送受信を停止する 3-6

4 文字の入力方法

文字入力について 4-2
■文字入力モード 4-2
■ダイヤルボタンの割り当て 4-3
文字の入力方法 4-4
■漢字／ひらがな／カタカナを入力する 4-4
■英数字を入力する 4-7
■記号／絵文字／顔文字などを入力する 4-7
■E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する 4-10

4 文字の入力方法

■その他の文字入力関連機能 4-11
●区点コード入力 4-11
●入力方式切替 4-11
●ポケ　ルコード入力 4-11
文字の変換機能 4-13
■変換方法を設定する 4-13
■音訓変換を利用する 4-13
■一度入力した文字を利用する 4-14
■カナ英数字変換を利用する 4-15
■ワンタッチ変換を利用する 4-16
■変換履歴を消去する 4-18
■よく使う言葉を登　する 4-18
●修正 4-19
●１件消去 4-19
●全消去 4-19
■ダウンロードした辞書を設定する 4-19
●設定 4-19
●解除 4-20
文字の編集 4-20
■入力した文字を修正する 4-20
■指定した文字を削除する 4-20
■コピー／切り取り／貼り付けを行う 4-21
■カーソル前後の文字をまとめて消去する 4-22
■メモリダイヤルを利用する 4-23
テキストメモ 4-24
■テキストメモに文章を登　する 4-24
■テキストメモを修正／消去する 4-25
●修正 4-25
●バーコード作成 4-25
●１件消去 4-25

5 メモリダイヤル

メモリダイヤル登録 5-2
■メモリダイヤルに登　できる項目 5-2
■メモリダイヤルに登　する 5-3
■リダイヤル／着信履歴の電話番号を登　する 5-6
■メモリダイヤルの登　件数を確認する 5-6
メモリダイヤル登録時のオプション設定 5-7
■個別に着信音などを設定する（音声着信時） 5-7
■個別に着信音などを設定する（メール受信時） 5-8
■着信時に指定した画像を表示する 5-9
■個別にメールフォルダを設定する 5-9
グループ設定 5-10
■グループ名を変更する 5-10
■グループ着信音を設定する 5-11
メモリダイヤルの利用 5-12
■メモリダイヤルから電話をかける 5-12
●メモリNo検索 5-14
●アカサタナ検索 5-14
●グループ検索 5-14
●読み検索 5-14
■メモリダイヤルの登　内容をコピーする 5-15
メモリダイヤルの編集 5-16
■メモリダイヤルを修正する 5-16
■メモリダイヤルを消去する 5-16

6 テレビ／FM機能

テレビ／FMをご利用になる前に 6-2
■テレビ／FM利用時のご注意 6-2
■電波とアンテナについて 6-4
■テレビ／FMで使用するボタン 6-6
テレビを見る 6-7
FMを聴く 6-8
■受信エリアを設定する 6-9
■NOW ON AIR情報を取得する 6-9
チャンネルを設定する 6-10
■テレビの受信チャンネルを設定する 6-10
■FMの受信チャンネルを設定する 6-12
■その他のチャンネル設定関連機能 6-13
●リンク先の登　6-13
●チャンネル番号入替 6-13
●設定リセット 6-13
便利なテレビ／FM機能 6-14
■テレビ／FM共通の機能 6-14
●オートオフ時間設定 6-14
●本体クローズ終了設定 6-14
●テレビ／FM受信禁止 6-14
●着信時優先動作 6-15
●LCD画面表示OFF 6-15
●ビューア時表示方向 6-16
●音声出力先切替 6-16
●リンク先へアクセス 6-16
●テレビ／FMへ切替 6-17
■便利なテレビ機能 6-17
●TV時パネル明るさ調整 6-17
●横／縦表示切替 6-17
●表示方向設定 6-17

7 カメラ機能

カメラをご利用になる前に 7-2
■撮影前のご注意 7-2
■カメラ利用時のご注意 7-2
■カメラ機能で使用するボタン 7-4

7 カメラ機能

静止画の撮影 7-6
■静止画撮影モード 7-6
■静止画を撮影する 7-8
● メモリダイヤル登 7-10
● サムネイル登 7-10
● サムネイル90度回転 7-10
■静止画撮影で利用できる機能 7-10
■フレームを付けて撮影する 7-11
■画面の装飾効果を確認しながら撮影する 7-12
■静止画を連続して撮影する 7-13
動画の撮影 7-16
■動画撮影モード 7-16
■動画を撮影する 7-17
■動画撮影で利用できる機能 7-18
各種撮影方法 7-19
● キー操作ガイド 7-19
● 表示切替 7-19
● シャッター音設定 7-19
● セルフタイマー 7-20
● モバイルライト 7-21
各種画像の設定 7-22
● 明るさ設定 7-22
● ソフトフォーカス 7-22
● 撮影サイズ設定 7-22
● シーン別撮影 7-22
● 画質設定 7-23
● 保存形式変更 7-23
● マイク設定 7-23
その他の設定 7-24
● 登　先設定 7-24
● カメラモード選択 7-24
● オートリセット設定 7-24
● 接写切替確認表示 7-24
撮影した画像の確認 7-25
■静止画の確認 7-25
■動画の確認 7-26
メモリ使用状況を確認する 7-26
静止画のメール添付 7-27
■写メールモードで撮影した静止画を添付する 7-27
■壁紙モードで撮影した静止画を添付する 7-28
■デジタルカメラモードで撮影した静止画のサムネイルを添付する 7-29
静止画のプリント指定（DPOF） 7-29
■プリントする静止画と枚数を指定する 7-29
■DPOFの便利な機能 7-30
● 枚数一括指定 7-30
● 日付付加指定 7-30
● インデックス 7-31
● プリント指定 7-31
● 指定状況確認 7-31
ポストカード／カレンダー作成 7-31
■ポストカードを作成する 7-31
■カレンダーを作成する 7-32

8 ディスプレイ設定

壁紙設定 8-2
時計／カレンダー表示設定 8-3
■時計の表示形式を設定する 8-3
■カレンダーの表示形式を設定する 8-3
文字サイズ（フォント）変更 8-4
■文字の太さを変更する 8-4
■メニュー表示の文字を大きくする 8-5
マイキャラクタ設定 8-5
ディスプレイ／ボタンの照明設定 8-6
その他のディスプレイ関連機能 8-7
● ボーダフォンライブ！アニメ設定 8-7
● Disneyスタイル 8-7
● スクリーンアニメ設定 8-8
● ウェイクアップ 8-8
● ビューア時表示方向設定 8-8
● 日本語／英語切替 8-8

9 音の設定

着信設定 9-2
■着信音量を設定する 9-2
■着信パターンを設定する 9-3
■着信をバイブレータでお知らせする 9-4
■モバイルライト／スモールライトを設定する 9-5
■着信呼出時間を設定する 9-6
各種効果音の設定 9-6
■操作音のパターンを設定する 9-6
■その他の着信設定 9-7
● サウンド音量 9-7
● サウンド時間 9-7
着信用ボイス録音 9-8
オリジナル着信音の作成 9-9
■オリジナル着信音の基礎知識 9-9
■オリジナル着信音を作成する 9-13
■オリジナル着信音を修正する 9-15
■オリジナル着信音を消去する 9-17
オリジナル音色の作成 9-17
■オリジナル音色の基礎知識 9-17
■オリジナル音色を作成する 9-21
その他の音関連機能 9-22
● スピーカーホン／スピーカー受話設定 9-22
● 音色オクターブ設定 9-22

10 ボイスレコーダー

音声の録音 ……… 10-2
■　音する ……… 10-4
■音声　音に関する設定 ……… 10-5
● マイク感度設定 ……… 10-5
●　音モード設定 ……… 10-5
● ファイル消去 ……… 10-5
音声の再生 ……… 10-6
■再生する ……… 10-7
■音声再生に関する設定 ……… 10-8
● 1件再生／全件再生 ……… 10-8
● 再生音量制限（TRAIN） ……… 10-8
● ファイル分割 ……… 10-8

11 メモリカード

メモリカードをご利用になる前に ……… 11-2
■メモリカードの取り扱いについて ……… 11-2
■メモリカードを取り付ける／取り外す ……… 11-3
■メモリカードのメモリ管理方法について ……… 11-5
メモリカードの利用 ……… 11-6
■メモリカードをフォーマット（初期化）する ……… 11-6
■保存されているデータを確認する ……… 11-6
■メモリ使用状況を確認する ……… 11-8
データの転送 ……… 11-9
■指定したデータをコピー／移動する ……… 11-9
■メモリダイヤルを転送する ……… 11-10

12 データ管理

データフォルダについて ……… 12-2
■データフォルダの構成 ……… 12-2
■データフォルダに登　できるファイル ……… 12-3
■データフォルダの表示方法を設定する ……… 12-5
保存されているファイルの確認 ……… 12-6
■データフォルダ内のファイルを確認する ……… 12-6
■フォルダ内の画像を連続して表示する ……… 12-9
アニメーションの作成 ……… 12-10
■簡単アニメを作成する ……… 12-10
■アニメーションを確認する ……… 12-12
画像／アニメーションの利用 ……… 12-12
■画像の表示を切り替える ……… 12-12
■画像／アニメーションを壁紙に登　する ……… 12-12
■画像／アニメーションをマイキャラクタに登　する ……… 12-13
■連写画像を個別の画像として登　する ……… 12-13
画像の編集 ……… 12-14
■画像を拡大／縮小する ……… 12-14
■画像サイズを変更する ……… 12-15
■画像に文字／マーカーを入力する ……… 12-16
■画像を装飾する ……… 12-17
■顔写真を加工する ……… 12-18
■その他の画像編集 ……… 12-20
● フレーム ……… 12-20
● ムービングフォトフレーム ……… 12-20
● 画像回転 ……… 12-20
● 保存形式変換 ……… 12-21
画像の合成 ……… 12-21
■分割画像を作成する ……… 12-21
■２枚の画像をパノラマ合成する ……… 12-22
■分割画像（画像分割メール）を結合する ……… 12-23
メロディファイルの利用 ……… 12-24
■再生する ……… 12-24
電子ブックの利用 ……… 12-25
■書籍データを読む ……… 12-25
■辞書データを利用する ……… 12-28
● 文字列の検索 ……… 12-28
● 辞書データ／書籍データの情報の確認 ……… 12-28
フォルダ／ファイルの編集 ……… 12-28
● フォルダ名／ファイル名変更 ……… 12-28
● フォルダのシークレット設定 ……… 12-29
● ファイルコピー／移動 ……… 12-29
● ファイル消去 ……… 12-29

13 セキュリティ機能

操作用暗証番号の変更 ……… 13-2
無断で利用されたくないとき ……… 13-2
■ダイヤル操作禁止を設定する ……… 13-2
■電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する ……… 13-3
■メモリダイヤルの使用を禁止する ……… 13-3
■ダイヤルボタンでの発信を禁止する ……… 13-4
電話の着信制限 ……… 13-4
■リストに電話番号を登　する ……… 13-4
■指定した電話番号の着信を許可する ……… 13-5
■指定した電話番号の着信を拒否する ……… 13-5
■非通知の電話／公衆電話からの着信を拒否する ……… 13-5
秘密にしたい電話番号の登録 ……… 13-6
■シークレットメモリを登　する ……… 13-6
■シークレットモードを設定する ……… 13-7
登録内容をお買い上げ時の状態に戻す ……… 13-8
■各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す ……… 13-8
■メモリダイヤルなどの登　内容を消去する ……… 13-8

14 その他の機能

通話時の便利な機能 ……… 14-2
■電波が弱いことをお知らせする ……… 14-2
■プッシュトーンを送る ……… 14-2
サイドキー設定 ……… 14-3
■着信時の動作を設定する ……… 14-3
■待受時の動作を設定する ……… 14-3

14 その他の機能

お知らせランプ設定 14-4
電話を受けられないときに相手からのメッセージを録音する 14-5
- ■簡易留守　を設定する 14-5
- ■簡易留守　を解除する 14-6
- ■　音された用件を聞く 14-6

通話内容や自分の声を録音する 14-7
アラーム設定 14-8
- ■アラームを設定する 14-8
- ■アラームの各種設定 14-10
  - ●アラーム音選択 14-10
  - ●アラーム音量調節 14-10
  - ●鳴動時間 14-10
  - ●バイブ設定 14-10
  - ●ランプ設定 14-11
  - ●スヌーズ設定 14-11
  - ●予告アラーム設定 14-11
  - ●電話番号 14-11
  - ●メール予約 14-11
- ■アラームを解除／再設定する 14-12
  - ●アラーム解除 14-12
  - ●アラーム消去 14-12
  - ●アラーム再設定 14-12
- ■指定時刻に自動的に電源を入れる 14-12
- ■指定した時刻に電源を切る 14-13

スケジュール機能 14-14
- ■スケジュールを登　する 14-14
- ■スケジュールの各種設定 14-16
  - ●ピクチャーメモ設定 14-16
  - ●日付色変更 14-16
  - ●待受表示設定 14-17
  - ●自動消去保護設定 14-17
- ■スケジュールを確認する 14-17
- ■スケジュールを編集する 14-18
- ■スケジュールを消去する 14-18
  - ●１件消去 14-18
  - ●１日消去 14-18
  - ●過去／全件消去 14-18
- ■その他のスケジュール関連機能 14-19
  - ●自動消去設定 14-19
  - ●シークレット設定 14-19
  - ●カレンダー曜日色設定 14-19
  - ●表示設定 14-19

ユースフルダイアリー 14-19
- ■ユースフルダイアリーを登　する 14-19
- ■シークレット設定／解除する 14-20
  - ●設定 14-20
  - ●解除 14-20
- ■ユースフルダイアリーを編集する 14-21
- ■ユースフルダイアリーを消去する 14-22
  - ●１件消去 14-22
  - ●全件／過去消去 14-22

ストップウォッチ 14-22
キッチンタイマー 14-23
バーコード読み取り 14-24
- ■モバイルカメラで撮影して読み取る 14-24
- ■データフォルダ内のバーコードを直接読み取る 14-28
- ■読取データを確認する 14-28

バーコード作成 14-29
- ■バーコード専用モードを利用する 14-29
  - ●オーナー情報からバーコード作成 14-29
  - ●メモリダイヤルからバーコード作成 14-29
  - ●メールからバーコード作成 14-30
  - ●テキスト（文字）からバーコード作成 14-30
  - ●メロディ／画像からバーコード作成 14-30
- ■各情報の画面からバーコードを作成する 14-31

電池の消費を抑える 14-31
- ■電池パックの消費を抑える 14-31
- ■ディスプレイの消費を抑える 14-32

簡易電卓 14-33
マネー積算メモ 14-34
  - ●マネー積算メモ入力 14-34
  - ●確認 14-34
  - ●消去 14-34
  - ●明細名変更 14-34

スポットライト 14-35
  - ●点灯 14-35
  - ●消灯 14-35
  - ●点灯時間設定 14-35
  - ●点灯カラー設定 14-35

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの利用 14-36
- ■ワンタッチで電話をかける 14-36
- ■ワンタッチで電話を受ける 14-36
- ■イヤホンからのみ着信音を出す 14-37

外部機器を利用したデータ通信 14-37
  - ●FAX通信 14-37
  - ●パソコン通信 14-37

15 オプションサービス

オプションサービスの概要 15-2
転送電話サービス 15-3
  - ●転送先電話番号登　15-3
  - ●転送電話サービス開始 15-3
  - ●転送電話サービス停止 15-3
  - ●転送電話サービス設定確認 15-3

留守番電話サービス 15-4
● 留守番電話サービス開始 15-4
● 留守番電話サービス停止 15-4
● 伝言メッセージ再生 15-5
● 留守番電話サービス設定確認 15-5
転送電話／留守番電話の呼出し時間設定 15-5
● 呼出し時間設定 15-5
割込通話サービス 15-6
● 割込通話サービス設定 15-6
● 割込通話サービス解除 15-6
● 割込通話サービス設定確認 15-6
● 割込通話着信 15-6
三者通話サービス 15-7
● 通話中発信 15-7
● 切替通話 15-7
● 通話中転送 15-8
● 三者通話 15-8
● 三者通話中転送 15-8

16 Abridged English Manual

Accessories 16-2
Safety Precautions 16-2
DANGER 16-3
■ Handset, Battery & Charger 16-3
■ Battery 16-3
WARNING 16-3
■ Handset, Battery & Charger 16-3
■ Handset 16-4
■ Charger 16-5
■ Battery 16-5
■ Handset Use & Electronic Medical Equipment 16-6
CAUTION 16-6
■ Handset, Battery & Charger 16-6
■ Handset 16-7
■ Charger 16-7
■ Battery 16-8
General Notes 16-8
■ General Use 16-8
■ In Automobiles 16-8
■ Aboard Aircraft 16-9
■ Handset Care 16-9
Minding Mobile Manners 16-10
■ Basic Handset Etiquette 16-10
■ Manner-Related Features 16-10
Handset Parts & Functions 16-11
■ Handset (Front) 16-11
■ Handset (Side & Back) 16-13
■ Charging Battery 16-14
■ Display 16-16
■ Symbols 16-18
■ Handset Codes 16-19
Basic Handset Operations 16-20
■ Turning Handset On/Off 16-20
■ Display Language 16-20
■ Your Phone Number 16-20
■ Setting Clock 16-20
■ Initiating a Call 16-21
■ Redial 16-21
■ Total Charges & Talk Time 16-22
■ Incoming Call 16-22
■ Placing a Caller on Hold 16-22
■ Message Recorder & Voice Mail 16-22
■ Forwarding a Call 16-23
■ Calling from Call History 16-23
■ Manner Mode 16-23
Entering Characters 16-24
■ Character Types 16-24
■ Key Assignments 16-25
■ Symbols, Pictographs & Emoticons 16-26
Saving to Phone Book 16-27
■ Phone Book Entry Items 16-27
■ New Phone Book Entries 16-28
■ Editing Phone Book 16-29
■ Saving from Call History 16-29
Dialing from Phone Book 16-30
■ Entry Number Search 16-30
■ Search by Reading 16-30
Mobile Camera 16-31
■ Before Using Camera 16-31
■ Capturing Still Images 16-32
Data Folder 16-33
■ Data Folder Contents 16-33
■ Opening Data Folder 16-33
■ Long Mail Attachments 16-33
Function Shortcuts 16-34
Specifications 16-38
Customer Service 16-40

17 付録

機能一覧 17-2
故障かな？と思ったら 17-6
区点コード一覧 17-9
主な仕様 17-13
索引 17-15
保証書とアフターサービス 17-19
お問い合わせ先一覧 17-20

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**
	警告	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**
	注意	**誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は してはいけないこと（禁止）を表しています。	記号は しなければならないこと（強制）を表しています。	記号は 気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

V402SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

V402SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ボーダフォンが指定したものを使用する（☞P.ii）
指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金　などで接触させない
充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。（☞P.ii）。
- 電池パックをV402SHに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、V402SH専用です。
  それ以外の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

V402SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない

V402SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない

V402SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない

視力傷害の原因になります。
また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックやV402SH、充電器、卓上ホルダーを入れない

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、V402SHや充電器、卓上ホルダーの発熱・発煙・発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない

- V402SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。

- V402SHや充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

V402SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

V402SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

衝撃を与えない

V402SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、V402SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損した場合は、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、V402SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

V402SHの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、V402SHを絶対にお使いにならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。

- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを絶対に使わないでください。
  交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
  交通事故の原因となります。

ホイップアンテナやTVアンテナ付きステレオイヤホンマイク、ストラップを持ってV402SHを振り回したり、投げない

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、V402SHの電源を切る

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する

心臓の弱い方は、設定に注意してください。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する

落雷・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
- 急速充電器
  AC100V
- シガーライター充電器
  DC12／24V

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。
充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。
過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは

（芯線の露出、断線など）
ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。
火災・感電・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

感電・けがの原因となります。

⚠警告

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、V402SHから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、V402SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、V402SHを持ち込まない。
- 病棟内ではV402SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、V402SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがう。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠注意

V402SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
  また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。

置き場所について（続き）

- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使わないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類をV402SHや充電器に近づけないでください。カードに記　されているデータが消えることがあります。

V402SHの取り扱いについて

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

V402SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のとき

V402SHを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

V402SHの取り扱いについて

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受ける。

下記の箇所に金属などを使用しています。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理（下地：エポキシ系焼付け塗装）
キャビネット（背面側、ディスプレイ下側、操作ボタン側、電池パック側）、電池カバー、メモリカードスロットカバー	ABS樹脂／アクリル系ＵＶ硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓	アクリル樹脂／表面UVコート処理インモールド箔
スピーカーパンチング	SUS
スピーカーリング	メッキ部：クロムメッキ（下地：ABS樹脂）
カメラ透明窓、スモールライト窓	アクリル樹脂
ネジカバー（ディスプレイ上側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ネジカバー（ディスプレイ下側）	PET
ネジカバー（操作ボタン上部／ヒンジ部）	ウレタン樹脂
ホイップアンテナ	ABS樹脂
サイドボタン	PC樹脂
マルチガイドボタン、ファンクションボタン、ボーダフォンライブ！ボタン、メールボタン、電源ボタン、開始ボタン	ABS樹脂／クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）
ダイヤルボタン、クリアボタン、スケジュール／メモボタン、文字ボタン	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
イヤホンマイク端子カバー、外部機器端子カバー	エラストマー樹脂
電池パック	PC樹脂／PPフィルム
充電端子	ナイロン６T／BRASS、Auメッキ(下地：ニッケル、銅)
ネジ（ディスプレイ側、操作ボタン側）	SWCH12A／Niメッキ

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

●プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。

●コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

●ACコンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、V402SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、濡らさないでください。
電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

●不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

●電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないように注意してください。

●電池パックの充電は、周囲温度5℃～35℃の場所で行ってください。
この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

●電池パックをお子さまがご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。

●電池パックを初めてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。

●電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などによりV402SH／SDメモリカードに登　したデータ（メモリダイヤル・画像・サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なメモリダイヤルなどのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- V402SHは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- V402SHを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- V402SHは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  V402SHは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいた上で、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながらV402SHをご使用になると危険ですので、おやめください。
- V402SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- V402SHを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- V402SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客さまが登　・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- V402SHは温度：5℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- モバイルカメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- V402SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
  また、アルコール、シンナー、　ンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- V402SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- V402SHのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようご注意ください。
- V402SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- **V402SHは防水仕様にはなっていません。**
  水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - 海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光が当たらないようにしてください。
  - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗がV402SHの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- **V402SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
  故障やけがの原因となります。
  - V402SHをズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- V402SHのイヤホンマイク端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、V402SHを傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ずV402SHの電源を切ってから取り外してください。
  データの登　やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データ　ースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

- **この機種【V402SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**
  この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2 W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
- この携帯電話機【V402SH】のSARは、0.21W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
- SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
  ■総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
  ■社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

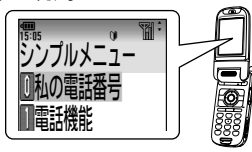
ご利用になる前に

代表的な機能

● ■の利用には、市販のSDメモリカードが必要です。

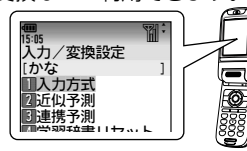
4つのポジション
ディスプレイ部分が180度回転して、使い方に応じて4つのポジションが選べます。

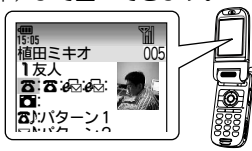
P.1-10

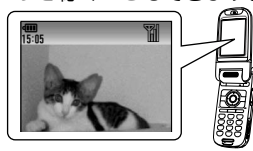
シンプルモード
初心者向けに機能を絞ったモードで、基本的な機能が簡単に利用できます。

P.2-17

マナーモード
ボタン1つで着信音を鳴らさないようにしたり、簡易留守　に設定できます。

P.3-3

多彩な文字変換
近似予測変換、連携予測変換、推測頭出し変換、ワンタッチ変換などが利用できます。

P.4-13、P.4-16、P.4-17

メモリダイヤル
最大500件（1件につき電話番号とE-mailアドレス各3件）まで登　できます。

P.5-2

テレビ／FMラジオ
V402SHでテレビ映像を見ることができます。また、FMラジオを聴くこともできます。

P.6-2

モバイルカメラ
内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。モバイルライト撮影も可能です。

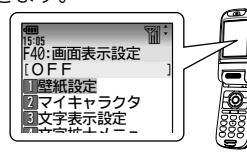
P.7-2

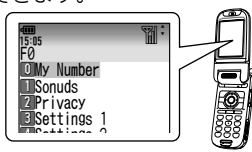
プリント指定（DPOF）
SDメモリカード内の静止画にプリント情報を設定し、ショップなどでプリントできます。

P.7-29

ポストカードメーカー
静止画に文字などを貼り付けてポストカードやカレンダーが作成できます。

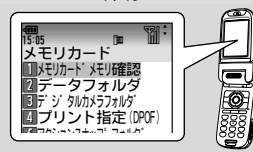
P.7-31

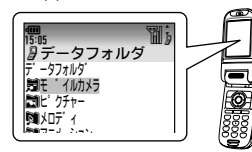
画面表示設定
壁紙やマイキャラクタ、文字表示などを設定することができます。

P.8-2、P.8-4、P.8-5

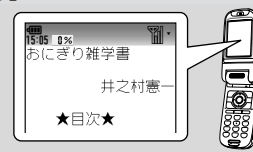
Language／言語選択
メニューや各種メッセージを英語表示に切り替えることができます。

P.8-8

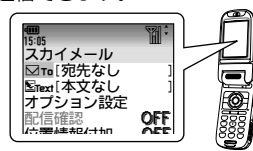
ボイスレコーダー
V402SHで音声を　音／再生したり、　音した音声を着信音にすることができます。

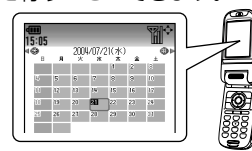
P.10-2

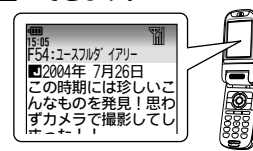
メモリカード
静止画や動画、メモリダイヤルなど、各種データをSDメモリカードに保存できます。

P.11-2

データフォルダ
静止画や動画、メロディ、アニメなど、各種データをまとめて管理できます。

P.12-2

電子ブック
SDメモリカード内の電子書籍データ（XMDF形式）を、閲覧することができます。

P.12-25

ワンショットメール
待受時にクローズポジションのまま、簡単な操作でメールを送信できます。

P.14-3

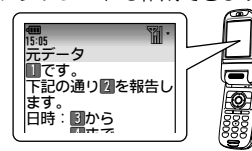
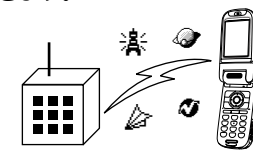
スケジュール
時間や期日の決まった予定を登　して、スケジュール管理を行うことができます。

P.14-14

ユースフルダイアリー
文字と画像を組み合わせた便利な日記を、最大400件まで登　できます。

P.14-19

バーコード
バーコードを読み取ったり、メモリダイヤルなどからバーコードを作成できます。

P.14-24

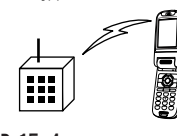
メールテンプレートライブラリ
簡単にメールが作成できるテンプレート集です。オリジナルテンプレートも作成できます。

別冊

ボーダフォンライブ！
メール、ウェブ、Vアプリ、ステーションの各機能が利用できます。

別冊

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P.15-3

留守番電話サービス
電話に出られないとき、相手のメッセージをお預かりします。

P.15-4

割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けることができます。

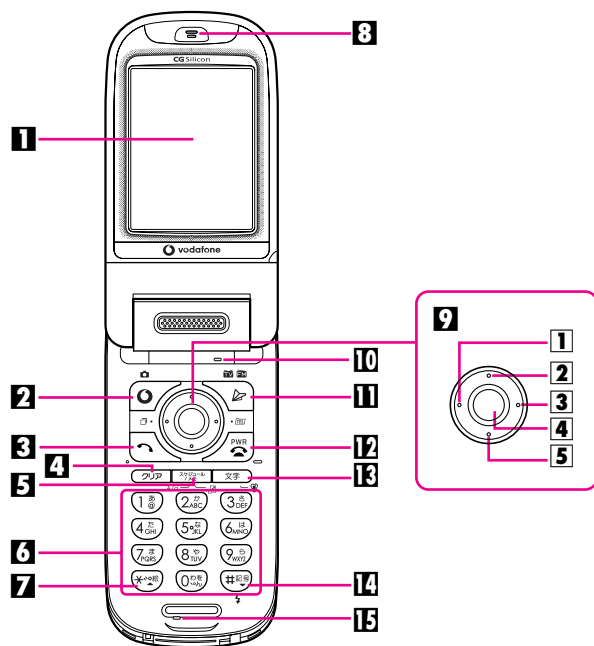
P.15-6

三者通話サービス
3人で同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。

P.15-7

各部の名称と機能

1 ご利用になる前に

本体

1 ディスプレイ

2 ボーダフォンライブ！ボタン／モバイルカメラ起動ボタン

- ●短押し：ボーダフォンライブ！を利用するときに使用します。
- ●長押し：モバイルカメラを起動するときに使用します。

3 開始ボタン

電話をかけるときや受けるときに使用します。

4 クリアボタン

入力した電話番号、文字などを削除するときや各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

5 スケジュール／メモ／A／aボタン

スケジュールを登　／表示するときや、通話内容や声のメモを　音／再生するときに使用します。また、画像表示サイズを切り替えるときにも使用します。文字入力時には、大文字／小文字の切り替えなどに使用します。

6 ダイヤルボタン

- ●短押し：電話番号や文字の入力などを行うときに使用します。
- ●長押し：いろいろな機能のショートカットに使用します。

7 ✱ボタン

メール表示中は、前の表示へ逆戻りします。また、文字入力中は、絵文字リストの表示に使用します。

8 レシーバー（受話口）

相手の声がここから聞こえます。

9 マルチガイドボタン

メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

1 リダイヤル／ノートパッドメモリボタン

- ●短押し：以前かけた電話番号に再度かけるときや前の画面に戻るときに使用します。
- ●長押し：ノートパッドメモリの呼び出しに使用します。

2 ショートカットガイドボタン

- ●短押し：ダイヤルボタンを長く（1秒以上）押したときのショートカットのガイドを表示します。
- ●長押し：受話音量調節に使用します。

3 メモリダイヤルボタン

- ●短押し：メモリダイヤルに登　した電話番号を呼び出すときや機能を選択するときに使用します。
- ●長押し：メモリダイヤル登　に使用します。

4 ファンクション／誤動作防止ボタン

- ●短押し：各種機能を利用するときに他のボタンと組み合わせて使用します。
- ●長押し：誤動作防止機能を設定するときに使用します。

5 着信履歴ボタン

- ●短押し：かかってきた電話の内容を表示するときに使用します。
- ●長押し：受話音量調節に使用します。

10 マイク（送話口）

ビューアポジション時に、自分の声をここから伝えます。

11 メールボタン／テレビ／FM起動ボタン

- ●短押し：メールを利用するときに使用します。
- ●長押し：テレビ／FMを起動するときに使用します。

12 電源／終了ボタン

- ●短押し：通話を終了するときや着信時の応答を保留するとき、メニューの設定中止などに使用します。
- ●長押し：電源を入れるときや切るときに使用します。

13 文字／マナー（📳）ボタン

- ●短押し：文字の種類を変えたり、メモリダイヤルの登　をするときに使用します。
- ●長押し：マナーモードを設定／解除するときに使用します。

14 #ボタン

オープンポジションでのモバイルカメラ撮影時に、モバイルライトをON／OFFにするときに使用します。メール表示中は、次の表示へ順送りします。また、文字入力中は、記号リストの表示に使用します。

15 マイク（送話口）

自分の声をここから伝えます。

1 ご利用になる前に

16 スモールライト

次のように点灯／点滅します。

- ●充電中：赤色で点灯
- ●着信時：設定したパターンで点滅
- ●お知らせランプ設定時：赤色／緑色で点滅
- ●オフラインモード設定時：赤色／緑色／橙色がそれぞれ２回ずつ順番に点滅
- ●パネルセーブ設定で「**ランプあり**」に設定時：橙色で点滅

17 ストラップ取り付け穴

図のように市販のストラップを取り付ける穴です。

18 メモリカードスロット

SDメモリカードを挿入する場所です。

19 充電端子

20 外部機器端子

付属品の急速充電器やオプション品のシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

21 ホイップアンテナ

テレビ／FM受信用のアンテナです。

２段式になっています。「**カチッ**」と音がして固定されるまで十分に引き出してください。

22 イヤホンマイク端子

付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクやオプション品のスイッチ付イヤホンマイクなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

23 シャッターボタン

●ビューアポジション時

- ■短押し：メニュー項目を選択するときや実行するときに使用します。
- ■長押し：カメラを起動するときに使用します。

  モバイルカメラのときの動作：☞P.7-4

24 Cボタン

連続２回押し：スポットライトを点灯させるときに使用します。

●ビューアポジション時

- ■短押し：各種メニュー操作をキャンセルするときなどに使用します。
- ■長押し：テレビ／FMを起動するときや終了するときに使用します。

●クローズポジション時

- ■長押し：サイドキー設定（☞P.14-3）で使用します。

  モバイルカメラのときの動作：☞P.7-4

25 ズーム／選択ボタン

●ビューアポジション時

1 突起部分をシャッターボタンとは反対方向にスライド：メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。（下または右へ移動）

モバイルカメラのときの動作：☞P.7-4

2 突起部分をシャッターボタン側にスライド：メニュー項目を選択するときやカーソルを移動するときに使用します。（上または左へ移動）

モバイルカメラのときの動作：☞P.7-4

26 モバイルライト

電話がかかってくると設定したカラーパターンで点滅します。モバイルカメラでは、モバイルライト撮影に利用できます。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

27 モバイルカメラ（レンズカバー）

ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

28 接写スイッチ

接写モードと通常モードを切り替えるときに使用します。

29 電池カバー

30 内蔵アンテナ

この部分に通信用のアンテナが内蔵されています。

1 ビューアポジションのときに電波を送受信します。

2 ビューアポジション以外のときに電波を送受信します。

31 スピーカー

着信音がここから聞こえます。また、スピーカーホン／スピーカー受話中に相手の声がここから聞こえます。

注意

- ●ホイップアンテナはテレビ/FM受信用です。ホイップアンテナを伸ばしても通話品質は変わりません。
- ●ホイップアンテナを収納するときは、アンテナの下の方を持って行ってください。上の方を持って無理に押し込むと、破損の原因となります。先端が収納されるまで、完全に収納してください。
- ●内蔵アンテナ部分は、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。また、シールなどを貼らないでください。通話品質が悪くなります。

ディスプレイ

1 （電池レベル表示）／（スポットライト表示）
電池残量の目安を表示します。また、スポットライト点灯時は「」と「」を交互に表示します。

2 （シークレットモード表示）
シークレットモードのときに表示されます。シークレットメモリを呼び出したときは点滅表示します。

3 ／（等倍表示／拡大表示）
画像やメール画面、ウェブ画面の画像表示サイズを示します。

4 （スピーカーホン表示）／（スピーカー受話表示）／通信回線表示
スピーカーホンで通話しているときは、「」が、スピーカー受話しているときは「」が表示されます。また、通信回線なども表示されます。
- ●ウェブで利用する通信回線
「」: データ回線表示
- ●ステーションメニューの手動更新中
「」（グレー）: ステーションメニュー更新表示

5 （メール受信表示）
スカイメールなどを受信すると表示され、未読のメールがあることをお知らせします。

6 （ウェブ受信表示）
ウェブで情報を受信すると表示され、未読の情報があることをお知らせします。

7 （通信レポート受信表示）
メールの通信レポートを受信したときに表示されます。

8 （電波状態表示）／（オフラインモード表示）
電波の強さを表示します。の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
: 強　: 中　: 弱　: 微弱　: 圏外
また、オフラインモードに設定したときは「」が表示されます。

9 （スクロール表示）

10 （Vアプリ起動中表示）／（Vアプリ一時停止中表示）
Vアプリを起動しているときには「」が、一時停止しているVアプリがあるときには「」が表示されます。

11 （マナーモード表示）
マナーモードが設定されているときに表示されます。

12 （ロングメール受信表示）
ロングメールなどを受信したときに表示され、未読のメールがあることや、メールサーバーにメールをお預かりしていることをお知らせします。
※ロングメールご契約時に表示されます。

13 （ステーション受信表示）
ステーションの更新情報を受信すると「」（赤色）で表示され、未読の情報があることをお知らせします。

14 （メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに伝言メッセージが保存されているときに表示されます。

15 （本体表示）／（SDメモリカード表示）
表示されている情報が、V402SHに保存されているときには「」が、SDメモリカードに保存されているときには「」が表示されます。

16 ／（スケジュール表示）
スケジュールが登　されている日に、まだ設定時刻になっていないスケジュール（アラームON時：／アラームOFF時：）があることをお知らせします。

17 （アラーム表示）
アラームが設定されているときに表示されます。

18 入力モード表示
入力できる文字の種類や入力方法を示します。

19 （留守表示）
簡易留守　に設定したときに表示されます。

20 （バイブレータ表示）
通常着信時にバイブレータが設定されているときに表示されます。

21 （SDメモリカード状態表示）
SDメモリカードの状態が表示されます。

22 （音声再生／音声録音中表示）
音声の再生／　音中に表示されます。

23 など（お天気アイコン表示）
ステーションによって、現在いるエリアの天気が表示されます。（別途お申し込みが必要です。）

24 （誤動作防止表示）
誤動作防止が設定されているときに表示されます。

25 （ダイヤル操作禁止表示）
ダイヤル操作禁止がかかっているときに表示されます。

26 （録音表示）
簡易留守　の用件が　音されているときに表示されます。

27 （サイレント表示）／（ステップ表示）
通常着信時の着信音量が、「**サイレント**」のときは「」、「**ステップ**」のときは「」が表示されます。

- ●バイブレータと着信音量は、通常着信、ボーダフォンライブ！の各着信のそれぞれに設定できますが、ディスプレイに表示されている「」、「」、「」は、通常着信時の設定状態を示します。
- ●壁紙を設定（☞P.8-2）しているときは、ディスプレイのマーク表示を消すこともできます。（☞P.8-3）

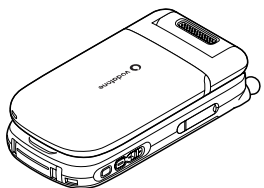
V402SHの取り扱い

V402SHは使い方に応じて、４つのポジションが選べます。
- 本書では、「**オープンポジション**」を中心に操作の説明をします。ただし、モバイルカメラの操作（☞P.7-2）は「**ビューアポジション**」を中心に説明します。

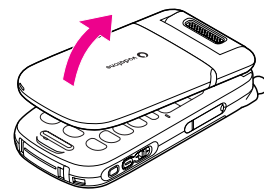
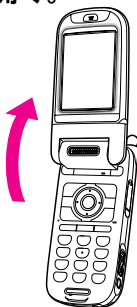
４つのポジションから選ぶ

- ポジションを変更するときは、両手で持ってゆっくりと操作してください。力を入れすぎると、破損の原因になります。
- ポジションを変更するときに、スピーカー部に指を挟まないようご注意ください。

1

2

クローズポジション

ディスプレイを内側にして、２つ折りにした状態です。（お買い上げ時の状態です。）
- 携帯するときにおすすめします。

付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使うと、クローズポジションで通話することができます。（☞P.14-36）

3 ディスプレイ部分を「カチッ」と音がして止まるまで開く。

オープンポジション

ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタン操作をするときの状態です。
- 通話や文字入力などに適しています。

4 ディスプレイ部分を右回りに180度回転させる。

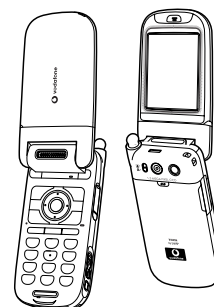
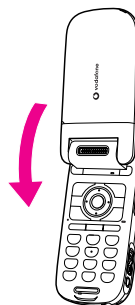
5

セルフショットポジション

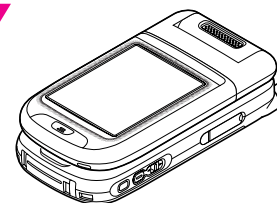
ディスプレイを見ながら、ダイヤルボタンを使ってモバイルカメラ操作をするときの状態です。
- 自画撮影など、ディスプレイで画像を確認しながらの撮影に適しています。

セルフショットポジションに変更するときは、ディスプレイ部分を左回りに回転させることはできません。

6 ディスプレイ部分を閉じる。

7

ビューアポジション

ディスプレイ部分を外側にして、２つ折りにした状態です。
- モバイルカメラの操作（☞P.7-2）や、撮影した画像の確認（☞P.7-25）、テレビ／FMの視聴（☞P.6-2）をするときに適しています。
- ⊖、Ⓒ、▶、◀を使って、オープンポジションとほぼ同様に基本的な操作ができます。

ビューアポジションのまま携帯しないでください。ディスプレイを破損する恐れがあります。

ボタンの押し方

一部のボタンでは、押し方によっていくつかの機能が利用できます。次の３種類の押し方を使い分けて操作してください。

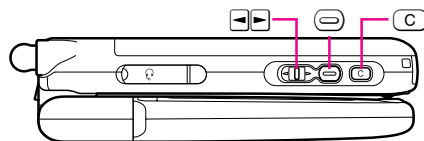
短押し※	軽く押します。（本書でのボタン操作の基本的な押し方です。）
長押し	１秒以上押し続けます。
連続２回押し（Ⓒだけの操作）	間隔をあけずに短押しを２回連続で押します。スポットライトを点灯するときに使用します。

※ 本書では、ことわりがない限り「**短押し**」は「**押す**」と記載しています。

ビューアポジション時のボタン操作

ビューアポジション時には、⊖、Ⓒ、►、◄の各ボタンを使って操作します。

待受画面での操作

⊖	長押し	モバイルカメラ起動
	短押し	インデックスメニュー表示
Ⓒ	短押し	ボーダフォンライブ！メニュー表示
	長押し	テレビ／FM起動
►	短押し	メールメニュー表示※
◄	短押し	着信履歴表示※
◄ ►	長押し	受話音量変更※

※ カレンダー表示（P.8-3）が設定されている場合は除く

待受画面以外での操作（着信中、通話中、テレビ／FM、モバイルカメラ、Vアプリを除く）

各ボタンは次のように、オープンポジション時のボタンと対応しており、基本的な操作はオープンポジション時とほぼ同様に行えます。

ビューアポジション時のボタン		オープンポジション時のボタン
⊖	長押し	
	短押し	◉
Ⓒ	長押し	
	短押し	クリア
►	短押し	◎または◎※
◄	短押し	◎または◎※

※ 動作する方向は、表示される画面によって異なります。

ビューアポジションで操作するときは、対応するボタンに置き換えてお読みください。

電池パックと充電器の取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：５℃～35℃
- 指定以外の充電器で充電しないでください。指定以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電が開始されるとスモールライトが赤色点灯します。（電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。）
- 充電時間は約115分です。
  ■**常温（電源OFF時）での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。**
- 充電中、充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 充電器を使用中、ご家庭でお使いのテレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をご家庭でお使いのテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

充電時のご注意

- 電池パックやV402SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - ■極端な高温や低温環境
  - ■湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

- 電池パック単体で充電することはできません。
- V402SHに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。
- 電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電した場合、充電中は「▥」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- **V402SHを開いた状態でも充電することができます。**

完全に充電したときの利用可能時間

●完全に充電したときの利用可能時間

連続通話時間	約150分
連続待受時間	約450時間
連続操作時間	約250分

※ 上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整が「**明るさ４**」（お買い上げ時）に設定されているときの時間です。

■連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能「OFF」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

■連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V402SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。

■連続操作時間とは、通話をしないで連続してV402SHを操作し続けたときの利用可能時間です。

■電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

●使用環境

■極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき（周囲温度５℃～35℃の場所でお使いください。）

■V402SHや電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）

■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受にしているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）

●操作

■テレビ／FMを視聴しているとき

■Vアプリを起動しているとき

■ステーションを使用しているとき

■モバイルカメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
また、モバイルライト撮影を多く使用したとき

■動画を再生したとき

■スポットライトを多く使用したとき

■メール作成などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき

■ボイスレコーダーを　音／再生させたとき

■V402SHのポジションを頻繁に変更したとき

●設定

■パネル照明やキー照明の点灯時間を長く設定したとき

■壁紙にアニメーションを設定したとき

■スクリーンアニメを設定したとき

■パネルセーブが働かないように設定したとき

■パネル照明を明るくなるように調整したとき

電池パックの消耗を軽減するには

次の機能の設定を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減することができます。

●照明設定（☞P.8-6～P.8-7）

●モバイルライト（☞P.7-21）やスポットライトの継続点灯時間（☞P.14-35）

●パネルセーブ（☞P.14-32）

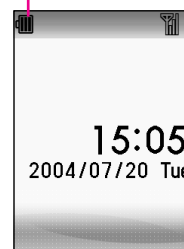
電池が切れたら

●電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ…**」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）
電池アラーム音が鳴っているときに を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。
（マナーモード設定時には、警告音は鳴りません。）
また、通話中に電池が切れた場合は、電池アラーム音「**ピピ**」と断続音が約５秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

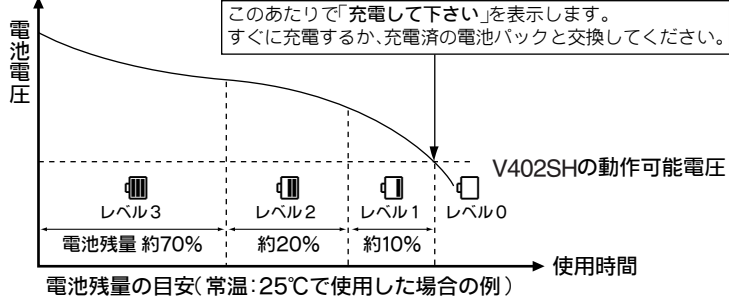
不要になった電池パックは

●不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

電池レベル表示の確認

電池レベルを４段階で表示します

●「 」になると充電することをおすすめする確認メッセージが表示され、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。

■電池レベル表示について

電池レ　ル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。
ディスプレイの電池レ　ル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

■ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

低温下では、レ　ル1が早めに表示されます。
高温下では、レ　ル1が遅めに表示されます。

- 上記の電池レ　ル表示は電池残量の目安です。
- 電池レ　ル表示がレ　ル1になると、テレビ／FMの視聴や、ボイスレコーダーの音など利用できない機能があります。（☞P.6-2、P.10-2）

スモールライト／電池レベル表示

スモールライトや電池レ　ル表示は、次のような状態をお知らせします。

■電源が入っているとき

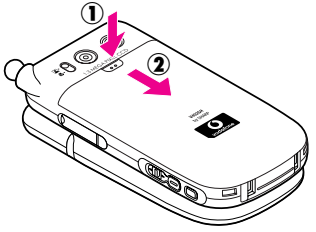
スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	点滅	周囲温度が5℃～35℃以外、電池残量なし
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了、待受中

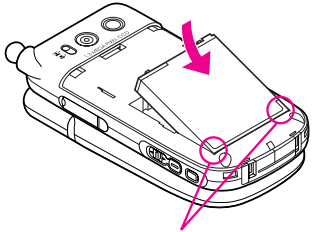
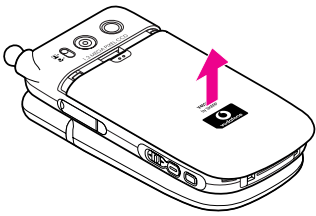
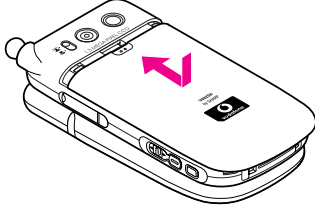
■電源が切れているとき

スモールライト	電池レベル表示（▥）	状態
消灯	消灯	周囲温度が5℃～35℃以外、電池残量なし
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中
消灯	消灯	充電完了

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

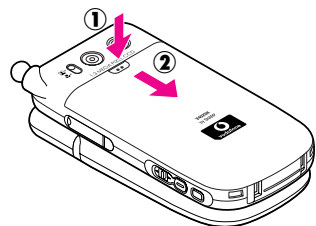
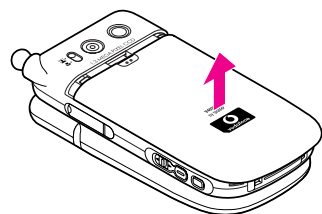
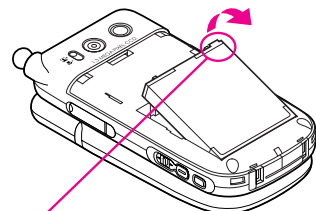
3 電池パックを取り付ける。

- 印刷面を上にして、本体のくぼみに電池パックの先を合わせて取り付けます。

4 電池カバーを取り付ける。

- 電池カバーとキャビネットとのすき間が生じないように電池カバーを押しながらスライドさせます。

V402SHは、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

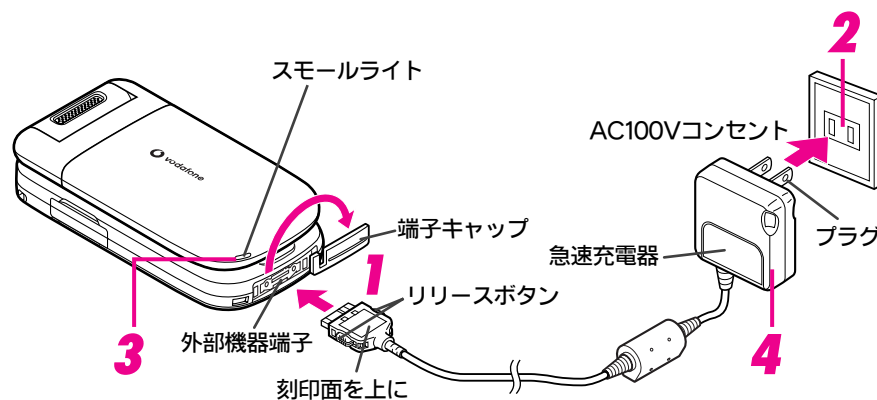
- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災・感電の原因となります。
  - ■ショートさせない。
  - ■分解しない。

Li-ion

取り外す

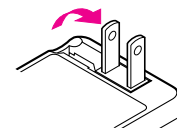
1 **電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドする。**

2 **矢印の方向に持ち上げ、取り外す。**

3 **電池パックを持ち上げ、取り外す。**

●この部分から電池パックを持ち上げます。

●電池パックは、必ず電源を切ってから取り外してください。
●操作をしたあとは、すぐに電池パックを取り外さないでください。

急速充電器を利用して充電する

1 **端子キャップを回転して開き、外部機器端子に接続コネクターを差し込む。**

●「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 **プラグを家庭用 AC コンセントに差し込む。**

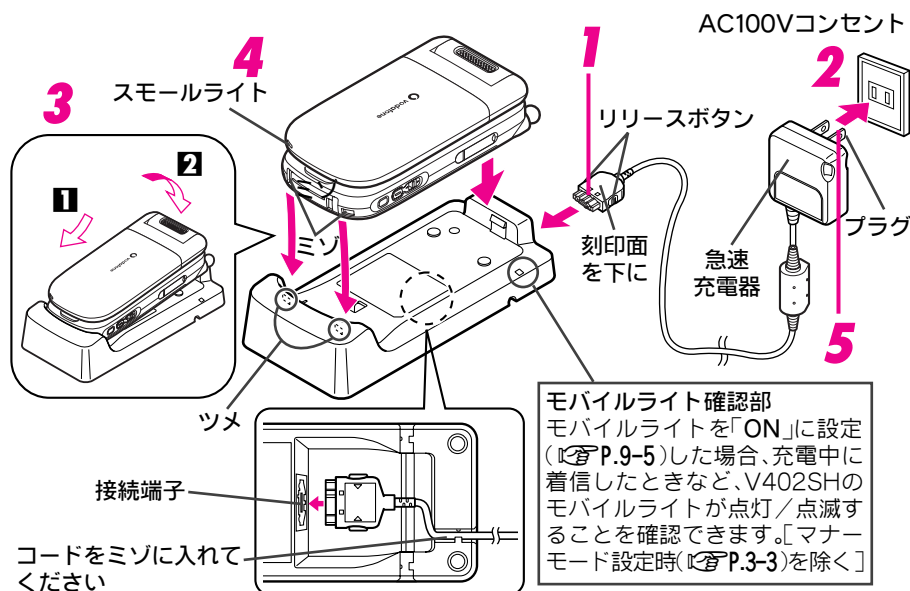
●充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-16）
●ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

3 **スモールライトが消灯すれば、充電完了。**

●充電時間：☞P.1-13

4 **充電が完了したら…**
V402SHから接続コネクターを抜き、プラグをACコンセントから抜く。

●接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
●V402SH の端子キャップを元に戻してください。

急速充電器を携帯されるときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。

卓上ホルダーを利用して充電する

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

- 「**カチッ**」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 卓上ホルダーの接続端子は裏側にあります。

2 プラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

- ACコンセントに差し込む前に、プラグを起こしてください。（ご使用後は、プラグを倒して保管してください。）

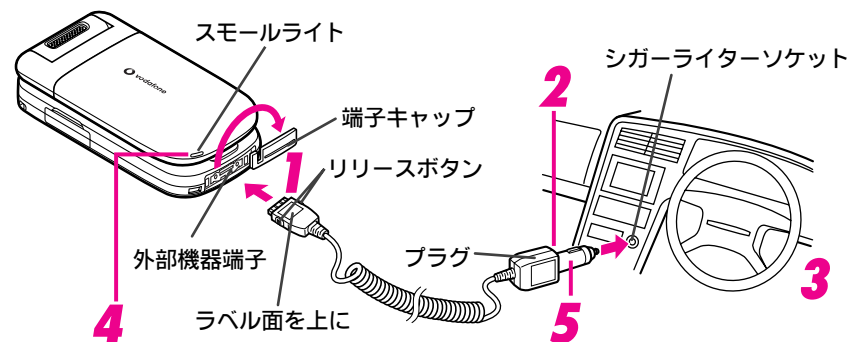
3 V402SHに電池パックを取り付け卓上ホルダーに置く。

- 1のようにV402SHのミゾを卓上ホルダーのツメに合わせ、2の矢印の方向に「**カチッ**」と音がするまで押し下げてください。
- 充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-16）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

- 充電時間：☞P.1-13

5 充電が完了したら…
V402SHを卓上ホルダーから取り外し、急速充電器のプラグをACコンセントから抜く。

シガーライター充電器を利用して充電する

1 端子キャップを回転して開き、外部機器端子に接続コネクターを差し込む。

- 「**カチッ**」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む。

3 車のエンジンをかける。

- 充電が開始されます。（スモールライト赤色点灯：☞P.1-16）

4 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

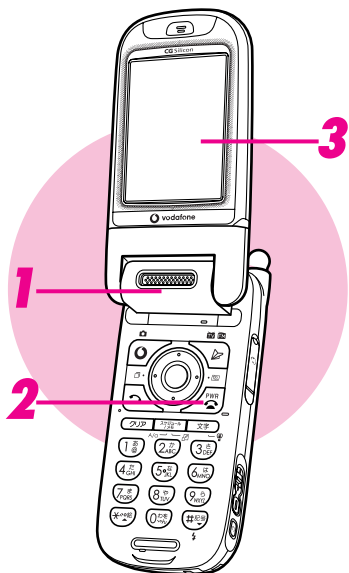
- 充電時間：☞P.1-13

5 充電が完了したら…
V402SHから接続コネクターを抜き、プラグをシガーライターソケットから抜く。

- 接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。
- V402SHの端子キャップを元に戻してください。

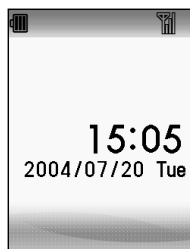
- このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）
- シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

- シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
- シガーライター充電器を使って充電する場合、V402SHを固定させるため、オプション品の車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 V402SHをオープンポジションにする。

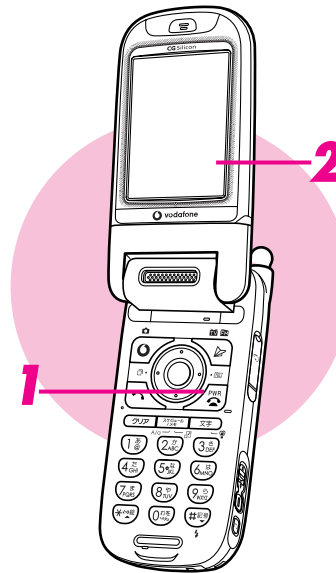
2 PWRを長く（1秒以上）押す。

3 ディスプレイが点灯する。

アニメーションのあと、上のような「待受画面」が表示されます。

時刻が設定されていないとき

■ アニメーションのあと、時刻設定の確認画面が表示されます。
「1YES」選択➡●➡時刻設定画面へ（☞P.1-24）
「2NO」選択➡●➡時刻未設定の待受画面へ

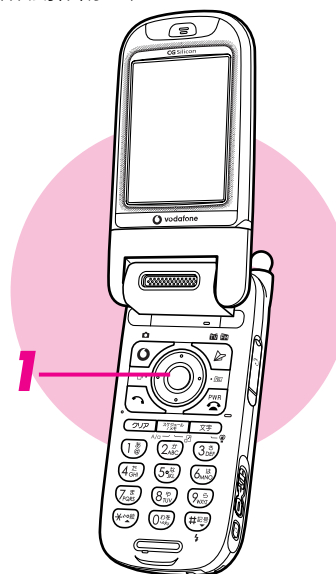
- 初めてお使いになるときは、V402SH内蔵の時計を合わせてください。（☞P.1-24）
- 電源を入れたときや、切ったときにディスプレイが一瞬暗くなりますが、故障ではありません。

- V402SHをクローズポジションにしたままで、メールなどのボーダフォンライブ！の着信も自動的に受けることができます。
- V402SHは操作をしない状態（クローズポジションを除く）が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ：☞P.14-32）

電源を切る

1 PWRを長く（2秒以上）押す。

2 ディスプレイが消灯する。
アニメーションが表示されたあと、ディスプレイが消灯します。

誤ってボタンが押されるのを防ぐ

カバンの中に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないように設定します。（誤動作防止）

誤動作防止を設定する

1 ●を長く（1秒以上）押す。
「O!」が表示され、誤動作防止が設定されます。

誤動作防止設定中は

- 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）、ビューアポジションでは㊂を長く（1秒以上）押すと、電話に出ることができます。通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。
- PWRを長く（2秒以上）押しても、電源は切れません。

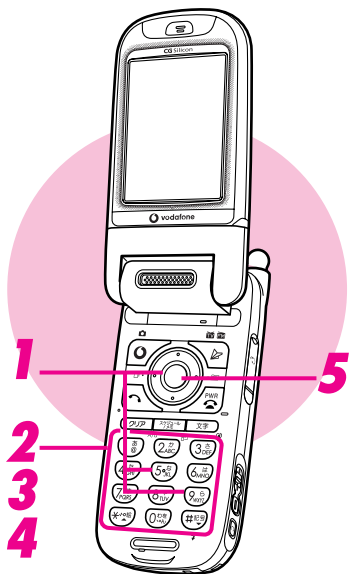
誤動作防止を解除する

1 誤動作防止が設定されている待受中に、●を長く（1秒以上）押す。
「O!」が消え、誤動作防止が解除されます。

日付／時刻の設定

1 ●5 9の順に押す。

2 西暦の年を入力する。

●入力したい位置に でカーソルを移動し、入力してください。
例：2004年➡2 0 0 4

3 月・日を入力する。
例：７月20日➡0 7 2 0

4 時・分を入力する。
時刻は24時間制で入力します。
例：午後３時５分➡1 5 0 5

5 ●を押す。
設定した時刻の「０秒」から動き始め、時刻設定が終了して、待受画面に戻ります。
曜日は自動的に設定されます。

カーソル

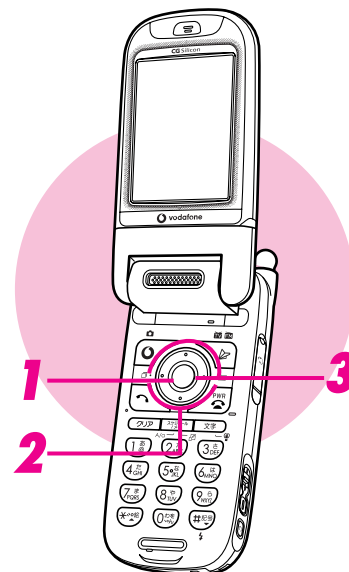
■ 文字入力時に表示される「■」を「**カーソル**」といいます。カーソルは、 を押すと１文字単位で、 を押すと１行単位で移動することができます。文字の入力や修正は、カーソル位置に対して行われます。

設定した時刻は、電池パックを交換するときにも保持されますが、約１ヵ月程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、西暦・日付・時刻を再設定してください。

- 西暦・日付・時刻を合わせていないとき、着信履歴やリダイヤルなどの日時表示は「--/-- --:--」と表示されます。
- ボタンを押し間違えたときは、 を押しカーソルを移動したあと、正しい数字を入力してください。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.8-3）

機能の呼び出し方

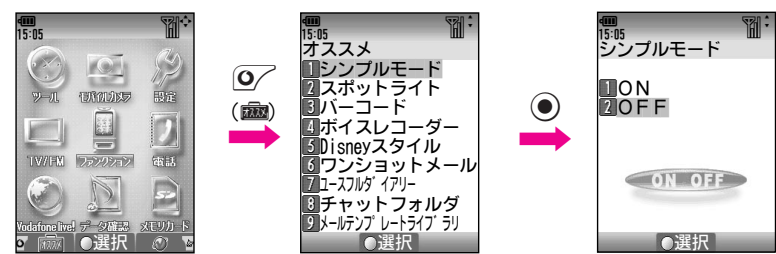
インデックスメニューから機能を呼び出す

V402SHのいろいろな操作は、「**インデックスメニュー**」と呼ばれる画面から行います。

1 ●を押す。

インデックスメニューが表示されます。

2 で利用するメニュー項目を選ぶ。
- オススメメニューの表示：
- Vアプリライブラリの表示：

3 ●を押す。
選んだメニュー項目の画面が表示されます。

■インデックスメニューの項目

ツール	スケジュールや電卓、アラームなど、便利な機能が利用できます。
モバイルカメラ	モバイルカメラメニューが表示され、撮影やバーコード読み取りなどを行うことができます。
設定	ディスプレイや音の設定をはじめ、いろいろな設定を行うことができます。
TV／FM	テレビやFMの起動や設定などを行うことができます。
ファンクション	ファンクションメニュー（☞P.1-26）が表示され、各機能の設定や確認を行うことができます。
電話	メモリダイヤルの登　・検索や、リダイヤル・着信履歴の確認などを行うことができます。
Vodafone live!	メールやウェブ、Vアプリ、ステーションなどの通信サービスが利用できます。
データ確認	V402SHに保存したデータを確認することができます。
メモリカード	メモリカードメニューが表示され、SDメモリカードに保存したデータを確認することができます。

シンプルモードを利用すると、待受画面で●を押したときに表示されるメニュー項目が限定されます。（☞P.2-17）

オススメメニュー

■ インデックスメニューで、（オススメ）を押すと、オススメメニューが表示されます。
オススメメニューには、新しく追加された機能やおすすめの機能が表示され、簡単に各機能の画面に移動することができます。

インデックスメニュー

オススメメニュー

ファンクションメニューから機能を呼び出す

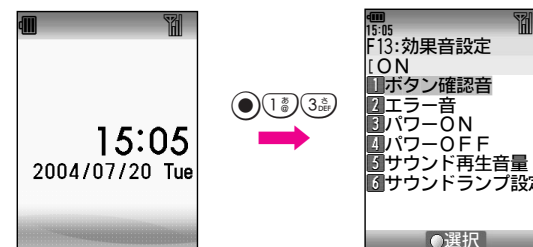
インデックスメニューで「**ファンクション**」を選び、◉を押すと、ファンクションメニューが表示されます。
V402SHの各機能の設定や登　、確認はファンクションメニューから行います。ファンクションメニューでは、大分類の下に各機能が分類されており、それぞれの機能に「**F番号**」と呼ばれる番号がつけられています。（☞P.17-2）

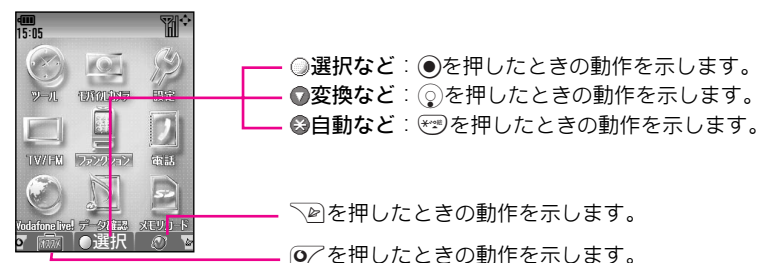
■大分類を選ぶ

◎を押し、大分類を選んだあと、◉を押す。

選択した項目は色帯付きで表示されます

■F番号を直接指定して機能を選ぶ

待受画面で◉（インデックスメニュー表示）→「**大分類の番号**」→「**機能の番号**」の順に押すと、該当する機能の操作ができるようになります。

ソフトキーの使い方

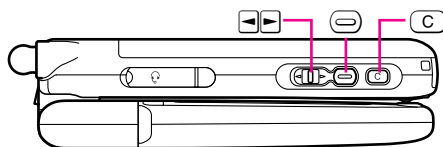
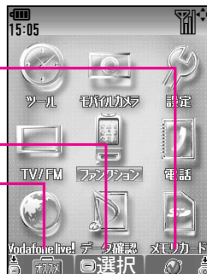
各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

●オリジナル着信音の入力画面などで表示される「文字」は、文字 を押したときの動作を示します。

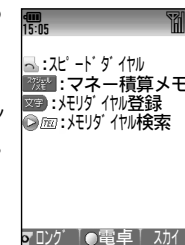
ビューアポジション時のソフトキーの使い方

ビューアポジションでは、ソフトキーの表示される位置が２通りあります。モバイルカメラ操作のときは横向きのディスプレイの最上行に、それ以外の操作のときはオープンポジションと同様に、縦向きのディスプレイの最下行に表示されることがあります。

モバイルカメラ撮影時

モバイルカメラ以外

Ⓒを長押ししたときの動作を示します。
Ⓒを押したときの動作を示します。
⊖を押したときの動作を示します。
⊖を長押ししたときの動作を示します。
◄►を押したときの動作を示します。

クイックオペレーション

待受画面で数字を入力すると、数字のケタ数に応じて利用できる機能がディスプレイに表示されます。
（右の画面は数字を１ケタ入力したときのものです。）
この状態で、機能名の前に表示されるボタン（スピードダイヤルの場合は）を押すと、その機能が操作できるようになります。
●ビューアポジションでは操作できません。

機能 ＼ 入力する数字のケタ数	1	2	3	4	5～6	7～12	13～24
スピードダイヤル☞P.5-15	○	○	×	×	×	×	×
マネー積算メモ☞P.14-34	○	○	○	○	○	×	×
メモリダイヤル登　☞P.5-3	○	○	○	○	○	○	○
メモリダイヤル検索※1 ☞P.5-13	○	×	×	×	×	×	×
簡易電卓☞P.14-33	○	○	○	○	○	○	×
簡単メール送信☞Ⓥ P.3-17	○	×	×	×	×	×	×
リピートアラーム設定※2 ☞P.14-8	×	×	×	○	×	×	×
スケジュール表示※3 ☞P.14-14	×	×	×	○	×	×	×

※1　アカサタナ検索で利用できます。
※2　設定したい時刻を24時間制の４ケタで入力します。（すでに５件のリピートアラームが登　されている場合はエラー表示となります。）
※3　表示したい月･日を４ケタで入力します。現在の日付を含む､以後１年間のスケジュールを表示することができます。

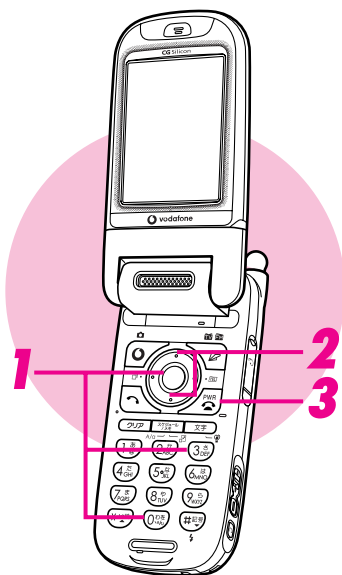
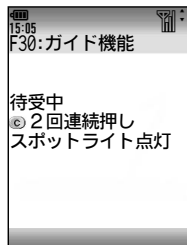
ダイヤルボタンでのショートカット

待受画面で次のボタンを長く（１秒以上）押すと、対応した機能が起動します。

1	写メールモード（☞P.7-8）	7	簡易電卓（☞P.14-33）
2	壁紙モード（☞P.7-8）	8	ボーダフォンウェブ（☞Ⓥ P.7-7）
3	デジタルカメラモード（☞P.7-8）	9	ステーションメインリスト（☞Ⓥ P.13-6）
4	アクションスナップモード（☞P.7-17）	0	送信トレイ（☞Ⓥ P.3-17）
5	スポットライト（☞P.14-35）	*	受信メール（☞Ⓥ P.4-2）
6	簡易留守　（☞P.14-5）	#	送信メール（☞Ⓥ P.4-2）

●待受画面で◎を押すと、上記のボタンを長く（１秒以上）押したときに利用できる機能がメニュー表示されます。
また、（**説明**）を押すと、選択している機能についての説明が表示されます。
（**戻る**）を押すと、メニュー画面に戻ります。

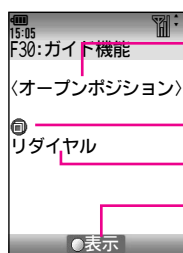
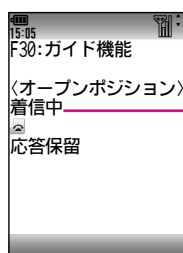
機能の操作方法を確認する

F機能以外の操作方法を確認します。（ガイド機能）

1 ◉３０の順に押す。

ガイド機能（スポットライト点灯の操作説明）が表示されます。

2 を押す。

別の機能の操作説明が表示されます。

3 確認を終わるときは、を押す。

■ガイド機能画面の見かた

暗証番号

V402SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4ケタの番号です。
V402SHの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「¥」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4ケタの番号です。
オプションサービスを一般電話から操作するときや、「ウェブの有料情報」の申し込みの際に必要な番号です。

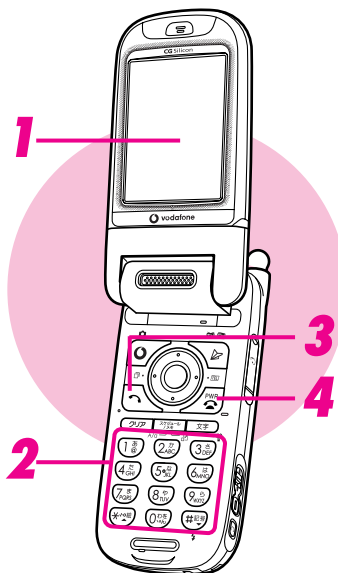
注意

- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-20）までご連絡ください。
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

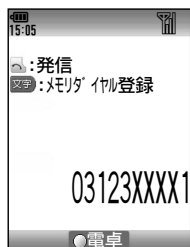
補足

- 「**操作用暗証番号**」はV402SHの操作で変更できます。（☞P.13-2）
- 「**交換機用暗証番号**」はV402SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、手続きが必要となります。
- 詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-20）までご連絡ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

1 電源が入っていることを確認する。

●電波状態を確認してください。
●ディスプレイに「圏外」や「」が表示されているときは、ご利用になれません。(☞P.17-8)

2 市外局番からダイヤルする。

●同一市内への通話の場合でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
●ディスプレイに「」や「」が表示されているときは、ダイヤルできません。(☞P.17-8)

電話番号通知／非通知の設定

●電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。
■通知するとき……186
■通知しないとき…184

3 電話番号を確認し、を押す。

電話番号を間違えたとき

●またはを押し、カーソル「__」を動かしたあとと(クリア)を押すと、カーソル位置の番号が消えます。(クリア)を長く(1秒以上)押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。を押したあとは、(PWR)を押して電話を切り、かけ直してください。

相手がお話し中のとき

●(PWR)を押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

4 通話が終わったら、(PWR)を押す。

●V402SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V402SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにすることができます。(☞P.2-12)

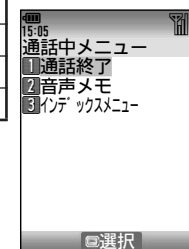
ビューアポジションで電話をかける　メモリダイヤルを利用して電話をかけます。

■あらかじめメモリダイヤルの登録が必要です。(☞P.5-3)

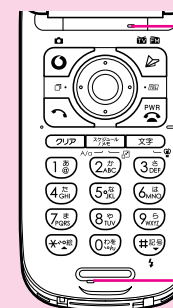
➡「電話」選択➡➡「2メモリダイヤル検索」選択➡➡メモリダイヤル呼出(☞P.5-13～P.5-14)➡(メニュー)➡「発信」選択➡

●ビューアポジションで通話するときは、ディスプレイが見えるように持ち、レシーバー（受話口）を耳にあてます。

●ビューアポジションでの通話中には、次のボタンを使って各操作が行えます。

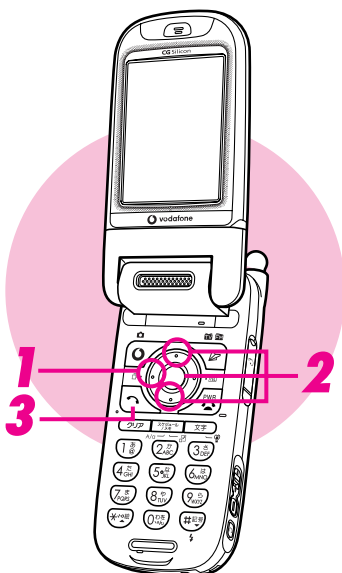
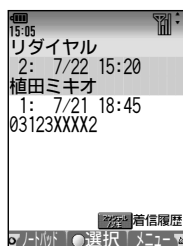
	通話中メニュー表示
C（長押し）	通話終了
	受話音量大
	受話音量小

通話中メニュー

注意

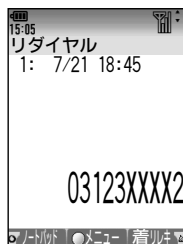
●通話時マイクがふさがれていると、相手にこちらの声が聞こえなくなります。
●内蔵アンテナ部分(☞P.1-6 30)には、触れないようにしてください。通話品質が悪くなります。
●体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなることがあります。
●通話中は、オープンポジションで利用することをおすすめします。

補足

●通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。(☞P.2-23)
●累積の通話時間（☞P.2-21）や通話料金（☞P.2-22）の目安を確認することもできます。
●スピーカーを使って通話することもできます。(☞P.9-22)
●国際電話をかけるときは、「**サービスガイドブック**」を参照してください。

以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話番号を最新の20件まで記憶しています。それらを呼び出して簡単に電話をかけることができます。（リダイヤル）

1 ◎（□）を押す。

記憶している日時と電話番号が新しいものから順に、一覧表示されます。
メモリダイヤルに登　されているときは、相手の名前も表示されます。

- リダイヤルがあるときは、◎を押すと新しいものから、◎を押すと古いものから順に表示されます。

2 かけたい電話番号を選び、◉を押す。

- 一覧表示でかけたい番号を選び、□を押しても電話をかけることができます。
- 日時、電話番号のほか、メモリダイヤルに登　されているときは、名前も表示されます。

3 □を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

- 同じ番号に2回以上の電話をかけたときは、最後に電話をかけた日時のデータだけが記憶されます。
- シークレットメモリの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 電源を切ってもリダイヤルの記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古いものから消去されます。

番号を付加して電話をかける

あらかじめ番号を登　し、メモリダイヤルの先頭に付けて発信します。国際電話専用の「**国際発信**」と、184 や186 などお好みの番号を登　できる「**セット発信**」があります。

プリセット登録

国際発信またはセット発信用の番号を登　します。

お買い上げ時 国際発信：0046010、セット発信：なし

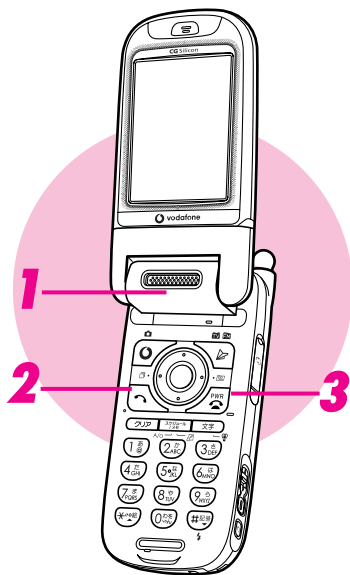
◉⑦⑨➡「1国際発信登録」／「2セット発信登録」選択➡◉➡番号入力➡◉

- 変更するときは、登　されている番号を消したあとに入力し直します。
- 「**国際発信**」は7　以内、「**セット発信**」は6　以内で入力します。

国際発信／セット発信

登　した番号を付加して電話をかけます。

メモリダイヤル呼出（☞P.5-13～P.5-14）➡◉➡「国際発信」／「セット発信」選択➡◉

電話を受ける

1 電話がかかってきたら(着信中に)、V402SHをオープンポジションにする。

●V402SHのメモリダイヤルに登 している相手から電話がかかってきたときは、名前や電話番号が表示されます。

2 を押す。

他のボタンでも受けられます

●次のボタンを押しても、電話を受けることができます。(エニーキーアンサー)
～、、、、、、、
、

3 通話が終わったら、を押す。

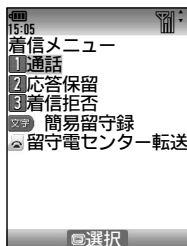
●V402SHをクローズポジションにしても、電話は切れます。V402SHをクローズポジションにしても、電話が切れないようにすることができます。(☞P.2-12)

ビューアポジションで電話を受ける ビューアポジションで電話を受けます。

着信中に(長押し)➡通話が終わったら(長押し)➡通話終了

●ビューアポジションでの着信時には、次のボタンを使って各操作が行えます。

	着信メニュー表示
(長押し)	通話開始
	クイックサイレント(☞P.2-7)
(長押し)	応答保留(☞P.2-9)

■通話中にできること:☞P.2-3

着信メニュー

着信時の着信音量調節

■ 着信音が鳴っているときに、(小さくする)/(大きくする)を押します。押すたびに着信音量が調節できます。(「**サイレント**」～「**音量5**」)
●上記の操作で着信音量を調節すると、通常着信の着信音量設定(☞P.9-2)に反映されます。
●マナーモード設定時は、調節できません。(☞P.3-3)

着信音量を一時的に「サイレント」にする(クイックサイレント)

■ 着信中にを押すと、その着信に限り、着信音量が「**サイレント**」になります。

電話に出られないときの対応

■ 着信中に次の操作を行います。

	着信を保留して、相手をお待たせします。(☞P.2-9)
	V402SHの簡易留守 で応答します。(☞P.2-10)
	留守番電話サービスセンターなどに転送します。(☞P.15-4)(関東・甲信/東海/関西地域でご契約され、関東・甲信/東海/関西地域でご利用の場合)

●着信中にを押して、着信メニューから操作することもできます。
●ビューアポジション時の操作については、P.2-6を参照してください。

簡易留守録設定中に着信があると

■ 応答メッセージが流れ、簡易留守 を開始します。(☞P.14-5)
また簡易留守 に設定していないときは、着信中にの順に押すと、簡易留守 を開始します。(☞P.2-10)
●いずれの場合も相手に通話料金がかかります。

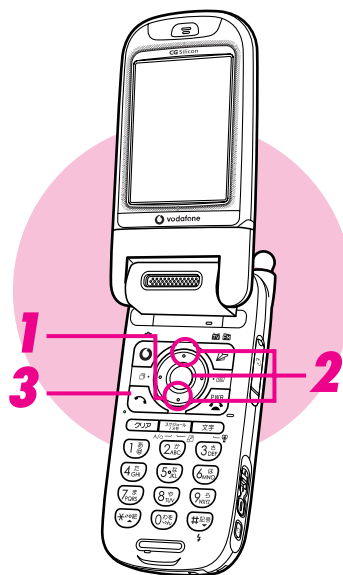
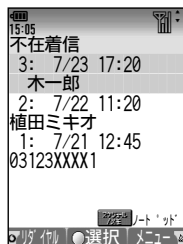
表示について

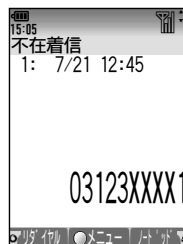
■ 電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。(☞P.2-2)
■ 着信内容や時刻は20件まで記憶されており、あとで確認することができます。(☞P.2-8)

注意 オフラインモードに設定されているときは、電話を受けることができません。オフラインモードを解除してください。(☞P.3-6)

補足
●メモリダイヤルやオーナー情報に登 されていない電話番号からの着信について、着信時の動作を約3秒間遅らせることができます。(ワンコールサイレント:☞P.2-11)
●着信音の音量やパターン、モバイルライト/スモールライトの色や点滅パターンを変えたいときは「**着信設定**」(☞P.9-2)を参照してください。

かけてきた相手にかけ直す

かかってきた電話に発信者番号通知があったときは、その番号を表示し電話をかけることができます。過去にかかってきた電話の着信内容と時刻は、着信履歴（☞P.2-15）として最新の20件まで記憶して、確認できます。

1 ◎を押す。

記憶している日時と電話番号が新しいものから順に、一覧表示されます。
メモリダイヤルに登録されているときは、相手の名前も表示されます。

- 着信履歴があるときは、◎を押すと新しいものから、◎を押すと古いものから順に表示されます。

2 かけたい電話番号を選び、◉を押す。

- 日時、電話番号のほか、メモリダイヤルに登録されているときは、名前も表示されます。

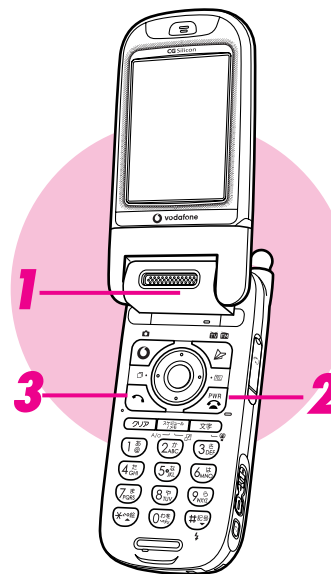
3 ⌒を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

- 発信者番号通知があったものは、電話番号が表示されます。
- シークレットメモリの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 電源を切っても、着信履歴の記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古いものから消去されます。

電話に出られないとき

着信を保留にする

相手にアナウンスを流し、電話を保留します。（応答保留）

1 着信中に、V402SHをオープンポジションにする。

2 ⌐を押す。

約5秒間、応答保留音が鳴り、そのあと無音状態になります。

3 電話に出られる状態になったら、⌒を押す。

- エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押しても電話に出られます。

ビューアポジションでの応答保留 ビューアポジションで応答保留の操作を行います。

着信中にⓒ（長押し）➡電話に出られる状態になったら⊖（長押し）

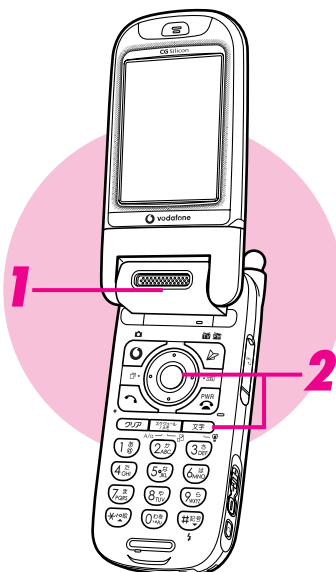
- 着信中に⊖を押したあと、着信メニュー（☞P.2-6）から操作することもできます。

- 応答保留中に⌐を押すかV402SHをクローズポジションにすると、応答保留中の電話は切れます。（クローズ終話設定（☞P.2-12）を「OFF」に設定しているときは、電話は切れません。）
- 応答保留中に相手が電話を切ると、保留中の電話は切れます。

着信を拒否する

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-3）を「③着信拒否」に設定しているとき、クローズポジションで着信中にⓒを長く（1秒以上）押すと、かかってきた電話を切ることができます。このときは、着信履歴に「**着信拒否**」が記憶されます。

メッセージを録音する

かかってきた電話を簡易留守　で応答し、相手のメッセージを　音します。（簡易留守　）

1 **着信中に、V402SHをオープンポジションにする。**

2 **着信音が鳴っている間に、◉文字の順に押す。**

応答文が流れたあと、　音が始まります。この場合、その着信に限り留守　音します。

■　音されたメッセージを聞く：◉スケジュール/メモ
（☞P.14-6）

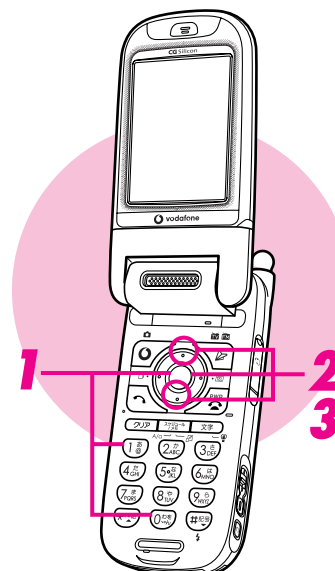
補足　音できる時間が4秒以下のときや、すでに20件　音されているときに操作すると、空き容量不足の確認メッセージが表示され、留守　音はしません。

留守番電話サービス

■ 留守番電話サービスを開始に設定しておくと、電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき（割込通話サービスの設定時を除く）などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.15-4）

迷惑電話を防止する

「ワンコールサイレント」を「ON」にすると、メモリダイヤルやオーナー情報に登されていない電話番号から電話がかかってきたとき、着信音を鳴らすのを約3秒間遅らせるように設定できます。

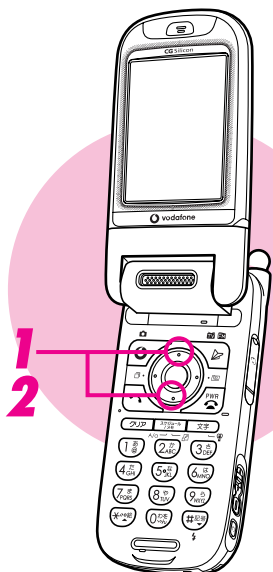
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **◉1 0 1の順に押す。**

2 **「6ワンコールサイレント」を選び、◉を押す。**

3 **「1ON」を選び、◉を押す。**

通話中の操作

受話音量を調節する

受話口から聞こえる相手の声の大きさを、５段階で調節できます。
●お買い上げ時には、「音量５」に設定されています。

1 通話中に、◎を押す、または待受画面で◎を長く（１秒以上）押す。

2 ◎（小さくするとき）または◎（大きくするとき）を押す。

押すたびに受話音量が調節できます。
●約５秒間そのままにしておくか ◉ を押すと、設定されます。
●一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。

クローズ終話設定

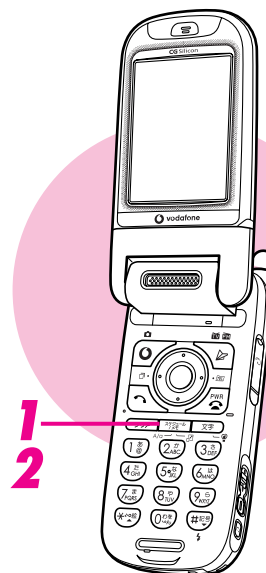
■ V402SHをオープンポジションからクローズポジションにしても、通話を切らないで、こちらの声を相手に伝えないようにすることができます。
◉①⓪➡「1通常着信」選択➡◉➡「7クローズ終話設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉
●お買い上げ時には、クローズポジションにすると通話を切るよう（「ON」）に設定されています。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に、[スケジュール/メモ]を長く（１秒以上）押す。

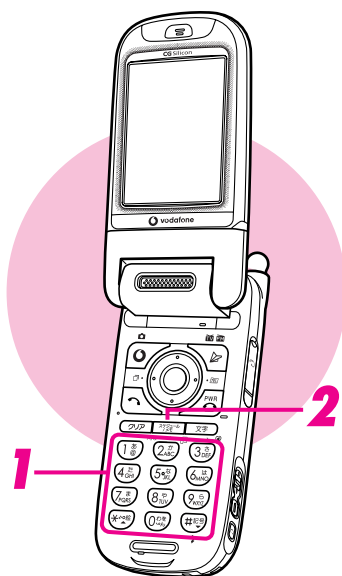
音が開始されます。

2 録音を終了するときは、もう１度[スケジュール/メモ]を押す。

●電源を切っても　音内容は保存されています。
■ 音声メモの再生／消去：☞P.14-6、P.14-7

注意　クローズ終話設定（☞P.2-12）が「ON」に設定されているときは、V402SHをクローズポジションにすると、電話が切れ、　音も終了します。（このときは、残りの　音可能時間は表示されません。）

数字のメモを登録する

通話中に入力した数字を、最大３件まで登　できます。相手から聞いた電話番号などを控えるときに便利です。（ノートパッドメモリ）

- １件につき、最大24ケタまで登　できます。（数字0〜9、✱、♯）
- すでに３件登　されている状態で登　すると、古いものから順に消去されます。
- 登　した番号を、メモリダイヤルに登　することもできます。

1 **通話中に、数字を入力する。**

2 **スケジュール/メモを押す。**

- 通話中に着信があったり、通話を終了したときなどは、自動的に登　されます。

ノートパッドメモリの確認　登　したノートパッドメモリを確認します。

（１秒以上）➡ノートパッドメモリ表示

- 確認終了：PWR
- メモリダイヤルへの登　：ノートパッドメモリ選択➡（メニュー）➡「**メモリダイヤル登録**」選択➡●➡「**1新規登録**」／「**2追加登録**」選択➡●➡（以降の操作：☞P.5-3）
- ノートパッドメモリの消去：ノートパッドメモリ選択➡（メニュー）➡「**一件消去**」／「**全消去**」選択➡●➡「**1YES**」選択➡●

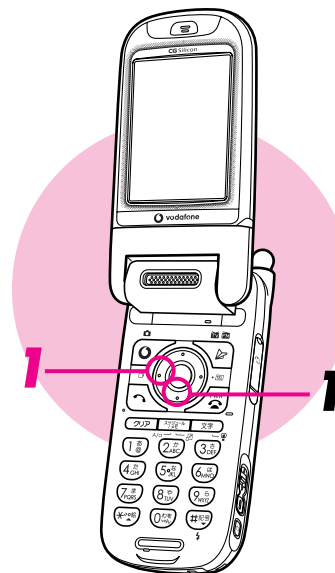
- 新しいものから順に３件まで表示されます。
- を押すと、表示されている番号に電話をかけられます。
- ノートパッドメモリがないときは、確認メッセージが表示されます。
- リダイヤルがあるときは、（**ノートパッド**）の順に押しても、ノートパッドメモリを表示できます。

リダイヤル／着信履歴の確認

リダイヤルを確認する

1 **（　）を押す。**

記憶している日時と電話番号が新しいものから順に、一覧表示されます。

- リダイヤルがあるときは、を押すと新しいものから、を押すと古いものから順に表示されます。
- リダイヤルがないときは、着信履歴が表示されます。
- 表示されている電話番号に電話をかける：
- 待受画面に戻る：PWR

着信履歴を確認する

1 **を押す。**

直前にかかってきた電話番号と日時が表示されます。

- 着信履歴があるときは、を押すと新しいものから、を押すと古いものから順に表示されます。
- 表示されている電話番号に電話をかける：
- 待受画面に戻る：PWR

リダイヤル／着信履歴の消去　リダイヤル／着信履歴を消去します。

消去するリダイヤル／着信履歴表示➡（メニュー）➡「**一件消去**」／「**全消去**」選択➡●➡「**1YES**」選択➡●

着信履歴に表示されるもの

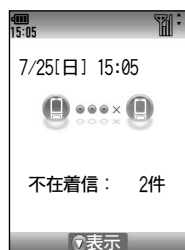
着信通話	かかってきた電話に出たもの
不在着信	かかってきた電話に出なかったもの※
応答保留	応答保留から切断されたもの
簡易留守	簡易留守　で　音されたもの
留守転送	かかってきた電話を留守番電話センターに転送したもの（着信留守電転送）
着信拒否	かかってきた電話を拒否したもの

※ ワンコールサイレントの着信は、「**不在着信**」と表示されます。

- 公衆電話からかかってきたときは、「**公衆電話**」と表示されます。
- 相手が電話番号を通知してこなかったときは、「**非通知設定**」と表示されます。

不在時のお知らせ表示

不在時に着信があると、次のような不在時の着信お知らせが表示されます。

不在着信時	簡易留守録時	両方あり
例：不在着信２件	例：簡易留守録３件	例：簡易留守録３件、不在着信２件

- ◎を押すたびに着信日時の新しいものから順に表示されます。
  ◎を押すたびに着信日時の古いものから順に表示されます。
- ☎を押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。
- 確認を終わるときは、⏻を押します。
- 着信内容を確認しないで、不在時の着信お知らせ表示を消すときは、⏻を押します。
- 不在時の着信お知らせ表示を消したあとで、不在時の着信内容を確認できます。（☞P.2-15）
- 着信拒否は、着信拒否として記憶されます。
- 簡易留守　については、P.14-5を参照してください。

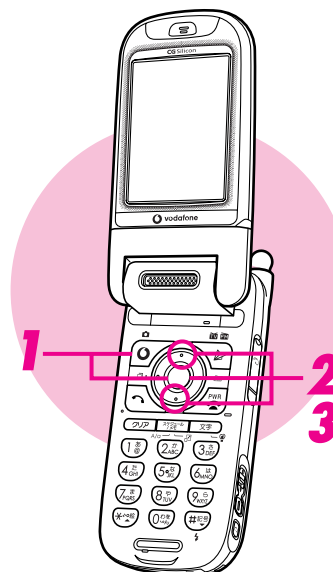
シンプルモード

シンプルモードを利用すれば、インデックスメニューに基本的な機能（私の電話番号、電話機能、メール、カメラ、機能設定、シンプルモード解除）だけが表示されるようになります。

- それぞれの機能内の操作も、基本的なものだけに限定されます。（☞P.2-19〜P.2-20）
- シンプルモード設定中、待受画面からはシンプルモードメニューの表示以外に、次の操作が行えます。

ボタン	操作
◎（左）	リダイヤル（☞P.2-4）
◎（右）	メモリダイヤル検索（アカサタナ検索）（☞P.5-14）
◎（下）	着信履歴（☞P.2-8）
文字（長押し）	マナーモード（☞P.3-3）
◉ 文字	簡易留守　の設定／解除（☞P.14-5）

- 上記以外のボタンを押しても、電話の発信以外の機能は動作しません。

シンプルモードを設定／解除する

シンプルモードを設定する

1 ◉☞（「オススメ」）の順に押す。

2 「1シンプルモード」を選び、◉を押す。

3 「1ON」を選び、◉を押す。
  ■ 電源を切っても、シンプルモードは解除されません。

シンプルモードを解除する

1 ◉を押す。

2 「5 シンプルモード解除」を選び、◉を押す。

3 「1YES」を選び、◉を押す。

- 次の各機能が設定されているときに、シンプルモードの設定を行うと、それぞれの機能の解除確認画面が表示されます。「1YES」を選び、◉を押すと、各機能が解除され、シンプルモードが設定されます。
  - ■メモリ使用禁止※1※2（☞P.13-3）　■ダイヤル禁止※1※2（☞P.13-4）
  - ■指定着信許可※1※2（☞P.13-5）　■指定着信拒否※1※2（☞P.13-5）
  - ■オフラインモード※1（☞P.3-6）　■リピートアラーム※1（☞P.14-8）
  - ■自動電源ON/OFF※1（☞P.14-12、P.14-13）■スケジュール※1（☞P.14-14）
  - ■シークレットモード※2（☞P.13-7）
  - ■一時停止中のVアプリケーション（☞📷P.10-6）
  - ※1 シンプルモードを解除すると元の設定に戻ります。
  - ※2 操作用暗証番号の入力が必要です。
- 着信パターンにデータフォルダ内のファイルが設定されているときは、通常着信は「**パターン1**」、メール着信は「**効果音 メール**」に変更されます。

シンプルモード設定時の操作

1 ◉を押す。

シンプルモードメニュー画面

2 利用するメニューを選び、◉ を押す。

- 各機能のサブメニューが表示されます。（☞P.2-19〜P.2-20）

シンプルモード設定中は､ダイヤルボタンでのショートカットやクイックオペレーション（☞P.1-29）を使用することはできません。

■シンプルモードメニューの項目

項目	内容
0私の電話番号	V402SHの電話番号が表示されます。（オーナー情報は確認できません。）
1電話機能	メモリダイヤルの登　や検索、着信音設定、マナーモード、簡易留守、留守番サービスの設定が行えます。（☞下記）
2メール	メールの確認や返信、転送、再送、編集、消去、作成が行えます。（☞P.2-20）
3カメラ	写メールモードで撮影したり、撮影したデータの確認が行えます。（☞P.2-20）
4機能設定	ダイヤル操作禁止、簡易ロック、壁紙設定、文字の太さ、簡易電卓、アラーム、時刻設定、即時表示の各機能が設定したり、使用できます。（☞P.2-20）
5シンプルモード解除	シンプルモードの解除が行えます。（☞P.2-17）

各機能のサブメニューについて

■1電話機能

項目			内容
1メモリダイヤル登録			名前の入力画面になり、メモリダイヤルの登　が行えます。（☞P.5-3） 名前、ヨミ、電話番号1〜3、メールアドレス1〜3が登　できます。
2メモリダイヤル検索			アカサタナ検索の画面になり、メモリダイヤルの呼び出しが行えます。（☞P.5-14） アカサタナ検索以外の検索方法は利用できません。
3着信音設定	1通常着信	1着信パターン	着信パターンの設定画面になり、電話がかかってきたときの着信パターンを設定できます。（☞P.9-3）
		2着信音量	着信音量の選択画面になり、電話がかかってきたときの着信音量を設定できます。（☞P.9-2） 📷（♪再生）を押すと、設定されている着信パターンを、表示中の音量で再生できます。📷（停止）を押すと、止まります。
	2メール着信	1着信パターン	メール着信時の着信パターンを設定できます。（☞P.9-3）
		2着信音量	メール着信時の着信音量を設定できます。（☞P.9-2）
4マナーモード			マナーモードの設定／解除が行えます。（☞P.3-3）
5簡易留守	1簡易留守設定		簡易留守　の設定／解除が行えます。（☞P.14-5）
	2録音再生		音されたメッセージが再生されます。（☞P.14-6）
6留守番サービス	1設定		留守番電話サービスの設定が行えます。（☞P.15-4）
	2解除		留守番電話サービスの解除が行えます。（☞P.15-4）
	3留守録再生		伝言メッセージが再生できます。（☞P.15-5）

■2メール

1メールボックス	1受信メール	受信メールのリスト画面になり、メールを選択し◉を押すと内容が確認できます。（☞P.4-2） 内容表示中に✉（メニュー）を押すと、メールの返信、転送、消去が行えます。
	2送信メール	送信メールのリスト画面になり、メールを選択し◉を押すと内容が確認できます。（☞P.4-2） 内容表示中に✉（メニュー）を押すと、メールの再送、編集、消去が行えます。
2メール作成		宛先の選択画面になり、スカイメールを送信できます。（☞P.3-4） スカイメールの送信可能文字数を超過したときは、ロングメールに変換して送信することもできます。（☞P.3-8）

注意 シンプルモード設定時は、次の操作で設定した内容は無効になります。
◉81➡「6メール設定」選択➡◉

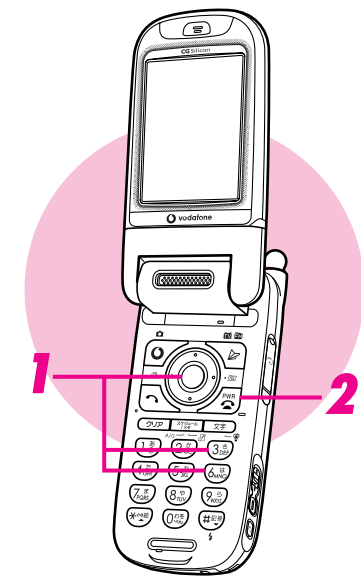
■3カメラ

1写真撮影	写メールモードの撮影画面になり、静止画を撮影することができます。（☞P.7-8） 撮影サイズは横120×縦160ドット固定です。また、カメラ設定など、メニュー操作は行えません。撮影した静止画は、データフォルダに登　されます。
2写真を見る	データフォルダの画面になり、登　されている静止画を見ることができます。（☞P.12-6） ◎（写メール）を押すと、静止画をロングメールに添付して送信することができます。✉（消去）を押すと、静止画を消去することができます。

■4機能設定

1ダイヤル操作禁止	操作用暗証番号を入力しないと電話がかけられないように設定ができます。（☞P.13-2）
2簡易ロック	電源を入れるたびに自動的にダイヤル操作禁止の設定／解除が行えます。（☞P.13-3）
3壁紙設定	壁紙の設定／解除が行えます。（☞P.8-2）
4文字の太さ	ディスプレイに表示される文字の太さの設定が行えます。（☞P.8-4）
5簡易電卓	簡易電卓が使用できます。（☞P.14-33）
6アラーム	アラームの設定（時刻入力、スヌーズ設定、曜日設定）／解除が行えます。 「1ON」選択➡◉➡時刻入力➡◉➡「1ON／2OFF」選択（スヌーズ設定）➡◉➡「1毎日／2平日（月～金）」選択（曜日設定）➡◉➡◎（完了） ■アラーム設定の解除：「2OFF」選択➡◉
7時刻設定	日付／時間の設定が行えます。（☞P.1-24）
8即時表示	通話後に、通話時間と通話料金の表示の設定／解除が行えます。（☞P.2-23）

通話時間表示

通話が終わったあと、直前（前回）の通話時間の目安を確認します。
●電話をかけた場合と電話がかかってきた場合の両方とも表示します。
●累積の通話時間の目安も確認できます。

1 ◉63の順に押す。

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積通話時間	累積の通話時間の目安を確認します。

◉62

■ 確認終了：PWR

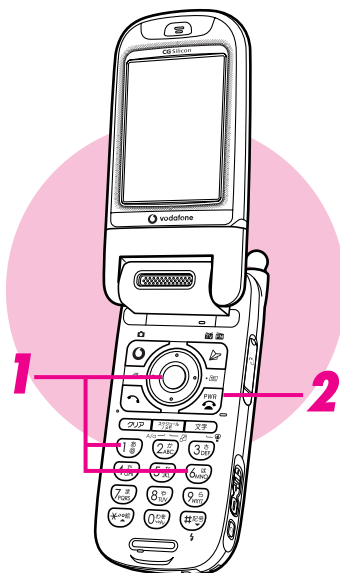
累積通話時間消去	累積の通話時間の目安を消去します。

◉62➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

補足
●電源を切っても、直前の通話の通話時間や累積の通話時間の記憶は消えません。
●着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。（応答保留中は計算されます。）

通話料金表示

通話が終わったあと、直前（前回）の通話料金の目安を確認します。
●累積の通話料金の目安も確認できます。

1 ●⑥①の順に押す。

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積通話料金	累積の通話料金の目安を確認します。

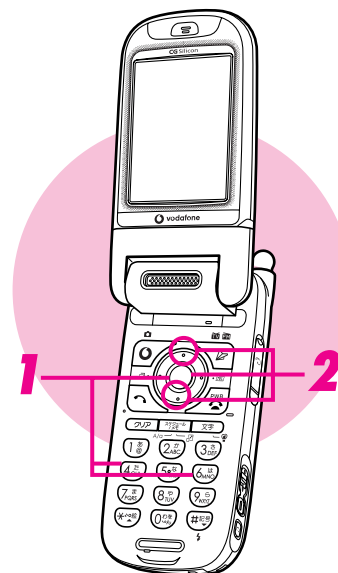
●⑥⓪
■ 確認終了：PWR

累積通話料金消去	累積の通話料金の目安を消去します。

●⑥⓪➡●➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1YES」選択➡●

●電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積の通話料金の記憶は消えません。
●直前の通話が着信通話のときなどは、「--------円」と表示されます。
●オプションサービスの三者通話サービスをご利用いただいたときは、合算した通話料金を表示します。
●電波が弱くなって通話が切断された場合など（サービスエリア内からサービスエリア外へ移動したときや、トンネル内などに入ったとき）は、通話料金は表示されません。

通話時間／通話料金の自動表示

通話が終わったあと、自動的に通話時間および通話料金の目安を表示します。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ●⑥④の順に押す。

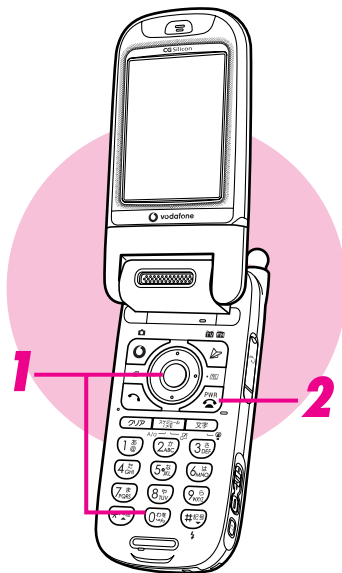
2 「1ON」を選び、●を押す。

■ 表示をやめる：「2OFF」選択➡●

通話中転送を行ったときは、通話料金は表示されません。

自分の電話番号とプロフィールの確認

お客様ご自身のV402SHの電話番号を確認します。

●V402SH にオーナー情報（プロフィール）として名前、ヨミ、電話番号、E-mail アドレス、郵便番号、パーソナルデータ、フォトの設定が登　できます。
●V402SHの電話番号は変更できません。

1 ◉0の順に押す。

ご自分の電話番号が表示されます。

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

■オーナー情報（プロフィール）の確認：◉➡0➡✉（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力

■オーナー情報画面の見かたは、メモリダイヤルと同様です。（☞P.5-12）

■オーナー情報を利用してバーコードを作成できます。（☞P.14-29）

オーナー情報の登録	オーナー情報を登　します。

◉0➡✉（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉（メニュー）➡「修正」選択➡◉➡編集項目選択➡（以降の操作：☞P.5-16「メモリダイヤルを修正する」操作４以降）

オーナー情報の消去	登　したオーナー情報を消去します。

◉0➡✉（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

オーナー情報のコピー	オーナー情報の内容を複写します。

◉0➡✉（詳細）➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡◉（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡（以降の操作：☞P.4-21操作５以降）

マナーモード

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

■ **マナーモード**：☞P.3-3
着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
また、マナートークモード、簡易留守　を同時に設定できます。
電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナーモード内容変更の設定による）

■ **バイブ設定**：☞P.9-4
電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに振動でお知らせします。

■ **音量調節**：☞P.9-2
「**サイレント**」に設定すると、電話がかかってきたときなどの音を鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。

■ **マナートークモード**：☞P.3-4
通話中にマイクの感度を上げて、小さな声で話しても伝わるようにします。

■ **メール着信音、ウェブ着信音、ステーション着信音の各設定**：☞P.9-2
メールやウェブ、ステーションの情報が届いたときの音を鳴らさないようにできます。

■ **オフラインモード**：☞P.3-6
電源を入れたままで電波の送受信を停止して、電話をかけたり、受けたりできないようにします。メールの送受信やウェブ、ステーションの利用などもできなくなります。

■ **簡易留守録**：☞P.14-5
電話に出られないときに、相手の用件をV402SHに　音できます。

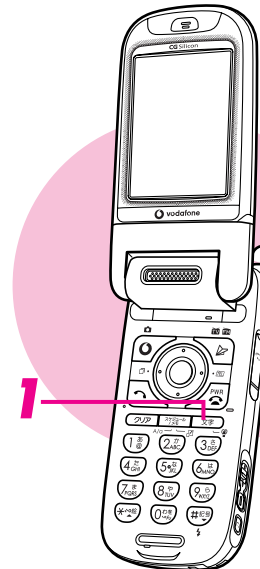
マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

マナーモードを設定する

1 文字を長く（1秒以上）押す。
「**マナーモード**」が点灯します。
また、マナーモードの設定内容に応じて「」（留守表示）「V」（バイブレータ）「S」（サイレント）「」（ステップ）も表示されます。
（☞P.3-4）
- ウェブの情報画面やメールの画面（リスト画面、メッセージ画面など）、Vアプリ利用中でも設定／解除できます。

マナーモードを解除する

1 マナーモードが設定されている待受中に、文字を長く（1秒以上）押す。
「」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

■ ボタン確認音／エラー音／パワー ON／パワー OFF時のサウンドやバーコード認識完了音、警告音が鳴らなくなります。
■ マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
■ ボイスレコーダー再生中の音声やテレビ／ FM で視聴中の音声が、V402SH のスピーカーから聞こえなくなります。（付属品の TV アンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用しているときは、イヤホンから聞こえることができます。）
■ 簡易留守　、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータが自動的に設定されます。

- マナートークモードが設定されると、通話中に小さな声でお話しできるようになります。（このとき「」が点滅します。）
- マナートークモードを設定していなくても、通話中に文字を長く（1秒以上）押すと、マナートークモードに設定できます。通話を終了すると、マナートークモードは解除されます。
- 簡易留守　の　音中は、相手の声が受話口から聞こえます。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモードを設定したとき自動的に設定される機能（簡易留守　、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータ）を変更します。

● お買い上げ時には、次のように設定されています。

簡易留守録	ON	着信音量	すべてサイレント	バイブレータ	すべてON
ランプ設定	スモールライト	マナートークモード	ON	サウンド再生音量	サイレント
Vアプリ再生音量	サイレント	Vアプリバイブレータ	ON		

簡易留守録／マナートークモード　簡易留守　とマナートークモードを設定します。

◉④⑥➡「1 簡易留守録」／「5 マナートークモード」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉➡（戻る）

● マナートークモードに設定すると、マイクの感度を上げて、通話中に小さな声で話しても伝わるようになります。

着信音量／バイブレータ　着信音量とバイブレータを設定します。

◉④⑥➡「2着信音量」／「3バイブレータ」選択➡◉➡「1通常着信」～「6配信確認」選択➡◉➡設定内容選択➡◉➡クリア➡（戻る）

マナー設定変更で着信音量を「ステップ」に設定

■ 着信設定の着信音量（☞P.9-2）やアラーム設定のアラーム音量調節（☞P.14-10）を「**サイレント**」に設定していると、音量は「**サイレント**」になります。また「**音量１**」～「**音量５**」に設定していると、設定されている音量までの「**ステップ**」になります。（「**音量３**」に設定しているとき：「**音量１**」→「**音量２**」→「**音量３**」）

マナー設定変更でバイブレータを「ON」に設定

■ 着信設定のバイブ設定（☞P.9-4）やアラーム設定のバイブ設定（☞P.14-10）を「OFF」または「SMAF連動」に設定していても、「ON」として動作します。

ランプ設定　「通常動作」、「スモールライト」、「OFF」のいずれかに設定します。

◉④⑥➡「4ランプ設定」選択➡◉➡「1通常動作」～「3OFF」選択➡◉➡（戻る）

● 変更できる内容は次のとおりです。

通常動作	着信設定（☞P.9-2）などで設定されている内容に従う
スモールライト	スモールライトが点滅
OFF	すべて点滅しない

サウンド再生音量／Vアプリ再生音量　サウンド再生音量とVアプリ再生音量を設定します。

◉④⑥➡「6サウンド再生音量」／「7Vアプリ再生音量」選択➡◉➡（音量選択）➡◉➡（戻る）

■「7Vアプリ再生音量」選択時：「1サイレント」／「2音量１」選択➡◉➡（戻る）

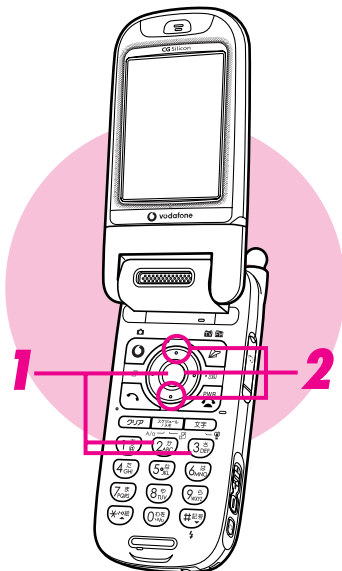
Vアプリバイブレータ　Vアプリバイブレータを設定します。

◉④⑥➡「8Vアプリバイブレータ」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉➡（戻る）

電波の送受信を停止する

電源を切らずに、電波の送受信を停止します。（オフラインモード）
●オフラインモードを「ON」に設定すると、電話の発着信、ボーダフォンライブ！など、電波のやりとりを行う機能は利用できなくなります。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

オフラインモードを設定する

1 ◉③②の順に押す。

2「1ON」を選び、◉を押す。

「」が点灯します。
●オフラインモードを「ON」に設定中は、以下の場合でスモールライトが点滅します。
■クローズポジションのとき
■パネルセーブ中
■テレビ／FM視聴中で「LCD画面表示OFF」のとき

オフラインモードを解除する

1 ◉③②の順に押す。

2「2OFF」を選び、◉を押す。

「」が消え、オフラインモードが解除されます。

補足
●電波のやりとりを行っているときに設定したときは、確認画面が表示され、待受画面に戻ります。しばらくしてからやり直してください。
●ネットワーク接続型のVアプリ（☞ P.10-6）を一時停止しているときにオフラインモードを設定すると、ネットワーク接続不可の確認画面が表示されます。確認画面で、「1YES」を選び、◉を押すと、オフラインモードが「ON」に設定されます。（オフラインモードを「OFF」に設定するまで、ネットワークには接続できません。）

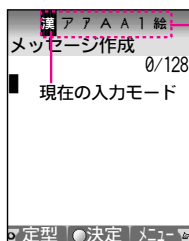
文字の入力方法

文字入力について

ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。文字入力には、かな入力方式とポケ　ル入力方式（☞P.4-11）の２種類の方法があります。

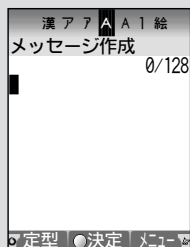
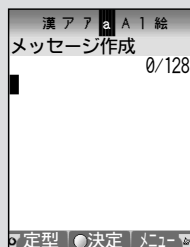
文字入力モード

文字入力選択状態で[文字]を押すたびに、入力できる文字（入力モード）が次のように切り替わります。

漢→ア→ｱ→Ａ→ａ→１→絵→漢・・・

漢	漢字（ひらがな）	ｱ	半角英数字（大小文字）
ア	全角カタカナ	ａ	半角英数字（小文字）
ｱ	半角カタカナ	１	半角数字
Ａ	全角英数字（大小文字）	絵	絵文字コード
ａ	全角英数字（小文字）	区	区点コード

- 入力モード切替中は、◎を押しても上記の順に切り替わります。◎を押すと逆の順に切り替わります。
- メモリダイヤルのヨミ入力やE-mail アドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

大小文字と小文字の切り替え

- かな入力方式では、全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで[スケジュール/メモ]を押すと、大小文字⇔小文字が切り替わります。また、ポケ　ル入力方式（☞P.4-11）では全角入力モード、半角入力モードで[スケジュール/メモ]を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角英数字入力モード（大小文字）　　全角英数字入力モード（小文字）

絵文字コード入力モードと区点コード入力モードの切り替え

- 絵文字コード１～６と区点コード入力モードは、[◎/]を押すと次の順に切り替わります。
  - ■絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード→絵文字コード１…
- 絵文字コード番号（１～６）は、画面下部で確認できます。

ダイヤルボタンの割り当て

１つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：カタカナ入力モードで[1]を３回押すと、「ウ」が表示されます。

- 文字入力中に[↩]を押すと、表示される文字を逆順に切り替えることができます。（半角数字入力モード、絵文字コード入力モード、区点コード入力モードは除く。）

例：「い」を入力しているときに[↩]を押すと、「あ」になります。

ボタン	漢字（ひらがな）［全角］	カタカナ［全角／半角］	英数字［全角／半角］	数字［半角］	絵文字コード1～6／区点コード
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@．／＿ー1 □（スペース）	1	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ２	2	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ３	3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ４	4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ５	5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ６	6	6
7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ８	8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	9	9
0	わをんー、。 ↵（改行）※1	ワヲンー、。 ↵（改行）※1	，．０↵（改行）※1	0	0
＊	゛゜／記号入力（全角）／絵文字入力（全角）※2	゛゜－※3	E-mailアドレス用／URL用変換（半角）※4	＊-P（ポーズ）※5	――――
#	履歴／記号入力（全角）※6／絵文字入力（全角）			#	――――
	変換	カーソル上移動			
	変換	カーソル下移動↵（改行）※1			
	カーソル左移動				
	カーソル右移動				
文字	文字入力モードの切り替え				
スケジュール/メモ	小文字／大文字変換（変換できる文字の場合だけ有効）		小文字／大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	――――	――――
クリア 短押し	１文字消去、変換中止	１文字消去			入力済コード消去／１文字消去
クリア 長押し	全文字消去				
	最大64文字まで復元※7				
	決定				
	――――				絵文字コード1～6／区点コード入力モードの切り替え

※1　改行の入力は、P.4-10を参照してください。
※2　変換中の文字があるときは入力できません。
※3「-」は半角カタカナ入力モード選択時だけ入力できます。
※4　E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。
※5「ー」や「P（ポーズ）」は、電話番号入力時だけ有効です。
※6　半角カタカナ入力モードと半角英数字入力モード選択時は半角で入力されます。
※7　[クリア]を押して消去した文字は、直後に[↩]を連続して押すと、最大64文字まで復元できます。

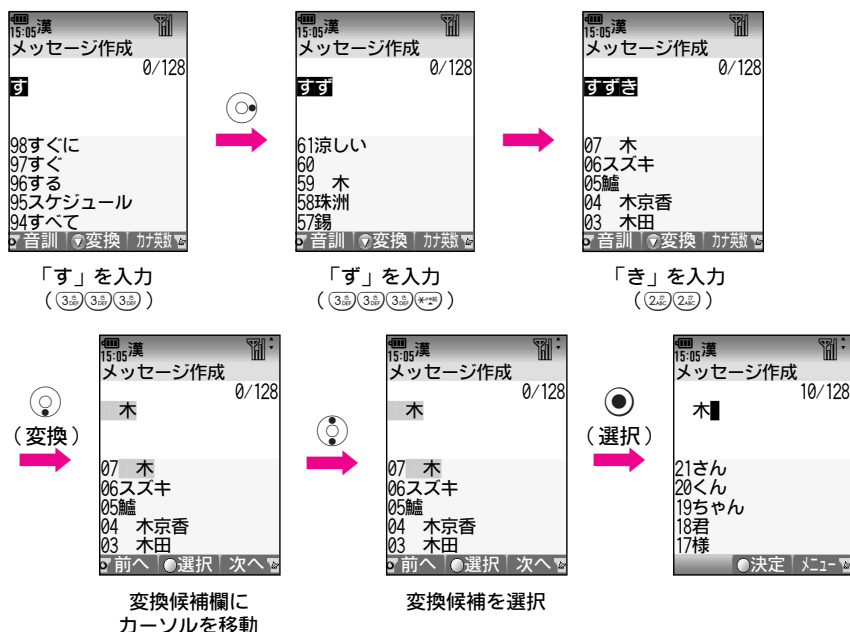
- 変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。
- メモリダイヤルのヨミ入力やE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

漢字（ひらがな）入力モードにしたあと、ひらがなを入力し、漢字に変換します。

- ひらがなをそのまま入力するときは、ひらがなを入力したあと、◉を押します。
- カタカナの入力は、全角カタカナ入力モードまたは半角カタカナ入力モードにして入力します。また、漢字入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。

例：「　木」と変換するとき

ひらがなを１文字入力するたびに、変換候補が表示されます。採用するときは、⊙を押し変換候補欄にカーソルを移動したあと、⊙で入力したい変換候補を選び、◉を押します。

- （次へ）／（前へ）を押すと、他の変換候補画面が表示されます。
- 変換候補欄で選択を中止するときは、クリアを押します。
- 同じボタンを使って次の文字を入力するとき（例：「あい」）は、必ず⊙を押してカーソルを移動させてから入力してください。

学習機能について

- 漢字変換では、最後に変換した漢字が優先してリストに表示されます。

■目的の漢字に変換されないとき

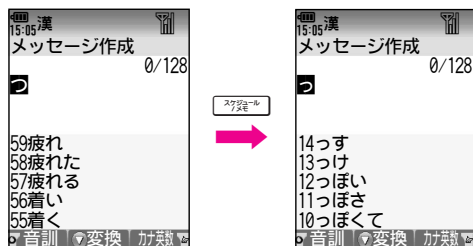
クリアを押し文字入力画面にカーソルを戻したあと、⊙を押し、変換の対象となる文字（反転している文字：下の例の場合は「み」と「ち」）の区切りを変えて変換し直すことができます。

例：「三智」と変換するとき

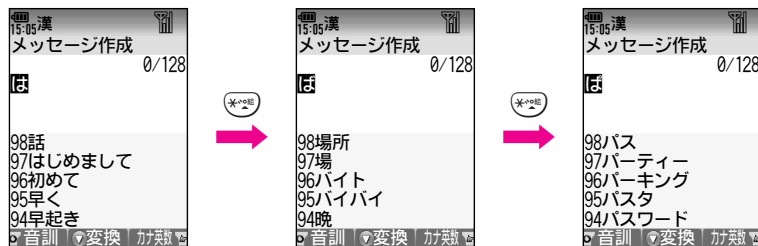
スケジュール/メモを押すと、複数の変換の対象を一度に採用できます。

例：「西山大輔」と変換するとき

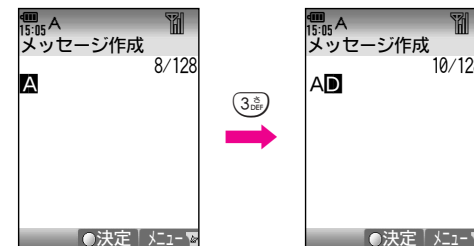
小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。
小文字に変換したい文字を入力し、を押します。

●小文字にできない文字では、を押しても受けつけません。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

だく点や半だく点を付けたい文字を入力し、を押します。

●漢字（ひらがな）や全角カタカナ入力モードの場合、「か行」「さ行」「た行」は１回押すとだく点が付き、２回押すと元に戻ります。また、「は行」は１回押すとだく点が付き、２回押すと半だく点が付き、３回押すと元に戻ります。
●ひらがなや全角カタカナのだく点や半だく点を付けられない文字では、を押しても受けつけません。
●半角カタカナ入力モードの場合は、１回押すとだく点が、２回押すと半だく点が半角１文字分として表示されます。
　だく点や半だく点を使わないときはを押し、だく点や半だく点を消去します。

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で、英数字を入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

●同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、必ずを押してカーソルを移動させてから入力してください。
●全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号／絵文字を入力する

■リストから入力する

記号変換が可能なモードでを押すと、これまで入力した記号や絵文字が、新しいものから各20件ずつ表示されます。（履歴リスト）

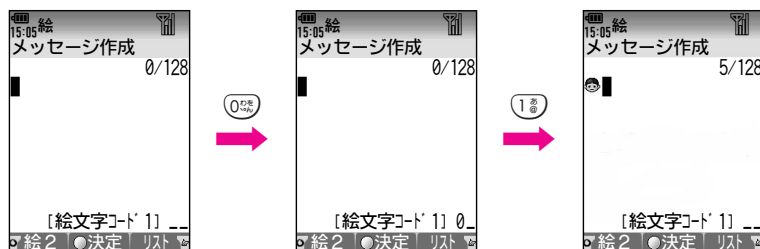
●半角の記号を入力したときは、履歴リストには残りません。
●表示されている記号／絵文字を入力するときは、で記号／絵文字を選び、を押します。
●他の記号／絵文字を入力するときは、または（押すたびに履歴リスト→記号リスト１～３→絵文字リスト６～１の順に切替）を押したあと、記号／絵文字を選び、を押します。
■を押すと、各リストが逆の順に表示されます。
■記号／絵文字リストでは最大５行分の記号や絵文字が表示されます。を押すと、６行目以降が表示されます。
●記号／絵文字入力を終了するときは、（**戻る**）を押します。
●全角のモードで操作したときは全角の記号が、半角のモードで操作したときは半角の記号が入力できます。（絵文字はモードにかかわらず、すべて全角です。）

●漢字（ひらがな）入力モードで、記号１リスト表示中は[スケジュール]を押すたびに、全角記号⇔半角記号と切り替わります。（記号２、記号３はすべて全角です。）
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し[↓]（**変換**）を押すと、一部の記号を入力することができます。

記号・絵文字履歴の消去

■ 文字入力画面で、次の操作を行います。
[✉]（**メニュー**）➡「[9]**入力／変換設定**」選択➡[●]➡「[5]**絵／記号履歴リセット**」選択➡[●]➡「[1]**実行**」選択➡[●]
●文字入力画面に戻るときは、[クリア]を２回押します。
●絵文字コード入力モードでは、記号・絵文字履歴の消去は行えません。

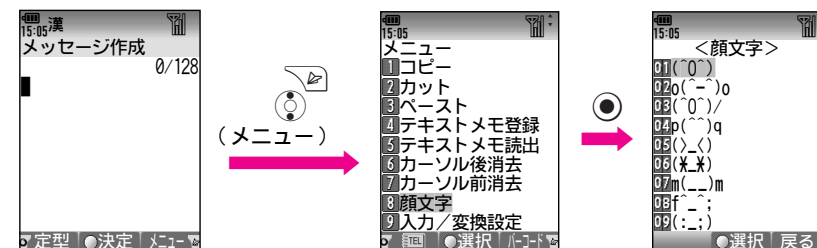
■コードで入力する（絵文字）

絵文字コード入力モードで、２ケタの数字（絵文字コード：☞[O]P.17-8～P.17-10）を押します。

●絵文字コードを押し間違えたときは、２ケタ目を押す前に[クリア]を押します。

絵文字コード入力モードからの操作

■ 絵文字コード入力モードで [✉]（**リスト**）を押すと、絵文字リストが表示されます。入力する絵文字を選び、[●]を押します。
●絵文字リストを切り替えるときは、[0]または[#]を押します。（押すたびに絵文字リスト１～６→履歴リストの順に変わります。）

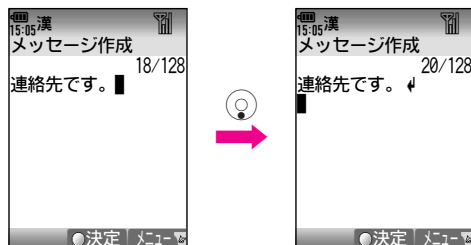
顔文字を入力する

文字入力画面で[✉]（**メニュー**）を押し、「[8]**顔文字**」を選んだあと、[●]を押します。

●入力したい顔文字を選んだあと、[●]を押して選択します。
●２ケタの数字（01～50）を入力すると、番号の候補が選択され表示されます。
●絵文字１～６入力モードのときは、顔文字は入力できません。
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し[↓]（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し[↓]（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。

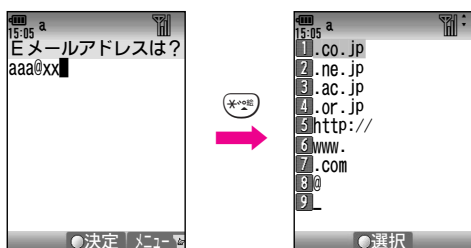
スペースを入力する

[→]を押してカーソルを進めます。英数字入力モードのとき、[1]を７回押してスペースを入力することもできます。

改行する

文末で を押します。（メールのメッセージ本文やテキストメモ、掲示板のメッセージ入力時などで有効です。）

- 文の途中で改行するときは、改行したい位置にカーソルを移動し、 を数回押して「↵」を表示させたあと、◉を押します。 を押す回数は入力モードによって異なります。（☞P.4-3）

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

英数字入力モードにして、 を押します。

- 入力したい文字を選んだあと、◉を押します。
- 全角／半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

その他の文字入力関連機能

区点コード入力　目的の文字が変換候補に表示されなかったときは、区点コードで文字を入力します。

区点コード入力モードにする➡4ケタの数字（区点コード：☞P.17-9〜P.17-12）入力

■ 区点コードの入力間違い：4ケタ目を押す前に（クリア）

- 区点コード表にないコードを入力すると、スペースが入力されることがあります。

入力方式切替　文字の入力方法を「**かな入力方式**」または「**ポケベル入力方式**」に設定します。

お買い上げ時 かな入力方式

文字入力画面で （メニュー）➡「9入力／変換設定」選択➡◉➡「1入力方式」選択➡◉➡「1かな」／「2ポケベル」選択➡◉

補足　ポケ　ル入力方式は、通常の入力方式（かな入力方式）にするまで継続します。

ポケベルコード入力　ポケ　ルコードで文字を入力します。

ポケベル入力方式にする➡2ケタの数字（ポケベルコード：☞P.4-12）入力

■ ポケ　ルコードの入力間違い：2ケタ目を押す前に（クリア）

補足
- ポケ　ル入力方式で入力した文字の変換や、区点コード入力、スペース入力、小文字入力、記号入力、E-mailアドレス、URL入力、絵文字入力の操作は、かな入力方式と同じです。
- ポケ　ル入力方式では、カナ英数字変換はできません。
- だく点、半だく点は、ポケ　ルコード一覧を参照して入力してください。（☞P.4-12）

文字入力モードの切替

■ ポケ　ル入力方式のとき、文字入力選択状態で（文字）を押すたびに、入力モードが次のように切り替わります。
　全角大文字入力モード（「Ｐ」反転）→半角大文字入力モード（「Ｐ」反転）
　→絵文字コード１〜６（「絵」反転）／区点コード入力モード（「区」反転）
■ 全角入力モード、半角入力モードで（スケジュール）を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。
■ 絵文字コード１〜６と区点コード入力モードは、 を押すと切り替わります。

■ポケベルコード一覧

全角大文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	―	／
	7	ま	み	む	め	も	¥	&		☎	※1
	8	や	（	ゆ	）	よ	￥	#	スペース	❤	※2
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

全角小文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			っ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										※1
	8	ゃ		ゅ		ょ					※2
	9										
	0				、	。					

半角大文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
	8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	￥	#	スペース	❤	※2
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

半角小文字モード

		2ケタ目（次に押すボタン）									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1ケタ目（最初に押すボタン）	1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			ｯ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										※1
	8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
	9										
	0				,	.					

※1 70と押すと、改行が入力されます。（改行は、メールのメッセージ本文、テキストメモ、掲示板のメッセージ入力時などに有効です。）
※2 80と押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

- 「❤」、「☎」は半角２文字分となります。
- 空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）
- ■部分は、文字入力後[スケジュール]を押すたびに、大文字⇔小文字と切り替わります。

文字の変換機能

変換方法を設定する

漢字変換では、「**近似予測変換**」と「**連携予測変換**」という便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを１～５文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登 されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

- お買い上げ時には、両方の変換機能が「ON」（使用する）に設定されています。
- メモリダイヤルの登 （☞P.5-3）やオーナー情報の登 （☞P.2-24）など、名前を入力するときは、人名が優先して変換されます。

1 **文字入力画面で、（メニュー）を押す。**

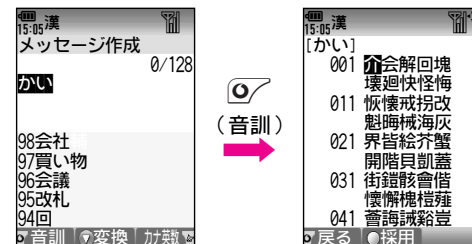
2 **「9入力／変換設定」を選び、◉を押す。**

3 **「2近似予測」または「3連携予測」を選び、◉を押す。**

4 **「1ON」または「2OFF」を選び、◉を押す。**

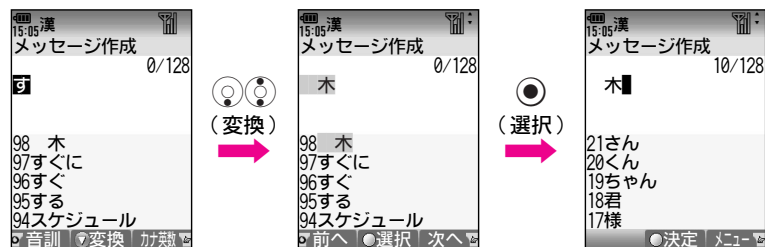
シンプルモード設定時は、両方の変換機能が利用できません。

音訓変換を利用する

通常変換で入力したい漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して１文字ずつ漢字に変換します。
漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力し、（音訓）を押して、漢字に変換します。

- 入力したい漢字を選んだあと、◉を押して採用します。

一度入力した文字を利用する

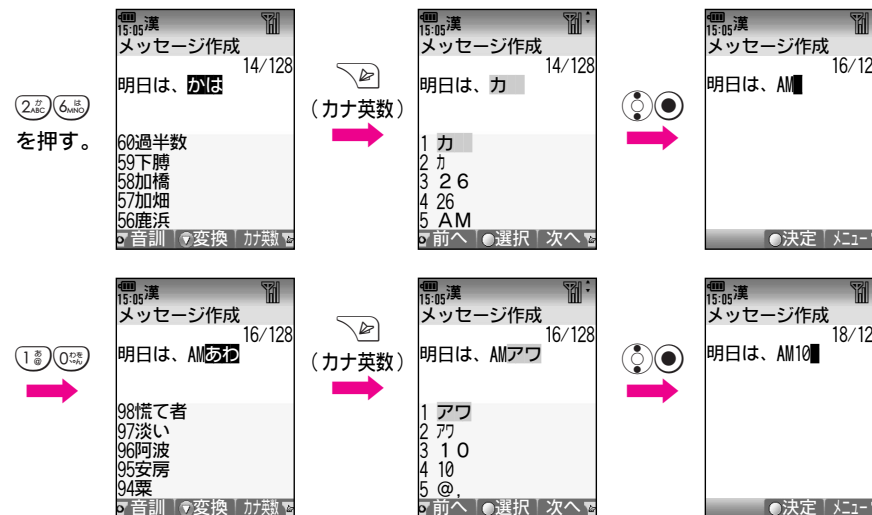
一度、通常の変換方法で入力した漢字を次回入力するときには、先頭の１文字を入力すると漢字に変換します。（１文字変換）

例：以前に「　木」を変換したとき

- １文字変換で記憶されるメモリは、ユーザー辞書（☞P.4-18）と共用しています。（１文字変換は、ユーザー辞書の空きメモリに自動的に記憶されます。）
  そのため、ユーザー辞書の登　内容や件数によっては、１文字変換が記憶できないことがあります。
- １文字変換で記憶される件数は、同じ見出し語（１文字）に対して、ユーザー辞書と合わせて最大５件です。
  記憶可能な件数を超える場合、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

カナ英数字変換を利用する

漢字入力モードのまま、カタカナや英字、数字が入力できます。文字を入力したあと ✉（**カナ英数**）を押し、◎で入力したい文字を選び、◉を押します。

例：「明日は、AM10時に集合です。」と入力するとき

「明日は、」と入力したあと…

このあと「時に集合です。」と入力し文章を完成させます。

●英字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点つきも同様です。）

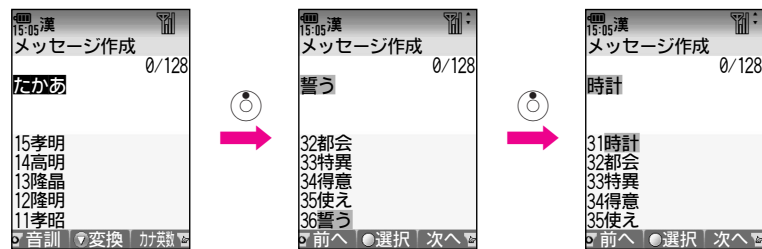
あ	@	い	.	う	／	え	＿	お	スペース
か	A	き	B	く	C	け	スペース	こ	スペース
さ	D	し	E	す	F	せ	スペース	そ	スペース
た	G	ち	H	つ	I	て	スペース	と	スペース
な	J	に	K	ぬ	L	ね	スペース	の	スペース
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	スペース	ほ	スペース
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	スペース
や	T	ゆ	U	よ	V	—	—	—	—
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	スペース
わ	,	を	.	ん	スペース	ー（長音）、。改行			スペース

●数字は次のように変換されます。（小文字やだく点、半だく点つきも同様です。）

■あ行…１　■か行…２　■さ行…３　■た行…４　■な行…５　■は行…６　■ま行…７
■や行…８　■ら行…９　■わ／を／ん／ー（長音）／、／。／改行…０

ワンタッチ変換を利用する

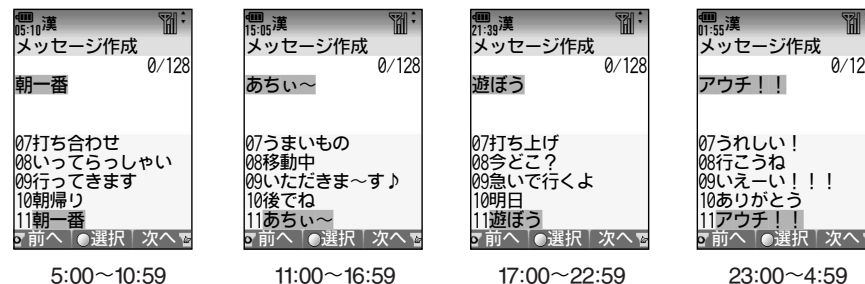
押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。
ワンタッチ変換を利用するときは、ひらがなを入力したあと、[↑]を押します。
目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。
例 :「時計」を入力するとき

通常の変換	[4][4][4][4][4]（と）[2][2][2][2]（け）[1][1]（い）[↓]（変換）
ワンタッチ変換	[4]（た）[2]（か）[1]（あ）[↑]（ワンタッチ変換）

- ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
- ワンタッチ変換状態では、カーソルが緑色になります。他のワンタッチ変換の変換候補を表示するときは、[↕]を押します。
- ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）のとき、[↔]を押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
- ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。
- ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換は働きません。
- だく点・半だく点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを１回押したあと、だく点・半だく点を入力します。(例 :「**べんきょう**」の場合「**ばわかやあ**」と入力)
- 通常変換に戻すときは、変換候補表示中に[クリア]を押したあと、[↓]（**通常変換**）を押します。

推測頭出し変換

１文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字（「**あ**」を入力した場合「**あ**」「**い**」「**う**」「**え**」「**お**」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。
例 :「あ」を入力した場合

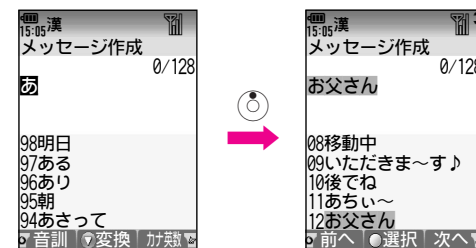
5:00～10:59

11:00～16:59

17:00～22:59

23:00～4:59

- 表示される言葉は、あらかじめ登　されています。
- 表示される言葉は、5:00～10:59、11:00～16:59、17:00～22:59、23:00～4:59の時間帯で変わります。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00～16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ１文字学習

以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の１文字を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果が最初に表示されます。
例 : 以前に「あたあさわ」と入力して、ワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合

変換履歴を消去する

文字変換や近似予測などで、これまでによく変換した文字列の変換履歴を消去します。

1 文字入力画面で、✉（メニュー）を押す。

2「9入力／変換設定」を選び、◉を押す。

3「4学習辞書リセット」を選び、◉を押す。

4「1実行」を選び、◉を押す。

●ユーザー辞書に登　している単語は消去されません。

よく使う言葉を登録する

よく使う言葉（単語）に見出し語をつけて、最大100件まで登　できます。（ユーザー辞書）
登　した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され入力できます。
●同じ見出し語は５件まで登　できます。

ユーザー辞書に登録する

1 ◉4 3の順に押す。

2「1新規登録」を選び、◉を押す。

●すでに100件登　されているときは、確認画面が表示され、操作１の画面に戻ります。不要なユーザー辞書を消去してやり直してください。（☞P.4-19）

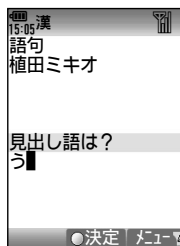
3 単語を入力する。

●最大全角15文字（半角30文字）まで入力できます。
●改行は入力できません。

4 ◉を押し、見出し語を入力する。

●ひらがなで最大８文字まで入力できます。

5 ◉を押す。

すでに同じ見出し語が５件登　されているときは、確認画面が表示され、操作４の画面に戻ります。
■ 別の単語の登　：操作２〜５をくり返す

補足　１文字の見出し語に登　できるユーザー辞書の件数は、１文字変換の記憶と合わせて最大５件です。ユーザー辞書を登　して、登　可能な件数を超える場合、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

ユーザー辞書を修正／消去する

修正　ユーザー辞書を修正します。

◉4 3➡「2辞書編集」選択➡◉➡修正する単語を選択➡◉➡単語修正➡◉➡見出し語修正➡◉➡「1上書登録」／「2新規登録」選択➡◉

1件消去　ユーザー辞書に登　している単語を１件ずつ消去します。

◉4 3➡「2辞書編集」選択➡◉➡消去する単語を選択➡✉（メニュー）➡「2消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

●消去した単語以降の番号が、繰り上がります。

全消去　ユーザー辞書に登　している単語を全消去します。

◉4 3➡「2辞書編集」選択➡◉➡✉（メニュー）➡「3全消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

ダウンロードした辞書を設定する

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を使用します（２件）。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登　されている用語が変換候補に表示されるようになります。
●辞書ファイルの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space　Town」（☞◯P.8-6）でご案内しています。

設定　ダウンロードした辞書を使用します。

◉4 3➡「3ダウンロード辞書」選択➡◉➡「1ダウンロード辞書１」／「2ダウンロード辞書２」選択➡◉➡登録する辞書を選択➡◉

すでにダウンロード辞書が登録されている番号への登録
●辞書を登　する番号を選び、◉を押したあと、✉（メニュー）を押し、「変更」を選びます。辞書ライブラリ画面が表示されますので、登　する辞書を選び、◉を押します。

辞書ライブラリに登録した辞書ファイルを設定する

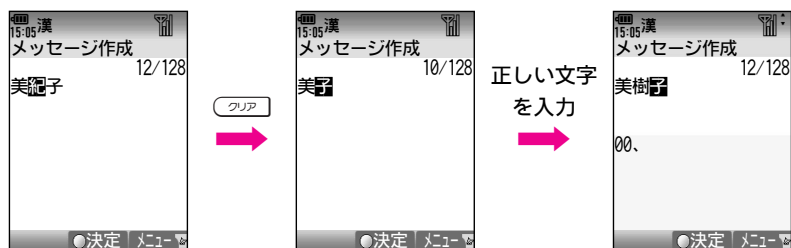
■ ボーダフォンライブ！などで、辞書ライブラリにダウンロードした日本語変換用の辞書を、漢字変換用の辞書として設定します。
◉4 3➡「3ダウンロード辞書」選択➡◉➡「3辞書ライブラリ」選択➡◉➡利用する辞書ファイルを選択➡✉（メニュー）➡「ダウンロード辞書登録」選択➡◉➡登　する番号を選択➡◉
●すでに辞書登　されている番号へ上書き登　するときは「1YES」を選び、◉を押します。上書き登　しないときは「2NO」を選び、◉を押して、操作をやり直します。

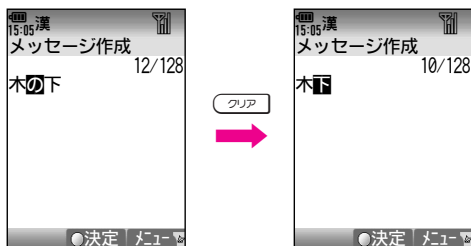
解除	ダウンロード辞書の使用を解除します。

◉4 3 ➡「3ダウンロード辞書」選択➡◉➡「1ダウンロード辞書１」／「2ダウンロード辞書２」選択➡◉➡（メニュー）➡「2設定解除」選択➡◉

文字の編集

入力した文字を修正する

でカーソルを訂正したい文字まで移動し、クリアを押して不要な文字を消去したあと、正しい文字を入力します。

指定した文字を削除する

カーソルを消去したい文字まで移動し、クリアを押します。

- クリアを押すとカーソル上の１文字が消えます。
- クリアを押して消去した文字は、直後にを連続して押すと、最大64文字まで復元することができます。（を押して復元途中に、以外のボタンを押すと、それ以上復元することはできません。）
- クリアを長く（１秒以上）押すと、すべての文字が消えます。この場合はを押しても、消去した文字は復元できません。（「**カーソル後消去**」、「**カーソル前消去**」を行った場合も、では復元できません。）

コピー／切り取り／貼り付けを行う

連続した文字列を、他の場所に複写／移動します。

- 同じ画面内にも他の画面にも複写／移動できます。（「メニュー」が表示されていない画面へは複写／移動できません。）

1 **文字入力画面で、（メニュー）を押す。**

2 **「1 コピー」（複写するとき）または「2 カット」（移動するとき）を選び、◉を押す。**

3 **複写／移動する文字列の最初の文字にカーソルを移動し、◉（開始）を押す。**

文字列の開始位置が指定されます。（「終了」が表示されます。）

開始位置の再指定：クリア➡操作３へ

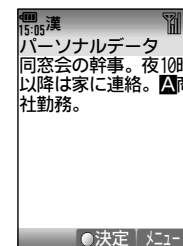
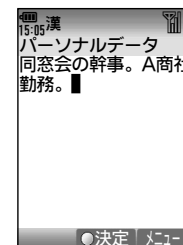
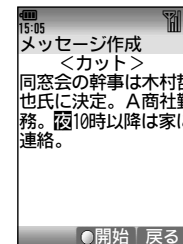
4 **複写／移動する文字列の最後の文字にカーソルを移動し、◉（終了）を押す。**

- 最大全角約3000文字（半角約6000文字）まで指定できます。
- 移動する場合、指定した文字列が元の画面から消去されます。

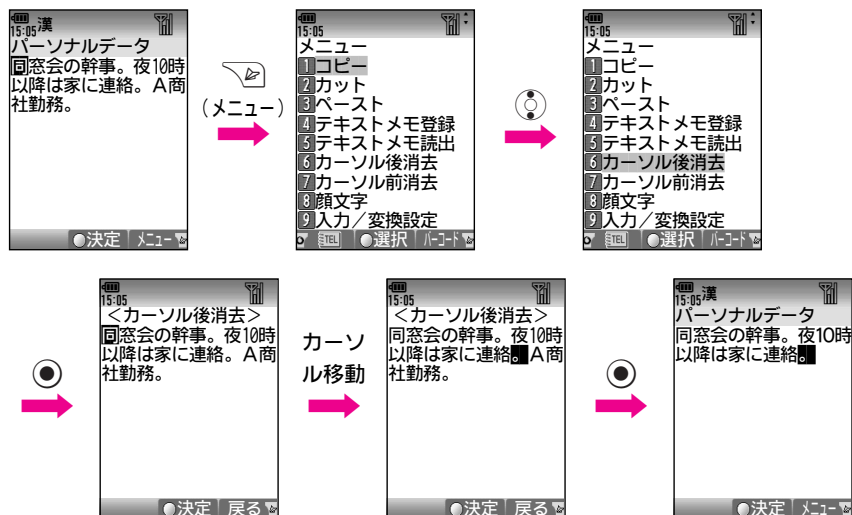
5 **複写／移動先の画面を表示する。**

6 **（メニュー）を押したあと、「3ペースト」を選び、◉を押す。**

7 **複写／移動する位置にカーソルを移動し、◉を押す。**

記憶している文字列が挿入されます。

カーソル前後の文字をまとめて消去する

（メニュー）を押し、「6カーソル後消去」または「7カーソル前消去」を選んだあと、◉を押します。カーソルを移動したあと、◉を押すと、消去されます。

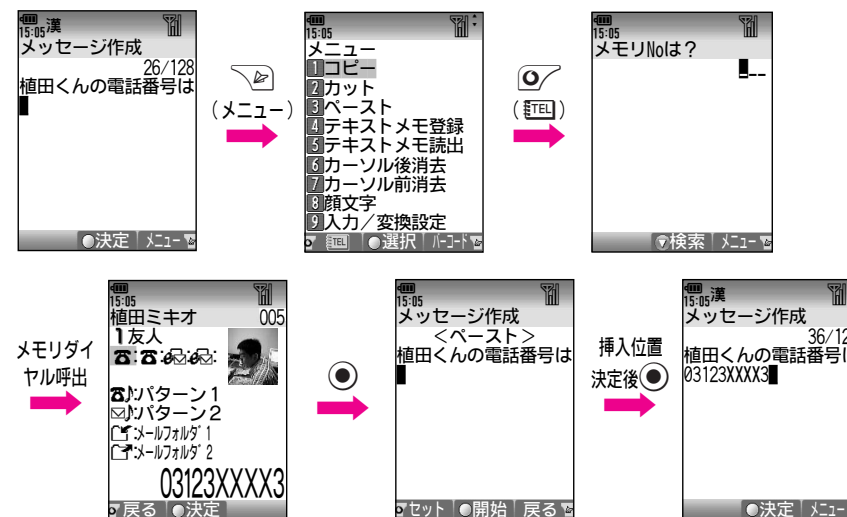
例：「6カーソル後消去」の場合

メモリダイヤルを利用する

文字入力中にメモリダイヤルを呼び出し、登 している電話番号やE-mailアドレスなどの文字列を作成中の文章に挿入します。

文字入力画面で（メニュー）を押し、（TEL）を押すと、メモリダイヤルを呼び出すことができます。このあと、を押して入力したい項目を選び◉を押すと、選んだ項目の内容を記憶します。

を押し、文字列を挿入する位置にカーソルを移動したあと、◉を押すと、記憶されていた文字列が挿入されます。

- 利用できる項目は、「名前」、「電話番号１～３」、「メールアドレス１～３」、「パーソナルデータ」です。

例：「植田ミキオ」の「電話番号１」を挿入するとき

- メール本文作成中に<ペースト>の画面で次の操作を行うと、電話番号やE-mailアドレスの前に「TEL:」や「mailto:」をつけることができます。
  （セット）➡「1TEL:」／「2mailto:」選択➡◉

文字入力中にオーナー情報を呼び出す

■ 文字入力中に、次の操作を行います。
（メニュー）➡ ➡「1オーナー情報入力」選択➡◉➡暗証番号入力➡オーナー情報表示

- 以降の操作は、上記のメモリダイヤルを呼び出したあとの操作と同様です。

テキストメモ

よく使う文章を登　し、メッセージの本文入力などで利用します。

- お買い上げ時には、「**記号絵文字**」が10件登　されています。これらの記号絵文字を編集し、文章を入力し直して登　することもできます。
- 1件のテキストメモに登　できる文字数は、最大全角約64文字（半角約128文字）です。
- 最大20件のテキストメモを登　できます。
- テキストメモを最大件数まで登　すると、新規作成をすることができません。不要なテキストメモを消去するときは、P.4-25を参照してください。

テキストメモに文章を登録する

1 **◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。**

2 **「7テキストメモ」を選び、◉を押す。**

あらかじめ登　されている記号絵文字のタイトルや、登　した文章の最初の部分が表示されます。

■ テキストメモの確認：テキストメモ選択➡◉

3 **登録する番号を選び、◉を押す。**

テキストメモの入力画面が表示されます。

■ 登　済番号の選択時：確認画面表示➡（メニュー）➡「2編集」選択➡◉➡操作4へ

4 **文章を入力する。**

5 **◉を押す。**

テキストメモに登　されます。

■ 他のテキストメモの登　：操作3～5をくり返す

■ テキストメモの登　終了：

メールやメモリダイヤルなどの文字入力画面から登録

■ メールやメモリダイヤルの文字入力画面で、次の操作を行います。
（**メニュー**）➡「4**テキストメモ登録**」選択➡◉➡登　したい文字列の最初の文字にカーソルを移動➡◉（**開始**）➡登　したい文字列の最後の文字にカーソルを移動➡◉（**終了**）➡登　する番号を選択➡◉

テキストメモを修正／消去する

修正	テキストメモを修正します。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「7テキストメモ」選択➡◉➡修正するテキストメモを選択➡（メニュー）➡「2編集」選択➡◉➡文章の修正➡◉

バーコード作成	テキストメモのバーコードを作成します。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「7テキストメモ」選択➡◉➡バーコード作成するテキストメモを選択➡（メニュー）➡「3バーコード作成」選択➡◉➡（作成）➡◉（登録）

1件消去	テキストメモを1件ずつ消去します。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「7テキストメモ」選択➡◉➡消去するテキストメモを選択➡（メニュー）➡「4消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

メモリダイヤル

メモリダイヤル登録

メモリダイヤルに登録できる項目

項目		内容
:名前		最大全角８文字（半角16文字）まで登　できます。漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、絵文字が登　できます。
:ヨミ		名前を入力すると、入力した文字がカタカナ、英数字、記号で自動的に入力されます。最大半角10文字（だく点、半だく点含む）まで登　できます。
:電話番号		メモリダイヤル１件につき、最大３件の電話番号を登　することができます。（「＊」や「#」も入力できます。）
:E-mailアドレス		メモリダイヤル１件につき、最大３件のE-mailアドレスを登　することができます。E-mailアドレスは、それぞれ最大半角60文字まで登　できます。
:グループ		メモリダイヤルを、最大10種類のグループ（グループ０～グループ９）に分けて管理できます。グループ名を登　／変更したり、グループごとに着信音を設定できます。
:パーソナルデータ		登　した相手の個人情報を、最大全角30文字（半角60文字）まで登　できます。
:シークレット設定		他人に見られたくないメモリダイヤルを、秘密のメモリダイヤルとして登　できます。
:フォト設定		画像をメモリダイヤルの画面に表示することができます。オプション設定のピクチャーコール／メールを「ON」に設定すると、登　した相手から電話がかかってきたときやメールが届いたとき、登　した画像が表示されます。
オプション設定	指定着信音	登　した相手から電話がかかってきたときの着信パターンなどを設定できます。
	メールコール	登　した相手からメールが届いたときの着信パターンなどを設定できます。
	ピクチャーコール／メール	着信時に、フォト設定に登　している画像を表示するかどうかを設定します。
	メールフォルダ	送受信したメールを、自動的に設定したフォルダに振り分けることができます。

●V402SHのメモリダイヤルには、000～499番の最大500件まで登　できます。

大切なデータを失わないために

●メモリダイヤルに登　した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なメモリダイヤルなどは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、メモリダイヤルが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メモリダイヤルを誤って消去したり、他人が使用できないように設定することもできます。（☞P.13-3）

メモリダイヤルに登録する

ここでは、V402SHのメモリダイヤルに新規登　するときを例に、相手の名前とヨミ、電話番号、E-mailアドレスの登　を順に説明します。

名前を入力する

1 文字を押す。

2 相手の名前を入力する。

3 ◉を押す。

「 :」の行に、名前に入力した文字（漢字の読み）が半角カタカナで自動的に入力され表示されます。

●ワンタッチ変換、コピー・ペーストなどで入力したとき、絵文字を入力したときは、ヨミは入力されません。

●カタカナ、英字、数字、記号を入力したときは、入力した文字が半角で自動的に表示されます。

■ ヨミの変更：「 :」選択➡◉➡ヨミ入力➡◉

■ 登　の中止：（取消）➡「1YES」選択➡◉

メモリダイヤル入力画面

電話番号を入力する

名前を入力したあと、続けて次の操作を行います。

1 メモリダイヤル入力画面で、「 :」を選び、◉を押す。

電話番号の入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力する。

●一般電話の場合は、市外局番も必ず入力してください。

●＊を２回押すと、「-」が表示されます。（「-」も電話番号の１ケタとしてカウントされます。）

■ 入力間違い：（カーソルを間違った数字に移動）➡クリア（数字が消去）➡正しい数字を入力（クリアを長く（１秒以上）押すと、数字がすべて消えます。）

3 ◉を押す。

4 アイコンを選び、◉を押す。

■ 複数の電話番号の登　：「 :<未登録>」選択➡◉➡操作２～４

E-mailアドレスを入力する

電話番号を入力したあと、続けて次の操作を行います。

1 メモリダイヤル入力画面で、「✉:」を選び、◉を押す。

2 E-mailアドレスを入力する。

3 ◉を押す。

4 アイコンを選び、◉を押す。

■ 複数のE-mailアドレスの登　:「✉:<未登録>」選択➡◉➡操作2～4を行う

5 メモリダイヤル

グループの設定

■ メモリダイヤル入力画面で、次の操作を行います。
「👥:」選択➡◉➡グループ選択➡◉

パーソナルデータの設定

■ メモリダイヤル入力画面で、次の操作を行います。
「👤:」選択➡◉➡パーソナルデータ入力➡◉

フォトの設定

■ フォトを設定すると、メモリダイヤルにフォトが表示されます。

■ データフォルダの画像を登
メモリダイヤル入力画面で「📷:」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡データフォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

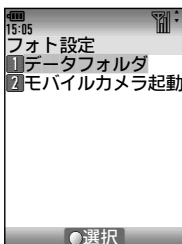
15:05
フォト設定
1データフォルダ
2モバイルカメラ起動
◉選択

●データフォルダから画像を選択する場合、サイズが大きな画像は選択できないことがあります。

■ モバイルカメラを起動して撮影した画像を登
メモリダイヤル入力画面で「📷:」選択➡◉➡「2モバイルカメラ起動」選択➡◉➡「1写メールモード」／「2壁紙モード」選択➡◉➡画像をディスプレイに表示➡◉（撮影）➡◉（登録）

●モバイルカメラ撮影時の詳細は、P.7-8を参照してください。

メモリダイヤル編集中の着信があると

■ 編集中の内容は一時的に記憶（保護）されています。編集を継続するときは、次の操作を行います。
◉➡確認画面表示➡「1YES」選択➡◉➡メモリダイヤル入力画面へ

登録する

1 ✉（登録）を押す。

メモリ番号（1件ごとのメモリダイヤルにつけられている固有の番号）の入力画面が表示されます。

2 メモリ番号（3ケタ：000～499）を入力する。

1件分のメモリダイヤルが登　されます。

■ 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使った発信用：メモリ番号000を入力（☞P.14-36）

■ スピードダイヤルを使った発信用：メモリ番号000～099を入力（☞P.5-15）

5 メモリダイヤル

空いているメモリ番号に自動登録する

■ *を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登　されます。

■ 百の位、十の位の数字を押したあと*を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定することができます。

●**百の位を指定するとき（数字を1ケタ入力後➡*）**
3*と押すと、300～399の最も小さいメモリ番号へ登　されます。

●**十の位を指定するとき（数字を2ケタ入力後➡*）**
21*と押すと、210～219の最も小さいメモリ番号へ登　されます。

こんな表示が出たときは

画面表示	理由	操作
メモリNoXXXに上書しますか?	指定したメモリ番号がすでに使われています。	上書きするときは、「1YES」を選び、◉を押します。他のメモリ番号に登　するときは、「2NO」を選び、◉を押してから、他のメモリ番号を入力してください。空いているメモリ番号への登　は、上記を参照してください。
これ以上登録できません	空いているメモリ番号がありません。	不要なメモリ番号に上書きしてください。または、不要なメモリダイヤルを消去してください。（☞P.5-16）
シークレットデータが登録されています	シークレットメモリに登　されているメモリ番号を指定しています。	シークレットモードに設定すると、書き換えられます。（☞P.13-7）

リダイヤル／着信履歴の電話番号を登録する

1 **メモリダイヤルに登録したいリダイヤルまたは着信履歴のデータを表示する。**（☞P.2-15）

2 **◉を２回押す。**
- 一覧表示で登　したいデータを選び、✉（**メニュー**）を押しても同様の操作が行えます。

3 **「メモリダイヤル登録」を選び、◉を押す。**

4 ***新規登録するとき***

1「**1**新規登録」を選び、◉を押す。

2 名前を入力して、◉を押す。

自動的に電話番号が入力されます。このあと、他の項目を入力してメモリダイヤルの登　を完了します。

追加登録するとき

1「**2**追加登録」を選び、◉を押す。

2 追加登録したいメモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-13〜P.5-14）

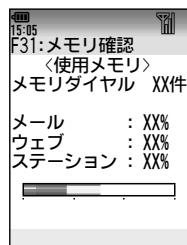
自動的に電話番号が入力されます。
- すでに３件の電話番号を登　しているときは、追加登　できません。
- このあと、他の項目を入力してメモリダイヤルの登　を完了します。
- 受信メールやノートパッドメモリからも追加登　できます。

着信履歴のデータには、発信者番号通知がないものも記憶されます。発信者番号通知がないものは、メモリダイヤルに登　できません。

メモリダイヤルの登録件数を確認する

1 **◉③①の順に押す。**

メモリダイヤルに登　されている件数が表示されます。

■ 確認終了：✆

メモリダイヤル登録時のオプション設定

電話番号やE-mailアドレスを入力したあと（☞P.5-3〜P.5-4）、オプション設定を行うこともできます。オプション設定では、指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メール、メールフォルダの設定ができます。
- １件のメモリダイヤルに複数の電話番号／E-mailアドレスが登　されているときに、一括設定で、電話番号／E-mailアドレスに対してまとめて設定できます。個別設定は、電話番号／E-mailアドレスに対して個別に設定できます。

個別設定が行われているメモリダイヤルに対して一括設定を行うと、個別設定はすべて解除されます。また、一括設定が行われているメモリダイヤルに対して個別設定を行うと、一括設定で設定されていた内容は無視され、個別設定を行った電話番号に対してだけ、設定した内容が有効となります。

個別に着信音などを設定する（音声着信時）

電話がかかってきたときの着信パターンやバイブレータ、モバイルライト／スモールライトの色や点滅のしかたを設定します。

1 **メモリダイヤル入力画面で、「オプション設定」を選び、◉を押す。**

オプション設定の画面が表示されます。

2 **「1指定着信音」を選び、◉を押す。**

3 ***一括設定するとき***

1「**1**一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定するとき

1「**2**個別設定」を選び、◉を押す。

2 電話番号を選び、◉を押す。

3「**1**ON」を選び、◉を押す。

■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉➡操作７へ

指定着信音を解除するとき

1「**3**OFF」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面に戻ります。
- 設定を完了するときは、操作７へ進みます。

4 **「1着信パターン」を選び、◉を押す。**

5 **着信パターンを選び、◉を押す。**

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.9-3

6 **他の項目を設定するときは、「2 バイブ設定」〜「4 ランプ設定」を選び、◉を押す。**

選んだ項目の設定画面が表示されます。

■ バイブレータ／ランプの設定方法：☞P.9-4〜P.9-5

7 （完了）を押す。

指定着信音の相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。

■ 個別設定時：操作７のあと電話番号選択画面表示➡（完了）➡オプション設定画面へ

8 （完了）を押す。

●指定着信音の着信パターンにデータフォルダ内のファイルを設定しているとき、以下の操作を行うと、着信パターンは「**パターン１**」に変更されます。
 ■ファイルの消去／SDメモリカードへ移動
●設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、指定着信音の設定は無効となります。

個別に着信音などを設定する（メール受信時）

登　した相手からメッセージが届いたときの着信パターンなどを設定します。

●ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールコールを設定しても、設定は無効となります。

1 メモリダイヤル入力画面で、「オプション設定」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面が表示されます。

2 「2メールコール」を選び、◉を押す。

3 ***一括設定するとき***

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定するとき

1「2個別設定」を選び、◉を押す。

2 E-mailアドレス／電話番号を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉➡操作７へ

メールコールを解除するとき

1「3OFF」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面に戻ります。

●設定を完了するときは、操作７へ進みます。

4 「1着信パターン」を選び、◉を押す。

5 着信パターンを選び、◉を押す。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.9-3

6 他の項目を設定するときは、「2バイブ設定」～「5着信呼出時間」のいずれかを選び、◉を押す。

選んだ項目の設定画面が表示されます。

■ バイブレータ／ランプの設定方法：☞P.9-4～P.9-5

■ 着信呼出時間の設定方法：「5**着信呼出時間**」選択➡◉➡呼出時間入力（01～99秒）➡◉

7 （完了）を押す。

メールコールの相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。

■ 個別設定時：操作７のあとE-mailアドレス／電話番号選択画面表示➡（完了）➡オプション設定画面へ

8 （完了）を押す。

●メールコールの着信パターンにデータフォルダ内のファイルを設定しているとき、以下の操作を行うと、着信パターンは「**効果音 メール**」に変更されます。
 ■ファイルの消去／SDメモリカードへ移動
●設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、メールコールの設定は無効となります。

着信時に指定した画像を表示する

フォト設定に画像を登　した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたとき、登　している画像がディスプレイに表示されます。

●お買い上げ時には、「OFF」（表示しない）に設定されています。

1 メモリダイヤル入力画面で、「オプション設定」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面が表示されます。

2 「3ピクチャーコール／メール」を選び、◉を押す。

●フォト設定に画像を登　していないとき、「3ピクチャーコール／メール」は選べません。

3 「1ON」を選び、◉を押す。

■ 設定の解除：「2OFF」

4 （完了）を押す。

フォト設定に登　したデータフォルダ内の元の画像を消去すると、ピクチャーコール／メールは解除（OFF）されます。

個別にメールフォルダを設定する

登　した相手から届いたメールや送信したメールを、指定したメールフォルダに自動的に振り分けます。

●ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールフォルダを設定しても、設定は無効となります。

1 メモリダイヤル入力画面で、「オプション設定」を選び、◉を押す。

オプション設定の画面が表示されます。

2 「4メールフォルダ」を選び、◉を押す。

3 「1受信メール自動振分け」または「2送信メール自動振分け」を選び、◉を押す。

4 一括設定するとき

1「1一括設定」を選び、◉を押す。

個別設定するとき

1「2個別設定」を選び、◉を押す。

2 設定するE-mailアドレス／電話番号を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 個別設定の解除：「2OFF」選択➡◉

メールフォルダを解除するとき

1「3OFF」を選び、◉を押す。

●メールフォルダ設定画面に戻ります。

●設定を完了するときは、操作6へ進みます。

5 振り分けるメールフォルダを選び、◉を押す。

振り分けるメールフォルダが設定され、メールフォルダ設定の画面に戻ります。

■ 個別設定時：操作5のあとE-mailアドレス／電話番号選択画面表示➡◎（完了）➡メールフォルダ設定の画面へ

6 ◎（完了）を押す。

オプション設定の画面に戻ります。

7 ◎（完了）を押す。

グループ設定

メモリダイヤルで使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音を設定します。

●指定着信音やメールコールを設定しているとき（☞P.5-7～P.5-8）は、グループ着信の設定は無効となります。

グループ名を変更する

1 ◉37の順に押す。

2「1グループ名変更」を選び、◉を押す。

●「グループ0（名称なし）」はグループ名を変更できません。

3 グループ名を選び、◉を押す。

4 グループ名を入力する。

●最大全角5文字（半角10文字）まで入力できます。

5 ◉を押す。

■ 別のグループ名の変更：操作3～5をくり返す

6 変更を終わるときは、⌒を押す。

グループ着信音を設定する

グループ別に着信音（通常着信、メール着信）を設定します。

●お買い上げ時には、すべてのグループで「OFF」に設定されています。

●グループ着信音を「OFF」に設定しているときは、通常着信音の設定に従います。

1 ◉37の順に押す。

2「2グループ着信」を選び、◉を押す。

3 設定するグループを選び、◉を押す。

●メール機能を「OFF」にしているときは、「2メール着信」は、選択できません。

4「1通常着信」または「2メール着信」を選び、◉を押す。

●着信設定を「OFF」に設定しているときは、「1着信設定」だけ選択できます。（項目名が選択できないときは、利用できません。）

5「1着信設定」を選び、◉を押す。

6「1ON」を選び、◉を押す。

■ 着信設定の解除：「2OFF」選択➡◉

7「2着信パターン」～「6着信呼出時間」を選び、◉を押す。

●着信呼出時間は、メール着信のときだけの設定です。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.9-3

■ バイブレータ／ランプの設定方法：☞P.9-4～P.9-5

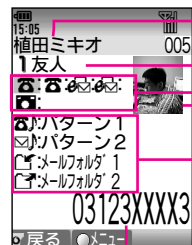
■ 着信呼出時間の設定方法：☞P.5-8操作6

8 設定を終わるときは、⌒を押す。

メモリダイヤルの利用

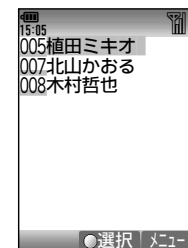
メモリダイヤルから電話をかける

ディスプレイ表示

メモリダイヤル画面の見かたは、次のとおりです。

※「:」（パーソナルデータ）を選んだときは、登　内容が表示されます。また「:」（フォト設定）を選んだときは、登　されている画像が表示されます。いずれの場合も（**戻る**）またはを押すと、メモリダイヤルリストに戻ります。

- メモリ使用禁止を設定（P.13-3）しているときは、メモリダイヤルは使えません。
- シークレットメモリを使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（P.13-7）

メモリダイヤルリストに画像を表示する

メモリダイヤルのフォト設定に登　されている画像を、メモリダイヤルリストの画面に表示することができます。

メモリダイヤルリスト表示（メモリNo検索時）

フォト付メモリダイヤルリスト表示（メモリNo検索時）

1 （TEL）（**検索**）**の順に押す。**

2 （**メニュー**）**を押す。**

3 **「フォト付表示」を選び、を押す。**

フォト設定に登　されている画像が表示されます。

■ リスト表示の設定：フォト付表示時に（**メニュー**）➡「**リスト表示**」選択➡

メモリダイヤルの各種検索方法

メモリダイヤル検索には、次の４つの方法があります。

●お買い上げ時には、「**メモリNo検索**」に設定されています。

検索方法	説明
メモリNo検索	指定したメモリ番号のメモリダイヤルを表示する方法です。
アカサタナ検索	指定した「**ヨミ**」の行のメモリダイヤルを表示する方法です。
グループ検索	指定したグループ内のメモリダイヤルを表示する方法です。
読み検索	入力した「**ヨミ**」ではじまるメモリダイヤルを表示する方法です。

1 （TEL）**を押す。**

前回利用した検索方法の画面が表示されます。

2 （**メニュー**）**を押し、検索方法を選ぶ。**

3 **を押す。**

選んだ検索方法の画面が表示されます。

4 **各検索方法の操作を行い、メモリダイヤルを呼び出す。**（P.5-14）

■ 登　されていないメモリダイヤルを呼び出し：エラー表示➡（他のメモリダイヤルリスト表示）

■ 複数の電話番号やE-mailアドレスを登　時：（他のマーク選択）➡他の電話番号やメールアドレス表示

メモリNo検索	指定したメモリ番号を入力してメモリダイヤルを表示します。

■検索方法を「**メモリNo検索**」に設定してください。（☞P.5-13）

◎（TEL）➡３ケタのメモリ番号（000～499）入力➡メモリダイヤル選択➡◉

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のデータ）／◎（次のデータ）
■ 通話：上記操作のあと

アカサタナ検索	「ヨミ」の行を指定してメモリダイヤルを表示します。

■検索方法を「**アカサタナ検索**」に設定してください。（☞P.5-13）

◎（TEL）➡ヨミの行を指定➡メモリダイヤル選択➡◉

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のデータ）／◎（次のデータ）
■ 通話：上記操作のあと

●読みの行の指定方法

ア行	1	カ行	2	サ行	3	タ行	4
ナ行	5	行	6	マ行	7	ヤ行	8
ラ行	9	ワ行	0	その他	#		

■英字、数字、記号または「**ヨミ**」の入力がされていないデータのときは、「**その他**」になります。

グループ検索	グループを指定してメモリダイヤルを表示します。

■検索方法を「**グループ検索**」に設定してください。（☞P.5-13）

◎（TEL）➡グループ選択➡◉➡メモリダイヤル選択➡◉

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のデータ）／◎（次のデータ）
■ 通話：上記操作のあと

読み検索	「 :」に登　した「ヨミ」を入力してメモリダイヤルを表示します。

■検索方法を「**読み検索**」に設定してください。（☞P.5-13）

◎（TEL）➡ヨミ（最大半角10文字まで）を入力➡◉➡メモリダイヤル選択➡◉

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のデータ）／◎（次のデータ）
■ 通話：上記操作のあと

スピードダイヤルで電話をかける

V402SHのメモリ番号000～099に登　したメモリダイヤルは、簡単な操作で発信できます。

1 *メモリ番号000～009にかけるとき*

❶メモリダイヤルのメモリ番号の下１ケタの数字（０～９）を押す。

メモリ番号010～099にかけるとき

❶メモリダイヤルのメモリ番号の下２ケタの数字（10～99）を押す。

2 **を押す。**

相手の名前と電話番号が表示され、ダイヤルされます。

●登　されていないときは、電話番号未登　の確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

●複数の電話番号が登　されているときは、１番目に登　されている電話番号がダイヤルされます。

●メモリ使用禁止を設定しているときは、この機能は使用できません。（☞P.13-3）

●シークレットメモリを使って電話をかけるときは、この操作の前にシークレットモードに設定しておいてください。（☞P.13-7）
通常モードのままで操作すると、確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

メモリダイヤルの登録内容をコピーする

メモリダイヤルに登　している電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータを文字入力画面にコピーすることができます。

1 **複写したいメモリダイヤルを呼び出す。**

■ 呼び出し方法：☞P.5-13～P.5-14

2 **複写する電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータを選ぶ。**

3 **◉を押す。**

4 **「コピー」を選び、◉を押す。**

選んだ電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータが記憶されます。

■ 以降の操作：☞P.4-21操作５以降

メモリダイヤルの編集

メモリダイヤルを修正する

1 修正したいメモリダイヤルを呼び出す。

2 ◉を押す。

3 「修正」を選び、◉を押す。

4 修正する項目を選び、◉を押す。

選んだ項目が修正できるようになります。
●このあと、登　時と同様の操作で修正を行います。

5 修正が終われば、◉を押す。

メモリダイヤル入力画面が表示されます。
■ 続けて他の項目を修正：操作４～５をくり返す
■ 操作の中止：（取消）➡「1YES」選択➡◉

6 （登録）を押す。

7 ◉を押す。

8 「1YES」を選び、◉を押す。

変更した内容が元のメモリ番号に登　されます。
■ 別のメモリ番号で登　：「2NO」選択 ➡◉➡ メモリ番号入力（または）

注意　名前を修正したとき､「ヨミ」は自動的に修正されません｡「ヨミ」も修正してください。

メモリダイヤルを消去する

1 消去したいメモリダイヤルを呼び出す。

2 ◉を押す。

3 「消去」を選び、◉を押す。

4 「1YES」を選び、◉を押す。

注意　指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールが登　されているメモリダイヤルを消去しても、データフォルダ内のメロディやオリジナル着信音、ボイスファイル、画像は消去されません。

テレビ／FM機能

テレビ／FMをご利用になる前に

テレビ／FMを視聴する前に、次のことをご確認ください。

- テレビ／FMをご利用中は、V402SHが温かくなります。長時間直接肌に触れさせたり、紙／布／布団などをかぶせたりしないでください。やけどや故障の原因となります。
- V402SHのテレビとFMは日本国内専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中は、テレビ／FMを視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられるため、交通事故の原因になります。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道では特にご注意ください。
- テレビ／FMの視聴中にメールを受信すると、テレビ／FMの映像や音声に影響を与えることがあります。
- テレビ／FMの視聴中に他の携帯電話を近づけると、テレビ／FMの映像や音声に影響を与えることがあります。

テレビ／FM利用時のご注意

電池残量をご確認ください。

- 電池レ　ル表示が「」以下のときは、テレビ／FMは起動できません。視聴中に電池レ　ル表示が「」になると、テレビ／FMは自動的に終了します。
  また、充電しながらでも、電池レ　ル表示が「」のときは、テレビ／FMは起動できません。

オートオフ機能により、テレビ／FMは自動的に終了します。

- 自動的にテレビ／FMが終了するまでの時間は、変更できます。（☞P.6-14）

テレビ／FMの音声出力はモノラルです。

- 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを使用しても、音声の出力はモノラルのままです。

テレビ／FMの視聴は、内蔵のホイップアンテナを伸ばすか、付　品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを取り付けてください。または、オプション品のTVアンテナ接続ケーブルで外部アンテナに接続してください。

- 内蔵のホイップアンテナをご使用になるときは、十分引き出してください。ただし、放送局が極端に近いときは、アンテナを縮めたほうがテレビがきれいに映ることがあります。
- 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクをご使用になるときは、コードを伸ばすことをおすすめします。コードを伸ばしていないと、テレビ／FMの電波を十分に受信できないことがあります。
- 使用するアンテナは受信するチャンネルによって異なります。詳しくは、P.6-4の表を参照してください。

充電について

充電しながらテレビ／FMを視聴できます。ただし、オートオフ機能により充電中でも30分または60分で自動的に終了します。

- 充電しながらテレビを視聴するときは、指定の急速充電器をご使用ください。
  指定の急速充電器は、ノイズを抑えることができます。
- 充電中に急速充電器のコードをアンテナに近づけると、映像が乱れることがあります。
- テレビ／FMを視聴しながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかります。

テレビ／FM視聴中に電話などの着信があると

テレビ／FM視聴中でも、以下の機能を利用できます。操作終了後は、再びテレビ／FMの視聴画面に戻ります。

- 電話発信（付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイク利用時のみ：☞P.14-36）
- 電話着信
- メール着信 ※1
- ステーション受信※1
- ウェブ受信 ※1
- アラーム起動※1
- 受信メールボックスの確認／受信メールボックスからの操作（返信、メモリダイヤル登録など）※2
- ウェブ接続（リンク先アクセス／NOW ON AIR情報取得）※2

※1　着信時優先動作（☞P.6-15）を、「**着信優先動作／アラーム優先動作**」に設定しているときです。

※2　データを編集している場合に、電話着信などがあったときは、操作終了後はテレビ／FMの視聴画面には戻りません。

テレビ／FM視聴中に電話／ステーションの緊急情報の着信があると

■ テレビ／FMは自動的に終了します。通話または情報確認終了後、各機能の画面に戻ります。

テレビ／FM視聴中に自動電源OFFの設定時刻になると

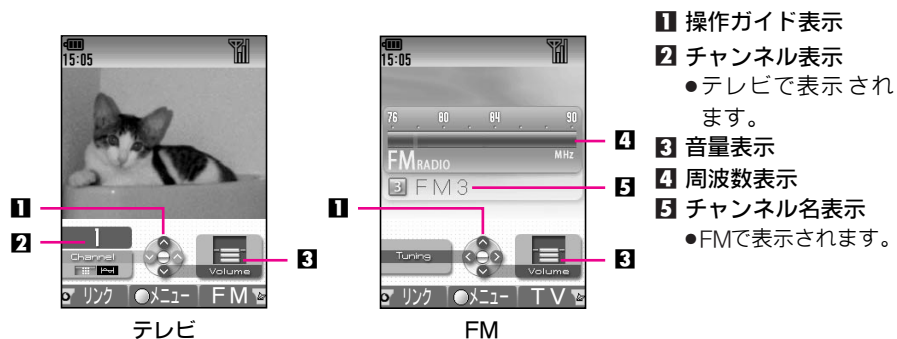
■ 電源を切るかどうかの確認画面が表示されます。
- 約1分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び、◉を押すと電源が切れます。
- テレビ／FMの視聴を継続するときは、「2NO」を選び、◉を押します。

テレビ／FM視聴中に動作しない機能

■ テレビ／FM視聴中は、次の機能は利用できません。
- スクリーンアニメ　●スポットライト　●パネルセーブ

ディスプレイ

テレビ　FM

1. 操作ガイド表示
2. チャンネル表示
   - テレビで表示されます。
3. 音量表示
4. 周波数表示
5. チャンネル名表示
   - FMで表示されます。

- テレビは、表示方向を切り替えることができます。（☞P.6-17）

電波とアンテナについて

電波について

電波の受信状況が悪い次のような場所では、画質や音質が劣化したり、視聴できないことがあります。

- 放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- 山間部やビルの陰
- 移動中の電車や自動車の中
- 高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- 線路や高速道路の近くなど
- 地下街、トンネルの中など
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

テレビは受信地域に応じて、感度のよいチャンネルを自動で選局できます。（オート選局：☞P.6-7）

利用できるアンテナ

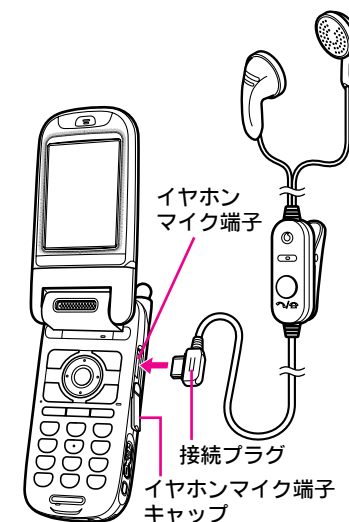
付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクやオプション品のTVアンテナ接続ケーブルを利用できます。アンテナ入力は接続内容によって、下表のとおり自動で切り替わります。

接続内容	テレビ			FM
	VHF	UHF	CATV	
接続なし	内蔵ホイップアンテナ	内蔵ホイップアンテナ	ー	内蔵ホイップアンテナ
TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク	TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク	内蔵ホイップアンテナ	ー	TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク
TVアンテナ接続ケーブル	TVアンテナ接続ケーブル	TVアンテナ接続ケーブル	TVアンテナ接続ケーブル	TVアンテナ接続ケーブル

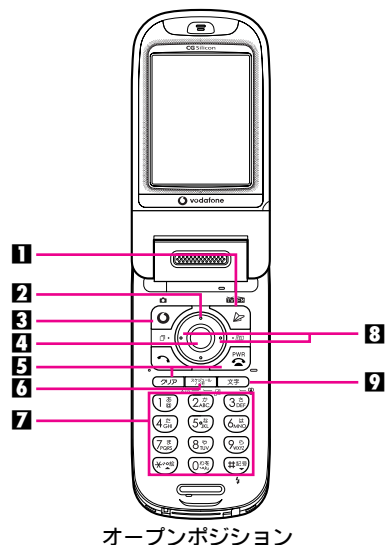
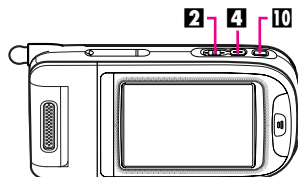
CATVの受信ができるのは、オプション品のTVアンテナ接続ケーブルを接続しているときだけです。

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用する

1 V402SHのイヤホンマイク端子キャップを開く。

2 イヤホンマイク端子に、付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

- 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクはV402SH専用品です。他の携帯電話には接続しないでください。正常に動作しないことがあります。
- テレビ／FMを視聴中に付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを、V402SHや内蔵のホイップアンテナ、急速充電器、卓上ホルダーに巻き付けたり、急速充電器のコードと束ねたりしないでください。電波を正常に受信できなくなることがあります。
- テレビを利用中に、付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを抜くと、選択されていたチャンネルが受信できなくなったり、受信感度が落ちることがあります。

- 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクで音声を聴くときは、音声の出力先を「**イヤホン優先**」に切り替えてください。（☞P.6-16）
- テレビ／FM視聴中でも、付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを利用して電話をかけることができます。通話終了後は、再びテレビ／FMの視聴画面に戻ります。

テレビ／FMで使用するボタン

オープンポジション

ビューアポジション

1 テレビ／FM起動、テレビ⇔FM切替
待受画面で1秒以上押すと、前回使用していたテレビまたはFMが起動します。
また、視聴中に押すとテレビ⇔FMが切り替わります。

2 音量調整
（音量を上げる）／（音量を下げる）

3 リンク先アクセス（☞P.6-16）、NOW ON AIR情報取得（☞P.6-9）
テレビ／FM視聴中に使います。NOW ON AIR情報取得は、FM聴取中に1秒以上押します。

4 メニュー表示、音声ミュート
テレビ／FM視聴中に使います。音声ミュートは1秒以上押します。

5 テレビ／FM終了

6 横／縦表示切替（テレビ）
テレビ視聴中に、横または縦に表示を切り替えるときに使います。
周波数入力（FM）
FM聴取中に、周波数を入力するときに使います。

7 チャンネルのダイレクト選局
お買い上げ時には、1～9、＊、0、#のダイヤルボタンに各チャンネルが設定されています。（☞P.6-10）
●FMでは1秒以上押すと、現在聴取している周波数を上書き登　できます。

8 チャンネルの選局
（前へ）／（次へ）
テレビでは、1秒以上押すと自動選局できます。（オート選局：☞P.6-7）

9 チャンネル／音量表示
テレビの視聴画面を横表示にしているときだけ利用できます。また、テレビ／FM視聴中に1秒以上押すと、マナーモードの設定／解除ができます。

10 テレビ／FMの起動および終了、チャンネルの選局（ビュースタイルだけ）
●起動するときは、待受画面で1秒以上押します。終了するときは、テレビ／FM視聴中に1秒以上押します。
●チャンネルの選局は、次のチャンネルの選局だけできます。

注意
長押しでのテレビ／FM起動は、テレビ／FM間共通の機能です。一度起動すると、前回起動していたテレビまたはFMが終了時の設定で起動するようになります。
（お買い上げ時「**テレビ**」）

テレビを見る

1 ◉を押したあと、「TV/FM」を選び、◉を押す。

2 「1TV起動」を選び、◉を押す。
お買い上げ時には、「**設定1**」の表示チャンネル1（1ch）の視聴画面が表示されます。
■ Vアプリ一時停止中：終了確認画面表示➡「1YES」選択➡◉
■ テレビで使用するボタン：☞P.6-6

3 チャンネルを選局する。
●ダイヤルボタンで選局（☞P.6-6）するか、で1チャンネルずつ選局します。
●スキップ設定（☞P.6-12）しているチャンネルのボタンを押したときは、チャンネルは変わりません。
●設定にかかわらずチャンネルを視聴するときは、マニュアル選局を行ってください。
■ 音量調整：（上げる）／（下げる）
■ 音声ミュート：◉（1秒以上）
■音声ミュートの解除：上記操作のあと、再度◉（1秒以上）
■音声ミュート中に／を押すと、ミュート前の音量＋1／－1の音量で解除できます。（ただし、音量5または音量0にしていたときは、同じ音量のまま解除されます。）

補足
オート選局
●受信地域に応じて感度のよいチャンネルを自動で選局するときは、テレビ視聴画面でまたはを1秒以上押します。
受信できるチャンネルがなかったとき
●選局を続けるかどうかの確認画面が表示されます。「2NO」を選び、◉を押すと、オート選局を開始したときのチャンネルに戻ります。

4 テレビを終了するときは、またはクリアを押す。
●次回起動時は、終了時に起動していたチャンネル／表示方向／音量／音声出力先でテレビが起動するようになります。ただし、前回FMを利用していたときは、FM利用時の音量／音声出力先が反映されます。

登録済のチャンネルを受信する

■「**設定1**」～「**設定5**」にあらかじめ登　したチャンネル（お買い上げ時：☞P.6-10）を視聴できます。
●画面のチャンネル表示には、チャンネルが登　されているダイヤルボタン（1～9、＊、0、#）が表示されます。
●チャンネルにリンク先を登　しているときは、画面左下の「**リンク**」を押すと、登　しているリンク先へアクセスすることができます。

マニュアル選局

■「**設定1**」～「**設定5**」に設定されていないチャンネルを視聴するときは、次の操作を行います。
テレビ視聴中に◉（**メニュー**）➡「**1チャンネル設定**」選択➡◉➡「**6マニュアル選局**」選択➡◉
●受信できるチャンネル（☞P.6-10）の範囲で、手動でチャンネルを選局できる状態になります。で1チャンネルずつ送ったり、オート選局でチャンネルを選んでください。
●画面のチャンネル表示には、受信しているチャンネル（例：U13）が表示されます。

FMを聴く

1 ◉を押したあと、「TV/FM」を選び、◉を押す。

2 「2FM起動」を選び、◉を押す。

■ Vアプリ一時停止中：終了確認画面表示➡「1YES」選択➡◉

■ FMで使用するボタン：☞P.6-6

■ NOW ON AIR情報の取得：☞P.6-9

3 チャンネルを選局する。

●ダイヤルボタンで選局（☞P.6-6）するか、◎で -0.1MHz／+0.1MHzずつ選局します。◎は1秒以上押すと、連続して選局できます。

■ 音量調整：◎（上げる）／◎（下げる）

■ 音声ミュート：◉（1秒以上）

- ▪音声ミュートの解除：上記操作のあと、再度◉（1秒以上）
- ▪音声ミュート中に◎／◎を押すと、ミュート前の音量＋1／－1の音量で解除できます。（ただし、音量5または音量0にしていたときは、同じ音量のまま解除されます。）

補足　FM聴取中にダイヤルボタンを1秒以上押すと、現在受信している周波数を押したボタンに上書き登　できます。（上書きしても、個別設定のチャンネル名、URLなどの設定は変わりません。）

4 FMを終了するときは、◎または〔クリア〕を押す。

●次回起動時は、終了時に起動していたチャンネル／音量／音声出力先でFMが起動するようになります。ただし、前回テレビを利用していたときは、テレビ利用時の音量／音声出力先が反映されます。

◎で選局中に登録済の周波数を受信すると

■ 設定されているチャンネル名（お買い上げ時：☞P.6-10）が表示されます。

●チャンネルにリンク先を登　しているときは、画面左下の「◎ リンク」を押すと、登　しているリンク先へアクセスすることができます。

周波数の直接選局

■FMの聴取画面で〔スケジュール〕を押すと、周波数が直接入力できる状態になります。このあと、受信できる周波数（☞P.6-10）の範囲で数字を入力し、◉を押します。

受信エリアを設定する

受信エリアを自動または手動で設定します。自動で設定するときは、ステーションの位置情報を利用します。

●手動で設定できる受信エリアおよび都道府県名は、「**受信エリア一覧**」でご確認ください。

1 FM聴取中に、◉（メニュー）を押す。

2 「5NOW ON AIR」を選び、◉を押す。

3 「2受信エリア設定」を選び、◉を押す。

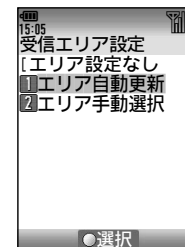
受信エリア設定画面が表示されます。

4 「1エリア自動更新」または「2エリア手動選択」を選び、◉を押す。

●「**1エリア自動更新**」を選んだときは、エリアが設定され、受信エリア設定画面に戻ります。

5 受信エリアを選び、◉を押す。

6 都道府県を選び、◉を押す。

エリアが設定され、受信エリア設定画面に戻ります。

■NOW ON AIR受信エリア一覧

受信エリア	都道府県名
1北海道・東北エリア	1北海道、2青森県、3岩手県、4宮城県、5秋田県、6山形県、7福島県
2北陸・甲信越エリア	1新潟県、2山梨県、3長野県、4富山県、5石川県、6福井県
3関東エリア	1茨城県、2栃木県、3群馬県、4埼玉県、5千葉県、6東京都、7神奈川県
4東海エリア	1静岡県、2愛知県、3岐阜県、4三重県
5関西エリア	1滋賀県、2京都府、3大阪府、4兵庫県、5奈良県、6和歌山県
6中国エリア	1鳥取県、2島根県、3岡山県、4広島県、5山口県
7四国エリア	1徳島県、2香川県、3愛媛県、4高知県
8九州・沖縄エリア	1福岡県、2佐賀県、3長崎県、4熊本県、5大分県、6宮崎県、7鹿児島県、8沖縄県

NOW ON AIR情報を取得する

現在聴取しているFM局の情報（曲名／アーティスト名など）をディスプレイに表示できます。（番組によっては、情報提供されないことがあります。）

●あらかじめ、受信エリアを設定しておいてください。

●NOW ON AIR情報を取得したときのURLは、履歴には残りません。

1 FM聴取中に、◉（メニュー）を押す。

2 「5NOW ON AIR」を選び、◉を押す。

3 「1情報取得」を選び、◉を押す。

情報の取得が完了すると、受信結果が表示されます。

●このあと〔クリア〕／◎（**戻る**）や◎で情報の確認を終わると、FMの聴取画面に戻ります。

チャンネルを設定する

よく利用するチャンネルを設定しておくと、次回簡単な操作でテレビ／FMを視聴できます。受信できるチャンネルは次のとおりです。

テレビ	VHF1ch～VHF12ch、UHF13ch～UHF62ch、CATV13ch～CATV63ch※
FM	76.0MHz～90.0MHz

※ オプション品のTVアンテナ接続ケーブルを接続しているときだけ設定できます。

- テレビは5パターン（「設定1」～「設定5」）登　できます。
- あらかじめダイヤルボタンに登　されている受信チャンネルの割り当ても変更できます。（☞P.6-13）
- お買い上げ時には、次のとおりに設定されています。

■テレビ

設定名	ボタン	受信チャンネル	画面表示
設定1～設定5	1	V1（VHF1ch）	1
	2	V2（VHF2ch）	2
	3	V3（VHF3ch）	3
	4	V4（VHF4ch）	4
	5	V5（VHF5ch）	5
	6	V6（VHF6ch）	6
	7	V7（VHF7ch）	7
	8	V8（VHF8ch）	8
	9	V9（VHF9ch）	9
	*	V10（VHF10ch）	*
	0	V11（VHF11ch）	0
	#	V12（VHF12ch）	#

■FM

チャンネル名	ボタン	受信周波数	画面表示
FM1	1	77.8（FM名古屋）	1
FM2	2	78.7（FM九州）	2
FM3	3	80.0（FM東京）	3
FM4	4	80.2（FM802）	4
FM5	5	80.7（FM愛知／FM福岡）	5
FM6	6	81.3（FMジャパン）	6
FM7	7	81.9（NHK横浜）	7
FM8	8	82.5（NHK東京／NHK名古屋）	8
FM9	9	84.7（横浜FM放送）	9
FM*	*	84.8（NHK福岡）	*
FM0	0	85.1（FM大阪）	0
FM#	#	88.1（NHK大阪）	#

テレビの受信チャンネルを設定する

自動で設定する

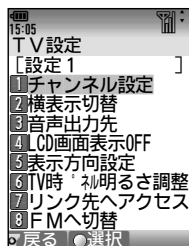
テレビ受信できるチャンネルの中から、受信地域に応じて感度のよいチャンネルを受信し、自動的に12個のチャンネルを設定できます。

1 テレビ視聴中に、◉（メニュー）を押す。

2「1チャンネル設定」を選び、◉を押す。

チャンネルの設定画面が表示されます。

3「設定1」～「設定5」のいずれかを選び、✉を押す。

4「1自動チャンネル設定」を選び、◉を押す。

5「1YES」を選び、◉を押す。

自動設定中のメッセージが表示されます。自動設定が完了すると、見つかったチャンネルが1から順に設定されます。

■ 受信可能チャンネルなし：確認画面表示➡「1YES」／「2NO」選択➡◉

補足　すべてのチャンネルを検索し、設定できるチャンネルが12個に満たないとき、残りのチャンネルは、自動設定を開始したときのままです。

補足　設定名（「設定1」～「設定5」）は、受信した地域の名前などに変更できます。（☞P.6-12）

個別に設定する

自動設定したあとの受信チャンネルや、スキップ設定を個別に設定します。

1 テレビ視聴中に、◉（メニュー）を押す。

2「1チャンネル設定」を選び、◉を押す。

チャンネルの設定画面が表示されます。

3「設定1」～「設定5」のいずれかを選び、✉を押す。

4「2個別チャンネル設定」を選び、◉を押す。

5 チャンネルを選び、◉を押す。

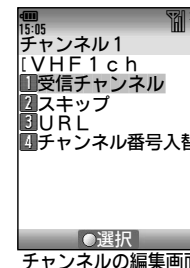
6「1受信チャンネル」を選び、◉を押す。

現在設定されているチャンネル画面が受信表示されます。

- ◎を使ってオート選局（☞P.6-7）したり、手動で1チャンネルずつ送り、設定するチャンネルを選びます。

7 ◉を押す。

チャンネルの編集画面に戻り、設定したチャンネルが表示されます。

チャンネルの編集画面

チャンネル設定を切り替える

1 テレビ視聴中に、◉（メニュー）を押す。

2「1チャンネル設定」を選び、◉を押す。

3「設定1」～「設定5」のいずれかを選び、◉を押す。

設定名の変更

■ 設定名（「**設定1**」～「**設定5**」）を変更するときは、次の操作を行います。
テレビ視聴中に◉（**メニュー**）➡「1**チャンネル設定**」選択➡◉➡設定名（「**設定1**」など）選択➡（**メニュー**）➡「3**設定名変更**」選択➡◉➡名前入力（最大全角9文字まで）➡◉

- 何も入力せずに◉を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 受信した地域の名前などを付けておくと便利です。

チャンネルのスキップ設定

■ お買い上げ時には、すべてのチャンネルが表示されるよう「OFF」に設定されています。次の操作を行うと、テレビ画面を⊙で選局したときに、見ないチャンネルを表示しないよう設定できます。
テレビ視聴中に◉（**メニュー**）➡「1**チャンネル設定**」選択➡◉➡設定名選択➡（**メニュー**）➡「2**個別チャンネル設定**」選択➡◉➡チャンネル選択➡◉➡「2**スキップ**」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉

- 12個のチャンネルすべてをスキップ設定することはできません。

6 テレビ／FM機能

FMの受信チャンネルを設定する

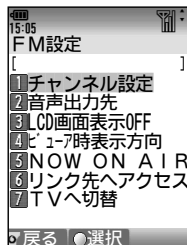
1 **FM聴取中に、◉（メニュー）を押す。**

2 **「1チャンネル設定」を選び、◉を押す。**
チャンネルの設定画面が表示されます。

3 **チャンネル名を選び、◉を押す。**
チャンネルの編集画面が表示されます。

4 **「2受信チャンネル」を選び、◉を押す。**
現在設定されている周波数の受信画面が表示されます。

- ⊙を押すごとに-0.1MHz、⊙を押すごとに+0.1MHzの微調整ができます。1秒以上押すと、連続して調整できます。

5 **◉を押す。**
チャンネルの編集画面に戻ります。

チャンネル名の変更

■ 微調整して設定したチャンネルの名前を、次の操作で変更できます。
上記操作5のあと「1**チャンネル名変更**」選択➡◉➡名前入力（最大全角7文字まで）➡◉

- 何も入力せずに◉を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

その他のチャンネル設定関連機能

リンク先の登録 各チャンネルにリンク先を登録し、簡単な操作でアクセスできるようにします。

お買い上げ時 OFF

テレビのリンク先登録
テレビ視聴中に◉（メニュー）➡「1チャンネル設定」選択➡◉➡設定名選択➡（メニュー）➡「2個別チャンネル設定」選択➡◉➡チャンネル選択➡◉➡「3URL」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡URL入力➡◉

FMのリンク先登録
FM聴取中に◉（メニュー）➡「1チャンネル設定」選択➡◉➡チャンネル名選択➡◉➡「3URL」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡URL入力➡◉

チャンネル番号入替 チャンネル番号を入れ替えることで、ダイヤルボタンの割り当てを変更できます。

テレビのチャンネル番号入替
テレビ視聴中に◉（メニュー）➡「1チャンネル設定」選択➡◉➡設定名選択➡（メニュー）➡「2個別チャンネル設定」選択➡◉➡入れ替えるチャンネル選択➡◉➡「4チャンネル番号入替」選択➡◉➡入れ替え先のチャンネル選択➡◉

FMのチャンネル番号入替
FM聴取中に◉（メニュー）➡「1チャンネル設定」選択➡◉➡入れ替えるチャンネル名選択➡◉➡「4チャンネル番号入替」選択➡◉➡入れ替え先のチャンネル選択➡◉

設定リセット 受信チャンネルや設定の名前など、変更していた内容をお買い上げ時の状態に戻します。

テレビの設定リセット
テレビ視聴中に◉（メニュー）➡「1チャンネル設定」選択➡◉➡設定名選択➡（メニュー）➡「4設定リセット」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

FMの設定リセット
FM聴取中に◉（メニュー）➡「1チャンネル設定」選択➡◉➡（リセット）➡「1YES」選択➡◉

設定リセットすると、すべてのチャンネルがお買い上げ時の状態に戻ります。

6 テレビ／FM機能

便利なテレビ／FM機能

便利な機能には、テレビ／FM共通で利用できるものと、テレビだけで利用できる機能があります。

テレビ／FM共通の機能

●「リンク先アクセス：（リンク）」と「テレビ／FMへ切替：（FM／TV）」は、ボタンで簡単に操作することもできます。（☞P.6-6）

オートオフ時間設定	テレビまたはFMを起動してから、自動的に終了するまでの時間を設定します。

お買い上げ時30分

◉➡「TV/FM」選択➡◉➡「6オートオフ設定」選択➡◉➡「1オートオフ時間設定」選択➡◉➡「1 30分」／「2 60分」選択➡◉

オートオフ時間設定は、テレビ／FM共通の設定です。テレビまたはFMで個別に設定することはできません。

本体クローズ終了設定	V402SHをクローズポジションにしたとき、自動的にテレビ／FMを終了するかどうかを設定します。

お買い上げ時OFF（終了しない）

◉➡「TV/FM」選択➡◉➡「6オートオフ設定」選択➡◉➡「2本体クローズ終了」選択➡◉➡「1ON」（する）／「2OFF」（しない）選択➡◉

本体クローズ終了設定は、テレビ／FM共通の設定です。テレビまたはFMで個別に設定することはできません。

テレビ／FM受信禁止	テレビまたはFMを視聴できないようにします。

お買い上げ時OFF

テレビの受信を禁止する

◉➡「TV/FM」選択➡◉➡「3TV受信禁止」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1ON」選択➡◉

FMの受信を禁止する

◉➡「TV/FM」選択➡◉➡「4FM受信禁止」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1ON」選択➡◉

テレビ／FM受信禁止の解除

◉➡「TV/FM」選択➡◉➡「3TV受信禁止」／「4FM受信禁止」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「2OFF」選択➡◉

着信時優先動作	テレビ／FM視聴中に着信などがあったときの動作を設定します。

お買い上げ時着信通知表示／アラーム通知表示

メール／ステーション／ウェブ着信時の優先動作設定

◉➡「TV/FM」選択➡◉➡「5着信時優先動作」選択➡◉➡「1メール着信」～「4ウェブ着信」選択➡◉➡「1着信優先動作」／「2着信通知表示」選択➡◉

アラーム通知の優先動作設定

◉➡「TV/FM」選択➡◉➡「5着信時優先動作」選択➡◉➡「5アラーム通知」選択➡◉➡「1アラーム優先動作」／「2アラーム通知表示」選択➡◉

●各設定の内容は、次のとおりです。

着信（アラーム）優先動作	テレビ／FMは自動的に一時停止し、着信などが受けられるようになります。
着信（アラーム）通知表示	テレビ／FMは継続し、通知内容がディスプレイ上部に表示されます。（横表示でテレビ視聴中のときは、通知内容は表示されません。）

着信時優先動作は、テレビ／FM共通の設定です。テレビまたはFMで個別に設定することはできません。

LCD画面表示OFF	ディスプレイの表示を消し、音声だけを聞くようにします。

お買い上げ時表示ON

テレビ／FM視聴中に◉（メニュー）➡「LCD画面表示OFF」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

●テレビ／FMを終了するたびに、お買い上げ時の状態に戻ります。
●ディスプレイの表示を消しているときも／で音量調整、◉／（１秒以上）で音声ミュートが利用できます。
●もう一度画面を表示するときは、／以外のボタンを押します。

本体クローズ終了（☞P.6-14）を「OFF」にしているときにクローズポジションにすると、ここでの設定にかかわらず自動的に画面表示は消えます。
このあとオープンポジションにすると、再び画面が表示されます。（「LCD画面表示OFF」に設定したあと、クローズポジションにしていたときは、画面表示はOFFのままです。）

ビューア時表示方向	ビューアポジションの縦方向で視聴するときのディスプレイを、180度回転させて表示します。

お買い上げ時 表示方向１（オープンポジションと同じ）

テレビのビューア時表示方向

テレビ視聴中に◉（メニュー）➡「5表示方向設定」選択➡◉➡「1ビューア時表示方向」選択➡◉➡「2表示方向２」選択➡◉

- ここでの設定は、「**ビューア時表示方向設定**」（☞P.8-8）に反映されます。
- オープンポジションでも設定はできますが、表示方向は切り替わりません。

FMのビューア時表示方向

FM聴取中に◉（メニュー）➡「4ビューア時表示方向」選択➡◉➡「2表示方向２」選択➡◉

- ここでの設定は、「**ビューア時表示方向設定**」（☞P.8-8）に反映されます。
- オープンポジションでも設定はできますが、表示方向は切り替わりません。

音声出力先切替	音声の出力先を「**イヤホン優先**」または「**スピーカー**」に設定します。

お買い上げ時 イヤホン優先

テレビ／FM視聴中に◉（メニュー）➡「音声出力先」選択➡◉➡「1イヤホン優先」／「2スピーカー」選択➡◉

- マナーモード設定中でも、付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクからの音声は流れます。

- 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを差し込んだだけでは、出力先は切り替わりません。上記の操作で切り替えてください。
- 音声出力先はテレビ／FMで連動するため、どちらかで音声出力先を切り替えると、テレビ／FM両方に設定が反映されます。

リンク先へアクセス	登　しておいたリンク先へアクセスします。

■あらかじめリンク先を登　（☞P.6-13）しておいてください。

テレビ／FM視聴中に◉（メニュー）➡「リンク先へアクセス」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡「1送信」選択➡◉

■ テレビ／FM視聴画面に戻る：（戻る）➡「1YES」選択➡◉➡「3キャンセル」選択➡◉

- アクセスした内容は、履歴（☞P.7-8）として残ります。
- リンク先を登　（☞P.6-13）していないときは、利用できません。

登録されているリンク先以外へアクセスするとき

テレビ／FM視聴中に◉（メニュー）➡「リンク先へアクセス」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡「2編集」選択➡◉

■ 以降の操作：☞P.7-8「URLを入力しアクセスする」操作４以降
■ テレビ／FM視聴画面に戻る：（戻る）➡「1YES」選択➡◉➡「2キャンセル」選択➡◉

- ここで編集したアドレスは、チャンネル設定のURL（☞P.6-13）には反映されません。

- リンク先アクセスは、マニュアル選局中（☞P.6-7）は利用できません。
- ウェブを「OFF」（利用禁止）に設定しているとき、またはインターネットアクセス規制を設定しているときは、利用できません。

テレビ／FMへ切替	テレビからFMへ、FMからテレビへ切り替えます。

テレビ／FM視聴中に◉（メニュー）➡「8FMへ切替」／「7TVへ切替」選択➡◉

便利なテレビ機能

ディスプレイの明るさや表示方向など、テレビ視聴中の表示に関する設定が行えます。

TV時パネル明るさ調整	テレビ視聴中のディスプレイの明るさを３段階で調整します。

お買い上げ時 明るさ３

テレビ視聴中に◉（メニュー）➡「6TV時パネル明るさ調整」選択➡◉➡（明るくする）／（暗くする）➡◉

ここでの設定は、「**パネル明るさ調整**」（☞P.8-7）には反映されません。

横／縦表示切替	テレビ視聴中のディスプレイの表示を横または縦に切り替えます。

お買い上げ時 縦表示

テレビ視聴中に◉（メニュー）➡「2横表示切替」／「2縦表示切替」選択➡◉

- を押して、簡単に操作することもできます。（☞P.6-6）

横表示でのテレビ視聴

■ 横表示でテレビを視聴するときは、画面の左上にチャンネル、右下に音量の表示が、次の場合などに約３秒間表示されます。表示中に を押すと、表示を消すことができます。
- チャンネルまたは音量の調整を行ったとき
- テレビを起動したとき
- メニュー画面や／ボタン操作からテレビの視聴画面に戻ったとき
- を押したとき

表示方向設定	横表示にしているときの表示方向を設定します。

お買い上げ時 表示方向１

テレビ視聴中に◉（メニュー）➡「5表示方向設定」選択➡◉➡「2横画面表示方向」選択➡◉➡「1表示方向１」／「2表示方向２」選択➡◉

- 縦表示にしているときにも設定はできますが、表示方向は切り替わりません。

カメラ機能

カメラをご利用になる前に

V402SHは有効画素数130万画素のCCDモバイルカメラを搭載し、静止画や動画の撮影が可能です。

- 静止画（☞P.7-6）　●動画（☞P.7-16）
- カメラ機能で使用するボタン（☞P.7-4）　●各種撮影方法（☞P.7-19）

※ カメラ機能はオープンポジション、ビューアポジションで利用できるため、操作方法は以下のように併記して説明しています。
例：⊜（Ⓒ）または◉　⊜（Ⓒ）／◉

■保存形式や登録場所について

モード	保存形式	登録場所
写メールモード	JPEGファイル（JPEGハイカラー）、PNGファイル（PNGノーマル256色／PNGソフト256色）	V402SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）（☞P.12-3）
壁紙モード	JPEGファイル	V402SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）（☞P.12-3）
デジタルカメラモード	JPEGファイル	V402SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（☞P.11-7）
アクションスナップモード	Nancyファイル	V402SHまたはSDメモリカードのアクションスナップフォルダ（☞P.11-8）

撮影前のご注意

- レンズカバー（☞P.1-7）に指紋や油脂がつくとピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズカバーをきれいにしてください。

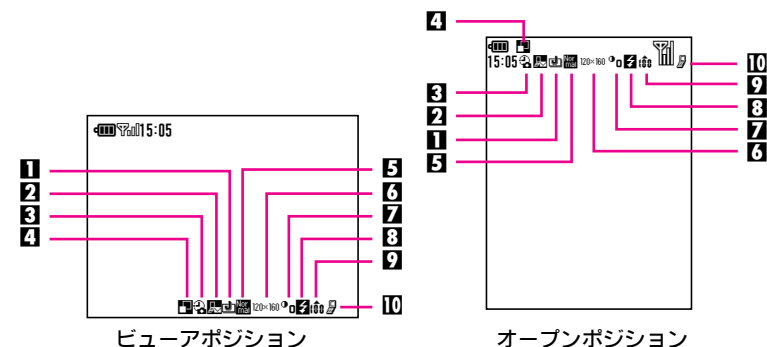
カメラ利用時のご注意

- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。V402SHが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所においてセルフタイマー（☞P.7-20）で撮影してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- V402SHを暖かい場所に長時間置いていたあとで、撮影したり画像を登　したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

自動終了

■ モバイルカメラ起動中、画像を撮影する前に約５分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し待受画面に戻ります。

ディスプレイ

- 連写モード時のマークについては、P.7-13を参照してください。

1 保存形式表示（写メールモード）（☞P.7-23）
：JPEGハイカラー／：PNGノーマル256色／：PNGソフト256色

2 モード表示（☞P.7-24）
：写メールモード／：壁紙モード／：デジタルカメラモード／
：アクションスナップモード

3 セルフタイマー ON表示（☞P.7-20）

4 画像表示（☞P.7-19）
：等倍／：２倍

5 画質表示（☞P.7-23）
：ノーマル／：ファイン

6 撮影サイズ表示（☞P.7-22）／マイク表示（アクションスナップモード：☞P.7-23）

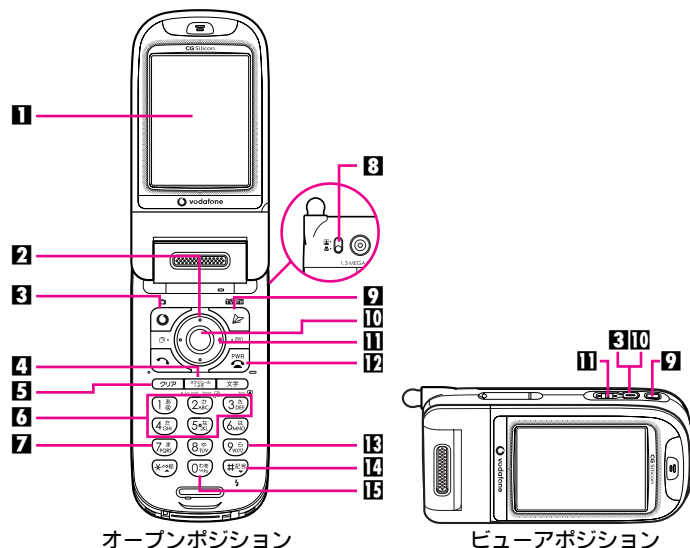
7 明るさ表示（☞P.7-22）
-2　-1　0　+1　+2
暗い ←標準→ 明るい

8 モバイルライトON表示（☞P.7-21）
：通常／：オート／：接写

9 登録可能件数表示／登録可能秒数表示
- 100件以上撮影（登　）可能なときは、「」が表示されます。
- ５件以下になると、背景が赤く表示されます。

10 登録先表示（☞P.7-24）
：本体（V402SH）／：メモリカード（SDメモリカード）

カメラ機能で使用するボタン

モバイルカメラを利用するときは、次のボタンを使用します。

オープンポジション　　ビューアポジション

- ビューアポジションの主な操作は、メニュー画面から行います。詳しくは、各機能のページを参照してください。
- 撮影モードによって利用できる機能は異なります。各モードで利用できる機能（☞P.7-10、P.7-18）などでご確認ください。

1ファインダー

オープンポジションは縦向きに、ビューアポジションは横向きに表示されます。（ビューアポジションでも、メニュー項目を選ぶ表示などは縦向きに表示されます。）

2明るさ調整（☞P.7-22）

（明るくなる）／（暗くなる）

3カメラ起動

待受画面で1秒以上押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時「**写メールモード**」）

4表示切替（☞P.7-19）

押すたびに、次のように切り替わります。

- 写メールモード
「**2倍（アイコンあり）**」→「**全画面2倍（アイコンなし）**」→「**等倍**」
- 壁紙モード、デジタルカメラモード
「**全画面等倍（アイコンなし）**」⇔「**等倍（アイコンあり）**」
- アクションスナップモード
「**2倍（アイコンあり）**」⇔「**等倍（アイコンあり）**」

5キャンセル

オープンポジションで、撮影をやり直すときに使います。

6カメラモード切替（☞P.7-24）

カメラモード起動後に押すと、次のモードに切り替わります。

1	写メールモード（☞P.7-8）	4	アクションスナップモード（☞P.7-17）
2	壁紙モード（☞P.7-8）	5	バーコード読み取り（☞P.14-24）
3	デジタルカメラモード（☞P.7-8）		

- オープンポジションでは、待受画面で1〜4を1秒以上押すと、上記の各モードでモバイルカメラが起動します。

7等倍ズーム

8接写切替スイッチ

スライドさせて切り替えます。

- 被写体との距離は、接写モードでは約5cm程度、通常モードでは約40cm以上を目安にしてください。

9メニュー表示

ビューアポジションの撮影画面で1秒以上押すと、カメラが終了します。

10シャッター

ビューアポジションでメニュー項目を選んだあとの決定などにも使います。

11ズーム

／を押すとズームダウン（画像縮小）、／を押すとズームアップ（画像拡大）します。

ビューアポジションでメニュー項目を選ぶときのスクロールにも使います。

12カメラ終了

13最大ズーム

14モバイルライト（☞P.7-21）

押すたびに、「ON（**通常撮影用**）」（「」点灯）→「ON（**オート撮影用**）」（「」点灯）→「ON（**接写撮影用**）」（「」点灯）→「OFF」の順に切り替わります。

15撮影サイズ切替（☞P.7-22）

撮影前、押すたびに次のように切り替わります。

- 写メールモード：「120　128」→「120　160」
- デジタルカメラモード：「768　1024」→「960　1280」→「480　640」

補足　利用できるボタン操作を、ディスプレイに表示することもできます。（☞P.7-19）

静止画撮影直後／動画撮影中に着信があると

■ 撮影した静止画は保護されています。撮影後の画面に戻るときは、通話などを終えたあと次の操作を行います。

➡確認画面表示➡「1YES」選択➡

■ 撮影中の動画は保護されません。

デジタルカメラモード撮影時のご注意

■ オープンポジション（縦向き）で、デジタルカメラモードで撮影した静止画は、パソコンなど他の機器で確認したとき、90度回転した横長の画像となります。デジタルカメラモードで撮影するときは、ビューアポジション（横向き）にすることをおすすめします。

静止画の撮影

静止画撮影モード

写メールモード
メール添付や壁紙登　が可能
連写、装飾なども可能

メール添付や壁紙登録など、V402SHで利用する静止画を手軽に撮影するとき

壁紙モード
V402SHのディスプレイに合ったサイズで撮影可能
撮影した静止画を分割してメールに添付することが可能

V402SHの壁紙に利用する静止画をよりきれいに撮影するとき

デジタルカメラモード
最大横1280×縦960ドットの大きな静止画が撮影可能
SDメモリカード経由でパソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V402SHでプリントアウトの指定が可能

パソコンで加工／印刷するなど、いろいろな用途に利用できる静止画を撮影するとき

- V402SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルスチルカメラの画像ファイルなどを、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントしたい画像や枚数などの設定情報をSDメモリカードなどの記　媒体に記するためのフォーマットです。

静止画撮影モードの機能比較

	写メールモード	壁紙モード	デジタルカメラモード
撮影サイズ	横120×縦160ドット（QQVGA） 横120×縦128ドット	横240×縦320ドット（QVGA）	横1280×縦960ドット（Quad-VGA）※1 横1024×縦768ドット（XGA）※1 横640×縦480ドット（VGA）※1
静止画の登録先	V402SHまたはSDメモリカードのデータフォルダ（ピクチャー）		V402SHまたはSDメモリカードのデジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	―	ノーマル／ファイン	
ズーム	1～8倍	1～4倍	横1280×縦960ドット：なし 横1024×縦768ドット：1～1.25倍 横640×縦480ドット：1～2倍
ロングメール添付	写メールサイズ	壁紙サイズ／写メールサイズ／分割	サムネイルのみ
ファイル形式	JPEGファイル／PNGファイル	JPEGファイル	
登録可能数（目安）	1600ファイル※2	400ファイル※2	200ファイル※2

※1 デジタルカメラモードで撮影すると、指定したサイズの画像とサムネイル（横120×縦160ドットの静止画）が同時に保存されます。
※2 お買い上げ時の状態（画像サイズ、画質）で撮影し、V402SHに登　したときの画像数です。

- V402SHのデータフォルダのメモリは、Vアプリライブラリやアクションスナップフォルダなどと共有しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.7-26を参照してください。

静止画のファイル名

写メールモード／壁紙モード	撮影（登　）日時のファイル名が付きます。（例：2004年07月16日午後12時34分に撮影→「04-07-16_12-34」）
デジタルカメラモード	「VFSH0001」、「VFSH0002」…の順に、ファイル名が付きます。

- 写メールモード／壁紙モードのファイル名は、変更できます。（☞P.12-28）

デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V402SHでは変更できません。パソコンなどでファイル名を変更すると、V402SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

静止画を撮影する

ビューアポジションで撮影する

●各種撮影方法などのメニューの選択画面は、縦向きに表示されます。
●カメラモード選択画面や撮影モードの選択画面では、利用できるボタン操作や内容をディスプレイに表示させることができます。(☞P.7-19)

1 ビューアポジション(☞P.1-11)で、⊖を長く(1秒以上)押す。

お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

2 ⓒ(メニュー)を押したあと、「カメラモード選択」を選び、⊖を押す。

3 「1写メールモード」、「2壁紙モード」、「3デジタルカメラモード」のいずれかを選び、⊖を押す。

4 画像をディスプレイに表示する。

■ ビューアポジションで使用するボタン:☞P.7-4
■ 各種撮影方法:☞P.7-19

5 ⊖を押す。

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。
■ 撮影のやり直し:ⓒ(1秒以上)➡「1YES」選択➡⊖
■ 画像編集:☞P.12-17〜P.12-20
■ SDメモリカードへ登　:ⓒ(メニュー)➡「登録先」選択➡⊖➡「2メモリカード」選択➡⊖
(登　先を再び変更するまで、SDメモリカードに登　されます。)

シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

シャッター音のパターンは変更できます。(☞P.7-19)

6 静止画を登録するときは、⊖を押す。

登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。操作4の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

7 モバイルカメラを終了するときは、ⓒを長く(1秒以上)押す。

補足
登録していない画像があるとき
カメラに戻るかどうかの確認メッセージが表示されます。
●「1YES」を選び、⊖を押すと、撮影画面に戻ります。
●「2NO」を選び、⊖を押すと、撮影後の画面に戻ります。

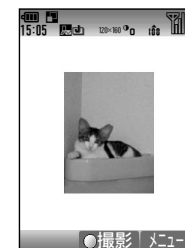
オープンポジション/セルフショットポジションで撮影する

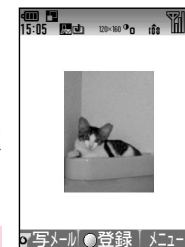
1 ◉を押したあと、「モバイルカメラ」を選び、◉を押す。

●待受画面で◎を1秒以上押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。(お買い上げ時「写メールモード」)
■ その他の起動方法:☞P.7-5

2 「1写メールモード」、「2壁紙モード」、「3デジタルカメラモード」のいずれかを選び、◉を押す。

3 画像をディスプレイに表示する。

■ カメラ機能で使用するボタン:☞P.7-4
■ 各種撮影方法:☞P.7-19

4 ◉を押す。

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。
■ 撮影のやり直し:クリア➡「1YES」選択➡◉
■ 画像編集:☞P.12-17〜P.12-20
■ SDメモリカードへ登　:✉(メニュー)➡「登録先」選択➡◉➡「2メモリカード」選択➡◉(登　先を再び変更するまで、SDメモリカードに登　されます。)

シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更できません。

シャッター音のパターンは変更できます。(☞P.7-19)

5 静止画を登録するときは、◉を押す。

登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。操作3の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

6 モバイルカメラを終了するときは、☎を押す。

セルフショットポジションで撮影するとき
撮影前のディスプレイには、鏡で映したように反転した画像が表示されますが、撮影後のディスプレイには反転していない画像が表示されます。

登録していない画像があるとき
終了の確認メッセージが表示されます。
●「1YES」を選び、◉を押すと、撮影した静止画を登　せずに、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。
●「2NO」を選び、◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

撮影後にできること

メモリダイヤル登録	写メールモードまたは壁紙モードで撮影した静止画をメモリダイヤルに登　します。

C／（メニュー）➡「6メモリダイヤル登録」選択➡⊖／◉

■ 以降の操作：☞P.5-6操作4

サムネイル登録	デジタルカメラモードで撮影した静止画のサムネイルだけを登　します。

C／（メニュー）➡「2サムネイル登録」選択➡⊖／◉

- データフォルダのピクチャーフォルダに登　されます。

サムネイル90度回転	デジタルカメラモードで撮影した静止画を回転し、画像の向きを変えて登　できます。

C／（メニュー）➡「3サムネイル90度回転」選択➡⊖／◉

- さらに回転するときは、C（１秒以上）または（回転）を押します。

■ 回転後のサムネイル登　：⊖／◉

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前にCまたは（メニュー）を押すと、次の機能が利用できます。

	機能	説明
	表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-19）
	モバイルライト設定	モバイルライトの点灯時間とカラーを設定します。（☞P.7-21）
	撮影サイズ設定※1	撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.7-22）
	シーン別撮影	シャッターを撮影シーンに合わせて設定します。（☞P.7-22）
	画質設定※2	画質を設定します。（☞P.7-23）
特殊撮影設定	タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.7-20）
特殊撮影設定	連写設定※3	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.7-13）
特殊撮影設定	フレーム設定※3	画像にフレームを設定します。（☞P.7-11）
特殊撮影設定	エフェクト撮影※3	画面の装飾効果を確認しながら撮影します。（☞P.7-12）
特殊撮影設定	ソフトフォーカス※4	画像をソフトにするかどうかを設定します。（☞P.7-22）
オプション設定	シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.7-19）
オプション設定	保存形式変更※4	静止画の保存形式（色数）を設定します。（☞P.7-23）
オプション設定	登録先	静止画の登　先（V402SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-24）
オプション設定	オートリセット設定	モバイルカメラ終了時に設定内容を元に戻すかを設定します。（☞P.7-24）
	データ消去	V402SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-26）
	キー操作ガイド	現在の撮影モードで利用できる機能を表示します。（☞P.7-19）
	明るさ設定	明るさを調整します。（☞P.7-22）
	カメラモード選択	モバイルカメラのモードを設定します。（☞P.7-24）

※1　壁紙モードでは利用できません。
※2　写メールモードでは利用できません。
※3　デジタルカメラモードでは利用できません。
※4　写メールモードで利用できます。

撮影直後（静止画登録前）

撮影直後（静止画登　前）にCまたは（メニュー）を押すと、次の機能が利用できます。

■写メールモード／壁紙モード

機能	説明
表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-19）
保存形式変更※1	静止画の保存形式（色数）を設定します。（☞P.7-23）
画像編集	撮影した静止画を編集します。（☞P.12-17～P.12-20）
画質設定※2	画質を設定します。（☞P.7-23）
登録先	静止画の登　先（V402SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-24）
メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.7-27）
メモリダイヤル登録	撮影した静止画をメモリダイヤルに登　します。（☞P.7-10）
データ消去	V402SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-26）

※1　写メールモードで利用できます。
※2　壁紙モードで利用できます。

■デジタルカメラモード

機能	説明
1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-19）
2サムネイル登録	サムネイルだけを登　します。（☞P.7-10）
3サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.7-10）
4画質設定	画質を設定します。（☞P.7-23）
5登録先	静止画の登　先（V402SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-24）
6サムネイルメール添付	サムネイルをメールに添付します。（☞P.7-29）
7データ消去	V402SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-26）

フレームを付けて撮影する

写メールモード／壁紙モードで利用可能

- ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）も利用できます。
- 連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。

1 **写メールモードまたは壁紙モード（☞P.7-8、P.7-9）で、Cまたは（メニュー）を押す。**

2 **「5特殊撮影設定」を選び、⊖または◉を押す。**

3 **「3フレーム設定」を選び、⊖または◉を押す。**

4 *あらかじめ登録されているフレームを利用するとき*

1「1固定フレーム」を選び、⊖または◉を押す。

2 フレームを選び、⊖または◉を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ オープンポジションでのフレームの変更：（前へ）／（次へ）

3 ⊖または◉を押す。

オリジナルフレームを利用するとき

1「2オリジナル」を選び、⊖または◉を押す。

●フレームに利用できない画像は、選択できません。

2 フレーム画像を選び、⊖または◉を押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■ フレームの変更：⊖（1秒以上）／（戻る）➡「2 オリジナル」選択➡⊖／◉➡画像選択➡⊖／◉

3 ⊖または◉を押す。

●壁紙モードで、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

フレームを解除するとき

1「3OFF」を選び、⊖または◉を押す。

画面の装飾効果を確認しながら撮影する

写メールモード／壁紙モードで利用可能

●エフェクト撮影は、フレーム撮影およびソフトフォーカスとは併用できません。

1 写メールモードまたは壁紙モード（☞P.7-8、P.7-9）で、Ⓒまたは（メニュー）を押す。

2「5特殊撮影設定」を選び、⊖または◉を押す。

3「4エフェクト撮影」を選び、⊖または◉を押す。

4「1ON」を選び、⊖または◉を押す。

■ エフェクト撮影の解除：「2OFF」選択➡⊖／◉

5 装飾の種類を選び、⊖または◉を押す。

■ 装飾の種類変更：⊖（1秒以上）または（前へ）／Ⓒ（1秒以上）または（次へ）

6 ⊖または◉を押す。

選んだ装飾効果で撮影できる状態になります。

静止画を連続して撮影する

写メールモード／壁紙モードで利用可能

撮影前に連写モードを設定しておくと、4枚または9枚の静止画を連続して撮影できます。また、写メールモードでは25枚の高速連写も利用できます。

撮影した静止画は、連写画像（設定した枚数分の静止画＋分割画像）として登　されます。

●連写モードでは、1枚目のシャッター（⊖／◉）を押すと、あとは一定間隔で自動的に残りの回数分撮影されます。

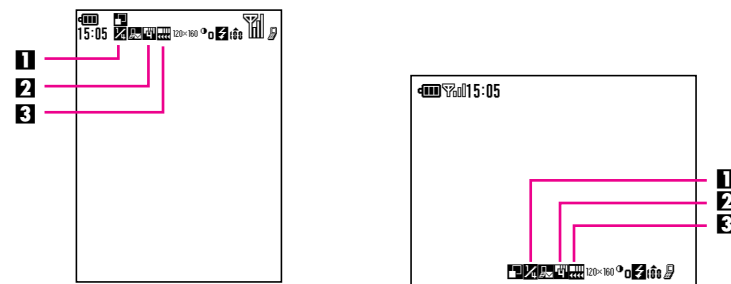
●4枚または9枚連写では、自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定できます。また、回数分シャッターを押す、「**マニュアル**」に設定することもできます。

●写メールモードで撮影する場合に、保存形式を「PNG形式」にしているときは、連写撮影できません。

●フレーム撮影またはエフェクト撮影と併用すると、撮影画像によっては登　できないことがあります。

連写画像から1枚の静止画を選択して登　したり（☞P.12-13）、ロングメールに添付して送信する（☞P.7-27）こともできます。

ディスプレイ

●通常のカメラモードのマークについては、P.7-3を参照してください。

1 枚数表示

〜：右下の数字は、連写枚数を示します。また、左上の数字は撮影済または表示中の枚数を示します。

：分割画像を確認中に表示されます。

2 連写モード表示

：4枚連写ON／：9枚連写ON／：25枚高速連写ON

3 連写スピード表示

：速い／：やや速い／：普通／：やや遅い／：遅い／：マニュアル

連写モードを設定する

1 写メールモードまたは壁紙モード（☞P.7-8、P.7-9）で、Ⓒまたは✉（メニュー）を押す。

2「5特殊撮影設定」を選び、⊖または◉を押す。

3「2連写設定」を選び、⊖または◉を押す。

4「1４枚連写ON」、「2９枚連写ON」、「325枚高速連写ON」（写メールモード）のいずれかを選び、⊖または◉を押す。

連写モードマークが点灯し（☞P.7-13）、元のモードに戻ります。

- 連写モードの解除：「OFF」選択➡⊖／◉（操作完了）
- 保存形式をPNG形式に設定時：JPEGへの変換確認画面表示➡「1YES」選択➡⊖／◉

注意
- 暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
- モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

連写スピードを設定する

４枚または９枚連写するときの、１枚目のシャッターを押したあと自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定します。

- 設定した回数分シャッターを押す「**マニュアル**」に設定することもできます。
- セルフタイマー（☞P.7-20）を設定しているときは、「**マニュアル**」は利用できません。
- お買い上げ時には、「普通」に設定されています。

1 写メールモードまたは壁紙モード（☞P.7-8、P.7-9）で、Ⓒまたは✉（メニュー）を押す。

2「5特殊撮影設定」を選び、⊖または◉を押す。

3「2連写設定」を選び、⊖または◉を押す。

4「連写スピード設定」を選び、⊖または◉を押す。

5 連写スピードまたは「6マニュアル」を選び、⊖または◉を押す。

連写スピードが設定され、連写設定の画面に戻ります。

- ◎を３回押すと、元のモードに戻ります。

連写モードで撮影する

- あらかじめ、連写モードを設定しておいてください。（☞P.7-14）

1 画像をディスプレイに表示し、⊖または◉を押す。

１枚目の静止画が撮影されます。このあと、一定間隔おきに、残りの回数分の画像が撮影されます。

- 連写の中止：Ⓒ／✉（停止）
  - ■中止前に撮影した枚数分の連写画像の登録：上記操作のあと、⊖／◉
- 連写の取消（マニュアル時）：Ⓒ（１秒以上）／ ✓（取消）➡「1YES」選択➡⊖／◉
  （途中まで撮影した画像は消去されます。）

補足
手動（マニュアル）で撮影するとき（4枚連写／9枚連写）
- １枚目の静止画を撮影したあと、同様に残りの回数分シャッター（⊖／◉）を押します。

2 連写が終われば、合成画像が表示される。

- 連写画像内の静止画の確認：◧◨／◎
- 連写画像内の静止画の登録：◧◨／◎（画像選択：分割画像も可能）➡Ⓒ／✉（**メニュー**）➡「2**表示画像のみ登録**」選択➡⊖／◉
- 連写画像内の静止画のメール送信：◧◨／◎➡Ⓒ／✉（**メニュー**）➡「**表示画像のみ添付**」選択➡⊖／◉
  （画像サイズによっては、選択メニューが表示されます。）

４枚連写

3 連写画像を登録するときは、⊖または◉（登録）を押す。

分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像が登録され、連写モードのまま元のモードに戻ります。

■撮影直後に利用できる機能

画像登録前にⒸまたは✉（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-19）
2表示画像のみ登録	撮影した静止画を選んで登録します。
3画質設定※	ノーマル／ファインを設定します。（☞P.7-23）
3登録先	連写画像の登録先（V402SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-24）
4表示画像のみ添付	撮影した静止画をメールに添付します。
5データ消去	V402SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.7-26）

※ 壁紙モードで利用できます。

動画の撮影

動画撮影モード

アクションスナップモード
撮影後、V402SHだけで再生が可能
音声　音、ズーム撮影、セルフタイマー撮影も可能

こんなときに

いろいろな記録やスナップとして、手軽に動画を撮影するとき

カメラ機能

●動画の撮影／保存／再生には、Nancy Technologyが使われています。

Nancy **Nancy** OFFICE NOA INC. は、株式会社オフィスノアの商標です。

動画を撮影するときは、なるべくカメラから1.5mまでの距離で、また明るい場所で撮影されることをおすすめします。

■アクションスナップモードの機能一覧

撮影サイズ	横120×縦88
登録先	V402SHまたはSDメモリカードのアクションスナップフォルダ
最大録画時間（１回あたり）	60秒（画質：ノーマル）／40秒（画質：ファイン）
画質	ノーマル／ファイン
ズーム	１～８倍
ロングメール添付	不可
ファイル形式	Nancyファイル［撮影（登　）日時のファイル名が付きます。］
登録可能数（目安）	８ファイル※

※ お買い上げ時の状態（マイク設定、画質）で60秒間撮影し、V402SHに登　したときの画像数です。

アクションスナップフォルダのメモリは、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる動画数は少なくなります。（撮影時間を短くすると、登　可能数は増えます。）

動画を撮影する

1 ビューアポジション（☞P.1-11）で、㊀を長く（１秒以上）押す。

お買い上げ時には、写メールモードでカメラが起動します。以降は、前回の終了時に利用していたモードでカメラが起動します。

■ オープンポジションの操作：◉➡「モバイルカメラ」選択➡◉➡操作３へ

2 ⓒ（メニュー）を押したあと、「カメラモード選択」を選び、㊀を押す。

3 「4アクションスナップモード」を選び、㊀または◉を押す。

4 画像をディスプレイに表示する。

■ カメラ機能で使用するボタン：☞P.7-4

■ 各種撮影方法：☞P.7-19

5 ㊀または◉を押す。

撮影開始音が鳴り、動画の撮影が始まります。（撮影開始まで、しばらく時間がかかることもあります。）

●マイク設定を「マイクON」に設定しているときは、音声はマイクから50cm程度の距離を目安に　音してください。

撮影開始音や撮影終了音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、音量を変更することはできません。

撮影前にメモリが不足しているとき
●空き容量不足の確認メッセージが表示され、操作３の画面に戻ります。不要な画像を消去（☞P.7-26）すると、撮影できます。

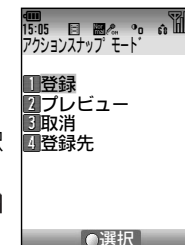
6 撮影を終了するときは、㊀または◉を押す。

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

●撮影可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■ 撮影した動画の再生：「2プレビュー」選択➡㊀／◉

■ 撮影やり直し：「3取消」選択➡㊀／◉➡「1YES」選択➡㊀／◉

■ SDメモリカードへ登　：「4登録先」選択➡㊀／◉➡「2SDメモリカード」選択➡㊀／◉
（登　先を再び変更するまで、SDメモリカードに登　されます。）

7 動画を登録するときは、「1登録」を選び、㊀または◉を押す。

撮影した動画が登　されます。操作４の状態に戻りますので、続けて撮影できます。

カメラ機能

モバイルカメラを終了するときは、Ⓒを長く（１秒以上）または〔電源〕を押す。

補足 登録していない画像があるとき
終了の確認メッセージが表示されます。
●「1YES」を選び、⊖または◉を押すと、撮影した静止画を登　せずに、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。
●「2NO」を選び、⊖または◉を押すと、撮影後の画面に戻ります。

動画撮影で利用できる機能

撮影前にⒸまたは〔メニュー〕（**メニュー**）を押すと、次の機能が利用できます。

撮影前

1表示切替	画面の表示を切り替えます。（☞P.7-19）
2モバイルライト設定	モバイルライトのカラーや点灯時間を設定します。（☞P.7-21）
3画質設定	画質を設定します。（☞P.7-23）
4タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.7-20）
5マイク設定	音声　音を設定します。（☞P.7-23）
6オプション設定 1登録先	動画の登　先（V402SH／SDメモリカード）を指定します。（☞P.7-24）
6オプション設定 2オートリセット設定	モバイルカメラ終了時に設定内容を元に戻すかを設定します。（☞P.7-24）
7データ消去	V402SHまたはSDメモリカード内の動画を消去します。（☞P.7-26）
8キー操作ガイド	現在の撮影モードで利用できる機能を表示します。（☞P.7-19）
9明るさ設定	明るさを調整します。（☞P.7-22）
◆カメラモード選択	モバイルカメラのモードを設定します。（☞P.7-24）

撮影直後（動画登録前）

撮影直後（動画登　前）には、メニュー画面が自動的に表示され、次の機能が利用できます。

1登録	撮影した動画を登　します。（☞P.7-17）
2プレビュー	撮影した動画を再生します。（☞P.7-17）
3取消	撮影をやり直します。（☞P.7-17）
4登録先	動画の登　先（V402SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.7-24）

各種撮影方法

セルフタイマーやモバイルライトなど、撮影時の状態に合わせて撮影方法を設定できます。
●モバイルカメラ起動中にⒸまたは〔メニュー〕を押したあとの、機能メニュー画面で操作します。

キー操作ガイド

現在の撮影モード利用中に、オープンポジションでできるボタン操作をディスプレイに表示します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

Ⓒ／〔メニュー〕（**メニュー**）➡**「キー操作ガイド」選択**➡⊖／◉

表示切替

撮影時の画面表示を大きくしたり、アイコンを消したりすることができます。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 写メールモード：等倍、アクションスナップモード：２倍

Ⓒ／〔メニュー〕（**メニュー**）➡**「1表示切替」選択**➡⊖／◉
●モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

シャッター音設定

撮影時に鳴るシャッター音を設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 パターン１

Ⓒ／〔メニュー〕（**メニュー**）➡**「オプション設定」選択**➡⊖／◉➡**「1シャッター音設定」選択**➡⊖／◉➡**シャッター音選択**➡⊖／◉
■ シャッター音確認：〔再生〕（**再生**）
■再生の停止：上記操作のあと、〔停止〕（**停止**）

注意
●シャッター音の音量は変更できません。
●連写撮影時のシャッター音は固定です。ここでの設定は、反映されません。

セルフタイマー

タイマーの動作／動作するまでの時間を設定し、セルフタイマーで撮影します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 OFF／10秒

セルフタイマー設定（写メールモード／壁紙モード）

Ⓒ／✉（メニュー）➡「5特殊撮影設定」選択➡⊖／◉➡「1タイマー設定」選択➡⊖／◉➡「1タイマーON」選択➡⊖／◉

●「⏱」が表示され、タイマーが設定されます。

セルフタイマー設定（デジタルカメラモード／アクションスナップモード）

Ⓒ／✉（メニュー）➡「タイマー設定」選択➡⊖／◉➡「1タイマーON」選択➡⊖／◉

タイマーが動作するまでの時間設定（写メールモード／壁紙モード）

Ⓒ／✉（メニュー）➡「5特殊撮影設定」選択➡⊖／◉➡「1タイマー設定」選択➡⊖／◉➡「2時間設定」選択➡⊖／◉➡時間選択➡⊖／◉

タイマーが動作するまでの時間設定（デジタルカメラモード／アクションスナップモード）

Ⓒ／✉（メニュー）➡「タイマー設定」選択➡⊖／◉➡「2時間設定」選択➡⊖／◉➡時間選択➡⊖／◉

静止画のセルフタイマー撮影

画像をディスプレイ表示➡⊖／◉

●タイマー音のあと、設定した時間経過後に撮影されます。

■ 撮影後の画像の登　：⊖／◉

動画のセルフタイマー撮影

画像をディスプレイ表示➡⊖／◉➡設定した時間経過後に撮影開始（タイマー音）➡⊖／◉

■ 撮影後の画像の登　：「1登録」選択➡⊖／◉

セルフタイマー撮影時のご注意（静止画／動画）

■ 撮影をやり直すときは、次の操作を行います。
　タイマー動作中にⒸ／⌫（取消）
●タイマーが解除されないまま、撮影できる状態に戻ります。
■ タイマー動作中に⊖または◉を押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。
■ 着信やアラーム動作があると、撮影は中止され、タイマー設定は解除されます。
■ タイマー動作中は、次の操作はできません。
●明るさの調整、モバイルライトの点灯、カメラモードの変更

モバイルライト

モバイルライトの点灯（方法）／点灯時間／点灯カラーを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	※

※アクションスナップモードでは、「**オート撮影用**」は利用できません。

お買い上げ時 OFF／１分／ライチフルーツ（白色系統）

Ⓒ／✉（メニュー）➡「2モバイルライト設定」選択➡⊖／◉➡「通常」～「OFF」選択➡⊖／◉

●点灯するときは次のモードから選びます。

通常	モバイルライトが点灯します。静止画撮影時には、さらに強い光で発光します。
オート（静止画のみ）	周囲の明るさによって、モバイルライトが自動的に点灯します。シャッターを押したときには、さらに強い光で発光します。
接写	撮影時も同じ光量のまま、モバイルライトが点灯します。

継続点灯時間設定

Ⓒ／✉（メニュー）➡「2モバイルライト設定」選択➡⊖／◉➡「点灯設定」選択➡⊖／◉➡「1継続点灯時間」選択➡⊖／◉➡点灯時間選択➡⊖／◉

点灯カラー設定

Ⓒ／✉（メニュー）➡「2モバイルライト設定」選択➡⊖／◉➡「点灯設定」選択➡⊖／◉➡「2点灯カラー」選択➡⊖／◉➡カラー選択➡⊖／◉

モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

モバイルライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減することができます。

各種画像の設定

画像の明るさや画質など、撮影する画像に関する設定を変更できます。
●モバイルカメラ起動中にⓒまたは☜を押したあとの、機能メニュー画面で操作します。

明るさ設定 静止画や動画の明るさを調整します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 ±0（標準）

ⓒ／☜（メニュー）➡「明るさ設定」選択➡⊖／◉➡明るさ選択➡⊖／◉

●Ⓢを押しても、明るさを調整できます。
●モバイルカメラを終了するたびに、お買い上げ時の設定に戻ります。

ソフトフォーカス 写メールモードで撮影する静止画を、ロングメール添付に便利な、圧縮しやすい画像にします。

写メールモード	○	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 OFF

ⓒ／☜（メニュー）➡「5特殊撮影設定」選択➡⊖／◉➡「5ソフトフォーカス」選択➡⊖／◉➡「1ON」選択➡⊖／◉

撮影サイズ設定 静止画や動画の撮影サイズを変更します。

写メールモード	○	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 写メールモード：120×160、デジタルカメラモード：480×640

ⓒ／☜（メニュー）➡「3撮影サイズ設定」選択➡⊖／◉➡サイズ選択➡⊖／◉

シーン別撮影 静止画の撮影環境を変更します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 オートモード

ⓒ／☜（メニュー）➡「シーン別撮影」選択➡⊖／◉➡撮影環境選択➡⊖／◉

●設定できる撮影環境は、次のとおりです。

オートモード	周りの環境に応じて自動的に調整します。
夜景モード	夜景など光の少ない場所での撮影に適しています。
スポーツモード	スポーツなど動きの多い被写体の撮影に適しています。
文字モード	白と黒などコントラストがはっきりとした被写体の撮影に適しています。

画質設定 撮影前に画質を設定します。

写メールモード	×	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 ノーマル

ⓒ／☜（メニュー）➡「画質設定」選択➡⊖／◉➡画質選択➡⊖／◉

「ノーマル」より「ファイン」の方が画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、登　可能画像数や　画可能時間は減ります。

保存形式変更 写メールモードで撮影する静止画の保存形式（色数）を設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	×

お買い上げ時 JPEG（ハイカラー）

撮影前の保存形式変更

ⓒ／☜（メニュー）➡「6オプション設定」選択➡⊖／◉➡「2保存形式変更」選択➡⊖／◉➡形式（色数）選択➡⊖／◉

撮影後（登録前）の保存形式変更

ⓒ／☜（メニュー）➡「2保存形式変更」選択➡⊖／◉➡形式（色数）選択➡⊖／◉

●「PNGソフト256色」は誤差拡散処理を行うため、「PNGノーマル256色」に比べてなめらかな画像表示になります。
●データフォルダに登　したあとで、保存形式を変換することもできます。（☞P.12-21）

PNG形式で撮影すると、確認メッセージが表示され登　できないことがあります。このときは、JPEG形式に変換してください。

マイク設定 動画の撮影時に、音声も同時に　音するかどうかを設定します。

写メールモード	×	壁紙モード	×
デジタルカメラモード	×	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 ON

ⓒ／☜（メニュー）➡「5マイク設定」選択➡⊖／◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡⊖／◉

「ON」に設定するとファイル容量が大きくなるため、登　できる　音時間は減ります。

その他の設定

●「接写切替確認表示」以外の操作は、モバイルカメラ起動中にⓒまたは✉を押したあとの、機能メニュー画面から行います。

登録先設定　画像の登　先を「**本体**」（V402SH）または「**メモリカード**」（SDメモリカード）に設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 本体

ⓒ／✉（メニュー）➡「オプション設定」選択➡⊖／◉➡「登録先」選択➡⊖／◉➡「1本体」／「2メモリカード」選択➡⊖／◉

カメラモード選択　モバイルカメラの撮影モードを切り替えます。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 写メールモード

ⓒ／✉（メニュー）➡「カメラモード選択」選択➡⊖／◉➡カメラモード選択➡⊖／◉

オートリセット設定　モバイルカメラを終了したときに、各設定をリセットするかどうかを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 OFF

ⓒ／✉（メニュー）➡「オプション設定」選択➡⊖／◉➡「オートリセット設定」選択➡⊖／◉➡「1ON」（リセットする）／「2OFF」（リセットしない）選択➡⊖／◉

●オートリセットは、各カメラモード共通の設定です。いずれかで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。

接写切替確認表示　モバイルカメラの起動時に、接写スイッチの確認画面を表示するかどうかを設定します。

写メールモード	○	壁紙モード	○
デジタルカメラモード	○	アクションスナップモード	○

お買い上げ時 ON

◉➡「モバイルカメラ」選択➡◉➡「6接写切替確認表示」選択➡◉➡「1ON」（表示する）／「2OFF」（表示しない）選択➡◉

●接写切替確認は、各カメラモード共通の表示です。いずれかで設定を変更すると、すべてのカメラモードに反映されます。
●バーコード読み取りのときも共通の表示になります。

撮影した画像の確認

静止画の確認

1 ⊖または◉を押したあと、「データ確認」を選び、⊖または◉を押す。

2「1データフォルダ」を選び、⊖または◉を押す。

3「モバイルカメラ」を選び、⊖または◉を押す。

4「写メール／壁紙データ」または「デジタルカメラデータ」を選び、⊖または◉を押す。

- 「デジタルカメラデータ」選択時：フォルダ選択➡⊖／◉
- SDメモリカード内の画像の確認：ⓒ（1秒以上）／✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡⊖／◉

写メールデータ

5 静止画を選び、⊖または◉を押す。

静止画が表示されます。

静止画表示中にⓒ（1秒以上）／✉（**メニュー**）を押すと、その画像に対して利用できる機能が表示されます。（☞P.12-12〜P.12-23）

デジタルカメラデータの静止画

■ ディスプレイのサイズに合わせて縮小された「**サムネイル表示**」で表示されます。原寸で表示するときは、次の操作を行います。

静止画表示中にⓒ（1秒以上）／✉（**メニュー**）➡「**実画像表示**」選択➡⊖／◉

- ●オープンポジションで✣を押すと、上下左右にスクロールします。
- ●⊖または◉（**回転**）を押すと、90度ずつ静止画が回転します。

連写画像の確認

■ 上記操作2のあと、次の操作を行います。

連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉

- ●◎／◎を押すと、次または前の静止画が表示されます。

■ 連写画像を選んだ状態で次の操作を行うと、表示間隔が短くなります。

✉（**メニュー**）➡「**早送り表示**」選択➡◉

動画の確認

1 **⊖または◉を押したあと、「データ確認」を選び、⊖または◉を押す。**

2 **「4 アクションスナップフォルダ」を選び、⊖ または◉を押す。**

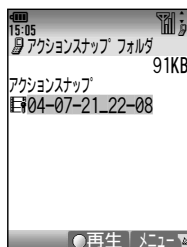
■ SDメモリカード内の動画の確認：C（1秒以上）／（メニュー）➡「5メモリカードへ切替」選択➡⊖／◉

3 **動画を選び、⊖または◉を押す。**

動画が再生されます。再生が終わると、自動的に停止します。

■ 再生音量の変更：（上げる）／（下げる）

■ 停止後の再生：⊖（再生）／（再生）

■ 別の動画の確認：C（戻る）／（戻る）

メモリ使用状況を確認する

1 **⊖または◉を押したあと、「データ確認」を選び、⊖または◉を押す。**

2 **「9メモリ使用状況」を選び、⊖または◉を押す。**

各メモリの使用状況（％）が表示されます。

メモリが一杯のとき

静止画の撮影後の登　時に、空き容量不足の確認メッセージが表示されることがあります。このときは、Cまたはクリアを押すと撮影後の状態に戻りますので、次の操作を行い他の画像を消去すると、撮影した静止画を登　できます。

1 **Cまたは（メニュー）を押したあと、「データ消去」を選び、⊖または◉を押す。**

2 **消去する画像を選び、⊖または◉を押す。**

3 **「1YES」を選び、⊖または◉を押す。**

静止画のメール添付

写メールモードで撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接ロングメールに添付して送信します。

●連写画像を添付するときは、分割画像を含め、で添付する静止画を選んでから操作してください。

●撮影した静止画を登　したあとは、データフォルダの操作で送信します。（☞P.12-8）

1 **撮影直後（登録前）の状態（☞P.7-8、P.7-9）で、（写メール）を押す。**

静止画がデータフォルダに登　されたあと、ロングメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

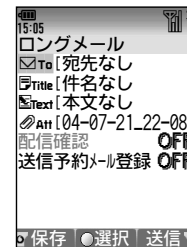
●データフォルダに登　せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞P.6-6）

簡単メール宛先が登録されているとき

●登　されている相手の名前が表示されます。送信する相手を選び◉を押すと、ロングメールの送信画面が表示されます。（☞P.3-3）

●簡単メール宛先の登　方法：☞P.6-2

簡単メール宛先に登録されていない相手に送信するとき

●「0<宛先入力>」を選び、◉を押します。

2 **宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞P.3-3）**

モバイルカメラモードから直接ロングメールに添付したときは、メールの件名の入力可能文字数は最大全角20文字（半角カナ44文字、半角英数46文字）になります。
また、添付した静止画を消去／変更したり、添付ファイルを追加することはできません。

相手機種のサービス対応状況については、「ボーダフォンライブ！ガイドブック」の機能一覧でご確認ください。

壁紙モードで撮影した静止画を添付する

写メールサイズ／壁紙サイズで添付する

●相手機種によっては、壁紙サイズで受信できないことがあります。

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.7-8、P.7-9）で、（写メール）を押す。

2「1 写メールサイズで添付」または「2 壁紙サイズで添付」を選び、●を押す。

静止画がデータフォルダに登　されたあと、ロングメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登　せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-6）

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.7-27

3 宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞ P.3-3）

画像を４分割して添付する

●画像分割メールを送信すると、４通分のロングメール料金がかかります。

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.7-8、P.7-9）で、（写メール）を押す。

2「3画像分割メール添付」を選び、●を押す。

宛先選択の画面が表示されます。

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.7-27

3 宛先を選択または入力する。（☞ P.3-4）

分割された画像を添付した４通のメールが、送信トレイに保存されます。

送信トレイに保存された４通のメールには、それぞれ「件名」に「画像分割メール左上」「画像分割メール右上」「画像分割メール左下」「画像分割メール右下」が自動的に入力されています。

4 ***送信トレイに保存したロングメールを送信するとき***

1「1YES」を選び、●を押す。

このあと、送信トレイからメールを送信します。（☞ P.4-18）

送信トレイへの保存だけを行うとき

1「2NO」を選び、●を押す。

待受画面に戻ります。

デジタルカメラモードで撮影した静止画のサムネイルを添付する

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.7-8、P.7-9）で、（メニュー）を押す。

2「6サムネイルメール添付」を選び、●を押す。

静止画がデジタルカメラフォルダに登　されたあと、ロングメールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●デジタルカメラフォルダに登　せず、送信するように設定しておくこともできます。（☞ P.6-6）

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.7-27

3 宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。（☞ P.3-3）

相手機種のサービス対応状況については、「ボーダフォンライブ！ガイドブック」の機能一覧でご確認ください。

静止画のプリント指定（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。V402SHのデジタルカメラモードで撮影したSDメモリカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行えます。

●ボーダフォンライブ！などから入手した静止画はプリント指定できません。

●操作中にSDメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、一旦操作を終了し、不要なデータを削除してやり直してください。

●プリント時の操作など、詳しくはプリントする機器の操作説明書をご覧ください。

プリントする静止画と枚数を指定する

●SDメモリカード内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定することもできます。（☞P.7-30）

1 ●を押したあと、「メモリカード」を選び、●を押す。

2「4プリント指定（DPOF）」を選び、●を押す。

3 フォルダを選び、●を押す。

選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（この画面がプリントの指定画面となります。）

4 で静止画を選び、（枚数）を押す。

7 カメラ機能

5 プリント枚数（01～99枚）を入力し、◉を押す。

●最大99枚まで指定できます。

■ 指定の解除：「00」入力➡◉

6 操作3～5をくり返し、静止画と枚数を指定する。

7 ✎（戻る）を押す。

8 プリント指定が終われば、✎（完了）を押す。

プリントが指定されます。

■ 他のフォルダの指定：操作3～7をくり返す

- V402SHでは、他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）は変更できません。
- 他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定(DPOF)があるときに、V402SHでプリント指定を行うと、以前設定されていたプリント指定は消去されます。
- デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
- プリント指定する画像数が多いと、プリント指定に時間がかかることがあります。
- パソコンなどでSDメモリカード内の画像を削除したり名前の変更を行うと、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、枚数一括解除（☞下記）を行ってからプリント指定し直してください。

DPOFの便利な機能

枚数一括指定　デジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数（最大99枚まで）を指定できます。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「1枚数一括指定」選択➡◉➡プリント枚数（01～99枚）入力➡◉

指定した枚数の一括解除

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「2枚数一括解除」選択➡◉➡「1実行」選択➡◉

日付付加指定　デジタルカメラフォルダ内の静止画をプリントするときに日付を付けるかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「3日付付加指定」選択➡◉➡「1ON」（日付を付ける）／「2OFF」（日付なし）選択➡◉

インデックスプリント指定　静止画の画像一覧を並べたインデックスプリントが、必要かどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「4インデックスプリント指定」選択➡◉➡「1ON」（必要）／「2OFF」（不要）選択➡◉

指定状況確認　印刷画像数や総印刷枚数などのプリントの指定状況を確認します。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「4プリント指定（DPOF）」選択➡◉➡「DCIM」選択➡◉➡「5指定状況確認」選択➡◉

ポストカード／カレンダー作成

デジタルカメラモードで撮影した静止画に、文字やカレンダースタンプを貼り付けて、オリジナルのポストカードやカレンダーを作成します。

- 作成したポストカード／カレンダーは、新しい画像として、デジタルカメラフォルダに登　されます。（登　後の操作は、デジタルカメラモードで撮影した静止画と同様です。）
- ポストカードメーカーで作成した画像は、再圧縮されるため、画質が変わることがあります。

ポストカードを作成する

1 ◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。

2 「3デジタルカメラフォルダ」を選び、◉を押す。

3 フォルダを選び、◉を押す。

4 静止画を選び、◉を押す。

●静止画を選び、✉（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作6へ進みます。

■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

5 ✉（メニュー）を押す。

6 「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。

7 「1テキスト」を選び、◉を押す。

8 文字を入力し、◉を押す。

●最大全角90文字（全角18文字×5行）まで、入力できます。

●動く絵文字を利用しても、ポストカードメーカーで作成した画像では動きません。

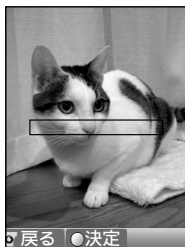
9 文字色の種類を選び、◉を押す。

■ 文字を縁取らない：「0縁取り設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

10 文字サイズを選び、◉を押す。
テキスト貼付位置が枠で表示されます。

11 ◈で貼付位置を選び、◉を押す。
画像確認画面が表示されます。

12 ◉を押す。

13「1本体」または「2メモリカード」を選び、◉を押す。

ポストカードを登　すると、サムネイル（☞P.7-10）も同時に登　されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

カメラ機能

カレンダーを作成する

1 ◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。

2「3デジタルカメラフォルダ」を選び、◉を押す。

3 フォルダを選び、◉を押す。

4 静止画を選び、◉を押す。
- 静止画を選び、✉（メニュー）を押しても操作できます。このときは操作6へ進みます。

■ 静止画表示中の画像回転：◉（押すたびに「横」⇔「縦」90度回転）

5 ✉（メニュー）を押す。

6「ポストカードメーカー」を選び、◉を押す。

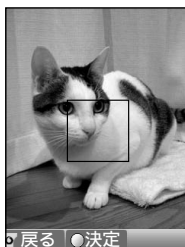
7「2カレンダー」を選び、◉を押す。

8「1 1ヶ月（小）」または「2 2ヶ月」を選び、◉を押す。
現在月が表示されます。

9 カレンダーの表示月を入力し、◉を押す。
カレンダー表示位置が枠で表示されます。

10 ◈で貼付位置を選び、◉を押す。
画像確認画面が表示されます。

11 ◉を押す。

12「1本体」または「2メモリカード」を選び、◉を押す。

- カレンダーの曜日色は、カレンダー表示形式の曜日色設定（☞P.8-3）が反映されます。
- カレンダーを登　すると、サムネイル（☞P.7-10）も同時に登　されます。ただし、利用する静止画のサイズによっては、サムネイルの一部が黒く塗られることがあります。

ディスプレイ設定

壁紙設定

あらかじめ登 されている内蔵画像や、モバイルカメラで撮影した静止画、ボーダフォンライブ！などで入手した画像やアニメーションを、待受画面の壁紙として利用します。

- 画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **◉④⓪の順に押す。**

2 **「1壁紙設定」を選び、◉を押す。**

3 **「1ON」を選び、◉を押す。**

4 ***内蔵画像を利用するとき***

1「1アニメ Pleasure」～「6イラスト Disney 2」のいずれかを選び、◉を押す。

オリジナル画像を利用するとき

1「7オリジナル」を選び、◉を押す。

2 データフォルダ（☞P.12-6）から画像を選び、◉を押す。

- 画像サイズの変更：（メニュー）➡「1拡大縮小」選択➡◉➡で拡大縮小（☞P.12-15）
- 分割画像の設定：（メニュー）➡「2分割画像作成」選択➡◉➡「2」～「4」選択➡◉➡データフォルダから画像選択➡◉➡◉➡（完了）
  - 分割画像作成については、P.12-21を参照してください。

5 **◉を押す。**

補足

- ボーダフォンライブ！やデータフォルダで、画像を壁紙に登 すると、壁紙設定は自動的に「ON」に設定されます。（待受画面に戻ると、壁紙が表示されます。）
- VアプリをVアプリ待受に設定していると、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
- 壁紙を「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。（アニメーションを選んだときや複数の画像を設定すると、さらに短くなります。）
- カレンダー（☞P.8-3）を「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」に設定すると、壁紙は表示されません。
- アニメーションを選んでも、待受画面で約15秒間何も操作しないときは、静止画像になることがあります。また、カレンダー（☞P.8-3）を「1ヶ月表示（大）」～「6ヶ月表示」に設定中のアニメーションは「**時計小**」で表示されます。

待受画面のアイコン表示

■ 壁紙を設定しているときの待受画面のアイコン（電波状態表示や電池残量表示）は、次の操作で消すことができます。

◉④⓪➡「5**マーク表示設定**」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

■「**マーク表示設定**」を「OFF」に設定している場合に待受画面にアイコンを表示するときは、を押します。（約5秒間表示されます。）

- 壁紙を設定していないときや待受画面以外では、マーク表示設定にかかわらずアイコンが表示されます。

時計／カレンダー表示設定

時計の表示形式を設定する

- お買い上げ時には、「**時計大**」に設定されています。

1 **◉⑤③の順に押す。**

2 **「1時計大」または「2時計小」を選び、◉を押す。**

- 時計の非表示：「4OFF」選択➡◉

カレンダーの表示形式を設定する

1ヶ月表示（「**スタンプ表示（大）**」、「**スタンプ+スケジュール表示**」、「**大**」、「**小**」）2ヶ月／4ヶ月／6ヶ月表示の7種類から選べます。

- 「**スタンプ表示（大）**」を選ぶと、1ヶ月表示（大）のカレンダーに、スケジュールで登 したスタンプを表示できます。また、「**スタンプ＋スケジュール表示**」を選ぶと、スケジュール内容もあわせて表示できます。
- 「**1ヶ月表示（小）**」、「**2ヶ月表示**」は、表示位置を変更できます。
- お買い上げ時には、「**スタンプ表示（大）**」に設定されています。

1 **◉⑤③の順に押す。**

2 **「3カレンダー」を選び、◉を押す。**

- カレンダー曜日色の設定：「8**曜日色設定**」選択➡◉➡曜日選択➡◉➡色選択➡◉➡（戻る）

3 **「1スタンプ表示（大）」～「7 6ヶ月表示」のいずれかを選び、◉を押す。**

- 「4 1ヶ月表示（小）」、「5 2ヶ月表示」選択時：表示位置指定➡◉

カレンダーの見かた

現在の日付
●現在の日付は、反転表示されています。

スケジュールが設定されている日付
●スケジュール（☞P.14-14）が設定されている日付には、アンダーラインが表示されます。（スタンプ設定時は除く）

スタンプ
●スケジュールで設定したスタンプが表示されます。（☞P.14-14）

「スタンプ+スケジュール表示」設定時

●Ⓢを一度押すと前の月のカレンダーが、Ⓢを一度押すと次の月のカレンダーが表示されます。Ⓢを押し続けると、表示される月が連続して変わります。（「2ヶ月表示」はひと月ずつ順に、「4ヶ月表示」、「6ヶ月表示」はふた月ずつ順に送られます。）クリアを押すと、現在日のカレンダー表示に戻ります。
●カレンダー表示中に〔キー〕を押し一時的にカレンダー表示を消すと、Ⓢ（キー長押しのガイド）やⓈ（着信履歴の確認）を行うことができます。
このあとカレンダー表示に戻るときは、もう一度〔キー〕を押します。

●壁紙を「ON」に設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。ただし、カレンダーを「**スタンプ表示（大）**」または「**スタンプ+スケジュール表示**」に設定しているときは表示されません。
●壁紙でアニメーションが動作しているときは、アニメーション終了後、カレンダーが表示されます。
●Vアプリ待受を設定していると、カレンダーが表示されないことがあります。

文字サイズ（フォント）変更

ディスプレイに表示される文字の太さや大きさを変更します。

文字の太さを変更する

●お買い上げ時には、「文字1」に設定されています。

1 ◉④⓪**の順に押す。**

2「**3文字表示設定」を選び、◉を押す。**

3「**1文字1」～「4文字4」のいずれかを選び、◉を押す。**

●項目（「2文字2」など）を選ぶと、文字表示設定画面下部に文字のサンプルが表示されます。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONT及びLCロゴマークは、シャープ株式会社の登　商標です。

メニュー表示の文字を大きくする

●お買い上げ時には、「OFF」（等倍）に設定されています。

1 ◉④⓪**の順に押す。**

2「**4文字拡大メニュー」を選び、◉を押す。**

3「**1ON」を選び、◉を押す。**

「文字拡大メニュー」を「ON」に設定すると、ファンクションメニューやツールメニューなど、大分類メニューの文字が大きくなります。大分類メニュー内のメニューや各機能の画面では、文字が大きくならないものもあります。

マイキャラクタ設定

電源ON／OFF時やアラーム動作時、着信中に、モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像などを、マイキャラクタとして表示します。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ◉④⓪**の順に押す。**

2「**2マイキャラクタ」を選び、◉を押す。**

3 表示場面を選び、◉を押す。

●マイキャラクタの表示場面が「**3着信**」または「**4アラーム**」のときは、E-アニメータの画像は利用できません。

4「**1キャラクタ1」、「2Disney」、「3オリジナル」のいずれかを選び、◉を押す。**

●「**1キャラクタ1**」または「**2Disney**」を選んだときは、このあと操作7へ進みます。
■ マイキャラクタ設定の解除：「**4OFF**」選択➡◉（操作完了）
■ オリジナル選択時の画像の変更：〔キー〕（**変更**）

5 データフォルダ（☞P.12-6）から画像を選び、◉を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。
●利用できない画像は表示されません。

パワーON	横120×縦130ドット	着信	横120×縦38ドット
パワーOFF	横120×縦130ドット	アラーム	横120×縦51ドット

●マイキャラクタとして表示されるときは、2倍に拡大表示されます。
■ 画像の表示サイズの変更：〔スケジュール〕（「**等倍**」⇔「**2倍**」切替）

6 Ⓢ**で画像の表示範囲を指定する。**

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。
■ 画像の変更：クリア➡操作5からやり直す

7 ◉を押す。

マイキャラクタが設定されます。

- すでに登　されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登　せずに、ボーダフォンライブ！などから直接マイキャラクタに設定していたときは、画像は消去されます。）

マイキャラクタの「3着信」を「3オリジナル」に設定している場合に、メモリダイヤルのピクチャーコール／メールを登　している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、マイキャラクタの設定は無効になります。

ディスプレイ／ボタンの照明設定

それぞれの照明の点灯時間を変更したり、点灯しないようにします。

- 1日の中で特定の時間帯だけ点灯するようにも設定できます。
  このときは、あらかじめ現在時刻を合わせておいてください。（☞P.1-24）
- お買い上げ時には、「ON」（15秒）に設定されています。

1 *ディスプレイの照明を設定するとき*

1 ◉34の順に押す。

2「1パネル照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

ボタンの照明を設定するとき

1 ◉34の順に押す。

2「2キー照明ON／OFF」を選び、◉を押す。

2 *点灯時間を変更するとき*

1「1ON」を選び、◉を押す。

2 点灯時間（01〜99秒）を入力し、◉を押す。

点灯時間が設定されます。

点灯しないようにするとき

1「2OFF」を選び、◉を押す。

- 「OFF」に設定しても、モバイルカメラ起動中はパネル照明が点灯します。

点灯する時間帯を設定するとき

1「3点灯時間帯」を選び、◉を押す。

2 開始時刻と終了時刻（各4ケタ）を入力し、◉を押す。

開始時刻から終了時刻までの間、パネル照明が点灯します。

3 点灯時間（01〜99秒）を入力し、◉を押す。

- 時刻を設定していないときは、点灯時間帯での設定は反映されません。
- ビューアポジションでは、キー照明は点灯しません。
- パネル照明やキー照明の点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

ディスプレイの明るさを設定する

ディスプレイの照明の明るさを4段階で調整します。

- お買い上げ時には、「明るさ4」に設定されています。

1 ◉34の順に押す。

2「4パネル明るさ調整」を選び、◉を押す。

3 ◎（明るくする）または ◎（暗くする）で、明るさを選ぶ。

押すごとにパネル照明の明るさが変わります。

4 ◉を押す。

シガーライター充電器に接続したときの照明を設定する

オプション品のシガーライター充電器で充電するとき、ディスプレイやボタンの照明を点灯するようにします。

- お買い上げ時には、「OFF」（点灯しない）に設定されています。

1 ◉34の順に押す。

2「3車載時設定」を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

■ 車載時設定の解除：「2OFF」選択➡◉

その他のディスプレイ関連機能

ボーダフォンライブ！アニメ設定	メール送受信時や情報受信時、ボーダフォンライブ！起動時にアニメーションを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 ON

◉48➡「2ボーダフォンライブ！アニメ」選択➡◉➡「1メール送信」〜「8ウェブ起動」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

Disneyスタイル	インデックスメニュー画面、通話中やメール送受信時、アラーム画面などで、Disneyキャラクターを表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

◉45➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

- 「ON」に設定すると、メインディスプレイの電波状態や電池レ　ル表示も、Disneyキャラクター表示になります。

スクリーンアニメ設定	操作しない状態（クローズポジションを除く）で一定時間以上経過したとき、アニメーションを表示します。

お買い上げ時OFF

内蔵アニメーションの利用

◉④⑧➡「1スクリーンアニメ」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「1アニメーション選択」選択➡◉➡「1アニメーション１」／「2Disneyアニメ」選択➡◉➡◉

ボーダフォンライブ！などで入手したアニメーションの利用

◉④⑧➡「1スクリーンアニメ」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「1アニメーション選択」選択➡◉➡「3オリジナル」選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉

スクリーンアニメ起動時間の設定

◉④⑧➡「1スクリーンアニメ」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「2起動時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

スクリーンアニメの解除

◉④⑧➡「1スクリーンアニメ」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

- スクリーンアニメに利用できるアニメーションは、E-アニメータ（.nva）だけです。
- スクリーンアニメ表示中に何かボタンを押すと、スクリーンアニメは停止します。
- 待受画面やモバイルカメラ起動中など、V402SHの動作状態や操作内容によっては、スクリーンアニメが表示されないことがあります。

補足　スクリーンアニメを「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

ウェイクアップ	電源を入れたときに、ディスプレイ下部にメッセージなどを表示します。

お買い上げ時OFF

◉③⑥➡「1ON」選択➡◉➡内容入力➡◉

- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

ウェイクアップの解除

◉③⑥➡「2OFF」選択➡◉

ビューア時表示方向設定	ビューアポジション時のディスプレイを180度回転させて表示します。

お買い上げ時表示方向１（オープンポジションと同じ）

◉④⓪➡「6ビューア時表示方向」選択➡◉➡「1表示方向１」／「2表示方向２」選択➡◉

- 次のときは、「2表示方向２」に設定しても、180度回転して表示されません。
  ■モバイルカメラ撮影時　■着信中　■通話中　■発信中
- この設定は、ビューアポジションの縦表示のときのみ有効となります。
- ここでの設定は、「**ビューア時表示方向**」（☞P.6-16）に反映されます。

日本語／英語切替	ディスプレイの表示を、日本語または英語に設定します。

お買い上げ時日本語

◉③⑤➡「1日本語」／「2English」選択➡◉

音の設定

着信設定

着信音のパターンや音量、バイブレータの動作、ランプの色や点滅パターン、着信音の鳴る時間を設定します。着信の種類とお買い上げ時の設定は次のとおりです。

	通常着信	メール着信	ウェブ着信	ステーション着信	受信完了通知	配信確認
着信パターン	パターン1	効果音 メール	効果音 ウェブ	効果音 ステーション	パターン5	効果音 レポート
着信音量	音量5※	音量5※	音量5※	音量5※	音量1	音量5※
バイブ設定	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
バイブパターン	バイブ1	バイブ2	バイブ3	バイブ4	バイブ5	バイブ2
ランプ設定	モバイルライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト
モバイルライトカラーパターン	マスカット（緑色系統）	—	—	—	—	—
モバイルライト／スモールライト点滅パターン	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1
着信呼出時間	—	10秒	10秒	10秒	1秒	10秒

※ 鳴動中に Ⓢ で音量の調節ができます。

- 「**受信完了通知**」とは、次のようなときの動作です。
  - ■メールサーバーからメッセージの続きやメールリストを取得したとき
  - ■メールサーバーのメッセージを消去したとき
  - ■ステーションのメインリストや位置情報履歴を手動で更新したとき
- 「**配信確認**」とは、サービスセンターから通信レポートを受信したときの動作です。（☞ P.4-16）
- 設定した内容は、電源を切っても保持されます。
- マナーモード設定中は、マナーモードの設定内容（☞P.3-4）が優先されます。

着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定していると、着信設定で設定している着信パターンやバイブパターンとは異なる動作をすることがあります。

着信音量を設定する

1 **◉①⓪の順に押す。**

2 **着信の種類を選び、◉を押す。**

3 **「②着信音量」を選び、◉を押す。**

4 **Ⓢで音量を選ぶ。**

- 「**音量5**」が最大です。「**ステップ**」に設定すると、約3秒ごとに、「**音量1**」～「**音量5**」の順に段々と音が大きくなります。

■ 音量の確認：Ⓞ（♪**再生**）
- ■マナーモード設定中の音量はマナー設定内容と連動します。
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中にⓄ（**停止**）

5 **◉を押す。**

通常着信を「**ステップ**」に設定すると「🔳」が、「**サイレント**」に設定すると、「Ⓢ」が待受画面に表示されます。

着信パターンを設定する

パターン5種類、効果音15種類、メロディ10種類（☞P.9-4）の中から選べます。

1 **◉①⓪の順に押す。**

2 **着信の種類を選び、◉を押す。**

3 **「①着信パターン」を選び、◉を押す。**

4 ***あらかじめ登録されているパターンや効果音を選ぶとき***

❶「①固定パターン」を選び、◉を押す。

あらかじめ登録されているメロディを選ぶとき

❶「②固定メロディ」を選び、◉を押す。

データフォルダに登録したファイルを選ぶとき

❶「③データフォルダ」を選び、◉を押す。

ボイスフォルダに登録したボイスファイルを選ぶとき

❶「④ボイスフォルダ」を選び、◉を押す。

- SDメモリカード内のサウンドは、着信パターンに設定できません。
- ボイスファイルは、「**受信完了通知**」には利用できません。
- ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、着信パターンに設定できません。
- サウンドのデータ内容などによっては、着信音として登 できないことがあります。

5 **パターンやメロディ、ファイルなどを選ぶ。**

■ パターンの確認：Ⓞ（♪**再生**）
- ■再生の停止：上記操作のあと、Ⓞ（**停止**）
- ■マナーモード設定中や、着信音量をサイレント、ステップに設定しているときでも、「**音量1**」で再生されます。

あらかじめ登 されているメロディを着信パターンに設定した場合、バイブ設定（☞P.9-4）が「**SMAF連動**」に設定されているときに再生すると、メロディ内のバイブレータが動作します。

6 **◉を押す。**

着信パターンを設定したデータフォルダ内のサウンドを消去したり、移動したりすると、着信パターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

あらかじめ登録されているメロディ

曲　　名	作曲者名	画面表示
くまのプーさん	藤田　妙子	くまのプーさん
組曲「惑星」より「木星」	HOLST GUSTAV	組曲「惑星」より「木星」
カノン	PACHELBEL JOHANN	カノン
アンネンポルカ	STRAUSS JUN JOHANN	アンネンポルカ
ジュ・トゥ・ヴ	SATIE ERIK ALFREDI LE	ジュ・トゥ・ヴ
ジムノペディ	SATIE ERIK ALFREDI LE	ジムノペディ
乙女の祈り	BADARZEWSKA BARANOWSKA TEKLA	乙女の祈り
森のくまさん	アメリカ民謡	森のくまさん
THE JAZZ MAN	TJK	THE JAZZ MAN
CONFUSION	TJK	CONFUSION

許諾番号
T-0460182
JASRAC

着信をバイブレータでお知らせする

バイブレータを設定する

1 ◉①⓪の順に押す。

2 着信の種類を選び、◉を押す。

3 「3バイブ設定」を選び、◉を押す。

- 「3SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータを動作させるときに選びます。
- バイブレータが設定されていないメロディ（SMAFファイル）には無効です。

4 「1ON」、「2OFF」、「3SMAF連動」のいずれかを選び、◉を押す。
通常着信のバイブ設定を「ON」にすると「V」（緑色）が、「SMAF連動」に設定すると「V」（黄色）が待受時に表示されます。

バイブレータを設定中、V402SHを机の上などに置いておくと、着信があったとき振動により落下することがあります。充電するときは、落下防止のためにもバイブ設定を「OFF」にすることをおすすめします。

バイブパターンを設定する

- バイブレータが「ON」に設定されているとき（☞上記）のパターンを設定します。

1 ◉①⓪の順に押す。

2 着信の種類を選び、◉を押す。

3 「4バイブパターン」を選び、◉を押す。

4 バイブパターンを選び、◉を押す。

バイブパターン	動作
バイブ1	0.75秒振動→0.75秒停止のくり返し
バイブ2	0.25秒振動→0.25秒停止→0.25秒振動→1秒停止のくり返し
バイブ3	1秒振動→2秒停止のくり返し
バイブ4	1秒振動→1秒停止→1秒振動→2秒停止のくり返し
バイブ5	0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1秒停止のくり返し

モバイルライト／スモールライトを設定する

1 ◉①⓪の順に押す。

2 着信の種類を選び、◉を押す。

3 「5ランプ設定」を選び、◉を押す。

4 *モバイルライトに設定するとき*

1「1モバイルライト」を選び、◉を押す。

2カラーパターンを選び、◉を押す。

スモールライトに設定するとき

1「2スモールライト」を選び、◉を押す。

- スモールライトは、固定色（緑色）です。

点滅しないようにするとき

1「3OFF」を選び、◉を押す。

5 点滅パターンを選ぶ。

■ 点滅パターンの確認：⊙（点灯）

■ 点滅の停止：上記操作のあと、点滅中に⊙（停止）

点滅パターン	動作
パターン1	0.75秒点灯→0.75秒消灯のくり返し
パターン2	0.25秒点灯→0.25秒消灯→0.25秒点灯→1秒消灯のくり返し
パターン3	1秒点灯→2秒消灯のくり返し
パターン4	1秒点灯→1秒消灯→1秒点灯→2秒消灯のくり返し
パターン5	0.5秒点灯→0.5秒消灯→0.5秒点灯→1秒消灯のくり返し
SMAF連動	SMAFに連動（モバイルライトで設定可能）

「6SMAF連動」は、メロディ（SMAFファイル）にランプが設定されている場合、メロディ内のランプを動作させるときに選びます。

6 ◉を押す。

着信呼出時間を設定する

●通常着信では設定できません。

1 ◉①⓪の順に押す。

2 着信の種類（「1通常着信」以外）を選び、◉を押す。

3 「6着信呼出時間」を選び、◉を押す。

4 呼出し時間（01～99秒）を入力し、◉を押す。（例：９秒のとき⓪⑨）

各種効果音の設定

効果音設定は、操作音の種類ごとに設定します。操作音の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

	ボタン確認音	エラー音	パワー ON	パワー OFF	サウンド再生音量	サウンドランプ設定
設定	ON	ON	ON	ON	音量５	スモールライト
サウンド選択	プッシュトーン	効果音 エラー音	効果音 オープニング1	効果音 エンディング1		
サウンド音量	音量中	音量中	音量5	音量5		
サウンド時間	0.05秒	0.5秒	３秒	３秒		

●「パワー ON」は電源を入れたとき、「パワー OFF」は電源を切ったときを意味します。
●「サウンド再生音量」はデータフォルダのサウンドや、メールに添付されたサウンド、ウェブ上のサウンドなどの再生音量を意味します。
●「サウンドランプ設定」はサウンドを再生したときのランプ設定を意味します。
●設定した各種効果音設定は、電源を切っても保持されます。

操作音のパターンを設定する

●操作音を鳴らないようにすることもできます。

1 ◉①③の順に押す。

2 「1ボタン確認音」、「2エラー音」、「3パワー ON」、「4パワー OFF」のいずれかを選び、◉を押す。

- サウンド再生音量の設定：「5サウンド再生音量」選択➡◉➡音量選択➡◉
- サウンドランプの設定：「6サウンドランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」／「2スモールライト」／「3OFF」選択➡◉
  - ■モバイルライト選択時：上記操作のあと、カラーパターン選択➡◉

3 「1ON」を選び、◉を押す。

- 効果音なし：「2OFF」選択➡◉

4 「1サウンド選択」を選び、◉を押す。

5 *あらかじめ登録されているパターンを選ぶとき*

1「1固定パターン」または「2固定メロディ」を選び、◉を押す。

データフォルダに登録したメロディを選ぶとき

1「3データフォルダ」を選び、◉を押す。

注意

●SDメモリカード内のサウンドは、操作音のパターンに設定できません。
●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、操作音のパターンに設定できません。
●サウンドのデータ内容などによっては、操作音として登　できないことがあります。

「ピッ」という音にするとき（ボタン確認音）

1「4プッシュトーン」を選び、◉を押す。
操作音のパターンが設定されます。（操作完了）

6 パターンやメロディ、ファイルなどを選ぶ。

- パターンの確認：◎（♪再生）
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

7 ◉を押す。

補足

操作音に設定したデータフォルダ内のサウンドを消去したり、移動したりすると、操作音のパターンはお買い上げ時の状態に戻ります。

その他の着信設定

サウンド音量　操作音を「ON」に設定したときの音量を、３段階または５段階で設定します。

お買い上げ時☞P.9-6

◉①③➡「1ボタン確認音」～「4パワー OFF」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「2サウンド音量」選択➡◉➡◎（音量選択）➡◉

サウンド時間　操作音をどれくらいの時間鳴らすかを設定します。

お買い上げ時☞P.9-6

ボタン確認音／エラー音のサウンド時間設定

◉①③➡「1ボタン確認音」／「2エラー音」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「3サウンド時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

パワー ON／パワー OFFのサウンド時間設定

◉①③➡「3パワー ON」／「4パワー OFF」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「3サウンド時間」選択➡◉➡時間（01～10秒）入力➡◉

補足

●ボタン確認音やエラー音で選択したサウンドによっては、サウンド時間が短いと操作音が鳴らないことがあります。
●「4プッシュトーン」を選んだときのボタン確認音は、サウンド時間の設定にかかわらず「10.05秒」で鳴ります。

着信用ボイス録音

V402SHで　音した音声を、着信音やアラーム音として利用できます。
- 　音可能時間は30秒です。

1 **◉①⑦の順に押す。**

2 **「2着信用ボイス録音」を選び、◉を押す。**

3 **タイトルを入力し、◉を押す。**
入力したタイトルは、自動的にファイル名として登　されます。
●最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

4 **◉を押す。**
　音が始まります。

5 **録音を終わるときは、◉を押す。**
V402SHのボイスフォルダのフォルダ０に登　されます。

録音内容の確認

■ 操作５のあと次の操作を行います。
ボイスファイル選択➡◉（**再生**）
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に（**停止**）

ボイスファイルの着信音設定

■ 操作５のあと次の操作を行います。
ボイスファイル選択➡（**メニュー**）➡「**2着信音設定**」選択➡◉➡着信の種類選択➡◉

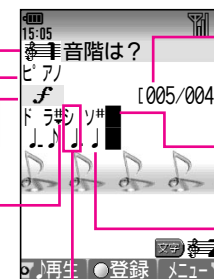
　音中に着信があると　音は中止されます。（　音内容は消去されます。）

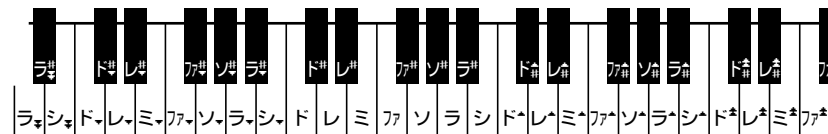
オリジナル着信音の作成

自分でメロディを作り、着信音として利用したり、ロングメールに添付して送信できます。
- １曲あたり95音×32和音または190音×16和音、380音×８和音のいずれかまで入力できます。
- オリジナル着信音は、データフォルダ（☞P.12-3）に登　されます。

- オリジナルメロディをロングメールに添付して送信するときは、ファイル形式を変換して添付します。変換するファイル形式によっては、削除される旋律（和音）があったり、音色設定や強弱設定が変わることがありますので、変換の際は「**ファイル形式を変換して添付する**」（☞P.3-12）をご確認ください。
- 受信側の相手機種によっては、変換したファイルを再生できないことがあります。

オリジナル着信音の基礎知識

ディスプレイ

入力できる音の高さ

約４オクターブ入力できます。（半音も使えます。）

入力できる音符／休符

音符	休符	長　さ	音符	休符	長　さ
𝅝	𝄻	全音符（休符）	𝅗𝅥.	𝄼.	付点２分音符（休符）
𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	3連符	3連休符	全音３連符（休符）
♪	𝄾	８分音符（休符）	3連符	3連休符	16分３連符（休符）
♪.	𝄾.	付点８分音符（休符）	3連符	3連休符	８分３連符（休符）
♩	𝄽	４分音符（休符）	3連符	3連休符	４分３連符（休符）
♩.	𝄽.	付点４分音符（休符）	3連符	3連休符	２分３連符（休符）
𝅗𝅥	𝄼	２分音符（休符）			

作成の流れ

1 オリジナル着信音のタイトルを入力する
- ここで入力したタイトルが、着信音選択時に表示されます。
- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

2 曲のテンポを指定する
- 「**速い**」、「**普通**」、「**やや遅い**」、「**遅い**」のいずれかを選びます。
- テンポの目安は、次のとおりです。（「♩」の数は１分間に鳴る４分音符の数です。）

1速い	♩=150	3やや遅い	♩=107
2普通	♩=125	4遅い	♩=94

3 和音数を指定する
- 「**８和音**」、「**16和音**」、「**32和音**」のいずれかを選びます。

4 メロディ（旋律１ 𝄞1）を１音ずつ入力する
- 音の高さやオクターブ、長さなどを順に入力します。半音や３連符の入力も可能です。（☞P.9-11～P.9-12）
- 入力中に◎（♪**再生**）を押すと、それまで入力したすべての旋律のメロディが流れます。またスケジュール/メモを押すと、表示している旋律のメロディがカーソルのある位置まで流れます。音量は、サウンド再生音量（☞P.9-6）と連動します。
  マナーモード設定中でも、◎（♪**再生**）やスケジュール/メモを押すとメロディが流れます。（音量を「**サイレント**」に設定していても、「**音量１**」で流れます。）
- 入力中に✉（**メニュー**）を押すと、入力中の旋律の音色や強弱を設定できます。

5 ハーモニー（旋律２ 𝄞2、旋律３ 𝄞3…旋律32 𝄞32）を入力する
- 文字を押すと、他の旋律の入力画面に切り替わります。
- 入力方法は、旋律１と同様です。

6 メロディの音色を設定する
- お買い上げ時には、すべての旋律が「**ピアノ**」に設定されています。
- あらかじめ登　されている音色や新しく作成した音色（☞P.9-17）から選びます。
- 旋律１と旋律17、旋律２と旋律18、旋律３と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ音色になります。

7 メロディの強弱を設定する
- お買い上げ時には、すべての旋律が「**強い**」に設定されています。
- 旋律ごとに「**強い**」、「**普通**」、「**弱い**」のいずれかを選びます。

8 入力したメロディを登録する
- すべて入力できれば、登　します。
- 着信パターン（☞P.9-3）で、データフォルダに登　したオリジナル着信音を選べば、着信音として利用できます。

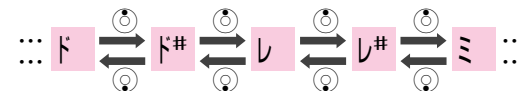
メロディの入力方法

１音ごとに次の手順で入力します。
- 旋律１～旋律32とも、同様の操作で入力します。

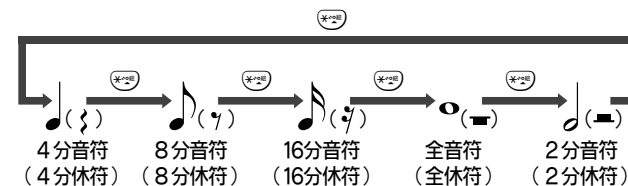
1 音の高さや休符を指定する
下表のボタンを使用します。

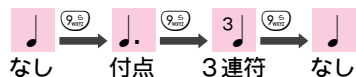
ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	休符
1	2	3	4	5	6	7	0

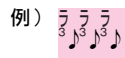
<音の高さの指定>
- 上記のボタンを１回押すと、４分音符が指定されます。同じボタンをくり返し押すと、同じ音で１オクターブ上または下の音が順番に選択できます。

- 音が指定された状態で◎を押すと、半音ずつ上または下に高さが変わります。

<休符の入力>
- 0を押します。「休」が表示され、４分休符が入力されます。

2 音符や休符の種類を指定する
＊または＃をくり返し押します。

9 音の設定

<付点付きの音符や３連符の指定>

●音符を選んだあと、9を押します。
付点が利用できるのは、２分音符（２分休符）、４分音符（４分休符）、８分音符（８分休符）です。

●３連符は３つ続けて入力してください。

例）

３つ続いていない３連符が入力されているメロディは、正しく再生できなかったり、ロングメールに添付できないことがあります。
また、音の高さが極端に違う３連符が入力されているメロディも、ロングメールに添付できないことがあります。

<スラーの指定>

●音符を選んだあと、8を押します。音符の右に「_」が表示され、次の音となめらかにつながるようになります。

■これで、１つの音の指定は終了です。

次の音を入力するときは、◎で、カーソルを１つ右に進めたあと、前ページの操作からくり返します。

●音符が入力されていない位置にカーソルがあるとき、◎を押すと、直前の音符と同じ音符が入力できます。

●同じ音階（高さ）の音を複数の旋律で同時に鳴らしたときは、正しく再生されないことがあります。
●同時に多くの旋律を鳴らすと、ひずみや音割れを起こすことがあります。

メロディを入力するとき、ボタンを押すと指定した音が鳴ります。ただし、マナーモード（☞P.3-3）設定中は鳴りません。

オリジナル着信音を作成する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、オリジナル着信音を登　できません。不要なファイルを消去（☞P.12-29）してから作成してください。

1 ◉17の順に押す。

2 「1オリジナルメロディ作成」を選び、◉を押す。

3 タイトルを入力し、◉を押す。
●全角12文字（半角24文字）以内で必ず入力してください。
●入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登　されます。ファイル名は変更できます。（☞P.12-28）

4 テンポ（☞P.9-10）を選び、◉を押す。

5 和音数を選び、◉を押す。

6 音の高さや休符を指定する。（☞P.9-11）

7 音符や休符の種類を指定する。（☞P.9-11）

8 １つの音が入力できれば、◎を押す。
カーソルが１つ右に移動し、次の音が入力できます。

9 操作６～８をくり返し、音を順に入力する。
●このあと（メニュー）を押すと、操作11～20の音色設定、強弱設定をここで行うこともできます。
■すべての旋律のメロディの再生：（♪再生）
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）
■表示中の旋律のメロディを再生（カーソル位置まで）：スケジュール
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）
■他の旋律のメロディ入力：文字（押すたびに旋律切り替え）

10 すべての音が入力できれば、◉を押す。
●音色や強弱を設定しないときは、このあとP.9-14操作21へ進み、作成したオリジナル着信音を登　してください。
■入力済のメロディ修正：「2修正」選択➡◉（修正の詳細：☞P.9-15～P.9-16）

11 「3音色設定」を選び、◉を押す。

12 旋律を選び、◉を押す。

13 ◎で音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。
●オリジナル音色を選ぶときは、「**オリジナル（FM）**」または「**オリジナル（WT）**」を選んでください。
■作成したメロディ再生：（♪再生）
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）
■音色の確認：（確認）➡「ドレミファソラシド」再生
▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

14 ◉を押す。

■ 他の旋律の設定：操作12〜14をくり返す

15 ✉（戻る）を押す。

●強弱を設定しないときは、このあと操作21へ進みます。

16「4強弱設定」を選び、◉を押す。

17 旋律を選び、◉を押す。

18「1強い」〜「3弱い」のいずれかを選ぶ。

■ メロディの強弱の確認：◎（♪再生）

▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

19 ◉を押す。

■ 他の旋律の設定：操作17〜19をくり返す

■ 設定したメロディの確認：◎（♪再生）

▪再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

20 ✉（戻る）を押す。

21「1登録」を選び、◉を押す。

V402SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されます。ファイル名の前に「🎹」が表示されます。

オリジナル着信音作成中に着信があると

■ 作成中の内容は保存されています。作成を継続するときは、次の操作を行います。
◉➡確認画面表示➡「1YES」選択➡◉

注意

スピーカーから聞こえる音は、実際の楽器の音色とは異なることがあります。
また、音色や音階によっては、聞こえる音量が異なったり、ひずんだように聞こえることがあります。

補足

多くの旋律に16分音符のような短い音符や３連符を多く入力すると、◎（♪再生）を押しても再生できないことがあります。また、◉（登録）を押したときも確認メッセージが表示され、登　できないことがあります。
このときは、旋律の数を減らしたり、短い音符を長い音符に変更したり、３連符を普通の音符に変更するとエラーを解消できます。

設定できる音色

128種類の基本音色と、61種類の拡張音色があります。
●ご自分で作ったオリジナル音色を８種類登　できます。
●それぞれの音色の音程（オクターブ）も変更できます。（音色オクターブ設定：☞P.9-22）

オリジナル着信音を修正する

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、修正したオリジナル着信音を登　できません。不要なファイルを消去（☞P.12-29）してから修正してください。

1 ◉1 7の順に押す。

2「3データフォルダ」を選び、◉を押す。

オリジナル着信音には「🎹」が表示されます。

■ SDメモリカード内のサウンドの修正：✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

3 オリジナル着信音を選び、✉（メニュー）を押す。

4「5データ編集」を選び、◉を押す。

■ 音色の修正：☞P.9-13〜P.9-14操作11〜15

■ 強弱の修正：☞P.9-14操作16〜20

5 タイトルを修正し、◉を押す。

6 テンポを選び、◉を押す。

7 和音数を選び、◉を押す。

8 修正する音にカーソルを移動する。

■ 他の旋律の修正：文字

和音数の変更

■ 和音数を変更すると、データの一部が失われることがある旨の確認画面が表示されることがあります。「1YES」を選び、◉を押すと、和音数が変更されます。（下記の表を参照してください。）
和音数の変更を中止するときは、「2NO」を選び、◉を押したあと、やり直してください。

元の和音	変更後の和音	消去される内容
８和音	16和音	各旋律の191音目以降の音
８和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	８和音	旋律９〜16
32和音	８和音	旋律９〜32
32和音	16和音	旋律17〜32

■ 和音数を変更すると、音色が変わることがあります。

9 *音を変更するとき*

1 ◎で音の高さを、#／*／8／9の各ボタンで音符や休符の種類を変更する。（☞P.9-11）

- 1～7の各ボタンで音の高さを変えたり、音符⇔休符の変更はできません。

音を追加するとき

1 追加する音を入力する。

- カーソル位置に、新しく入力した音が追加されます。
- 入力できる音数（☞P.9-9）を超えると、追加できません。

音を消去するとき

1 クリアを押す。

カーソル位置の１音が消去されます。

- すべての音を消去するときは、クリアを長く（１秒以上）押します。

■ 連続したメロディの消去：✉（メニュー）➡「6カーソル後消去」／「7カーソル前消去」選択➡◉

コピー／切り取りを行うとき

1 ✉（メニュー）を押したあと、「3コピー」または「4カット」を選び、◉を押す。

2 コピー／切り取るメロディの最初の音を指定し、◉を押す。

3 コピー／切り取るメロディの最後の音を指定し、◉を押す。

切り取ると、指定したメロディが元の画面から消去されます。

4 コピー／貼り付け先を表示する。

- 他のメロディにコピー／貼り付けするときは、コピー／貼り付け元の編集を中止するか登 したあと、コピー／貼り付け先を表示させてください。

5 ✉（メニュー）を押したあと、「5ペースト」を選び、◉を押す。

6 コピー／貼り付けする位置で、◉を押す。

10 修正が終われば、◉を押す。

■ 音色や強弱の修正：☞P.9-13～P.9-14操作11～20

11「1登録」を選び、◉を押す。

12「2上書登録」を選び、◉を押す。

修正したオリジナル着信音が登 されます。

「1新規登録」を選び、◉を押すと、修正前のメロディは変更されず、新しいメロディとして登 できます。

オリジナル着信音を消去する

1 ◉1 7の順に押す。

2「3データフォルダ」を選び、◉を押す。

3 オリジナル着信音を選び、✉（メニュー）を押す。

4「◆消去」を選び、◉を押す。

5「1YES」を選び、◉を押す。

オリジナル音色の作成

新しく音色を作り、オリジナル着信音などの音色として利用できます。

- ８和音用／16和音用、32和音用、WT音源それぞれ、８種類まで登 できます。

オリジナル音色の基礎知識

オリジナル音色は、FM音源のしくみを利用し「**アルゴリズム**」、「**オペレータ**」、「**エフェクト周波数**」の動作（パラメータ）を設定することにより、お好みの音色を作成するものです。

- あらかじめ登 されている音色、または新しく作成したオリジナル音色を利用します。実際に音色を再生しながら、オリジナル音色を作成してください。
- WT音源の音色も作成できます。

作成の流れ

1 **和音の種類を選ぶ**

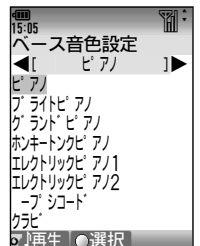
- 「８,16和音用」、「32和音用」、「WT音源」のいずれかを選びます。

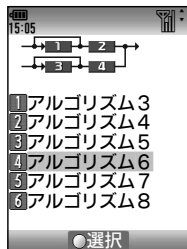
2 **オリジナル音色の登録先を選ぶ**

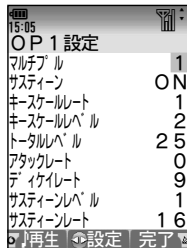
3 **オリジナル音色の名前を入力する**

- ここで入力した名前が、音色選択時に表示されます。
- 最大全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

4 **ベースになる音色を選ぶ**

- あらかじめ登 されている音色から選びます。

5 アルゴリズムを選ぶ

●８,16 和音は６種類、32 和音は２種類のアルゴリズムから選びます。
●WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

6 各オペレータのパラメータを設定する

●８,16 和音は４種類、32 和音は２種類のオペレータが設定できます。
●選んだ音色のパラメータが自動的に設定されています。
●Ⓒで設定するパラメータを選び、Ⓒで内容を変更できます。
●設定中にⒸ（♪再生）を押すと、音色が流れます。

7 エフェクト周波数や基本オクターブなどを設定する

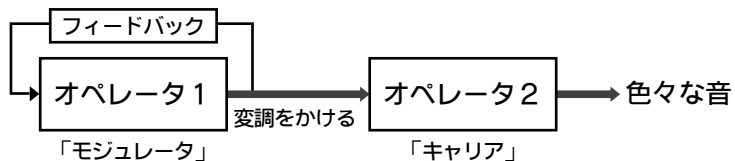
8 音色を登録する

●設定がすべて完了すれば、登　します。
●登　したオリジナル音色は、オリジナル着信音の音色として利用できます。

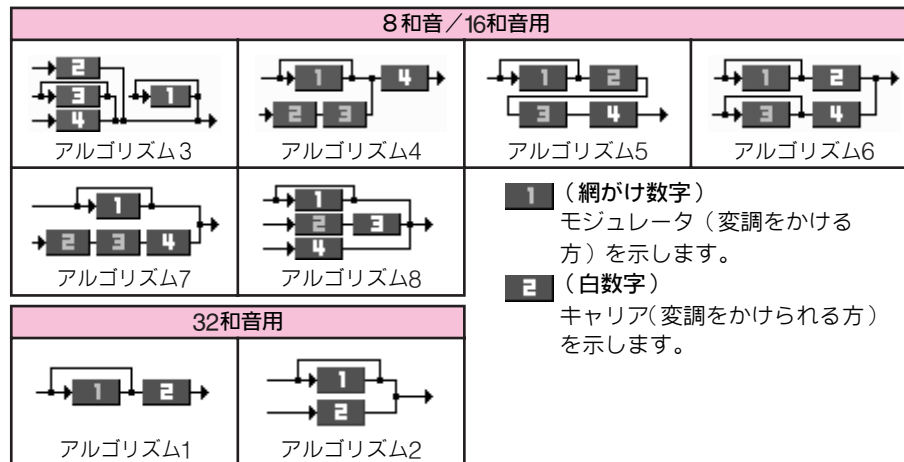
WT音源

■楽器などの音色の波形データを記　したものを読み出して利用する形式の音源です。原音に近い音色を着信音として利用できます。

FM音源

「**オペレータ**」と呼ばれる１つの正弦波を発生させる機能を組み合わせることで、色々な音色を合成します。
オペレータの組み合わせ方法を「**アルゴリズム**」といいます。
オペレータはこのアルゴリズムの違いにより、「**モジュレータ**」（変調をかける方）、「**キャリア**」（変調をかけられる方）として動作します。

●各オペレータには、マルチプルやサスティーンといった様々な動作（パラメータ）を設定することができます。
●特定のオペレータに対して、フィードバックを設定することで、より幅広い音色を作ることができます。

アルゴリズムの設定

オペレータの組み合わせを設定します。８和音／16和音用は６種類、32和音用は２種類の組み合わせから選びます。

●選んだアルゴリズムにより、機能するオペレータが変化します。
●WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

オペレータの設定

オペレータに設定できるパラメータの意味と設定内容は次のとおりです。
●和音数によっては、設定できるパラメータの項目が制限されることがあります。

パラメータ	意　味
マルチプル（13段階）	音色に最も影響を与えるパラメータで、キャリアの値が大きいと高い音になります。モジュレータの値を変えることでいろいろな音色を設定できます。
サスティーン（ON/OFF）	１音符の発音長（１つの音符の長さ）終了後もそのまま音を伸ばすかどうかを設定します。ピアノ、打楽器系などで余韻を残す音を作りたいときは、「ON」に設定してください。
キースケールレート（２段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど音の立ち上がりや立ち下がりが早くなります。「２」に設定すると、より強調されます。
キースケールレベル（４段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど、音量が小さくなるものがあります。この度合いをキースケールレ　ルをかけないものを含めて、４段階から選択します。
トータルレベル（64段階）	**（１）キャリア** この値が大きくなると音量も大きくなります。 音量を抑えたい伴奏などは小さい値に設定し、それ以外は最大（64）に設定することをおすすめします。 **（２）モジュレータ** この値が大きくなると明るい、きらびやかな音色になります。 逆に値が小さくなると柔らかい音色になります。通常はこの値を目安として40〜64の範囲に設定すると、音色の変化を楽しめます。

パラメータ	意　味
アタックレート（15段階）	音が出始めてから最大音量になるまでの時間を設定します。 この時間を長く設定すると音が出ないことがありますので、この時間を長くする音色を使用するときは長い音符にしたり、テンポを遅く設定するようにしてください。
ディケイレート（16段階）	最大音量になったあと、サスティーンレベル（持続音量、減衰開始音量）まで音量が下がる時間を設定します。
サスティーンレベル（16段階）	持続音では持続して出る音量を表し、減衰音では減衰を開始する音量を表します。この値が大きいほど音量は大きくなります。
サスティーンレート（16段階）	サスティーンレベルに達してからの減衰を設定します。値が小さいほどサスティーンレベルを持続する時間が長くなります。また、「16」に設定すると持続音、それ以外では減衰音となります。
リリースレート（16段階）	持続音では音符の長さの発音を終了してから音が出なくなるまでの時間を表し、減衰音では減衰開始から音が出なくなるまでの時間を表します。 この時間が短いほど早く鳴り終わります。 余韻が必要な音色では時間を長く設定してください。
KEYOFF無視（ON/OFF）	ドラムなどの減衰音では「ON」にすることにより、音が急に途切れる現象を防ぐことができます。
波形選択（29種類）	基本となる波形を選択します。
ビブラート（４段階/OFF）	音程の変化（ビブラート）を有効にするかどうかを設定します。
AM変調（４段階/OFF）	音の強さの変化（トレモロ）を有効にするかどうかを設定します。
フィードバック（８段階）	フィードバックされるオペレータを、８段階から選択します。

補足　リリースレートが大きい持続音は、音符の次に休符があっても、鳴り続けます。

その他の設定

パラメータ	意　味
エフェクト周波数（４段階）	音程の変化（ビブラート）および音の強さの変化（トレモロ）の揺れの周期を設定します。数字が大きくなるほど、周期が短くなります。
基本オクターブ（４段階）	音色の音程（オクターブ）を設定します。
パンポット（30段階）	音の左右の定位を設定します。L（左）、R（右）の組み合わせで設定し、数字が大きいほど、左または右によった音になります。
サスティーン（ON/OFF）	音をのばすかどうかを設定します。
ビブラート倍率（４段階/OFF）	ビブラートの倍率を設定します。また、ビブラートを無効にすることもできます。

●WT音源では、「**基本オクターブ**」、「**サスティーン**」、「**ビブラート倍率**」の設定はありません。

9 音の設定

F18

オリジナル音色を作成する

1 ●①⑧の順に押す。

2 「1 8,16和音用」、「2 32和音用」、「3 WT音源」のいずれかを選び、●を押す。

すでに名前を変更して音色を設定しているときは、変更された名前が表示されます。

3 登録先を選び、●を２回押す。

●名前を変更しないときは、●を１回押したあと、操作５へ進みます。

4 名前を入力し、●を押す。

●最大全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

5 「ベース音色設定」を選び、●を押す。

6 ◎でベースとなる音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。

選んだ音色の確認：◎（♪再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

7 ●を押す。

8 「音色設定」を選び、●を押す。

●アルゴリズムを変更しないときは、このあと操作11へ進みます。

9 「アルゴリズム」を選び、●を押す。

設定できるアルゴリズムが表示されます。

10 利用するアルゴリズムを選び、●を押す。

●オペレータを変更しないときは、このあと操作15へ進みます。

11 OP1などのオペレータを選び、●を押す。

ース音色のパラメータが、あらかじめ設定されています。

12 ◎でパラメータを選び、◎で内容を変更する。

パラメータの内容：☞P.9-19～P.9-20

13 操作12をくり返し、必要なパラメータをすべて変更する。

変更後の音色の確認：◎（♪再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

14 ●または✉（完了）を押す。

15 「エフェクト周波数」を選び、●を押す。

16 「1 1.9Hz」～「4 7.2Hz」のいずれかを選び、●を押す。

エフェクト周波数設定完了の確認メッセージが表示されます。

17 「基本オクターブ」を選び、●を押す。

9 音の設定

18 **音色の音程を選び、◉を押す。**

19 **「パンポット」を選び、◈で値を選ぶ。**

20 **「サスティーン」を選び、◈で「ON」または「OFF」を選ぶ。**

21 **「ビブラート倍率」を選び、◈で倍率を選ぶ。**

22 **（完了）を押す。**

23 **すべての設定が終われば、（完了）を押す。**

■ 別のオリジナル音色の作成：☞P.9-21～P.9-22操作３～23をくり返す

その他の音関連機能

スピーカーホン／スピーカー受話設定

スピーカーを使っての通話時に「**スピーカーホン**」か「**スピーカー受話**」に設定できます。

お買い上げ時 OFF

◉①⑥➡「1スピーカーホン」／「2スピーカー受話」選択➡◉

通常の通話

◉①⑥➡「3OFF」選択➡◉

スピーカー利用時の通話方法

■ ダイヤル前やダイヤル後、または着信中や通話中に、を長く（１秒以上）押します。
- 「1 **スピーカーホン**」に設定しているときは「」が、「2 **スピーカー受話**」に設定しているときは「」が表示されます。
- 「3OFF」に設定しているときは、通常の通話となります。

■ 通話を終了すると、スピーカーを使っての通話も解除されます。

■ 通話中にスピーカーを使っての通話を解除するときは、を長く（１秒以上）押します。

注意

- 付属品の TV アンテナ付きステレオイヤホンマイクなどの利用中は、スピーカーでの通話はできません。
- 「**スピーカーホン**」にして電話をかけると、呼出音がスピーカーから聞こえないことがあります。また、周りの騒音が大きいときなどは、会話が聞こえにくくなることがあります。
- 「**スピーカー受話**」にすると、こちらの声は相手に届きませんので、通話できません。

音色オクターブ設定

音色の音程（オクターブ）を、音色ごとに４段階で設定します。

◉①⑨➡◈でジャンル、◈で音色選択➡◉➡音程選択➡◉

■ 音色や音程の確認：（♪再生）
- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に（停止）

- オリジナル音色の音程は、「**基本オクターブ**」（☞P.9-21～P.9-22操作17、18）で変更してください。

ボイスレコーダー

音声の録音

録音時のご注意

ご利用の前に、電池残量をご確認ください。

●電池レ　ル表示が「▯」以下のときは　音できません。また、　音中に電池レ　ル表示が「▯」になると、　音が中止されます。

音声データは、SDメモリカードに保存されます。

●V402SHには、SDメモリカードは同梱されておりません。ご利用の際は、市販のSDメモリカードをご購入のうえ、V402SHでフォーマット（☞P.11-6）したものを取り付けておいてください。

録音中はオフラインモードに設定することをおすすめします。（☞P.10-4）

●　音中に電話の着信やメールの受信があると、　音が正常に行えないことがあります。（オフラインモードにすると、電話の発着信やメールの受信などはできなくなります。）

録音中は、絶対にSDメモリカードを取り出さないでください。

●　音データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。

●お客様が　音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●　音した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

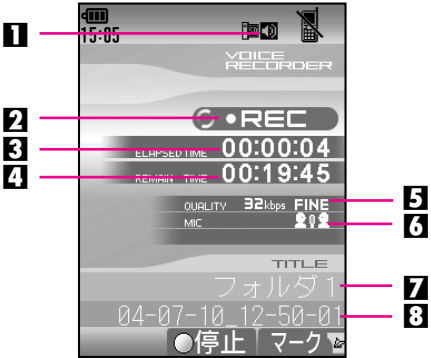
●　音したデータを、別のSDメモリカードなど他のメディアにデジタル　音（コピー）することはできません。

録音時間

データが何も保存されていないSDメモリカードの　音時間の目安は次のとおりです。

SDメモリカード容量	録音モード	録音時間
64Mバイト	ノーマル	約８時間
	ファイン	約４時間

●　音できる時間は、SDメモリカードの容量や　音モードの設定によって異なります。

ディスプレイ

1 録音中表示

　音中に赤色表示されます。

2 動作状態表示

●REC：　音中／■STOP：停止中

3 現在の録音経過時間

4 録音可能な残り時間

　音を終了する（　音した音声を登　する）か、　音中に✉（**マーク**）を押すと変化します。

5 録音モード表示（☞P.10-5）

NORMAL：ノーマル／FINE：ファイン

6 マイク感度表示（☞P.10-5）

：会議用／　：口述用

7 登録フォルダ

8 タイトル

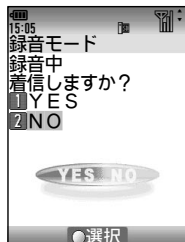
録音する

V402SHのマイクを利用して、SDメモリカードに音声を　音します。
- 1フォルダあたり最大100ファイルまで　音して登　できます。
- 通話中の音声の　音はできません。

1 **◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。**

2 **「6ボイスレコーダー」を選び、◉を押す。**

3 **「2録音モード」を選び、◉を押す。**

オフラインモードの設定画面が表示されます。
- 　音中に着信があると　音は停止します。通常はオフラインモードにする（「2NO」を選ぶ）ことをおすすめします。
- すでにオフラインモード（☞P.3-6）を「ON」に設定しているときは、操作5へ進みます。

はじめて録音するときや前回登録したフォルダが消去されているとき
- ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、　音した音声を登　するフォルダを選び、◉を押します。
- フォルダを作成するときは、次の操作を行います。
  （**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉
  - ■このあと、作成したフォルダを選び、◉を押すと、　音した音声の登　先として指定されます。

4 **「1YES」または「2NO」を選び、◉を押す。**

音画面が表示されます。

■ 登　先の変更：（**メニュー**）➡「1**フォルダ選択**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉
■ 新しいフォルダの作成：（**メニュー**）➡「1 **フォルダ選択**」選択➡◉➡（**メニュー**）➡「2**フォルダ作成**」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉

5 **◉を押す。**

音が始まります。（　音中はスモールライトが確認点灯します。）
- 　音中に（**マーク**）を押すと、以降の音声を別ファイルに分割できます。

- 　音中は、V402SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
- SDメモリカードに音声が大量に保存されているときは、　音開始までにしばらく時間がかかることがあります。

6 **録音を終了するときは、◉を押す。**

音した音声が登　されます。
- 再び◉を押すと、　音を再開できます。このときは、別のファイルとして同じフォルダに登　されます。
- 操作4で「2NO」を選び、オフラインモードを設定していたときは、　音モードを終了すると、オフラインモードは解除されます。

- V402SHで　音した音声データには、自動的に　音日時のタイトルが付きます。タイトルは、あとで変更することができます。
- オフラインモードが設定されていない状態で　音中に着信があると、　音が自動的に終了したあと、設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。（途中までの　音内容は保護されています。）
- 　音中は、リピートアラームの予定時刻になっても、アラームは動作せず　音が継続されます。　音終了後、アラームが動作します。

音声録音に関する設定

マイク感度設定

広い場所に適した「**会議用**」または対面打合せなどに適した「**口述用**」に設定します。

お買い上げ時 会議用

録音画面で（メニュー）➡「2マイク感度設定」選択➡◉➡「1会議用」／「2口述用」選択➡◉
- ご使用の目安は、「**会議用**」でV402SHのマイクから2m前後、「**口述用**」で20～30cmです。（いずれも、一度試しに　音することをおすすめします。）

録音モード設定

音モードを「**ノーマル**」または「**ファイン**」に設定します。

お買い上げ時 ファイン

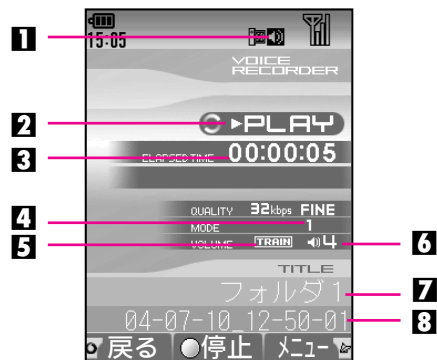
録音画面で（メニュー）➡「4録音モード設定」選択➡◉➡「1ノーマル」／「2ファイン」選択➡◉
- 「**ファイン**」に設定すると音質は良くなりますが、ファイル容量が大きくなるため、　音可能時間は短くなります。

ファイル消去

音した音声を1件ずつ消去します。

録音画面で（メニュー）➡「3データ消去」選択➡◉➡音声選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

音声の再生

ディスプレイ

1 再生中表示
再生中に緑色表示されます。

2 動作状態表示
▶PLAY：再生中／■STOP：停止中

3 現在の再生経過時間

4 再生モード表示（☞P.10-8）
1 ：1件再生／ ALL ：全件再生

5 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.10-8）
TRAIN：再生音量制限「ON」
●何も表示されないときは、「OFF」設定です。

6 再生音量（☞P.10-7）

7 フォルダ名

8 ファイル名

再生する

●再生音は、V402SHのスピーカーから聞こえます。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2 「6ボイスレコーダー」を選び、◉を押す。

3 「1再生モード」を選び、◉を押す。

再生画面が表示されます。

■ 別の音声の再生：（メニュー）➡「ボイスフォルダ」選択➡◉➡音声選択➡◉

はじめて再生するときや前回再生したフォルダが消去されているとき
●ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、次の操作を行い、再生する音声を指定します。
フォルダ選択➡◉➡音声選択➡◉

ボイスフォルダ画面での操作
●フォルダの変更
◎➡フォルダ選択➡◉
●名前の変更
音声選択➡（メニュー）➡「ファイル名変更」選択➡◉➡ファイル名入力➡◉
●ファイル消去
音声選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

4 ◉を押す。

再生が始まります。

■ 音量の調整：◎（上げる）／◎（下げる）
■TRAIN（再生音量制限：☞P.10-8）を「ON」に設定しているときは、「音量4」より大きくはなりません。

再生中に電話やメールの着信があると

■ 電話がかかってきたときや、ステーションから緊急情報が届いたときは、再生は停止し、設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。
■ メール着信があったときは、再生を継続したまま、着信をお知らせします。（再生画面の上部に、メールを受信した旨のメッセージが表示されます。）

再生中にできること

再生中の音声を最初から再生する	◁を押します。 くり返し押すと、前の音声を再生します。
次の音声を再生する	▷を押します。 くり返し押すと、次の音声を再生します。
早送りする	▷を押し続けます。※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。※2
早戻しする	◁を押し続けます。※1 ボタンから手を離すと、その時点から再生します。※2
一時停止する	●（停止）を押します。 もう一度●を押すと、再生が再開します。

※1　停止中は操作できません。
※2　1件再生にしているときは、ファイルをまたいでの早送り、早戻しはできません。

音声再生に関する設定

1件再生／全件再生　指定した音声だけ再生するか、同じフォルダ内の音声を連続再生するかを設定します。

お買い上げ時 1件再生

再生画面で（メニュー）➡「2各種設定」選択➡●➡「1再生設定」選択➡●➡「1 1件再生」／「2全件再生」選択➡●

再生音量制限（TRAIN）　再生音量の上げすぎを防ぐため、音量を「音量4」より大きくならないように設定します。

お買い上げ時 OFF

再生画面で（メニュー）➡「2各種設定」選択➡●➡「2TRAIN」選択➡●➡「1ON」選択➡●

「音量5」に設定されている状態で、TRAINを「ON」に設定すると、自動的に「音量4」に切り替わります。ただし、このあとTRAINを「OFF」に設定しても、「音量5」には戻りません。

ファイル分割　再生中に指定した位置または一時停止している位置で、ファイルを2つに分割します。

再生中／一時停止中に（メニュー）➡「3データ分割」選択➡●➡「1YES」選択➡●

- 音声の先頭および末尾から約20秒程度の間は、データ分割はできません。
- SDメモリカードの空き容量によっては、分割できないことがあります。
- V402SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用すると、データ分割したファイルが正しく再生されないことがあります。

メモリカード

SDロゴは商標です。

メモリカードをご利用になる前に

撮影した画像の保存、V402SH内のデータフォルダやメモリダイヤルなどのデータの保存に、SDメモリカードを利用できます。

- V402SHには、SDメモリカードは同梱されておりません。市販のSDメモリカードをご購入のうえ、ご利用ください。
- 市販のSDメモリカードをV402SHで使用するときは、フォーマットしてください。（☞P.11-6）
- SDメモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。

メモリカードの取り扱いについて

SDメモリカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

- V402SHの電源を入れた状態でSDメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- 貼られているラ　ルは、はがさないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 新たにラ　ルやシールを貼らないでください。SDメモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラ　ルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。
  鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- SDメモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- SDメモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。
- SDメモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のSDメモリカードは使用できないことや正しく動作しないことがあります。

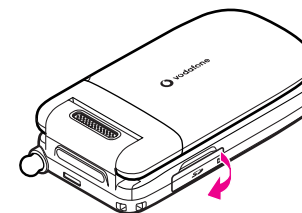
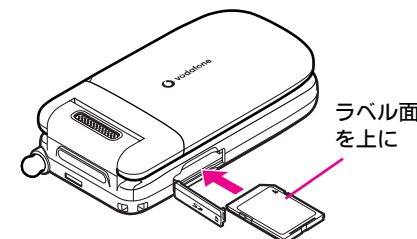
SDメモリカードの登　内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- V402SHは**SDメモリカード**に対応しています。
- V402SHで推奨するSDメモリカードは、8Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512MバイトのSDメモリカードです。
- 8MバイトのSDメモリカードは容量が少ないため、ご使用方法によっては、用途が制限されることがあります。

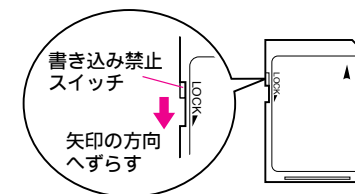
メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

必ずV402SHの電源を切った状態で取り付けてください。

1 メモリカードスロットのカバーを開く。

2 SDメモリカードを「カチッ」と音がするまで、ゆっくり奥まで入れる。

3 カバーを閉じる。

書き込み禁止スイッチ

■ SDメモリカードには、データの誤消去を防止する「**書き込み禁止スイッチ**」がついています。「**書き込み禁止スイッチ**」を「LOCK」にすると、データの消去や保存などができなくなります。

SDメモリカード以外のものを挿入しないでください。カードやV402SHが破損する恐れがあります。

取り外す

必ずV402SHの電源を切った状態で取り外してください。

1 メモリカードスロットのカバーを開き、SDメモリカードを軽く押し込む。

●SDメモリカードは、軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきますので、指で軽く押さえてください。

2 SDメモリカードを取り出す。

●ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。SDメモリカードを取り出したあと、カバーを閉じます。

データの読み出し中や書き込み中は、絶対にSDメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外さないでください。SDメモリカードまたはV402SHが破損する恐れがあります。

V402SHにSDメモリカードを取り付けたあと電源を入れると、SDメモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。（SDメモリカードの容量や書き込まれているデータ量により、待受画面が表示されるまでの時間が異なります。）

メモリカードのアイコン

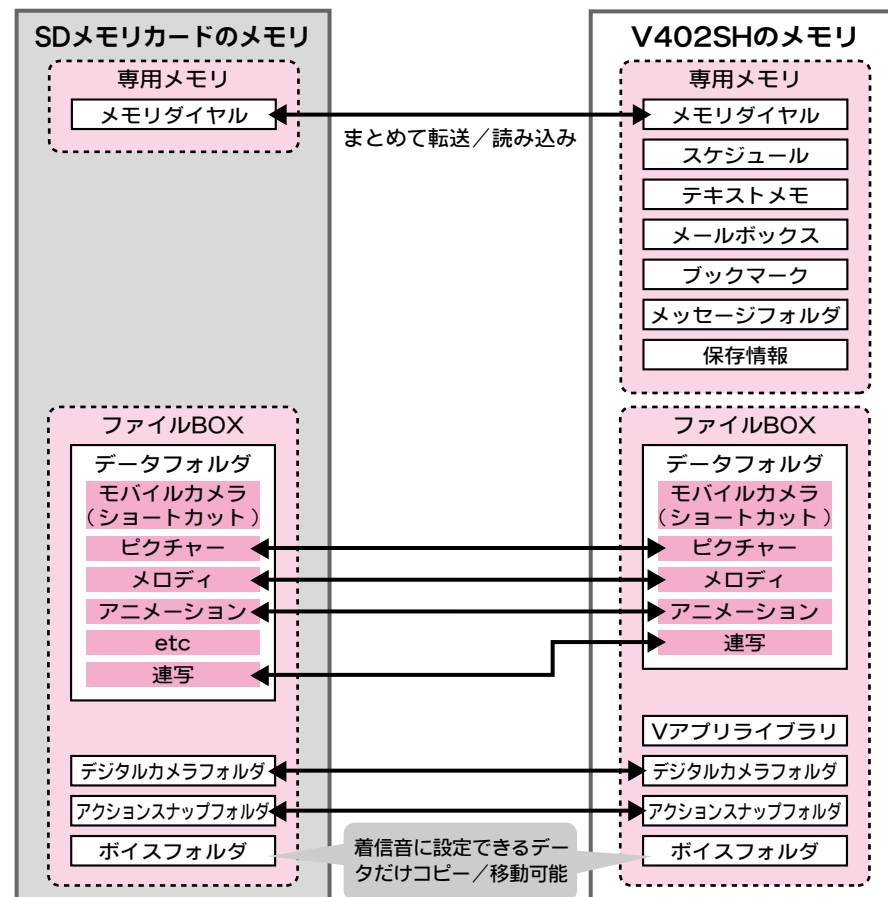
SDメモリカードを取り付けると、画面に次のようなアイコンが表示されます。

	SDメモリカードが取り付けられています。
	SDメモリカードが使用中（読み出し中や書き込み中）です。（緑色点滅）
	SDメモリカードが書き込み禁止です。（赤色点灯）

メモリカードのメモリ管理方法について

SDメモリカードのメモリ管理方法は、基本的にV402SH（本体）と同様です。各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。それぞれのメモリには、次の方法でV402SHからデータを保存します。

●V402SHとSDメモリカードには、それぞれ別のデータを保存することも、同じデータを保存することもできます。（ウェブのメッセージやブックマーク、Vアプリライブラリ、データフォルダのコピー／転送禁止ファイルなどは、同じデータを保存できないことがあります。）目的に応じて使い分けてください。

メモリカードの利用

メモリカードをフォーマット（初期化）する

フォーマット（初期化）されていないSDメモリカードをV402SHで使うときは、フォーマットしてください。

- SDメモリカードをフォーマットすると、SDメモリカード内のすべてのデータが消去されます。
- 他の機器でフォーマットしたメモリカードは、V402SH では正常に使用できないことがあります。（動作が遅くなったり、利用できない機能があります。）
- メモリカードフォーマット中は、絶対にSDメモリカードや電池パックを抜かないでください。SDメモリカードまたはV402SHが破損する恐れがあります。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2 「9メモリカードフォーマット」を選び、◉を押す。

3 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

4 「1YES」を選び、◉を押す。

保存されているデータを確認する

各機能から確認する

「メモリカードへ切替」が表示される機能では、直接SDメモリカード内のデータを利用できます。

1 各機能の画面で、（メニュー）を押す。

2 「メモリカードへ切替」を選び、◉を押す。

■ V402SHに登　されているデータの利用：「本体へ切替」選択➡◉

データフォルダから確認する

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2 「2データフォルダ」を選び、◉を押す。

SDメモリカード内のデータフォルダ画面が表示されます。
（画面２行目の右端に「SD」が表示されます。）

3 フォルダを選び、◉を押す。

4 ファイルを選び、◉を押す。

選んだファイルの種類に応じて、再生や表示が行われます。

メモリカード内のデジタルカメラフォルダから確認する

デジタルカメラモードで撮影した画像（「登録先」を「メモリカード」に設定しているとき）は、SDメモリカード内の「デジタルカメラフォルダ」に登　されます。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2 「3デジタルカメラフォルダ」を選び、◉を押す。

「DCIM」の内容が表示されます。

3 フォルダを選び、◉を押す。

■ 静止画の消去：静止画選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

4 画像を選び、◉を押す。

■ 別の画像の確認：（戻る）

デジタルカメラフォルダの静止画は、プリント枚数などを指定することができます。（DPOF：☞P.7-29）
また、デジタルカメラフォルダの静止画とテキスト／カレンダースタンプを利用して、ポストカードやカレンダーを作成（☞P.7-31）することもできます。

パソコンなど他の機器での画像編集

- V402SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。
- デジタルカメラモードの画像をパソコンで加工／編集するときは、SDメモリカード内の元ファイルをパソコンのハードディスクなどにコピーしたあと、コピーした画像ファイルを操作することをおすすめします。
- V402SH で撮影したデジタルカメラ画像をパソコンで加工／編集し、上書き保存した場合、自動的にDCF規格（☞P.7-6）以外のファイルとなってしまい、V402SHで画像を再表示できなくなることがあります。

メモリカード内のアクションスナップフォルダから確認する

アクションスナップモードで撮影した動画（「**登録先**」を「**メモリカード**」に設定しているとき）は、SDメモリカード内の「**アクションスナップフォルダ**」に登　されます。

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2「5アクションスナップフォルダ」を選び、◉を押す。
- 名前の変更／動画の消去：☞P.12-28、P.12-29
- 動画の情報の確認：動画選択➡（メニュー）➡「3プロパティ」選択➡◉
  - ■メニュー画面に戻る：上記操作のあと、（**戻る**）

3 動画を選び、◉を押す。
再生が始まります。再生が終わると、自動的に停止します。
- 再生音量の変更：（上げる）／（下げる）
- 再生の停止：（**停止**）
- 別の動画の確認：（**戻る**）

メモリ使用状況を確認する

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2「1メモリカードメモリ確認」を選び、◉を押す。

補足
SDメモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用になれる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。
例：64MBのSDメモリカード
ユーザー領域は、約60.6MBになります。メモリカードメモリ確認の「**カード容量**」で表示される数値は、ユーザー領域のメモリ容量です。

データの転送

V402SHとSDメモリカード間のデータ転送は、「**コピー**」または「**移動**」で行います。メモリダイヤルの転送には「**メモリダイヤル一括転送**」を利用することもできます。
- データ転送は、個人データのバックアップ、または機種交換時のデータ移動の目的でご利用になることをおすすめします。

データ転送時のご注意

- ■ 電池残量が少ないときは、一括転送できません。
- ■「**メモリダイヤル一括転送**」でSDメモリカードからデータを読み込むと、V402SH内のメモリダイヤルは消去されます。
- ■ V402SH または SD メモリカードの空き容量が少ないときは、データの登　（移動／コピー／一括転送）が正常に行えないことがあります。
- ■ データの内容によっては、V402SHからSDメモリカードに転送できないことがあります。また、V402SHから一括転送されたデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。

指定したデータをコピー／移動する

- データフォルダ内のファイルのコピー／移動は、「**ファイルコピー／移動**」（☞P.12-29）で行ってください。

1 コピー／移動するデータを選び、（メニュー）を押す。

2「コピー」または「移動」を選び、◉を押す。
移動したデータは、移動元から消去されます。
- 登　先の切替：（押すたびに「」⇔「」切替）

3 フォルダを選び、◉を押す。

メモリダイヤルを転送する

メモリカードに一括転送する

V402SHのメモリダイヤルに登　したデータを、SDメモリカードに一括転送します。
●ご利用の前に、データ転送時のご注意（☞P.11-9）をご確認ください。

1 **◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。**

2 **「8メモリダイヤル一括転送」を選び、◉を押す。**

3 **「1メモリカードへ保存」を選び、◉を押す。**
●転送中は、着信できません。

4 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

5 **「1YES」を選び、◉を押す。**
SDメモリカードへの一括転送が完了すると、メモリダイヤル一括転送の画面に戻ります。
■ 一括転送の中止：（キャンセル）

●同じファイル名のデータは転送されません。
●指定着信音やメールコールに登　されているメロディは一括転送できません。
●メモリダイヤルのフォト設定やオプション設定の内容は転送されません。

メモリカードから読み込む

●SDメモリカードからデータを読み込むと、V402SH内のメモリダイヤルは消去されます。
●ご利用の前に、データ転送時のご注意（☞P.11-9）をご確認ください。

1 **◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。**

2 **「8メモリダイヤル一括転送」を選び、◉を押す。**

3 **「2カードから読込み」を選び、◉を押す。**
●読み込み中は、着信できません。

4 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
■ SDメモリカード内のファイルの消去：ファイル選択➡（消去）➡「1YES」選択➡◉

5 **ファイルを選び、◉を押す。**

6 **「1YES」を選び、◉を押す。**

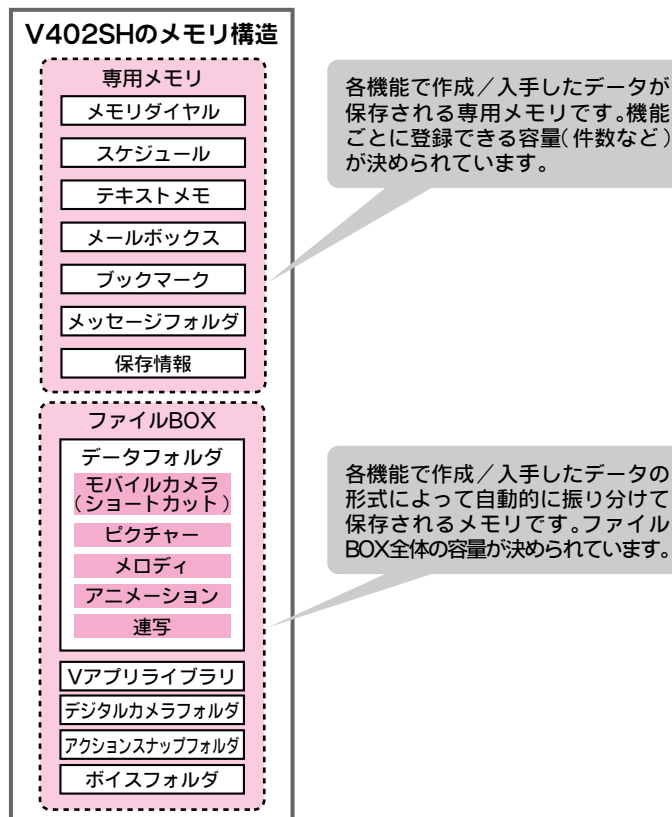
7 **「1実行」を選び、◉を押す。**
読み込みが開始されます。V402SHへの読み込みが完了すると、メモリダイヤル一括転送の画面に戻ります。
■ 読み込みの中止：（キャンセル）

データ管理

データフォルダについて

データフォルダの構成

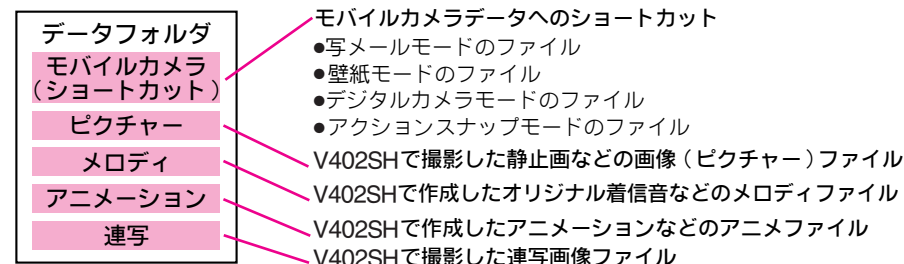
V402SHのメモリには、メモリダイヤルやメッセージなど、各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。

- V402SHで作成または入手したデータは、利用した機能やファイル形式によって専用メモリまたはファイルBOXに自動的に振り分けて保存されるようになっています。

- V402SHのファイルBOXには、最大約８Mバイトまで登　できます。

ファイルBOXのメモリ使用状況の確認
◉➡「データ確認」選択➡◉➡「9メモリ使用状況」選択➡◉

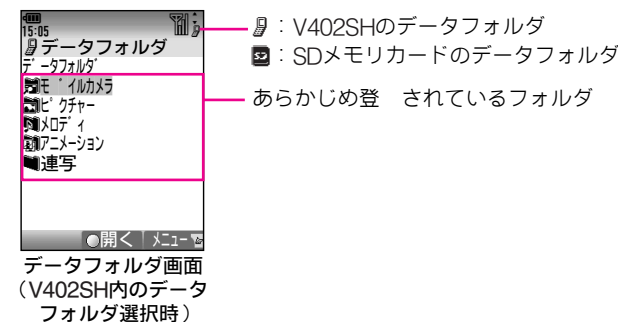
データフォルダに登録できるファイル

データフォルダには、ファイルの種類別にいくつかのフォルダがあらかじめ登　されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

- 各フォルダには、次のファイルが保存されます。

ディスプレイ

データフォルダ画面を表示するには、待受画面で次の操作を行います。

◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉

データフォルダ画面（V402SH内のデータフォルダ選択時）

各種アイコンについて

■静止画やアニメーションファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式	内容
P※（文字：白）	PNGファイル	PNG形式の静止画像
P※（文字：紫）	透過PNGファイル	透過PNG形式の静止画像
J※	JPEGファイル	JPEG形式の静止画像
（連写アイコン）	連写画像（分割画像＋４枚または９枚、25枚のJPEGファイル）	連写モードで撮影した画像
E※（文字：白）	E-アニメータファイル（NEVAファイル）	アニメーション（サウンド付きもあり）
E※（文字：黄）	ボタンジャンプ機能付きE-アニメータファイル（NEVAファイル）	アニメーション（サウンド付きもあり）
A※	アニメファイル（PNGアニメ、JPEGアニメ、PNG/JPEGアニメ）	PNGファイルやJPEGファイルを組み合わせた簡易アニメーション

※ 青色のアイコンは［**転送可**］、赤色のアイコンは［**転送不可**］を示します。
- 転送不可の画像は画像編集や画像合成、画像サイズ編集などには利用できません。
- メモリダイヤルのフォト設定やユースフルダイアリー、スケジュールに登　されているファイルは、各アイコンの左上角に黄色の三角がつきます。（例：）

■メロディファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式	内容
♪	メロディファイル	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ［♪（青）：転送可／♪（赤）：転送不可］
S	SMAFファイル	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ（画像付きもあり）［S（青）：転送可／S（赤）：転送不可］
（スカイメロディアイコン）	スカイメロディファイル	スカイメロディでダウンロードしたメロディ［転送不可］
（鍵盤アイコン）	オリジナル着信音ファイル	お客様が作曲したメロディ［転送可］
V	ボイスファイル	お客様が　音した音声［転送可］

- 着信音やアラームなどに設定されているファイルは、各アイコンの左上角に黄色の三角がつきます。（例：♪）

メモリカード

V402SHでは、V402SHで撮影した静止画や動画などの保存場所として「**SDメモリカード**」を利用できます。また、V402SH内のメモリダイヤルを一括転送したり、作成したデータをSDメモリカード内に直接登　したり、V402SHとSDメモリカード間でデータをコピー／移動することもできます。
- SDメモリカードについては、P.11-2を参照してください。

データフォルダの表示方法を設定する

データフォルダの表示方法はフォルダごとに個別に設定できます。

設定項目	内　容
画像一覧表示※1	登　されているすべての画像を一覧で表示します。
ファイル名一覧表示※2	登　されているすべての画像のファイル名を一覧で表示します。
フォルダ（画像一覧）※1	フォルダを表示し、フォルダ内の画像は画像一覧で表示します。
フォルダ（ファイル名一覧）※3	フォルダを表示し、フォルダ内の画像はファイル名一覧で表示します。

※1　メロディフォルダでは利用できません。
※2　メロディフォルダでは「**一覧表示**」と表示されます。
※3　メロディフォルダでは「**フォルダ表示**」と表示されます。

1 **●を押したあと、「データ確認」を選び、●を押す。**

2 **「1データフォルダ」を選び、●を押す。**

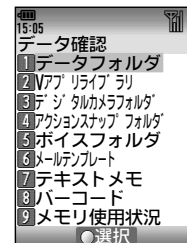
3 **表示方法を設定するフォルダを選び、（メニュー）を押す。**

4 **「5表示設定」を選び、●を押す。**

15:05
データ確認
1データフォルダ
2Vアプリライブラリ
3デジタルカメラフォルダ
4アクションスナップフォルダ
5ボイスフォルダ
6メールテンプレート
7テキストメモ
8バーコード
9メモリ使用状況
●選択

5 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

6 **表示方法を選び、●を押す。**

7 **操作を終わるときは、を押す。**

本書は、表示設定が「**画像一覧表示**」または「**一覧表示**」に設定されている状態での操作を中心に説明しています。「**フォルダ表示**」に設定しているときは、操作が一部異なることがあります。

アクションスナップフォルダやボイスフォルダも、表示設定が変更できます。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

1 **◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。**

2 **「1データフォルダ」を選び、◉を押す。**

■ SDメモリカード内のデータの確認：(**メニュー**)➡「**メモリカードへ切替**」選択➡◉

3 **フォルダを選び、◉を押す。**

フォルダ内のファイル（画像一覧またはファイル名一覧）が表示されます。（ファイル名一覧表示画面：☞P.12-7）

画像一覧表示

4 **ファイルを選び、◉を押す。**

選んだファイルのファイル形式に応じて、再生または表示されます。

- ファイルの再生／表示中に、(*)を押すと次のファイル、(#)を押すと前のファイルが再生／表示できます。

連写画像を確認したとき

- 分割画像が表示されます。◎を押すと、連写画像内の静止画を1枚ずつ確認することができます。

横240　縦320ドットより大きい画像（JPEGファイル）の確認

- 画面サイズに縮小して表示されます。実際のサイズを表示するときは、(**メニュー**)を押したあと、「**実画像表示**」を選び、◉を押します。

5 **データフォルダ画面に戻るときは、(クリア)を押す。**

E-アニメータファイルのボタンジャンプ機能

■E-アニメータファイルには、他の画像を表示したり、自動的にウェブに接続する、ボタンジャンプ機能を持っているものがあります。このボタンジャンプ機能を利用するときは、次の操作を行います。

E-アニメータファイル表示中に(**メニュー**)➡「**E-アニメータモード**」選択➡◉

- このあと、画面に表示されるボタンを押し、各操作を行います。

ディスプレイ

V402SH内のピクチャーフォルダを選んだときの例です。

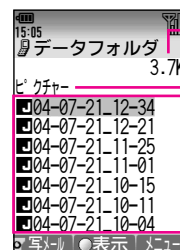
■画像一覧表示

選択されている画像のファイル名

ファイル容量

登　されているファイル

- 画像以外のファイルや、V402SHで表示できない画像はアイコンで表示されます。

■ファイル名一覧表示

ピクチャーフォルダ、アニメーションフォルダ、連写フォルダは、上記の画面の他にフォルダを表示する「**フォルダ（画像一覧）**」、「**フォルダ（ファイル名一覧）**」にすることもできます。（☞P.12-5）

プロパティを確認する

1 データフォルダ画面またはファイル表示画面で、フォルダまたはファイルを選ぶ。

2 （メニュー）を押す。

3「プロパティ」を選び、◉を押す。

フォルダやファイルの情報が表示されます。◎を押すと、隠れている項目が表示されます。

●各項目の内容は以下のとおりです。

項目	内容
タイトル※1	サウンドのタイトル名
種類	ファイルの種類
場所	データやファイルの保存場所
データサイズ	データサイズ
保存サイズ	V402SHで実際に使用しているデータサイズ
横　縦※2	画像の縦横幅をドットで表示
コピー、転送	データフォルダ内でのコピー可／不可
保存	データフォルダへの保存可／不可
外部転送	SDメモリカードへのコピーや移動の可／不可
メモリダイヤル（フォト）※3	メモリダイヤルのフォト設定あり／なし※4
着信音設定※1	サウンドの着信音やアラームなどの設定あり／なし
ユースフルダイアリー設定※4	ユースフルダイアリーの画像設定あり／なし
スケジュールメモ設定※4	スケジュールのピクチャーメモ設定あり／なし

※1 メロディフォルダ内のファイルのときに、表示されます。
※2 JPEG、PNG、連写ファイルで表示されます。
※3 横240×縦320ドット以下のJPEG、PNG、アニメファイルで表示されます。
※4 設定されている件数も表示されます。

ファイルのメール添付

データフォルダ画面から、各種ファイルを直接ロングメールに添付して送信します。

1 データフォルダから、ファイルを選ぶ。

2 （メニュー）を押す。

3「メール添付」を選び、◉を押す。

■ 6KB以上のJPEG画像選択時：「1 1／4サイズで添付」／「2同サイズで添付」選択➡◉
■ オリジナル着信音選択時：変換形式（☞ P.3-12）選択➡◉

4 宛先など他の項目を入力し、ロングメールを送信する。
（☞ P.3-3）

連写画像内の1枚の画像のロングメール添付

■ ◉➡「データ確認」選択 ➡◉➡「1 データフォルダ」選択 ➡◉➡ 連写フォルダ選択➡◉➡連写画像選択➡◉➡◎で画像選択➡（メニュー）➡「表示画像のみ添付」選択➡◉（以降の操作：☞ P.3-3）

画像を分割してロングメール添付（壁紙モードで撮影した画像など）

■ ◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡（メニュー）➡「メール添付」選択➡◉➡「3画像分割メール添付」選択➡◉➡宛先選択／宛先入力（☞ P.3-3）
●画像分割メールを送信すると、4通分のメール料金がかかります。

フォルダ内の画像を連続して表示する

ピクチャーフォルダ、アニメーションフォルダ、連写フォルダ、デジタルカメラフォルダ内の画像を連続して表示します。
●連続表示のスピード時間を変更することもできます。

1 ◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。

2「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

3 フォルダを選び、◉を押す。

4 （メニュー）を押す。

5「1連続表示設定」を選び、◉を押す。

6「1連続表示」を選び、◉を押す。

選択している画像から、連続表示が開始されます。
■ 連続表示の停止：◉（停止）
■ 連続表示の再開：上記操作のあと、◉（再開）
■ 次の画像へ早送り：連続表示中に（次へ）

連続表示のスピード設定

■ お買い上げ時には、「普通」に設定されています。連続スピードを変更するときは、上記操作5のあと、次の操作を行います。
「2スピード設定」選択➡◉➡速さ選択➡◉

12 データ管理

アニメーションの作成

簡単アニメを作成する

モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像などを、最大４枚まで指定した間隔で連続表示します。

- 簡単アニメで利用できる画像は、JPEGファイルです。
- データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登　できません。不要なファイルを消去（☞P.12-29）してから、作成してください。
- 指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。

1 **◉④⑧の順に押す。**

2 **「3簡単アニメ作成」を選び、◉を押す。**

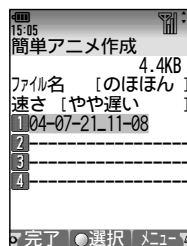
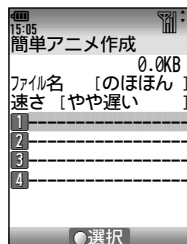
3 **「1新規作成」を選び、◉を押す。**

4 **タイトルを入力し、◉を押す。**
- 全角16文字（半角32文字）以内で必ず入力してください。
- 入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登　されます。ファイル名は変更できます。（☞P.12-28）

5 **速さを選び、◉を押す。**
ここで指定した速さで、番号順に画像が切り替わります。

6 **指定先の番号を選び、◉を押す。**

7 **データフォルダから画像を選び、◉を押す。**
- データフォルダの操作：☞P.12-6
- ４枚連写画像の利用：連写画像選択➡◉➡「1連写４枚をアニメ」選択➡◉
- 連写画像内の１枚の画像の利用：連写画像選択➡◉➡「2連写の１枚を選択」選択➡◉➡◈で画像選択➡◉
- 画像の変更：✉（変更）
- 表示順の変更：⊘（戻る）➡操作６からやり直す

8 **◉を押す。**
画像が指定されます。
- 簡単アニメの再生：✉（メニュー）➡「1アニメ再生」選択➡◉
  - ■再生の停止：上記操作のあと、⊘（戻る）
- 画像の変更：画像選択➡✉（メニュー）➡「2 変更」選択➡◉➡操作７からやり直す
- 画像の消去：画像選択➡✉（メニュー）➡「3 消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

9 **操作６～８をくり返し、画像を指定する。**
- 最大４枚または20Kバイトまで指定できます。（指定する画像の種類やデータサイズによっては、４枚まで設定できないことがあります。）

10 **画像の指定が終われば、⊘（完了）を押す。**
- 簡単アニメのメール送信：「2メール添付」選択➡◉➡ロングメール送信操作（☞◎P.3-3）

11 **「1登録」を選び、◉を押す。**
データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

簡単アニメを編集する

- データフォルダのメモリが一杯のときは、簡単アニメを登　できません。不要なファイルを消去（☞P.12-29）してから編集してください。

1 **◉④⑧の順に押す。**

2 **「3簡単アニメ作成」を選び、◉を押す。**

3 **「2編集」を選び、◉を押す。**

4 **簡単アニメを選び、◉を押す。**

5 **タイトルを修正し、◉を押す。**

6 **速さを選び、◉を押す。**
- 画像追加：番号選択➡◉➡画像選択➡◉➡◉
- 指定画像の変更：番号選択➡✉（メニュー）➡「2変更」選択➡◉➡P.12-10操作７～８
- 指定画像の消去：番号選択➡✉（メニュー）➡「3消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

7 **編集が終われば、⊘（完了）を押す。**

8 **「1登録」を選び、◉を押す。**

9 **「1新規登録」または「2上書登録」を選び、◉を押す。**
データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

アニメーションを確認する

1 ◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。

2「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

3 アニメーションフォルダを選び、◉を押す。

■ SDメモリカード内のアニメーションの確認：（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡◉

4 アニメーションを選び、◉を押す。

選んだアニメーションが再生されます。

■ 再生中の停止：（戻る）

画像／アニメーションの利用

●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

画像の表示を切り替える

ディスプレイの1行目に「」や「」が表示されている画面でを押すと、画像の表示サイズ（「等倍（アイコンあり）」、「拡大（アイコンあり）」、「等倍（アイコンなし）」、「拡大（アイコンなし）」）が切り替わります。

●ファイル形式やデータの内容によっては、表示サイズを切り替えられないことや、切り替えられる種類が異なることがあります。また、表示を「拡大」にしたとき、画像のすべてを表示できないことがあります。

●等倍時には「」、拡大時には「」がディスプレイ上部に表示されます。

画像／アニメーションを壁紙に登録する

1 データフォルダから、壁紙に登録するファイルを選ぶ。

2 （メニュー）を押す。

●アニメーションを壁紙に設定するときは、このあと操作4へ進みます。

3「画面設定」を選び、◉を押す。

4「壁紙登録」を選び、◉を押す。

●「壁紙登録」が選択できない画像やアニメーションは、利用できません。

5 ◉を押す。

画像／アニメーションをマイキャラクタに登録する

1 データフォルダから、マイキャラクタに登録するファイルを選ぶ。

2 （メニュー）を押す。

●アニメーションをマイキャラクタに設定するときは、このあと操作4へ進みます。

3「画面設定」を選び、◉を押す。

4「マイキャラクタ登録」を選び、◉を押す。

●「マイキャラクタ登録」が選択できない画像やアニメーションは、利用できません。

5「1パワーON」～「4アラーム」のいずれかを選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.8-5操作6以降

連写画像を個別の画像として登録する

連写画像（複数の画像＋分割画像）をそれぞれ個別の画像として登　します。また連写画像の内、指定した画像だけを個別の画像として登　することもできます。

●個別の画像は、新しい画像（JPEGファイル）としてデータフォルダのピクチャーフォルダに登　されます。（元の連写画像はそのまま残っています。）

1 データフォルダから、連写フォルダを選び、◉を押す。

2 連写画像を選び、◉を押す。

連写画像の分割画像が表示されます。

●連写画像には、ファイル名の先頭に「」が表示されています。

3 ***連写画像内のすべての画像を登録するとき***

1 （メニュー）を押す。

2「全画像個別登録」を選び、◉を押す。

連写画像内の1枚の画像を登録するとき

1 で画像を選び、（メニュー）を押す。

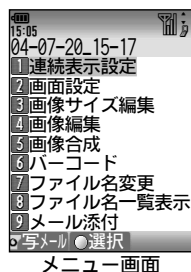
●分割画像も登　できます。

2「表示画像のみ登録」を選び、◉を押す。

12 データ管理

画像の編集

データフォルダ内の画像（静止画）に対しての画像編集や画像合成などは、編集する画像を表示し（☞P.12-6操作1～3）、✉（メニュー）を押したあとのメニュー画面から操作します。

- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

メニュー画面

画像を拡大／縮小する

画像の拡大／縮小は、画面の中心を基点にして行います。

1 メニュー画面で、「3画像サイズ編集」を選び、◉を押す。

2 「1拡大縮小」を選び、◉を押す。

ディスプレイ下部左に「移動」が表示されます。表示されていないときは、◎（リサイズ）を押します。

- 画像表示中に◎（リサイズ）を押しても、同様に操作できます。

拡大／縮小の中心を変更する

- ◎（移動）を押します。このあと◈で、拡大／縮小の中心となる位置を、画面の中央部に移動します。
- ボタンを押している間、画像が移動します。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上移動できない位置まで移動すると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

リサイズモードに戻るとき

- 画像を移動したあと、◎（リサイズ）を押します。

3 ◎（拡大）または◎（縮小）で、画像のサイズを変更する。

ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■ 画像をなめらかにする：✉（Soft）

- 拡大により画面からはみ出した（表示されていない）部分は、登　時に自動的に消去されます。
- 拡大／縮小後に、◎（移動）を押し移動モードにしたときは、拡大／縮小した結果は破棄され、元の大きさに戻ります。

4 ◉を押す。

サイズ変更した画像が新しい画像として登　されます。

画像サイズを変更する

データフォルダに登　されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更します。

- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。
- 画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。
- 画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。

固定サイズに変更する

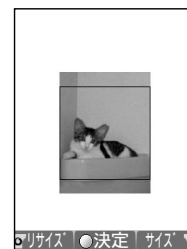
1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「3画像サイズ編集」を選び、◉を押す。

2 「2画像サイズ修正」を選び、◉を押す。

- 「画像サイズ修正」が選択できない画像は、利用できません。

3 「1壁紙用」～「5アラーム時表示用」のいずれかを選び、◉を押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（利用できない画像は表示されません。）

壁紙用	横240×縦320ドット
写メール用	横120×縦160ドット
パワー ON/OFF用	横120×縦130ドット
着信時表示用	横120×縦38ドット
アラーム時表示用	横120×縦51ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：✉（サイズ）

4 ***画像の表示範囲を指定するとき***

1 ◈で表示範囲を指定し、◉を押す。

- 画像サイズによっては、表示範囲を指定できないことがあります。

画像を拡大縮小するとき

1 ◎（リサイズ）を押す。

ディスプレイ下部左に「移動」が表示されます。

2 ◎（拡大）または◎（縮小）でサイズを変更し、◉を押す。

5 ◉を押す。

サイズ変更した画像が新しい画像として登　されます。

サイズを自由に変更する

1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「3画像サイズ編集」を選び、◉を押す。

2 「2画像サイズ修正」を選び、◉を押す。

●「画像サイズ修正」が選択できない画像は、利用できません。

3 「6自由切出」を選び、◉を押す。

画像が表示されます。（「＋」表示）

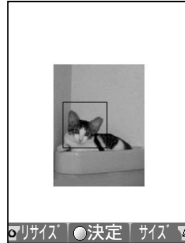
4 ✣で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、◉を押す。

5 ✣で「＋」を切り出す部分の右下に移動する。

■ 指定のやり直し：✉（戻る）➡操作４からやり直す

6 ✉（完了）を押す。

■ 画像サイズ選択のやり直し：✉（サイズ）

■ 以降の操作：☞P.12-15操作４以降

画像に文字／マーカーを入力する

●マーカースタンプが利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。

1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「4画像編集」を選び、◉を押す。

2 「1マーカースタンプ」を選び、◉を押す。

●「マーカースタンプ」が選択できない画像は、利用できません。

■ 文字色の設定：「7文字色設定」選択➡◉➡色選択➡◉

■ 文字を縁取らない：「8縁取り設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

PNG形式の画像は、「**文字色設定**」および「**縁取り設定**」は利用できません。「**白文字（黒フチ）**」となります。

3 *文字を入力するとき*

❶「1文字」を選び、◉を押す。

❷ 文字を入力し、◉を押す。

●最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

●バーコードの読み取りを利用して、文字を入力することはできません。

■ 文字入力のやり直し：✉（戻る）➡操作❶からやり直す

■ 文字色の変更、縁取りのON／OFF：1～9、0（押すたびに切り替わります。）

マーカーを付けるとき

❶ マーカーの種類を選び、◉を押す。

■ マーカーの変更：✉（戻る）

■ 文字色の変更、縁取りのON／OFF：1～9、0（押すたびに切り替わります。）

4 ✣で文字やマーカーを付ける位置を指定し、◉を押す。

5 「1YES」を選び、◉を押す。

■ 文字／マーカーの追加：「2マーキング」選択➡◉➡✉（メニュー）➡操作３～５をくり返す

■ 画像の確認：「3画像確認」選択➡◉

■ 編集の取消：「4編集キャンセル」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

6 「1編集完了」を選び、◉を押す。

7 「1YES」を選び、◉を押す。

編集した画像が新しい画像として登　されます。

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

●画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式です。連写画像も装飾できます。

●装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）

1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「4画像編集」を選び、◉を押す。

■ 連写画像の装飾：「2連写画像装飾」選択➡◉➡操作３へ

2 「2画像装飾」を選び、◉を押す。

●「画像装飾」が選択できない画像は、利用できません。

連写フォルダ内の連写画像を装飾すると、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の１枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登してから操作してください。

3 装飾の種類を選び、◉を押す。

●次の装飾が行えます。

種類	効果
セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光輝部を十字に輝かせる効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現
万華鏡	万華鏡のような効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
線検出	線で描いた絵のような効果を表現
アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

4 ◉を押す。

装飾した画像が新しい画像として登　されます。

画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わります。装飾された画像が登　できないことや、メール送信できないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工し楽しめます。
（フェイスアレンジ）

- フェイスアレンジが利用できる画像は、JPEG形式です。
- フェイスアレンジには、正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。
- フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工を施します。そのため、画像内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。
  また、次のようなときは、うまく加工できないこともあります。
  ■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など
- 画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを指定して加工することもできます。（☞P.12-19）

1 **メニュー画面（☞P.12-14）で、「4画像編集」を選び、◉を押す。**

2 **「3フェイスアレンジ」を選び、◉を押す。**
- 「フェイスアレンジ」が選択できない画像は、利用できません。

3 **アレンジの種類を選び、◉を押す。**

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ アレンジのやり直し：◎（戻る）

4 **◉を押す。**
アレンジした画像が新しい画像として登 されます。

フェイスアレンジを行った画像をロングメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

あらかじめ設定されている顔パーツの位置が、加工する画像の顔とずれているときに、位置や大きさを調整します。

- 顔パーツは画像ごとに調整して登 します。
- P.12-18操作2のあと、次の操作を行います。

1 **「顔抽出確認」を選び、◉を押す。**
現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 **✉（修正）を押す。**
顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 **顔の輪郭を指定する。**

✥で顔の輪郭の左上に「＋」を移動　✥で顔の輪郭の右下に「＋」を移動　顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：◎（戻る）

4 **右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。**
- 画面上部のガイドに従って、操作3と同様に操作します。

右目の位置を指定　左目の位置を指定　口の位置を指定

5 **指定が終われば、✉（完了）を押す。**
指定した顔パーツがすべて表示されます。
■ 顔パーツの指定のやり直し：操作2からやり直す
■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：◎（リセット）

6 **◉を押す。**

7 **「1YES」を選び、◉を押す。**
指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像として登 されます。
- このあと、新規登 した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

その他の画像編集

●編集する画像を表示し、✉（メニュー）を押したあとのメニュー画面（☞P.12-14）で操作します。
●各機能が選択できない画像は、画像編集できません。

フレーム　JPEG形式の画像にフレームを付けることができます。

メニュー画面で「4画像編集」選択➡◉➡「4フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉

■ フレームの確認：フレーム選択➡◎（表示）
　■フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと、◎（戻る）
■ 編集後の画像登　：上記操作のあと◉

連写画像の利用

メニュー画面で「3連写フレーム」選択➡◉➡「1固定フレーム」／「2オリジナル」選択➡◉➡フレーム選択➡◉

■ フレームの確認：フレーム選択➡◎（表示）
　■フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと、◎（戻る）
■ 編集後の画像登　：上記操作のあと◉

補足　連写画像にフレームを付けると、連写画像内のすべての画像にフレームが付きます。連写画像内の1枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登してから操作してください。

ムービングフォトフレーム　JPEG形式の画像に、内蔵の動くフレームを付け、アニメーション風に仕上げます。

メニュー画面で「4画像編集」選択➡◉➡「5ムービングフォトフレーム」選択➡◉➡フレーム選択➡◉

■ ムービングフォトフレームの確認：フレーム選択➡◎（表示）
　■ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：上記操作のあと、◎（戻る）
■ 編集後の画像登　：上記操作のあと◉
●作成したアニメーションは、「E-アニメータ」（.nva）形式で登　されます。

補足　ムービングフォトフレームのサイズは、横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心にムービングフォトフレームが付きます。うまく加工できないときは、フレームの種類に応じて画像のサイズを変更したり、お好みのサイズに切り出してご利用ください。（☞P.12-15）

画像回転　画像の向きを回転させることができます。

メニュー画面で「4画像編集」選択➡◉➡「690度回転」選択➡◉

●このあと✉（回転）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。
■ 編集後の画像登　：上記操作のあと◉

保存形式変換　画像の形式をJPEG形式（「J」表示）、PNG形式（「P」表示）に変更します。

メニュー画面で「保存形式変換」選択➡◉➡保存形式選択➡◉

●保存形式変換できるのは、120×160ドット以下の画像です。
●変換前と同じ保存形式は、選択できません。

注意　保存形式を変更すると、画質が変わることがあります。

画像の合成

分割画像を作成する

最大4枚の縮小した画像を1枚の画像内に配置し、右のような分割画像を作成します。
●分割画像で利用できる画像は、JPEG形式です。連写画像も利用できます。
●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。

1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「5画像合成」を選び、◉を押す。

2「1 4分割画像作成 120×160」または「2 4分割画像作成 240×320」を選び、◉を押す。
●分割画像の左上に配置する画像を選んで操作してください。

3 ファイル名を入力し、◉を押す。
●全角16文字（半角32文字）以内で、必ず入力してください。
■ ファイル名の修正：ファイル名選択➡◉

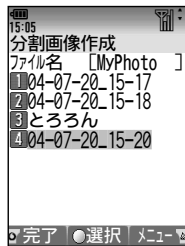
4 番号を選び、◉を押す。

5 画像を選び、◉を押す。
選んだ画像が表示されます。（利用できない画像は選択できません。）
■ 画像の変更：✉（変更）➡データフォルダ画面へ
■ 指定する番号から選び直し：◎（戻る）
■ 連写画像内の1枚の画像の利用：連写画像（「▦」表示）選択➡◉➡◈で画像選択➡◉

6 ◉を押す。
分割画像用の画像として指定されます。

12 データ管理

7 操作4～6をくり返し、画像を指定する。

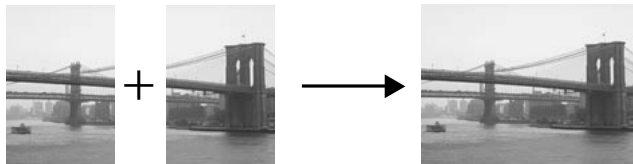
- 分割画像の確認：（メニュー）➡「1分割画像表示」選択➡◉
  - ■分割画像作成のメニューに戻る：（戻る）
- 画像の変更：画像選択➡（メニュー）➡「2 変更」選択➡◉➡操作5～6をやり直す
- 画像の消去：画像選択➡（メニュー）➡「3 消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

8 画像の指定が終われば、（完了）を押す。

9 「1登録」を選び、◉を押す。

分割画像が新しい画像として登　されます。

- 分割画像のメール添付：「2 **メール添付**」選択➡◉➡ロングメール送信操作（☞ P.3-3）

２枚の画像をパノラマ合成する

２枚の画像を横に並べて、１枚の画像にします。

２枚の画像を選択　　　パノラマ合成

パノラマ合成時には、画像に応じて次の効果が選べます。

標準	パノラマ合成の標準モード。 近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらを合成するのにも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像を合成するのに適しています。
ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ	説明板などの文字のある画像を合成するのに適しています。

- パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。
- ２枚の画像サイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成されます。
- 色味が異なる２枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されないことがあります。

1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「5画像合成」を選び、◉を押す。

2 「4パノラマ合成」を選び、◉を押す。

選んだ画像は左側の画面に表示されます。

- パノラマ合成する１枚目の画像を選んで操作してください。
- 「**パノラマ合成**」が選択できない画像は、利用できません。

3 「1標準」～「3ドキュメント」のいずれかを選び、◉を押す。

4 「2-----------------------」を選び、◉を押す。

V402SHのデータフォルダ画面が表示されます。

5 もう１枚の画像を選び、◉を押す。

6 ◉を押す。

選んだ画像が右側の画面に表示され、２枚目の画像として指定されます。

- 画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。
- 画像の変更：（**変更**）➡操作５からやり直す

7 画像の指定が終われば、（完了）を押す。

合成された画像が表示されます。

- ◉を押すと、画像が移動し、隠れている部分が表示されます。
- 画像の左右入れ替え：（**入替**）

8 ◉を押す。

合成した画像が新しい画像として登　されます。

分割画像（画像分割メール）を結合する

画像分割メールに添付されてきた画像の１つを指定することで、４枚の画像を自動的に結合します。

- 受信した画像のファイル名を変更したり、同じファイル名の画像があるときは、正しく結合できないことがあります。
- 画像分割メールで送受信した画像を結合すると、画質が変わることがあります。

1 メニュー画面（☞P.12-14）で、「5画像合成」を選び、◉を押す。

2 「3画像分割メール結合」を選び、◉を押す。

結合された画像が表示されます。

3 ◉を押す。

新しい画像として登　されます。

メロディファイルの利用

再生する

1 ◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。

2「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

3 メロディフォルダを選び、◉を押す。

4 ファイルを選び、◉を押す。

●ファイルを選び ✉（メニュー）を押すと、選んだファイルを着信音や効果音に設定することができます。

再生音量を設定する

1 データフォルダから、メロディフォルダを選ぶ。

2 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

3「1サウンド再生音量変更」を選び、◉を押す。

4 ◌で音量を選び、◉を押す。

着信パターン／効果音に設定する

●ファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えるサウンドは、着信パターンに設定できません。

1 データフォルダから、メロディフォルダを選ぶ。

2 ファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

3「2着信音設定」または「3効果音設定」を選び、◉を押す。

●各項目が選択できないサウンドは、利用できません。

4 着信の種類を選び、◉を押す。

メロディファイルの編集

■ ◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡✉（メニュー）➡「5データ編集」選択➡◉（以降の操作：☞P.9-15操作5以降）

メロディの音色／強弱の設定

■ ◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡✉（メニュー）➡「6音色設定」／「7強弱設定」選択➡◉

●音色設定の以降の操作：☞P.9-13～P.9-14操作12～15

●強弱設定の以降の操作：☞P.9-14操作17～20

メロディのメール添付

■ ◉➡「データ確認」選択➡◉➡「1データフォルダ」選択➡◉➡メロディフォルダ選択➡◉➡メロディ選択➡✉（メニュー）➡✉（添付）➡以降の操作：☞ⓞP.3-12操作5

電子ブックの利用

SDメモリカードに保存されている電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧できます。電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索できる「**辞書データ**」があります。

●電子ブックにご利用いただける書籍データの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞ⓞP.8-6）でご案内しています。

●書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、V402SHではご利用になれないことがあります。

●SDメモリカードの取り扱いについては、P.11-2をご確認ください。

書籍データを読む

1 ◉を押したあと、「メモリカード」を選び、◉を押す。

2「7電子ブック」を選び、◉を押す。

電子ブックフォルダの書籍データのリスト画面が表示されます。

●前回✉を押して閲覧を終了していたときは、終了時のページが表示されます。

■ Vアプリ一時停止中：終了確認画面表示➡「1YES」選択➡◉➡リスト画面または前回閲覧中の画面へ

■ 電子ブックフォルダ以外のフォルダ内の電子ブックの閲覧：✉（メニュー）➡「**表示フォルダ切替**」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉（次回からもここで選択したフォルダが表示されます。）

■ タイトルや著者などの情報表示：✉（メニュー）➡「**プロパティ**」選択➡◉

3 データを選び、◉を押す。

- ディスプレイ上部に表示される「○%」は、現在のページが書籍データ全体の何%ぐらいの位置にあたるかを示しています。

■ パスワードが必要なデータ：パスワード入力画面表示➡パスワード入力➡◉➡閲覧画面へ

4 閲覧を終わるときは、クリアまたは終話を押す。

- クリアを押すと、書籍データのリスト画面に戻ります。
- 「リスト」が表示されているときは、を押しても書籍データのリストが表示されます。
- 次回閲覧時に続きから読むときは、終話を押します。

閲覧画面での基本操作

■ 横書きか、縦書きかによって操作が異なります。

	横書き	縦書き
上	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
下	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
左	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
右	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

閲覧画面でできること

■ データの先頭や最後に移動
閲覧画面で（メニュー）➡「先頭へ」／「最後へ」選択➡◉

■ 先頭からおおよその位置を%で指定して、移動
閲覧画面で（メニュー）➡「%指定移動」選択➡◉➡位置（00～99%）入力➡◉

■ 目次を利用し、読みたい章を表示（目次に対応した書籍データで有効）
閲覧画面で（メニュー）➡「目次」選択➡◉➡章選択➡◉

■ しおりの利用：☞P.12-27

■ 閲覧画面の表示方法
閲覧画面で（メニュー）➡「表示設定」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容選択➡◉

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ設定	文字サイズを「小」または「中」に設定します。（閲覧画面でを押すと、「小」⇔「中」の切り替えができます。）	中
縦横設定	縦書きと横書きを切り替えて表示します。	縦書き
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定します。	OFF

- 書籍データによっては、上記の表示設定が利用できないことがあります。

情報の利用／文字列のコピー

■ 書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているときは、これらの情報を利用できます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）
情報選択➡◉➡確認画面表示➡「1OK」選択➡◉➡電話発信画面／メール作成画面／情報画面表示

- データの内容によっては、利用できないことがあります。

■ 書籍データ内の文字列（最大20文字）を、他の場所にコピーできます。
閲覧画面で（メニュー）➡「コピー」選択➡◉（以降の操作：☞P.4-21操作3以降）

マスク情報／ジャンプ情報

■ 書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）やコンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれていることがあります。

- マスク情報のON／OFFを切り替える部分で◉を押すと、マスク情報の文字列や画像が表示されます。再度◉を押すと、文字列または画像が表示されなくなります。
- ジャンプ情報が埋め込まれている部分で◉を押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで（戻る）を押すと、元のページに戻ります。

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登録しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧できます。

- しおりは1書籍につき最大2個（最大5書籍）まで登録できます。

1 しおりを登録するページで、（メニュー）を押す。

2 「1しおりをはさむ」を選び、◉を押す。

3 「1しおり1」または「2しおり2」を選び、◉を押す。

指定したページにしおりが登録されます。

自動しおり

■ 書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登録されます。（自動しおり1）
次に同じ書籍データの閲覧を行い終了すると、最後に表示していたページが自動しおり1に登録され、前回の自動しおり1は自動しおり2に登録されます。

- 自動しおりは1書籍につき最大2個まで登録され、古いものから順に自動的に消去されます。

しおりを登録したページの表示

■ 閲覧画面で次の操作を行います。
（メニュー）➡「しおりへ移動」選択➡◉➡「しおり1」／「しおり2」／「自動しおり1」／「自動しおり2」選択➡◉

辞書データを利用する

文字列の検索　辞書データを利用して言葉の意味などを検索し、検索結果を表示できます。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「7電子ブック」選択➡◉➡辞書データ選択➡◉➡検索文字列の入力欄選択➡◉➡文字列入力➡◉

- 検索結果画面から見たい情報を選び、◉を押すと、辞書データの項目が表示されます。
- 項目画面での操作は、閲覧画面での基本操作（☞P.12-26）を参考にしてください。

辞書データ／書籍データの情報の確認　辞書データや書籍データの情報を確認します。

◉➡「メモリカード」選択➡◉➡「7電子ブック」選択➡◉➡（メニュー）➡「プロパティ」選択➡◉

■ 情報の続きを確認：上記操作のあと◎（◎：前の行に戻る）
■ 書籍データのリスト画面に戻る：上記操作のあと◎（２回）

フォルダ／ファイルの編集

- フォルダ名を変更するときは、あらかじめ表示設定（☞P.12-5）でフォルダを表示しておいてください

フォルダ名／ファイル名変更　フォルダ名（フォルダ０を除く）やファイル名を変更します。

フォルダ名の変更

データフォルダから、フォルダ選択➡◉➡フォルダ名を変更するフォルダ（フォルダ１〜フォルダ９）選択➡（メニュー）➡「2フォルダ名変更」選択➡◉➡フォルダ名入力➡◉

ファイル名の変更

データフォルダから、名前を変更するファイル選択➡（メニュー）➡「ファイル名変更」選択➡◉➡ファイル名入力➡◉

- サウンドのファイル名を変更しても、ファイル内のタイトルは変更されません。
- ファイル名に半角カナや絵文字などを利用したとき、ロングメールにそのファイルを添付して送信すると、半角カナは全角カナに置き換わり、絵文字は削除されます。
- フォルダ名やファイル名に半角の記号を入力しようとしても、入力できないことがあります。

フォルダのシークレット設定　フォルダ表示にしているときのデータフォルダ（フォルダ０を除く）内のデータを、操作できないようにします。

データフォルダから、シークレット設定するフォルダ（フォルダ１〜フォルダ９）選択➡（メニュー）➡「3シークレット設定」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1ON」選択➡◉

- 「ON」に設定したフォルダを利用するときは、操作用暗証番号の入力が必要になります。

シークレット設定の解除

データフォルダから、シークレット設定を解除するフォルダ選択➡（メニュー）➡「シークレット設定」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「2OFF」選択➡◉

モバイルカメラ（ショートカット）のフォルダは、シークレット設定できません。

ファイルコピー／移動　データフォルダ内のファイルを、別のフォルダにコピー／移動します。

ファイルのコピー

データフォルダから、コピーするファイル選択➡（メニュー）➡「コピー」選択➡◉➡コピー先のフォルダ選択➡◉

ファイルの移動

データフォルダから、移動するファイル選択➡（メニュー）➡「移動」選択➡◉➡移動先のフォルダ選択➡◉

ファイル消去　ファイルを１件ずつ消去したり、フォルダ内のファイルをまとめて消去します。

１件消去

データフォルダから、消去するファイル選択➡（メニュー）➡「消去」選択➡◉➡（※）➡「1YES」選択➡◉

（※）着信音、ピクチャーコール／メール、ユースフルダイアリーなどに設定されているファイルを選んだときは、確認画面が表示されます。

フォルダ内のすべてのファイルの消去

データフォルダから、消去するファイルが保存されているフォルダ選択➡（メニュー）➡「4全消去」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

セキュリティ機能

操作用暗証番号の変更

現在使用している操作用暗証番号を新しい番号に変更します。
●交換機用暗証番号の変更はできません。

1 **●28の順に押す。**

2 **現在の操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
■ 操作用暗証番号：☞P.1-31
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

4 **もう一度、新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
新しい操作用暗証番号を間違えたときは、待受画面に戻ります。

無断で利用されたくないとき

ダイヤル操作禁止を設定する

操作用暗証番号を入力しないと、電話をかけられないようにします。

1 **●20の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
「🔒」が表示され、ダイヤル操作禁止が設定されます。

ダイヤル操作禁止設定中にできること

■ 待受中
●長押し（電源のON／OFF）、●長押し（誤動作防止の設定／解除）、0～9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）
●緊急ダイヤル通話（110、119）、海上保安庁への緊急通報（118）

■ 通話中
●（終話）、（オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0～9／クリア（操作用暗証番号入力／入力中の消去）

■ 着信中
●エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-6）で電話に出る、●（着信中の着信手動転送）、（応答保留）

ダイヤル操作禁止を解除する

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。
●通話中でも同様の操作で解除できます。
●電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する

電源を入れるたびに自動的にダイヤルの操作を禁止します。（簡易ロック）

1 **●21の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

3 **「1ON」を選び、●を押す。**
このあと電源を切ると、電源を入れるたびにダイヤル操作禁止が設定されます。

簡易ロックを解除する

ダイヤル操作禁止が設定されているときの解除方法を説明します。

1 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。

2 **●21の順に押す。**

3 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

4 **「2OFF」を選び、●を押す。**

メモリダイヤルの使用を禁止する

メモリダイヤルを誤って削除したり、他人が使用できないようにします。（メモリ使用禁止）

1 **●23の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

3 **「1ON」を選び、●を押す。**
■ メモリ使用禁止の解除：「2OFF」選択➡●

メモリ使用禁止設定中は、次の機能は利用できません。
■ メモリダイヤルの検索、登　、修正、発信（スピードダイヤルでの発信：☞P.5-15も含む）
■ メモリダイヤルやオーナー情報を使ったバーコードの作成（☞P.14-29）

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにします。(ダイヤル禁止)

1 ◉②④の順に押す。

2 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

3 「1ON」を選び、◉を押す。
■ ダイヤル禁止の解除:「2OFF」選択➡◉

ダイヤル禁止設定中にできること
■ 緊急ダイヤル通話(110、119)、海上保安庁への緊急通報(118)

電話の着信制限

相手を限定して電話を受けたり、特定の相手からの電話は受けられないようにします。

指定着信許可	登　した電話番号からの着信に限りつながります。それ以外の相手には、話中音が流れます。
指定着信拒否	登　した電話番号からの着信は受けつけず、相手には話中音が流れます。

- 着信拒否した電話は、不在時の着信お知らせ表示(☞P.2-16)で「不在着信:○件」と表示され、着信履歴には「着信拒否」として記憶されます。
- 電話番号を通知してきた相手に限り有効です。
- 非通知や公衆電話からの着信拒否もできます。(☞P.13-5)
- 指定着信許可と指定着信拒否は、同時には設定できません。

リストに電話番号を登録する

着信許可または着信拒否の相手先は、最大10件まで登　できます。相手先を登　したあと「指定着信許可」または「指定着信拒否」を「ON」に設定すると、それぞれの機能が有効になります。

1 *着信許可のとき*
1 ◉②⑤の順に押す。
2 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

着信拒否のとき
1 ◉②⑥の順に押す。
2 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。
3 「1電話番号指定」を選び◉を押す。

2 「3リスト登録」を選び、◉を押す。
登　済の相手先があるときは、名前または電話番号が表示されます。
■ 相手先の消去:番号選択➡✉(消去)➡「1YES」選択➡◉

3 登録先番号を選び、◉を押す。
- 新規に登　するときは「------------------」が表示されている番号を選んでください。

4 電話番号を入力する。
■ メモリダイヤルの利用:◉(TEL)➡メモリダイヤル検索(☞P.5-13~P.5-14)

5 ◉を押す。
直接電話番号を入力した時は電話番号が、メモリダイヤルから選んだときは名前が表示されます。(メモリダイヤルに登　している電話番号と同じ番号を入力しても、登　している名前は表示されません。)
■ 他の相手先の登　:操作3~5をくり返す

指定した電話番号の着信を許可する

- あらかじめ、着信許可リストに相手先の電話番号を登　しておいてください。(☞P.13-4)
- 指定着信拒否を「ON」に設定しているときは、利用できません。

1 ◉②⑤の順に押す。

2 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

3 「1ON」を選び、◉を押す。
■ 指定着信許可の解除:「2OFF」選択➡◉

指定した電話番号の着信を拒否する

- あらかじめ、着信拒否リストに相手先の電話番号を登　しておいてください。(☞P.13-4)
- 指定着信許可を「ON」に設定しているときは、利用できません。

1 ◉②⑥の順に押す。

2 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

3 「1電話番号指定」を選び、◉を押す。

4 「1ON」を選び、◉を押す。
■ 指定着信拒否の解除:「2OFF」選択➡◉

非通知の電話/公衆電話からの着信を拒否する

着信があると、着信音を鳴らさずに着信応答し、おことわりのメッセージを流します。

1 ◉②⑥の順に押す。

2 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

3 「2非通知拒否」または「3公衆電話拒否」を選び、◉を押す。

4 「1ON」を選び、◉を押す。
■ 着信拒否の解除:「2OFF」選択➡◉

秘密にしたい電話番号の登録

シークレットメモリを登録する

他人に知られたくないメモリダイヤルを、シークレットメモリとして登　します。

●シークレットメモリに登　したメモリダイヤルは、シークレットモード（☞P.13-7）だけで表示されます。

1 メモリダイヤルを修正状態にする。（☞P.5-16）

●メモリダイヤルを新規登　する場合にシークレットメモリにするときは、通常のメモリダイヤルと同様に、名前／ヨミ／電話番号などを登　します。（☞P.5-3）

2「🔑:」を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。

「🔑:」の行に「ON」が表示されます。

4 ✉（登録）を押したあと、メモリ番号を入力する。

シークレットメモリの解除

■シークレットメモリを通常のメモリダイヤルに戻すときは、次の操作を行います。
◉②②➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡シークレットメモリ呼出（☞P.5-14）➡◉➡「修正」選択➡◉➡「🔑:」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡✉（登録）➡（以降の操作：☞P.5-5）

注意　操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、メモリダイヤルを見られることも考えられます。重大な秘密などの記　用としてではなく、便利なメモリダイヤルとしてお使いになることをおすすめします。

シークレットメモリを呼び出す

シークレットモードに設定し（☞P.13-7）、通常のメモリダイヤルと同様に呼び出します。

電話をかけるときは、📞を押します。

●通常のメモリダイヤルは「🔑」が点灯し、シークレットメモリは「🔑」が点滅します。

●シークレットメモリの修正／削除なども、通常のメモリダイヤルと同様に行います。

シークレットモードを設定する

1 ◉②②の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

「🔑」が表示され、シークレットモードが設定されます。

注意　電源を切るとシークレットモードは解除されます。

シークレットモードを解除する

1 ◉②②の順に押す。

「🔑」が消え、シークレットモードが解除されます。

シークレットモードを解除すると

■シークレットメモリとして登　されている相手から電話がかかってきたり、メールが送られてくると、相手の名前やフォト設定されている画像は表示されません。
（指定着信音、メールコールの設定も無効となります。）
また、リダイヤルや着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。ただし、シークレットメモリ登　する前の、リダイヤルや着信履歴の名前は表示されます。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定されていた項目を、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。（設定リセット）

- メモリダイヤルなどの登　内容は消去されません。
- お買い上げ時の状態に戻る項目：☞P.17-2～P.17-5

1 ◉②⑨の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 「1実行」を選び、◉を押す。

■ 設定リセットの取消：「2キャンセル」選択➡◉

メモリダイヤルなどの登録内容を消去する

操作用暗証番号以外の登　内容（メモリダイヤルやオリジナル着信音など）や履歴などのデータ（メール、ウェブを含む）は、すべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。（オールリセット）

1 ◉②⑦の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

3 「1実行」を選び、◉を押す。

■ オールリセットの取消：「2キャンセル」選択➡◉

注意　一度、オールリセットで消去された登　内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。

その他の機能

通話時の便利な機能

電波が弱いことをお知らせする

電波状況などにより、通話が途中で切れてしまう恐れがあるときは、アラーム音でお知らせします。(通話品質アラーム)

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ◉38の順に押す。

2「1ON」を選び、◉を押す。

■ 通話品質アラームの解除：「2OFF」選択➡◉

「ON」に設定していても、急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音を鳴らさずに通話が切れてしまうことがあります。

プッシュトーンを送る

V402SHからポケット　ルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作します。

メモリダイヤルに登録した番号を一括して送る

よく送るポケット　ルのメッセージなどを登　しておくと便利です。

●あらかじめメモリダイヤルにプッシュトーンを登　しておいてください。(☞P.5-3)

●この方法で送る場合、メモリダイヤルには送りたいプッシュトーンだけを登　してください。

1 相手とつながったあと、◎(TEL)を押し、送りたいプッシュトーンを登録したメモリダイヤルを呼び出す。(☞P.5-13〜P.5-14)

2 ◉を押す。

3「PB一括送信」を選び、◉を押す。

メモリダイヤルの番号の中に「P(ポーズ)」を入力すると、「P(ポーズ)」までの番号を一区切りとして送信します。

ダイヤルボタンを押して送る

電話をかけ、相手とつながったあとダイヤルボタンを押し、プッシュトーンを送ります。

1 相手とつながったあと、送りたい番号を押す。

●アナウンスやアラーム音などに従って、ダイヤルボタンを押してください。詳しくは、接続先の機器やサービスの取扱説明書などを参照してください。

●送ることのできるプッシュトーンは「0」〜「9」、「＊」、「＃」です。

サイドキー設定

Cを長く(1秒以上)押したときの動作を設定します。

●クローズポジションのときだけ動作します。

●お買い上げ時には、「**着信時：簡易留守録／待受時：OFF**」に設定されています。

着信時の動作を設定する

1 ◉39の順に押す。

2「1着信時」を選び、◉を押す。

3 動作を選び、◉を押す。

●それぞれの動作は次のとおりです。

応答保留	相手にアナウンスを流し、電話を保留にする	☞P.2-9
クイックサイレント	かかってきた着信に限り、着信音を「**サイレント**」にする	☞P.2-7
着信拒否	かかってきた電話を切る	☞P.2-9
簡易留守録	V402SHで相手のメッセージを　音する	☞P.14-5
留守電センター転送	留守番電話センターに転送し、相手の伝言を　音する(関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合)	☞P.15-4

待受時の動作を設定する

1 ◉39の順に押す。

2「2待受時」を選び、◉を押す。

3 動作を選び、◉を押す。

●それぞれの動作は次のとおりです。

ボイスレコーダー(着信有)	ボイスレコーダーを起動し、Cを押すと　音を開始します。この設定にすると、　音中にも着信します。	☞P.10-4
ボイスレコーダー(着信無)	ボイスレコーダーを起動し、Cを押すと　音を開始します。この設定にすると、　音中には着信しません。	☞P.10-4
ワンショットメール	あらかじめ相手先や送信内容を登　しておいて、スカイメールを送信する	☞ⓄP.3-18

■ 動作の解除：「4OFF」選択➡◉

●ボイスレコーダーで　音するときは、上記を設定後、Cを長く(1秒以上)押して起動させ、そのあとCを短く押すと　音が開始されます。
　音中にCを押すと、　音を終了し、　音した音声を登　します。

●ボイスレコーダーの　音中には、スモールライトが橙色で点灯します。

●ボイスレコーダーの利用には、市販のSDメモリカードが必要です。

お知らせランプ設定

電話着信や情報着信があったとき、アラームが動作したときにスモールライトを点滅（緑／赤）してお知らせします。

- 次の着信で、それぞれに設定できます。
  ■不在着信　■簡易留守　■メール受信　■ウェブ受信　■ステーション受信　■アラーム
- 点滅は着信をお知らせする確認画面が表示されている間続きます。確認画面の表示を閉じると、点滅は停止します。
- 点滅の設定は変更できません。
- お買い上げ時には、すべて「**ランプ表示なし**」に設定されています。

1 **◉④⑦の順に押す。**

2 **「1不在着信」～「6アラーム」のいずれかを選び、◉を押す。**

3 **「1ランプ表示あり」を選び、◉を押す。**

オフラインモード設定中は、オフラインモード設定を優先してスモールライトが点滅します。

電話を受けられないときに相手からのメッセージを録音する

電話を受けられないとき、相手のメッセージを　音します。（簡易留守　）

簡易留守録を設定する

簡易留守　は電源が切れていたり、オフラインモードにしているときや「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.15-4）

- 簡易留守　できるのは、音声メモ（☞P.14-7）やマイボイスメモ（☞P.14-7）と合わせて20件まで、または最大約90秒です。

1 **◉文字の順に押す。**

　音可能秒数が表示され、簡易留守　に設定されます。
（設定完了後、待受画面に戻り「留」が表示されます。）

- 応答文再生：◉➡「**電話**」選択➡◉➡「**7簡易留守**」選択➡◉➡「**3応答文再生**」選択➡◉
- 留守　応答／　音中の受話音量の変更：◉➡「**電話**」選択➡◉➡「**7簡易留守**」選択➡◉➡「**4音量設定**」選択➡◉➡「**1受話音量連動**」／「**2サイレント**」選択➡◉

応答時間変更

■ 電話がかかってきてから簡易留守　が応答するまでの時間を、0～59秒の間で設定します。（お買い上げ時：9秒）
　◉④④➡設定時間入力（00～59秒）➡◉
　▪着信音を鳴らさずに簡易留守　で応答：設定時間「00」を入力➡◉

■ 簡易留守　をオプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと併せてご利用になる場合は、設定されている呼出時間の短い機能が優先されます。また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると、留守番電話サービスや転送電話サービスが優先されます。

簡易留守録を設定すると

■ 着信があると、相手に応答文が流れたあと　音が始まります。
- 　音中にV402SHをクローズポジションにしても、　音は止まりません。
- 　音中に電話に出る：📞（　音内容は残りません。）

■ 　音が終わると、「留」が表示されます。
　音後、簡易留守　が設定できない状態（下記）になったときは、簡易留守　は自動的に解除され、「留」表示が消えます。（「留」は用件を消去するまで表示したままです。）

簡易留守録が設定できない状態

■ マナーモード（☞P.3-3）設定中は、簡易留守　の設定／解除はできません。マナーモードを解除してください。

■ 　音できる時間が4秒以下のときや、すでに20件　音されているときは、簡易留守　に設定できません。不要なメッセージを消去してください。（☞P.14-7）

簡易留守録を設定していないときの操作

■ 着信中に◉文字の順に押すと、応答文が流れたあと、　音が始まります。この場合、その着信に限り留守　音します。（簡易留守　は「OFF」の設定のままです。）

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-3）を「**簡易留守録**」に設定しているときは、着信中にⓒを長く（１秒以上）押すと、応答文が流れたあと、　音が始まります。

■ 簡易留守　が設定できない状態（☞P.14-5）のときには、不要なメッセージを消去してください。（☞P.14-7）

シガーライター充電器に接続すると（車載簡易留守）

■ オプション品のシガーライター充電器に接続すると、安全運転のため自動的に簡易留守に設定されます。この車載簡易留守を解除するときは、次の操作を行います。

◉④②➡「2OFF」選択➡◉

簡易留守録を解除する

1 ◉文字の順に押す。

簡易留守　の設定が解除され、待受画面に戻ります。

録音された用件を聞く

1 ◉スケジュール/メモの順に押す。

　音件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まり、待受画面に戻ります。

■ メニュー操作での再生：◉➡「電話」選択➡◉➡「7簡易留守」選択➡◉➡「2録音再生」選択➡◉

■ 再生途中の停止：再生中に✎

再生中に電話がかかってくると

● 再生は自動的に止まります。電話に出るときは、⌒を押してください。

■再生中にできること（例：３件録音されているとき）

再生中に次の用件を聞く	再生中の用件の頭に戻す	再生中の１つ前の用件に戻す
再生中に◎を押す。	**再生中に◎を押す。**	**再生中に◎を２回押す。**
３件目 ２件目 １件目 — 再生 → 再生 →	３件目 ２件目 １件目 — 再生 → 再生 →	３件目 ２件目 １件目 — 再生 → 再生 →

用件消去

■ 再生中に、次の操作を行います。

クリア➡「1YES」選択➡◉

● 次の用件が　音されているときは、続けて再生されます。用件をすべて消去すると、「♪」が消えます。

通話内容や自分の声を録音する

通話中の相手の声（音声メモ）や、待受中の自分の声（マイボイスメモ）をV402SHに　音します。

● 　音できる時間は、簡易留守　（☞P.14-5）と合わせて最大約90秒です。ただし、　音できる時間が３秒以下になったときや、用件やメモが20件　音されると、それ以上　音できなくなります。

● 待受中にSDメモリカードに音声を　音することもできます。（ボイスレコーダー：☞P.10-4）

1 ***音声メモを録音するとき***

1通話中に、スケジュール/メモを長く（１秒以上）押す。

マイボイスメモを録音するとき

1待受中に、スケジュール/メモを長く（１秒以上）押す。

2「1マイボイスメモ」を選び、◉を押す。

2 録音が開始される。

● 音声メモのときは、相手の声だけが　音されます。

● マイボイスメモのときは、送話口に向かってお話ください。送話口からの距離の目安は、５～10cm位です。

■ 　音終了：再度スケジュール/メモまたは◉

音声メモの場合、クローズ終話設定（☞P.2-12）が「ON」に設定されているときにV402SHをクローズポジションにすると、電話が切れ、　音も終わります。（このときは、残りの　音可能時間は表示されません。）

注意

マイボイスメモを　音中に電話がかかってくると、　音は中止されます。このとき、エニーキーアンサー（☞P.2-6）で電話に出ることができます。（途中までの　音は保存されています。）

● 電源を切っても　音内容は保存されています。

● マイボイスメモの再生方法や消去方法は、簡易留守　と同様です。（☞P.14-6）

アラーム設定

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻に毎日アラームでお知らせします。指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。（リピートアラーム）

- 最大５件まで登　できます。
- アラーム動作時にメッセージや電話番号も表示できます。また、アラーム音の鳴動時間／音量／種類／ランプ／バイブ設定も変更できます。

1 ◉⑤⓪の順に押す。
- リピートアラーム設定画面が表示されます。

2 番号を選び、◉を押す。
- 新規に登　するときは、「--------------」が表示されている番号を選んでください。

3 「2時刻入力」を選び、◉を押す。

4 アラームの時刻を入力し、◉を押す。
- 時刻は24時間制で必ず入力してください。

5 「3曜日設定」を選び、◉を押す。

6 *毎日アラームを鳴らすとき*

1「1デイリー」を選び、◉を押す。

指定した曜日にアラームを鳴らすとき

1「2曜日指定」を選び、◉を押す。

2 曜日を選び、◉を押す。

曜日が指定され、「☑」が表示されます。
- すでに指定されている曜日を選び、◉を押すと、指定が解除されます。

3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。

4 指定が終われば、（完了）を押す。

7 *メッセージを表示するとき*

1「6メッセージ」を選び、◉を押す。

2 メッセージを入力し、◉を押す。
- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

アラームの詳細を設定するとき

1「4サウンド設定」を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.14-10

アラームをくり返し鳴らすとき

1「5スヌーズ設定」を選び、◉を押す。
- 以降の操作は、P.14-11「スヌーズ設定」を参照してください。

オプション（☞P.14-10）を設定するとき

1「7オプション」を選び、◉を押す。

■ 以降の操作：☞P.14-10～P.14-11

8 （完了）を押す。

アラームが設定されます。
- 続けて他の時刻にアラームを設定するときは、操作２～８をくり返します。

9 設定を終わるときは、を押す。

待受画面に戻り、「」が表示されます。予告アラーム（☞P.14-11）を設定したときは、リピートアラーム設定画面に「」が表示されます。

アラームの設定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- マイキャラクタを設定している場合、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。
- アラームを解除するまで毎日または設定した曜日にお知らせします。

補足

- 通話中にアラーム設定時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後を押すとアラームが動作します。
- アラーム音量調節を「**サイレント**」に設定している場合、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。

アラーム音の停止

■ を押します。Ⓒやエニーキーアンサー（☞P.2-6）を押しても止まります。
ビューアポジション時は、を長く（１秒以上）押します。

電話番号表示／メール予約を設定していると

■ 電話番号表示の設定時は、アラーム音停止後に表示された相手先へ電話をかけられます。
電話番号表示➡➡発信（表示を消すとき：）

■ メール予約の設定時は、アラーム音停止後に表示された相手先へメールを送信できます。
宛先表示➡（**メニュー**）➡「2**メール送信**」選択➡◉➡メール画面表示➡（**送信**）➡送信

スヌーズを設定すると

■ 設定したスヌーズ間隔で、くり返しアラームが鳴ります。
- を押してアラームを止めても、スヌーズは解除されません。スヌーズを解除するときは、エニーキーアンサーの各ボタンを押したあと、「1YES」を選び、◉を押します。
- 着信があったときは、電話を受けることができます。通話終了後を押すと、スヌーズ待機状態に戻ります。
- 電話番号や予約している送信メールが表示されたときは、スヌーズ設定を解除すると、表示している相手先へ発信／送信することができます。

注意

あらかじめ登　していたメッセージや電話番号を表示しているときに、別のアラーム設定時刻になっても、メッセージや電話番号の表示を消すまでアラームは動作しません。

アラームの各種設定

アラームや自動電源ON、スケジュールの設定時刻のアラーム動作を設定します。

アラーム音選択	アラーム音のパターンを設定します。
アラーム音量調節	アラーム音の音量を設定します。
鳴動時間	アラーム音の鳴っている時間を設定します。
バイブ設定	バイブレータでお知らせするように設定します。
ランプ設定	ランプの点灯方法（モバイルライト／スモールライト）を設定します。
スヌーズ設定※1	アラームをくり返し鳴らすとき、何分ごとに鳴らすかを設定します。
予告アラーム設定※1	設定したアラームやスケジュールを、いつから予告するかを設定します。
電話番号※1	電話番号を表示して、そのあと電話をかけることができます。
メール予約※1	アラームが動作したあと、保存したメールを送信します。

※1 自動電源ONでは設定できません。

●P.14-10〜P.14-11の各操作は、次の操作を行ったあとの画面から行います。

■アラーム設定時：P.14-8〜P.14-9操作７「4サウンド設定」／「7オプション」選択➡◉

■自動電源ON設定時：P.14-12操作４「3アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉

■スケジュール設定時：P.14-14操作４「5アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡「1サウンド設定」／「3オプション」選択➡◉

アラーム音選択 固定パターンや固定メロディ、データフォルダ、ボイスフォルダに登　したメロディなどから選択できます。

「アラーム音選択」選択➡◉➡アラーム音の種類選択➡◉➡アラーム音の選択➡◉➡

●アラーム音の設定方法は、着信パターンと同様です。（☞P.9-3）

アラーム音量調節 「サイレント」、「音量１」〜「音量５」、「ステップ」に設定できます。

「アラーム音量調節」選択➡◉➡（音量調節）➡◉➡

鳴動時間 ２〜99秒の間で、１秒単位で設定できます。

「鳴動時間」選択➡◉➡時間入力（02〜99秒）➡◉➡

バイブ設定 バイブレータでお知らせするように設定します。

バイブの設定

「バイブ設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡

●バイブパターンは通常着信音の設定となります。

バイブの解除

「バイブ設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡

ランプ設定 点灯させるランプの種類やカラーパターン、点滅パターンが設定できます。

モバイルライト設定時

「ランプ設定」選択➡◉➡「1モバイルライト」選択➡◉➡カラーパターン選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡

スモールライト設定時

「ランプ設定」選択➡◉➡「2スモールライト」選択➡◉➡点滅パターン選択➡◉➡

ランプ消灯

「ランプ設定」選択➡◉➡「3OFF」選択➡◉➡

スヌーズ設定 ２〜20分の間で、１分単位で設定できます。

「スヌーズ設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡くり返す間隔入力（02〜20分）➡◉➡

■ スヌーズ設定の解除：「スヌーズ」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡

予告アラーム設定 設定時刻前にアラームが鳴るように設定できます。

アラーム設定時

「予告アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉➡予告時間入力（02〜99分）➡◉➡

■ 予告アラームなし：「予告アラーム設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉➡

スケジュール設定時

「予告アラーム設定」選択➡◉➡「2分単位設定」〜「6月単位設定」選択➡◉➡予告設定（15分前や１　間前など）➡◉➡

■ 予告アラームなし：「予告アラーム設定」選択➡◉➡「1OFF」選択➡◉➡

電話番号 電話番号を表示して、アラーム音停止後、電話をかけることができます。

■「メール予約」を設定しているときは、利用できません。

「電話番号」選択➡◉➡電話番号入力➡◉➡

■ メモリダイヤルの利用：（TEL）➡（以降の操作：☞P.5-13）

メール予約 アラーム動作時に、送信トレイに保存したメールを送信します。

■「電話番号」を設定しているときは、利用できません。

「メール予約」選択➡◉➡送信メール選択➡◉➡

アラームを解除／再設定する

アラーム解除 設定したアラームを解除します。

◉⑤⓪➡解除する番号選択➡◉➡「2解除」選択➡◉

●アラームが解除され「」や「」が消えます。

●解除しても登　内容は消えません。同じ内容でアラームを動作するときは、アラームの再設定を行ってください。

アラーム消去 設定したアラームを消去します。

◉⑤⓪➡消去する番号選択➡◉➡「3消去」選択➡◉

アラーム再設定 解除したアラームを同じ内容で再設定します。また、一部を変更して設定もできます。

アラームの再設定

◉⑤⓪➡再設定する番号選択➡◉➡「1設定」選択➡◉➡（完了）

アラームの内容変更

◉⑤⓪➡変更する番号選択➡◉➡「1設定」選択➡◉➡（以降の操作：☞P.14-8操作３以降）

指定時刻に自動的に電源を入れる

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV402SHの電源を入れます。（自動電源ON）

●自動電源ONを「ON」に設定すると、「OFF」に設定するまで、毎日同じ時刻に動作します。

●自動電源ON動作時に、アラーム音を鳴らすこともできます。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ◉⑤①の順に押す。

2「1ON」を選び、◉を押す。

■ 自動電源ONの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

3「2時刻入力」を選び、◉を押す。

4 自動電源ONの時刻を入力し、◉を押す。

●時刻は24時間制で入力します。

■ アラームの設定：「3アラーム設定」選択➡◉➡「1ON」選択➡◉（詳細設定：☞P.14-10～P.14-11）

5 （完了）を押す。

自動電源ONの設定時刻になると

■電源が切れていたとき

自動的に電源が入ります。アラーム音を「ON」に設定していたときは、自動電源ONの設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプでお知らせします。

●マイキャラクタを設定している場合、キャラクタが表示されます。（画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。）

■電源が入っていたとき

アラーム音を「ON」に設定していたときは、自動電源ONの設定内容に従って、アラーム音やバイブレータ、ランプでお知らせします。

●アラーム音を「OFF」に設定していたときは、何も動作を行いません。

●通話中に自動電源ONの設定時刻になると、アラームを「ON」に設定していても、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後を押すとアラームが動作します。

●アラーム音量調節を「**サイレント**」に設定している場合、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。

●アラーム音を止めるときは、／Ⓒ／エニーキーアンサー（☞P.2-6）の各ボタンを押します。

■ビューアポジション時：（長押し）

指定した時刻に電源を切る

あらかじめ指定した時刻に、自動的にV402SHの電源を切ります。（自動電源OFF）

●自動電源OFFを「ON」に設定すると、「OFF」に設定するまで、毎日同じ時刻に動作します。

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 ◉⑤②の順に押す。

2「1ON」を選び、◉を押す。

■ 自動電源OFFの解除：「2OFF」選択➡◉（操作完了）

3 時刻を入力し、◉を押す。

●時刻は24時間制で入力します。

時刻が設定されていない状態で、自動電源OFFを選択すると確認メッセージが表示されます。現在時刻を設定して◉を押すと、操作を続けることができます。

自動電源OFFの設定時刻になると

自動的に電源が切れます。

●通話中の場合は通話終了後、メール作成中やカメラ撮影中などのときはすぐに確認画面が表示されます。

■約１分間何も操作せずそのままにしておくか、「1YES」を選び、◉ を押すと電源が切れます。（編集中のデータは消去されます。）

■操作を継続するときは、「2NO」を選び、◉を押します。

●送信予約メールを設定していても、確認画面は表示されずに電源が切れます。

スケジュール機能

日時の決まった予定（スケジュール）と、期限の決まった用件（アクションアイテム）の２種類の予定が登　できます。
●スケジュールは150件（１日最大20件）、アクションアイテムは50件まで登　できます。
●画像の表示方法の設定など、各種設定が行えます。（P.14-16）

スケジュールを登録する

スケジュールの登録

●アラームを設定したり、アラームのオプションも設定できます。

1 **を押す。**
スケジュール画面が表示されます。

2 **（新規スケジュール作成）を押す。**
●（カレンダー）を押すと、カレンダー画面から月日が選べます。

3 **予定の日時を入力し、◉を押す。**
●西暦４ケタ、月日時分２ケタずつで入力します。
●開始日時は必ず入力してください。

スケジュール画面

4 ***スタンプを設定するとき***
1「3スタンプ設定」を選び、◉を押す。
2 スタンプを選び、◉を押す。

予定を入力するとき
1「4予定入力」を選び、◉を押す。
2 予定を入力し、◉を押す。
●最大全角60文字（半角120文字）まで入力できます。

アラームを設定するとき
1「5アラーム設定」を選び、◉を押す。
2「1ON」を選び、◉を押す。
■ アラームの詳細を設定：「1サウンド設定」選択➡◉➡（以降の操作：☞P.14-10）
■ スヌーズの設定：「2スヌーズ設定」選択➡◉➡（以降の操作：☞P.14-11）
■ アラームのオプション（☞P.14-10）を設定：「3オプション」選択➡◉➡（以降の操作：☞P.14-10～P.14-11）
3（戻る）を押す。

各種設定を行うとき
1「6オプション」を選び、◉を押す。
■ 以降の操作：☞P.14-11、P.14-16～P.14-17

5 **すべての項目の設定が終われば、（完了）を押す。**
登　の確認画面が表示されます。
■ 他の日時に登　：操作２～５をくり返す

6 **設定を終わるときは、を押す。**
スケジュールを登　した日付のカレンダーに、アンダーラインが表示されます。スタンプを設定したときは、選んだスタンプが表示されます。

登録したスケジュール当日
■ まだ設定時刻になっていないスケジュールがあると、待受画面に「」（アラームONの場合）または「」（アラームOFFの場合）が表示されます。（その日の最後の予定の時刻が過ぎると消えます。）

アクションアイテムの登録

1 **を押す。**

2 **（新規アクションアイテム作成）を押す。**

3 **メッセージを入力して、◉を押す。**
●最大全角60文字（半角120文字）まで入力できます。

4 ***スタンプを設定するとき***
1「3スタンプ設定」を選び、◉を押す。
2 スタンプを選び、◉を押す。

各種設定を行うとき
1「4オプション」を選び、◉を押す。
■ 以降の操作：☞P.14-17

5 **すべての項目の設定が終われば、（完了）を押す。**

スケジュールの指定時刻になると

アラーム設定を「ON」に設定していたときは、アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。
●アラーム設定を「OFF」に設定しているときは、何も動作を行いません。
●マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、SMAFファイルの画像が優先して表示されます。
●アラーム音の停止、電話番号表示設定、スヌーズ設定は、P.14-9を参照してください。

●通話中に予定時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後を押すとアラーム音が鳴ります。
●アラーム音量調節を「**サイレント**」に設定している場合、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。

14 その他の機能

スケジュールの各種設定

スケジュールの設定時刻の動作を設定します。

ピクチャーメモ設定	スケジュールに画像を設定し、予定時刻に表示します。
日付色設定	カレンダーに表示される日付色を設定します。
待受表示設定	待受表示内容の設定を有効にするかどうかを設定します。
自動消去保護設定	登　内容を自動的に保護するかどうかを設定します。
電話番号※	予定時刻に電話番号を表示して、電話をかけることができます。
メール予約※	予定時刻に送信するメールを設定します。

※「**電話番号**」「**メール予約**」の設定方法については、P.14-11を参照してください。
- アクションアイテムには、「**待受表示設定**」と「**自動消去保護設定**」だけ設定できます。
- P.14-16〜P.14-17の各操作は、次の各操作を行ったあとの画面から行います。
  - スケジュール登　時：P.14-14操作４「6オプション」選択➡◉
  - アクションアイテム登　時：P.14-15操作４「4オプション設定」選択➡◉

ピクチャーメモ設定

撮影した静止画や動画、データフォルダの画像などが設定できます。

■スケジュールだけに設定できます。

静止画を撮影して登録する

「1ピクチャーメモ設定」選択➡◉➡「1モバイルカメラ」選択➡◉➡「1写メールモード」〜「3デジタルカメラモード」選択➡◉➡撮影（☞P.7-8〜P.7-9）➡◉（登録）

動画を撮影して登録する

「1ピクチャーメモ設定」選択➡◉➡「1モバイルカメラ」選択➡◉➡「4アクションスナップモード」選択➡◉➡撮影（☞P.7-17）➡「1登録」選択➡◉

データフォルダから選択する

「1ピクチャーメモ設定」選択➡◉➡「2データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡画像選択➡◉

ピクチャーメモの解除

「1ピクチャーメモ設定」選択➡◉➡「3設定解除」選択➡◉

日付色変更

７色の中から設定できます。

お買い上げ時 カレンダー設定色

「2日付色設定」選択➡◉➡カラー選択➡◉
- 日付色を設定していても、表示内容が「1　間詳細表示」のときは、表示されません。

待受表示設定

待受画面に予定を表示するかどうかを設定します。（予定１件ごとに設定できます。）

お買い上げ時 ON

「3待受表示設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉
- 他人に見られたくない予定は「OFF」にすることをおすすめします。

スケジュールの表示

■ スケジュールを待受画面に表示するときは、カレンダー表示形式（☞P.8-3）を「2スタンプ＋スケジュール表示」に設定します。

待受詳細表示の設定

■ スケジュールを待受画面で表示するときに、詳細を表示するかどうかを設定します。
[スケジュール/メモ]➡[✉]（メニュー）➡「0待受表示内容」選択➡◉➡設定する表示内容選択➡◉

自動消去保護設定

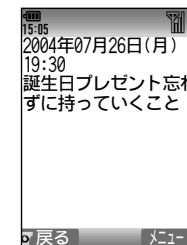
「ON」に設定すると、消去したくないスケジュールを自動的に保護します。

お買い上げ時 OFF

「4自動消去保護設定」選択➡◉➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉
- 「ON」に設定していても、１件消去（☞P.14-18）と全件消去（☞P.14-18）の「全て」を選択したときは、消去されます。

スケジュールを確認する

1. [スケジュール/メモ]を押す。
2. スケジュールを確認する日を選び、◉を押す。
3. 確認するスケジュールを選び、◉を押す。
4. 確認を終了するときは、[✓]（戻る）を押す。

15:05
2004年07月26日(月)
19:30
誕生日プレゼント忘れずに持っていくこと！
戻る　メニュー

表示内容の切り替え

■「スケジュールを確認する」の操作１のあと [✓]（切替）を押すたびに、「アクションアイテム表示」→「1　間詳細表示」→「１ヶ月スタンプ表示」→「全件表示」→「スタンプ＋詳細表示」の順に表示が切り替わります。
■ 表示される内容は設定（制限）できます。（☞P.14-19）

スケジュールの件数の確認

■ 登　済のスケジュールの件数は、次の操作で確認します。
[スケジュール/メモ]➡[✉]（メニュー）➡「⊛件数確認」選択➡◉

14 その他の機能

スケジュールを編集する

1 [スケジュール/メモ]を押す。

2 スケジュールを確認する日を選び、◉を押す。

3 編集するスケジュールを選び、◉を押す。

4 [メニュー]（メニュー）を押す。

5「編集」を選び、◉を押す。

6 変更する項目を選び、◉を押す。
●編集方法は、スケジュールの登　時と同様です。（☞P.14-14操作３以降）

7 編集が終われば、[完了]（完了）を押す。

8「1新規登録」または「2上書登録」を選び、◉を押す。

スケジュールを消去する

1件消去	スケジュールを１件ずつ消去します。

[スケジュール/メモ]➡スケジュールを確認する日選択➡◉➡消去するスケジュール選択➡[メニュー]（メニュー）➡「5１件消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

1日消去	スケジュールを１日単位で消去します。

[スケジュール/メモ]➡スケジュールを消去する日選択➡◉➡[メニュー]（メニュー）➡「6全消去」選択➡◉➡「2１日スケジュール全消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

過去／全件消去	過去またはすべてのスケジュール／アクションアイテムを消去します。

[スケジュール/メモ]➡スケジュールを消去する日選択➡◉➡[メニュー]（メニュー）➡「6全消去」選択➡◉➡「1過去スケジュール全消去」／「3スケジュール全消去」／「4アクションアイテム全消去」選択➡◉➡「1全て」／「2保護以外」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

その他のスケジュール関連機能

自動消去設定	最大登　件数を超えた、スケジュール／アクションアイテム（完了）を古い順から消去します。

お買い上げ時 自動消去OFF

[スケジュール/メモ]➡[メニュー]（メニュー）➡「7自動消去設定」選択➡◉➡「1スケジュール」／「2アクションアイテム」選択➡◉➡「1自動消去ON」／「2自動消去OFF」選択➡◉

シークレット設定	操作用暗証番号を入力しないとスケジュールの登　や確認ができないように設定します。

お買い上げ時 OFF

[スケジュール/メモ]➡[メニュー]（メニュー）➡「8シークレット設定」選択➡◉➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1ON」／「2OFF」選択➡◉

カレンダー曜日色設定	曜日ごとに色を設定できます。

[スケジュール/メモ]➡[メニュー]（メニュー）➡「9カレンダー曜日色設定」選択➡◉➡曜日選択➡◉➡色選択➡◉

表示設定	スケジュールの表示方法を設定します。

[スケジュール/メモ]➡[メニュー]（メニュー）➡「4表示切替」選択➡◉➡「1スタンプ＋詳細表示」～「5全件表示」選択➡◉

切替表示設定

■ スケジュール画面で[切替]（切替）を押すと、表示内容が切り替わります。（☞P.14-17）
●このときに表示される内容を設定（制限）することができます。
[スケジュール/メモ]➡[メニュー]（メニュー）➡「4表示切替」選択➡◉➡「6切替表示設定」選択➡◉➡表示方法選択（※）➡[チェック]（チェック）➡（表示方法選択➡[チェック]をくり返す）➡◉
※表示するときは「□」の行を、表示しないときは「☑」の行を選択します。

ユースフルダイアリー

文字と画像を組み合わせた便利な日記を登　できます。
●1件あたり最大全角250文字（半角500文字）、最大400件まで登　できます。
●ユースフルダイアリーを最大件数まで登　すると、新規に登　することができません。不要なユースフルダイアリーを消去するときは、P.14-22を参照してください。

ユースフルダイアリーを登録する

1 ◉[5][4]の順に押す。

2「1今日の日記をつける」を選び、◉を押す。
今日の日記の登　画面が表示されます。
■ 他の日付の日記登　：「1日付入力」選択➡◉➡登　する日付入力➡◉
●日記の本文を入力しないときは、このあと操作５へ進みます。

3「2メッセージ」を選び、●を押す。
- あらかじめ20件の定型文が登 されています。
- 文字が入力されている状態では、定型文を利用することはできません。

■ 定型文の確認：（定型）➡確認する定型文の選択➡（メニュー）➡「1確認」選択➡●

4 日記の本文を入力し、●を押す。
- 画像を登 しないときは、このあと操作６へ進みます。

5「3画像設定」を選び、●を押す。

■ 以降の操作：☞P.14-16「ピクチャーメモ設定」

6（完了）を押す。

■ 別の日記をつける：（メニュー）➡「1新規日記を登録」選択➡●➡日付入力➡●➡操作３～６をくり返す

7 登録が終われば、を押す。

定型文の編集

■ 定型文の一覧画面で（メニュー）を押すと、次の操作が行えます。
- 定型文の確認
  「1確認」選択➡●
- 定型文の編集
  「2編集」選択➡●➡タイトル入力➡●（本文の入力画面表示）➡必要な箇所をすべて入力➡●（決定）
  （この操作を行うと、選択した番号の定型文は上書きされます。）
- 定型文の消去
  「3１件消去」／「4全件消去」選択➡●
  - 「3１件消去」選択時：消去の確認画面表示➡「1YES」選択➡●
  - 「4全件消去」選択時：操作用暗証番号の入力画面表示➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡消去の確認画面表示➡「1YES」選択➡●
  （編集した定型文を消去すると、お買い上げ時の状態に戻ります。）

シークレット設定／解除する

設定	操作用暗証番号を入力しないとユースフルダイアリーの登 や確認ができないように設定します。

お買い上げ時 OFF

●54➡「3シークレット設定」選択➡●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「1ON」選択➡●

解除	ユースフルダイアリーのシークレット設定を解除します。

●54➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「3シークレット設定」選択➡●➡操作用暗証番号（４ケタ）入力➡「2OFF」選択➡●

ユースフルダイアリーを確認する

1 ●54の順に押す。

2「2日記一覧」を選び、●を押す。
日付の新しいものから順に表示されます。

3 確認するユースフルダイアリーを選び、●を押す。

■ 登 されている静止画の確認：●（表示）
- 元の画面に戻る：上記操作のあと（戻る）

■ 登 されている動画の確認：●（再生）
- 元の画面に戻る：上記操作のあと（停止）

ユースフルダイアリーのメール送信

1 ●54の順に押す。

2「2日記一覧」を選び、●を押す。

3 送信するユースフルダイアリーを選び、（メール）を押す。
- 画像付きのときは、画像を添付するかどうかの確認画面が表示されます。
- 画像なしのときは、このあと操作5へ進みます。

4「1YES」または「2NO」を選び、●を押す。
- 「1YES」を選んだときは、このあと操作６へ進みます。
- そのまま添付できない画像のときは、確認画面が表示されますので、画像サイズを変更してください。（☞P.3-9）
  また、画像によっては添付できない場合があります。

5「1ロングメール」または「2スカイメール」を選び、●を押す。
- スカイメールを選んだときは、送信可能文字数を超過した分は削除されます。

6 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。（☞P.3-3）

ユースフルダイアリーを編集する

1 ●54の順に押す。

2「2日記一覧」を選び、●を押す。

3 編集するユースフルダイアリーを選び、●を押す。

4（メニュー）を押す。

5「1編集」を選び、●を押す。

6 編集する項目を選び、●を押す。
- 編集方法は、ユースフルダイアリーの登 時と同様です。

7 編集が終われば、（完了）を押す。

ユースフルダイアリーを消去する

1件消去　登　したユースフルダイアリーを1件消去します。

◉⑤④➡「2日記一覧」選択➡◉➡消去するユースフルダイアリー選択➡（メニュー）➡「21件消去」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

全件／過去消去　登　したユースフルダイアリーを全件または、過去の全件を消去します。

◉⑤④➡「2日記一覧」選択➡◉➡（メニュー）➡「3全件消去」／「4過去の日記を全消去」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡「1YES」選択➡◉

ストップウォッチ

最長24時間まで、1／10秒単位でタイムを計測できます。計測中に途中までの所要時間（ラップタイム）も記　できます。

- 計測したタイムは、最新の5件までのラップタイムと合わせて、V402SHのテキストメモに登　できます。

1 **◉⑤⑤の順に押す。**

ストップウォッチの画面が表示されます。

■ 登　済のタイムの確認：（メニュー）➡「テキストメモ参照」選択➡◉➡登　箇所選択➡◉

2 **◉（開始）を押す。**

計測がスタートします。

- クローズポジションで動作しているときは、スモールライトが点滅します。

■ ラップタイムの記　：（LAP）

▪ビューアポジション操作時：Ⓒ（長押し）／

3 **止めるときは、もう一度◉（停止）を押す。**

途中でラップタイムを記　すると、最新の5件まで保持されます。ストップウォッチを終了すると、すべて消去されます。

■ テキストメモ登　：（メニュー）➡「テキストメモ登録」選択➡◉➡登　先の番号選択➡◉（登　済みテキストメモ選択時：「1YES」選択➡◉）

■ 再スタート：◉（再開）

■ 計測タイムの消去：（リセット）

▪ビューアポジション操作時：（長押し）／

補足

- ストップウォッチを終了すると、計測したデータはすべて消去されます。保存したいときは、計測終了後テキストメモに登　してください。
- 計測中に着信があったときは、通話中もストップウォッチの動作は継続します。で通話終了後、計測中の画面に戻ります。
- 電池残量が少なくなると、ストップウォッチの動作は中止されます。
- リピートアラームやスケジュールアラームを設定しているときは、ストップウォッチ終了後に鳴動します。（ストップウォッチ動作中は、お知らせしません。）
- ストップウォッチ動作中は、スポットライトを点灯させることはできません。

キッチンタイマー

設定した時間が経過したことを、アラームとランプでお知らせします。

- 最長60分まで、1秒単位で設定できます。

1 **◉⑤⑥の順に押す。**

タイマー起動時間の入力画面が表示されます。

2 **セットする時間（00分01秒〜60分00秒）を入力し、◉（完了）を押す。**

- 60分（60：00）以上の数字を入力したときは、タイマー起動時間の入力画面に戻ります。

■ 時間の変更：（編集）➡時間入力➡◉

3 **◉（開始）を押す。**

タイマーのカウントダウンが始まります。

- クローズポジションで動作しているときは、スモールライトが点滅します。

■ 途中の停止：◉（停止）

設定時間になったときの動作

■ 起動時間のお知らせが表示され、アラームとランプでお知らせします。（アラーム音：パターン1（固定）、音量：「**サウンド再生音量**」に連動、ランプ：「**サウンドランプ設定**」に連動、バイブ：OFF）

- アラームを止めるときは、60秒間そのままにしておくか、◉を押します。
- マナーモードに設定しているときは、バイブレータでお知らせします。（バイブパターン：バイブ1、音量／ランプ：マナーモードの設定内容に連動）
- 着信や通話中にタイマー起動時間になったときは、通話終了後を押すと、起動時間のお知らせが表示されます。

- アラーム音とマナーモード設定中のバイブレータは固定です。変更することはできません。
- キッチンタイマー動作中に着信があったときは、通話中も動作は継続します。で通話終了後、キッチンタイマー動作中の画面に戻ります。
- 操作中に、を長く（1秒以上）押して、マナーモードを設定／解除することができます。
- リピートアラームやスケジュールアラームを設定しているときは、キッチンタイマー終了後に鳴動します。（キッチンタイマー動作中は、お知らせしません。）
- キッチンタイマー動作中は、スポットライトを点灯させることはできません。

バーコード読み取り

バーコードの読み取り方法には、次の種類があります。

通常モード	1つのバーコード（JANコード）またはQRコードを読み取ります。（複数に分割されているQRコードを自動的に認識し、読み取ることもできます。）
連続モード	複数のバーコード（JANコード）またはQRコードを連続して読み取ります。

●モバイルカメラで撮影して読み取るときは、V402SHを縦向きにしてお使いください。
●印刷されたバーコードをモバイルカメラで撮影して読み取ったり、ボーダフォンライブ！などで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取ることができます。
●バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取ることができます。
●連続モードで読み取れる回数は、バーコード（JANコード）が最大50回、QRコードが最大16回までです。ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続して読み取りできないことがあります。

●バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
●室内などでバーコードを読み取るときに、体の一部やV402SHの影がバーコードにかかっている場合は、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトを利用されることをおすすめします。
●ディスプレイ内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。
●一時停止中のVアプリがあるときは、読み取れません。

●JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。（ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は、読み取ることができません。）
●QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登　商標です。

モバイルカメラで撮影して読み取る

バーコード専用モードで読み取る方法と、文字入力中に読み取る方法があります。

バーコード専用モードで読み取る

読み取った文字を、コピーして他の画面にペーストできます。また、「TEL:」や「MAILTO:」など、特別な意味を持った文字が含まれている場合、メモリダイヤルやメールに文字を入力したり、インターネットに接続できます。

1 ◉✉（📷）の順に押す。

2「3バーコード」を選び、◉を押す。

3「1バーコード読み取り」を選び、◉を押す。

読み取りモードが通常モードで起動します。（被写体との距離を約5cm程度、離してください。）
●通常サイズのバーコードを読み取るときは、接写モードにしてください。（☞P.7-5 8）
■ モード切替：[スケジュール]（通常⇔連続）
■ モバイルライトの利用：[#]（「点灯（接写撮影用）」⇔「消灯」切替）
■ 明るさの調整：◎（☞P.7-22）

4 読み取るバーコードをディスプレイ中央部に表示させる。

5 ◉（認識）を押す。

■ 読み取りの中止：✉（中止）（操作3の状態に戻る）

6 *通常モードのとき*

1 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.14-26

補足

分割されているバーコードのとき
●次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
●「1YES」を選び、◉を押すと、次のバーコードの読み取りができる（操作3の状態）になります。◉を押して、バーコードを読み取ってください。
●「2NO」を選び、◉を押すと、情報破棄の確認メッセージが表示されます。「1YES」を選び、◉を押すとすでに読み取ったバーコード内の情報は破棄され、新たにバーコードの読み取りができる（操作3の）状態になります。
●分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示・保存できません。
●読み取り中は、分割されている個数と、読み取っている個数が画面1行目に表示されます。（例：1/4…4分割の1個目）

連続モードのとき

1 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示される。

2 連続して読み取るときは、「1YES」を選び、◉を押す。

読み取り後、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
2をくり返し、必要なバーコードをすべて読み取ります。
（画面1行目には、現在の読み取り個数を示すアイコン（「1」など）が表示されます。）

3 読み取りを終了するときは、「2NO」を選び、◉を押す。

読み取り結果が表示されます。
■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.14-26

読み取り結果の表示サイズ変更

■ お買い上げ時には、「**文字中／画像等倍**」に設定されています。
■ 読み取り結果表示中に、（**メニュー**）を押したあと、「**表示サイズ切替**」を選び、◉を押します。設定する表示サイズを選び、◉を押します。
■ 読み取り結果表示中にを押しても、表示サイズを切り替えることができます。を押すたびに、「**文字中／画像２倍**」→「**文字小／画像等倍**」→「**文字小／画像２倍**」→「**文字大／画像等倍**」→「**文字大／画像２倍**」→「**文字中／画像等倍**」の順に切り替わります。（画像等倍時には「」、画像２倍時には「」がディスプレイ上部に表示されます。）
■ 読み取り結果表示中の表示サイズ切替は、受信メール、送信メールやウェブの設定には反映されません。

読み取りのやり直し

■ 読み取り結果表示中に、（**戻る**）を押します。情報破棄の確認メッセージが表示されますので、「1YES」を選び、◉を押します。操作３の状態に戻りますので、操作４以降をやり直してください。

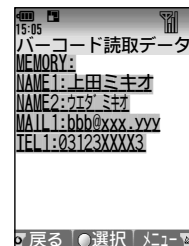
■バーコード読み取り結果を利用した各操作

電話をかける※1	「TEL:」の付いている番号※2を選択➡◉➡「**➡電話**」選択➡◉
メール送信する※3	「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「**➡メール送信**」選択➡◉➡「**1ロングメール送信**」／「**2スカイメール送信**」選択➡◉（以降の操作：☞P.3-3）
メール本文に利用してメール送信する	（**メニュー**）➡「**メール送信**」選択➡◉➡「**1ロングメール送信**」／「**2スカイメール送信**」選択➡◉➡読み取り結果確認➡◉ 読み取った文字の利用：読み取り結果確認画面で（**切出**）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡◉➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡◉（メール送信操作：☞P.3-3）
メモリダイヤルに登録する※1、※3	「TEL:」の付いている番号※2／「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡◉➡「**➡メモリダイヤル登録**」選択➡◉（以降の操作：☞P.5-6操作４以降）
インターネットに接続する※4	先頭に「http://」の付いているURLを選択➡◉➡「**➡ウェブアクセス**」選択➡◉（以降の操作：☞P.7-8）
データフォルダに登録する（画像／メロディ）	画像／メロディ選択➡◉➡「**データフォルダに保存**」選択➡◉➡タイトル確認➡◉
登録	（**メニュー**）➡「**読取データ登録**」選択➡◉➡タイトル入力➡◉ 登　できるのは最大10件です。（登　した読取データの確認：☞P.14-28）
コピーする	（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡◉➡コピーする最初の文字にカーソル移動➡◉➡コピーする最後の文字にカーソル移動➡◉ 選んだ文字が記憶されます。このあと他の画面にペーストします。

※1　含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2　０から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても、「TEL:」と同様の扱いになります。
※3　含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※4　含まれている文字が「http://¥」のときに利用できます。
●「¥」は英数字１文字以上を示します。

先頭に「TEL:」の付いている電話番号（０から始まる10ケタ以上24ケタ以下の数字の文字列についても同様）、「@」が含まれているメールアドレス、先頭に「http://」の付いているURLがない場合、それらを利用した各操作は行えません。

読み取り結果に「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれている

■ 操作６の画面で右のように、メモリダイヤル（「MEMORY:」の場合）やメール（「MAILTO:」の場合）用の項目と内容が表示されます。このあと◉を押すと、表示されている内容をメモリダイヤル登　画面やメール送信画面にまとめて入力することができます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインがつきます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があった場合は、その文字以降は破線のアンダーラインはつきません。）

文字入力中に読み取る

読み取った文字を、文字入力画面のカーソル位置に入力します。
●読み取ったときの文字入力状態によっては、読み取った文字がすべて入力されないことがあります。

1 **文字入力画面で、を２回押す。**

2 **バーコードを読み取る。（☞P.14-25操作４～５）**
読み取った文字の一部利用：（**切出**）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡◉（**開始**）➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡◉（**終了**）

3 **◉（決定）を押す。**
読み取った文字が、文字入力画面に入力されます。

●次のときは、文字入力中のバーコード読み取りはできません。
- バーコード読み取り結果を保存するときのタイトル入力中
- マーカースタンプの文字入力中
- 通話をしているときの文字入力中
- 通話中のメモリダイヤル作成時
- 画像編集して保存するときのタイトル入力中
- ポストカードメーカーの文字入力中
- 電子ブック使用中
- ボイスレコーダーの文字入力中
- Vアプリ起動中
- テレビ／FM視聴中

データフォルダ内のバーコードを直接読み取る

1 ◉を押したあと、「データ確認」を選び、◉を押す。

2「1データフォルダ」を選び、◉を押す。

■ フォルダ表示中：フォルダ選択➡◉

3 読み取るバーコードファイルを選び、✉（メニュー）を押す。

4「6バーコード」を選び、◉を押す。

5「1バーコード読み取り」を選び、◉を押す。

読み取り結果が表示されます。

■ 読み取った結果を利用した各操作：☞P.14-26

分割されているバーコードの読み取り

■ 分割された次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。

●読み取るときは、次の操作を行います。

「1YES」選択➡◉➡ファイル指定➡◉

●読み取りを中止するときは、次の操作を行います。

「2NO」選択➡◉➡情報破棄の確認画面表示➡「1YES」選択➡◉

■ 分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示・保存できません。

■ 読み取り中は、分割されている個数と、読み取っている個数が画面1行目に表示されます。（例：1/4…4分割の1個目）

注意

●拡大縮小（リサイズ）したバーコードは読み取りできないことがあります。

●対応していないコードの場合、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

読取データを確認する

登　した読み取り結果（読取データ）を確認します。

1 ◉✆（ｵｽｽﾒ）の順に押す。

2「3バーコード」を選び、◉を押す。

3「3読取データ確認」を選び、◉を押す。

●このあと読取データを選び、✉（メニュー）を押すと、名前の変更や消去などが行えます。操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.12-28、P.12-29）

4 確認する読取データを選び、◉を押す。

読み取り結果が表示されます。

●表示した読み取り結果を再び登　することはできません。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.14-26

■ 読取データのライブラリ画面に戻る：✆（戻る）

バーコード作成

V402SHのオーナー情報、メモリダイヤル、メール、テキストやデータフォルダのメロディ、画像（ピクチャー）を利用して、バーコードファイルを作成します。作成したバーコードファイルはデータフォルダに登　したり、ロングメールに添付して送信できます。

バーコード専用モードを利用する

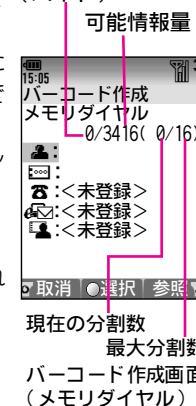
1回の操作につき、1つの情報（オーナー情報、メモリダイヤル、メール、テキスト、メロディ、画像）を選び、バーコードとして作成します。

●すでにV402SHに登　されている情報から選んで作成したり、新たにメモリダイヤルやメールの内容などを入力して作成することもできます。

●1つのバーコードに登　できる文字数の目安は、数字だけを入力したときは513文字、漢字だけを入力したときは131文字となります。

●情報量が多いときは、自動的に分割バーコードが表示されます。（一度に最大3416バイト（16分割）まで）

●作成したバーコードは、V402SHのピクチャーフォルダに登　されます。

バーコード作成画面（メモリダイヤル）

オーナー情報からバーコード作成　名前／ヨミ／電話番号／E-mailアドレス／パーソナルデータからバーコードを作成します。

■オーナー情報の郵便番号はバーコード化されません。

◉✆（ｵｽｽﾒ）➡「3バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「1オーナー情報」選択➡◉➡操作用暗証番号（4ケタ）入力➡◉➡✉（作成）➡◉（登録）

メモリダイヤルからバーコード作成　名前／ヨミ／電話番号／E-mailアドレス／パーソナルデータからバーコードを作成します。

■グループ名／オプションはバーコード化されません。

◉✆（ｵｽｽﾒ）➡「3バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「2メモリダイヤル」選択➡◉➡✉（参照）➡メモリダイヤル選択➡◉➡◉➡✉（作成）➡◉（登録）

■ バーコード作成中に、新しい情報の入力：「2メモリダイヤル」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容入力➡◉（メモリダイヤル：☞P.5-3）

メールからバーコード作成　メールの宛先／件名／本文／添付の情報からバーコードを作成します。

◉（メニュー）➡「3バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「3メール」選択➡◉➡（参照）➡「1受信メール」～「3送信トレイ」選択➡◉➡メール選択➡◉➡（作成）➡◉（登録）

■ バーコード作成中に、新しい情報の入力：「3メール」選択➡◉➡項目選択➡◉➡内容入力➡◉（メール作成：☞P.3-3）

テキスト（文字）からバーコード作成　入力したテキスト文、電話番号の情報からバーコードを作成します。

◉（メニュー）➡「3バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「4テキスト」選択➡◉➡「テキスト文」／「電話番号」選択➡◉➡テキスト入力／電話番号入力➡◉➡（作成）➡◉（登録）

メロディ／画像からバーコード作成　データフォルダ内のメロディや画像からバーコードを作成します。

◉（メニュー）➡「3バーコード」選択➡◉➡「2バーコード作成」選択➡◉➡「5データフォルダ」選択➡◉➡フォルダ選択➡◉➡メロディ／画像選択➡◉➡「1YES」選択➡◉➡◉（登録）

●オリジナル着信音を選んだときは、変換するデータ形式を選択する画面が表示されます。

ロングメールに添付して送信

■ バーコードを登　する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
（メニュー）➡「1メール添付」選択➡◉➡（メール作成：☞P.3-3）

作成したバーコードデータの消去

■ バーコードを登　する（◉を押す）前に、次の操作を行います。
（メニュー）➡「2データ消去」選択➡◉➡消去するデータ選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

各情報の画面からバーコードを作成する

V402SHに登　しているオーナー情報、メモリダイヤル、メール、テキストメモ、データフォルダ内のメロディや画像から、バーコードを作成します。

1 各情報の画面で、◉（メニュー）または（メニュー）を押す。
●メールの場合は、バーコード作成するメッセージを選んで操作します。
■ データフォルダ内のデータのバーコード作成：上記操作のあと、「**バーコード**」選択➡◉

2「バーコード作成」を選び、◉を押す。
操作を開始した情報の種類に応じて、各画面が表示されます。

3 （作成）を押す。
■ ロングメールに添付して送信：☞P.14-30
■ 作成したバーコードデータの消去：☞P.14-30

4 ◉（登録）を押す。

電池の消費を抑える

電池パックの消費を抑える

通話中の電波の出力を抑え、電池パックの消費を少なくします。（バッテリーセーブ）
●「ON」に設定すると、こちらの話し始めの声が相手側に聞こえにくくなることがあります。
●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

1 ◉33の順に押す。

2「1バッテリーセーブ」を選び、◉を押す。

3「1ON」を選び、◉を押す。
■ バッテリーセーブの解除：「2OFF」選択➡◉

ディスプレイの消費を抑える

V402SHは、操作をしない状態（クローズポジションを除く）が一定時間以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ）

パネルセーブが動作するまでの時間を２分～20分の間（１分単位）で変更したり、動作しないようにします。

- 通話中やボーダフォンライブ！利用中など、利用状態によっては、パネルセーブが動作しない場合があります。

パネルセーブを設定する

- お買い上げ時には、５分後にパネルセーブが動作するよう「ON」に設定されています。

1 **◉③③の順に押す。**

2 **「②パネルセーブ」を選び、◉を押す。**

3 **「①ON/OFF設定」を選び、◉を押す。**

4 **「①ON」を選び、◉を押す。**

■ パネルセーブの解除：「②OFF（微点灯あり）／③OFF（微点灯なし）」選択➡◉（操作完了）

5 **パネルセーブが動作するまでの時間（02～20分）を入力し、◉を押す。**

パネルセーブの動作

■ 自動的に画面表示が消えます。
- パネルセーブは何かボタンを押したり、着信などがあると、解除されます。（最初に押したボタンは、パネルセーブ解除用としてだけ動作します。ダイヤル入力や各種操作などは、パネルセーブを解除してから行ってください。）
- パネルセーブ動作中にV402SHをクローズポジションにすると、効果音設定の「③パワーON」（☞P.9-6）で設定されている音が鳴り、パネルセーブ動作中であることをお知らせします。このあとV402SHをオープンポジションにすると、パネルセーブは解除されます。

パネルセーブを「OFF」に設定すると、連続待受時間が短くなります。「②OFF微点灯あり」に設定すると、特に短くなります。

パネルセーブが動作するまでの時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネルセーブ動作時にスモールライト（橙色点滅）を表示する

- お買い上げ時には、点滅しないよう「ランプ表示なし」に設定されています。

1 **◉③③の順に押す。**

2 **「②パネルセーブ」を選び、◉を押す。**

3 **「②ランプ表示設定」を選び、◉を押す。**

4 **「①ランプ表示あり」を選び、◉を押す。**

■ ランプ点滅なし：「②ランプ表示なし」選択➡◉

オフラインモード設定中は、オフラインモード設定を優先してスモールライトが点滅します。

簡易電卓

12ケタまでの四則演算やパーセント計算、税込みの計算に便利です。

- お買い上げ時には、税率は「５%」に設定されています。

1 **◉④⑨の順に押す。**

- 待受中に金額を入力し◉を押しても、簡易電卓が表示されます。
- 簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

機能	ボタン	機能	ボタン
＋（足す）	◉（左）	RM（メモリ呼出）	文字
－（引く）	◉（右）	M＋（メモリ加算）	メール
（掛ける）	◉（上）	.（小数点）	＊゛゜絵
÷（割る）	◉（下）	＋/－（符号反転）	＃記号
＝（イコール）	◉	%（パーセント）	Vodafone
C・CE（クリア）	クリア	TAX（税計算）	発信
CM（クリアメモリ）	スケジュール/メモ		

■ 税率の変更：税率（01～99%）入力➡発信（１秒以上）

2 **簡易電卓を終わるときは、PWRを押す。**

計算結果の利用

■ 簡易電卓で行った計算結果の数値は、文字入力画面に貼り付けることができます。
文字入力画面➡メール（**メニュー**）➡「⑦各種情報入力」選択➡◉➡「④簡易電卓」選択➡◉➡計算結果選択➡◉➡（以降の操作：☞P.4-21操作７以降）
- 計算結果は最新の10件まで記憶しています。

- 計算中に着信があったとき、入力した数値や計算結果、メモリに記憶された数値は消去されません。
- メモリ計算ではスケジュール/メモを押して、メモリ内容を消去してから始めてください。
- メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

マネー積算メモ

順次入力した金額の合計を自動的に計算します。出張時の経費の計算などに便利です。
●積算メモには最大31件の金額が入力できます。（合計金額は30,999,969円まで、１回の入力は999,999円まで）

マネー積算メモ入力	待受中にダイヤルボタンで金額を入力し、明細名をつけて登録できます。

金額を入力➡スケジュール/メモ➡明細名を選択➡◉
●自動的に入力した日時で登録されます。
●時刻設定（☞P.1-24）がされていないときは、日時には「--/----:--」が登録されます。

通話中にマネー積算メモは入力できません。

確認	入力した積算メモを確認します。

◉④①➡「1メモ確認」選択➡◉
■ 他の金額を確認：◎

消去	マネー積算メモを消去します。

◉④①➡「1メモ確認」選択➡◉➡◉➡クリア➡「1YES」選択➡◉

明細名変更	あらかじめ登録されている明細名を変更します。

◉④①➡「2明細変更」選択➡◉➡変更する明細名を選択➡◉➡明細名変更➡◉
●最大全角３文字（半角６文字）まで入力できます。
●あらかじめ登録されていた明細名に戻すときは、変更した明細名を消去し、◉を押します。

14 その他の機能

スポットライト

V402SHを懐中電灯のように利用できます。

点灯	スポットライトを点灯します。

待受中に、ⓒを連続して２回押す

消灯	スポットライトを消灯します。

ⓒまたは、エニーキーアンサーの各ボタンを押す
●V402SHをオープンポジションにしても消灯できます。（クローズポジション時）

点灯時間設定	スポットライトを継続して点灯させる時間を設定します。

お買い上げ時 1分

◉➡「ツール」選択➡◉➡「1スポットライト」選択➡◉➡「2スポットライト設定」選択➡◉➡「1継続点灯時間」選択➡◉➡時間選択➡◉

スポットライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

点灯カラー設定	スポットライトの点灯カラーを設定します。

お買い上げ時 ライチフルーツ（白色系統）

◉➡「ツール」選択➡◉➡「1スポットライト」選択➡◉➡「2スポットライト設定」選択➡◉➡「2点灯カラー」選択➡◉➡カラー選択➡◉
■ 点灯カラーの確認：カラー選択時に📷（点灯）

●スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。
●次のようなときには、スポットライトが点灯しません。
■カメラモード中 ■誤動作防止中 ■ダイヤル操作禁止中 ■通話中
■メール受信中 ■ボイスレコーダー録音中 ■SMAF動作中 ■発信中
■ストップウォッチ動作中 ■キッチンタイマー動作中 ■テレビ／FM視聴中

●スポットライト点灯中に電話などの着信があったときは、スポットライトが消灯し、ディスプレイのパネル照明が点灯します。
●次のようなときにスポットライトを点灯すると、設定した点灯時間終了後、ディスプレイのパネル照明が点灯します。
■Vアプリ起動中（Vアプリの「パネル照明」（☞ⓞP.12-2）を「常時ON」に設定しているとき）

14 その他の機能

TVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの利用

ワンタッチで電話をかける

メモリ番号000に登 したメモリダイヤル（☞P.5-5）には、付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクのスイッチを押すだけで、電話をかけることができます。

1 イヤホンマイク端子に、付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（１秒以上）押し続ける。

●相手が出たら、お話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（１秒以上）押し続ける。

電話が切れます。を押しても、電話を切ることができます。

●V402SHをクローズポジションにしても、電話は切れません。

メモリ番号000をシークレットデータにしているときは、シークレットモードにしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。（☞P.13-7）

- ダイヤル操作禁止やメモリ使用禁止が設定中は、電話をかけられません。（☞P.13-2、P.13-3）
- 付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクのコードを、V402SH本体や内蔵アンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクのコードを、内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。ご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。

ワンタッチで電話を受ける

1 イヤホンマイク端子に、付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを長く（１秒以上）押し続ける。

電話がつながります。相手とお話しください。

●電話を切る操作は上記と同様です。

イヤホンからのみ着信音を出す

イヤホンマイク端子に付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクを差し込んでいる場合、着信音はイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。

これをイヤホンからのみ鳴るように設定します。

●お買い上げ時には、「**イヤホン＋スピーカー**」に設定されています。

1 ◉①⑤の順に押す。

2 「1イヤホンのみ」を選び、◉を押す。

■ イヤホンとスピーカーの両方から鳴らす：「2**イヤホン＋スピーカー**」選択➡◉

イヤホンマイク端子に付属品のTVアンテナ付きステレオイヤホンマイクなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」に設定していても、スピーカーから着信音が鳴ります。

外部機器を利用したデータ通信

FAX通信 データ／FAX通信カードなどを介して、FAX通信をします。

データ／FAX通信カードを接続する

●G3 FAXが送信または受信状態になると、確認画面が表示されます。

パソコン通信 データ／FAX通信カードなどを介して、パソコン通信をします。

データ／FAX通信カードを接続する

●パソコンが通信状態になると、確認画面が表示されます。

FAX通信やパソコン通信を行うときは、電波の安定した場所で行われることをおすすめします。

- パソコン通信を行っているときは、ボーダフォン携帯電話の画面表示が接続されたデータ／FAX通信カードによって変わります。
- ボーダフォン携帯電話は、9600bps高速データ通信対応です。
- データ／FAX通信カードなどの接続方法、FAX通信やパソコン通信の方法については、データ／FAX通信カードなどの取扱説明書をご参照ください。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。

- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは一般電話から操作してください。
- 一般電話からの操作、サービスの詳細については「**サービスガイドブック**」をご覧ください。

転送電話サービス	電波の届かない場所や電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。（☞P.15-3）
留守番電話サービス※	電波の届かない場所や電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.15-4）
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。（☞P.15-6）
三者通話サービス※	２人での通話中にもう１人に電話をかけ、３人同時に通話することができます。また、相手を切り替えながら交互に通話することもできます。（☞P.15-7）
発信者番号通知サービス※	お客様の電話番号を相手に通知したり、相手の電話番号を表示させることができます。

※ 別途お申し込みが必要です。

転送電話サービス

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

転送先電話番号登録　転送先の電話番号を登　します。

◉⑦①②➡**転送先電話番号入力**➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、登　した転送先電話番号が表示されます。
- 一般電話の場合は、市外局番から入力してください。

転送先として登録できない電話番号
- 「１」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス開始　転送電話サービスを開始します。

■あらかじめ転送先の電話番号を登　しておいてください。

◉⑦①①➡**「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択**➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
- 「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

転送電話サービス停止　転送電話サービスを停止します。

◉⑦③➡**「1YES」選択**➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、停止の確認メッセージが表示されます。

転送電話サービス設定確認　転送電話サービスの設定状況を確認します。

◉⑦④➡**「1YES」選択**➡◉

- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

転送電話サービス開始後に着信があると

■ 着信音が鳴っている間に通話キーを押すとそのまま通話できます。
- 転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービス

別途お申し込みが必要です。

留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は、「**サービスガイドブック**」をご覧ください。

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始

留守番電話サービスを開始します。

◉72➡「1あり」（着信音を鳴らす）／「2なし」（着信音を鳴らさない）選択➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
- 「**2なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用になれます。

> **留守番電話サービス開始後に着信があると**
>
> ■ 着信音が鳴っている間にを押すとそのまま通話できます。
> - 転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約され、関東・甲信／東海／関西地域でご利用の場合）
>
> **留守番電話サービス停止中に着信があると（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）**
>
> ■ 着信中に◉の順に押すと、その着信に限り留守番電話サービスセンターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）
>
> ■ 留守番電話センターに転送できなかったときは、確認メッセージが表示され、着信中の画面に戻ります。
>
> ■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-3）を「**5留守電センター転送**」に設定しているときは、着信中にを長く（1秒以上）押しても、留守番電話センターに転送されます。

留守番電話サービス停止

留守番電話サービスを停止します。

◉73➡「1YES」選択➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

伝言メッセージ再生

留守番電話センターに入っている伝言メッセージを確認します。

◉77➡「1YES」選択➡◉

- 留守番電話センターに接続後は、アナウンスに従って操作します。

■ メッセージ確認後：

補足：「」はV402SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

留守番電話サービス設定確認

留守番電話サービスの設定状況を確認します。

◉74➡「1YES」選択➡◉

- 設定状況が表示されます。

転送電話／留守番電話の呼出し時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V402SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V402SHの着信音が鳴る時間）を5～30秒（5秒単位）の間で設定できます。

- 電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。
- 着信音を鳴らさないようにしているときは、ここでの設定は無効になります。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

呼出し時間設定

転送電話／留守番電話の呼出時間を設定します。

お買い上げ時 20秒

◉70➡呼出し時間選択➡◉

- 接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。

注意：転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV402SHの簡易留守　（☞P.14-5）と合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。

例：各サービスの呼出し時間…10秒
簡易留守録の呼出し時間… 9秒

と設定すると、簡易留守　が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。

割込通話サービス

別途お申し込みが必要です。

割込通話サービス設定　割込通話サービスを設定します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

◉⑦⑤➡「1ON」選択➡◉

●ネットワーク接続後、確認メッセージが表示されます。

割込通話サービス解除　割込通話サービスの設定を解除します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

◉⑦⑤➡「2OFF」選択➡◉

●確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。

割込通話サービス設定確認　割込通話サービスの設定状況を確認します。

■北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、確認できません。

◉⑦⑥➡「1YES」選択➡◉

●ネットワーク接続後、設定状況に応じて、確認メッセージが表示されます。

割込通話着信　通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中に割り込み音が聞こえたら

■ 保留中の相手との通話：（**切替**）

■ 通話する相手の切替：（**切替**）

割込通話サービスをご利用中は、通話中に着信があっても、バイブレータは動作しません。（着信音も鳴りません。）専用の割り込み音が聞こえ、着信中のメッセージが表示されます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

■ 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスで「**着信音なし**」に設定しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中に、を押した場合

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、ディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。またはを押すと、保留中の相手との通話になります。

割込通話中に、通話中の相手が電話を切った場合

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、ディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。またはを押すと、保留中の相手との通話になります。

三者通話サービス

別途お申し込みが必要です。

通話中発信　通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかけます。

通話中に電話番号を入力➡

●相手につながると、通話できます。それまで通話していた相手は、保留になります。

●メモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリを使ってかけることもできます。

切替通話　相手を切り替えながら通話します。

通話中に◉➡「4切替通話」選択➡◉

●それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。

●◉④の順に押すたびに、通話する相手を切り替えることができます。

切替通話中に、を押した場合

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、ディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。またはを押すと、保留中の相手との通話になります。

切替通話中に、通話中の相手が電話を切った場合

■「**ピピピピ…**」と警告音が鳴って、ディスプレイに保留通話ありのメッセージが表示されます。またはを押すと、保留中の相手との通話になります。

通話中転送
切替通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用できます。

切替通話中に◉➡「6通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

- 転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手と、保留中の相手の通話になります。（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます。）
- 終話キーを押すと、待受画面に戻ります。

三者通話
３人で同時に通話できます。

切替通話中に◉➡「5三者通話」選択➡◉

- 三者通話中に「**切替通話**」（☞P.15-7）に切り替えることはできません。

三者通話中転送
三者通話中に、他の２人だけの通話にします。

■関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合に限りご利用できます。

三者通話中に◉➡「4通話中転送」選択➡◉➡「1YES」選択➡◉

- 転送完了の確認メッセージが表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた残りの２人の通話になります。（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます。）
- 終話キーを押すと、待受画面に戻ります。

三者通話中に、終話キーを押した場合

■ ２人の相手との電話が同時に切れます。

三者通話中に、通話中の相手のどちらかが電話を切った場合

■ 残された相手との通話になります。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

Accessories 16-2
Safety Precautions 16-2
General Notes 16-8
Minding Mobile Manners 16-10
- ■ Basic Handset Etiquette 16-10
- ■ Manner-Related Features 16-10

Handset Parts & Functions 16-11
- ■ Handset (Front) 16-11
- ■ Handset (Side & Back) 16-13
- ■ Charging Battery 16-14
- ■ Display 16-16
- ■ Symbols 16-18
- ■ Handset Codes 16-19

Basic Handset Operations 16-20
- ■ Turning Handset On/Off 16-20
- ■ Display Language 16-20
- ■ Your Phone Number 16-20
- ■ Setting Clock 16-20
- ■ Initiating a Call 16-21
- ■ Redial 16-21
- ■ Total Charges & Talk Time 16-22
- ■ Incoming Call 16-22
- ■ Placing a Caller on Hold 16-22
- ■ Message Recorder & Voice Mail 16-22
- ■ Forwarding a Call 16-23
- ■ Calling from Call History 16-23
- ■ Manner Mode 16-23

Entering Characters 16-24
- ■ Character Types 16-24
- ■ Key Assignments 16-25
- ■ Symbols, Pictographs & Emoticons 16-26

Saving to Phone Book 16-27
- ■ Phone Book Entry Items 16-27
- ■ New Phone Book Entries 16-28
- ■ Editing Phone Book 16-29
- ■ Saving from Call History 16-29

Dialing from Phone Book 16-30
- ■ Entry Number Search 16-30
- ■ Search by Reading 16-30

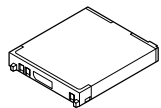
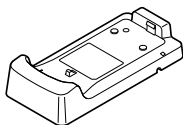
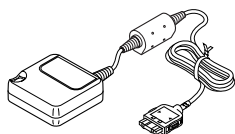
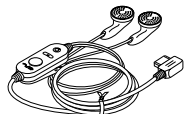
Mobile Camera 16-31
- ■ Before Using Camera 16-31
- ■ Capturing Still Images 16-32

Data Folder 16-33
- ■ Data Folder Contents 16-33
- ■ Opening Data Folder 16-33
- ■ Long Mail Attachments 16-33

Function Shortcuts 16-34
Specifications 16-38
Customer Service 16-40

*Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■ Battery (SHBV01)*
(Type 1 lithium-ion battery)

■ Desktop Holder (SHEV01)*

■ Rapid Charger (SHCV01)*

■ Headphones (SHLV01)*
（TV antenna built in）

*Additional quantities may be purchased separately.

- For more about accessories, call Customer Service, General Information (☞P.16-40).
- V402SH accepts SD Memory Card (not included). Purchase SD Memory Card separately to use Memory card-related handset functions.

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

■ Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on.
Symbols and their meanings are described below:

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

■ Symbols

	Prohibited Actions
	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

⚠ DANGER

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery, charger or holder
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit charger terminals
Keep metal objects away from charger terminals. Keep handset away from jewelry. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire.
Do not:

- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or in extreme heat.
- Use battery for other equipment.

If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

⚠ WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset
Do not put metal or flammable objects in handset, charger or holder. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers
Keep handset, charger and holder away from chemicals/liquids. Fire/electric shock may result.

Avoid sources of fire
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep handset, charger or holder away from microwave ovens
Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset
- Do not open handset, battery or holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, charger or holder. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks
Subjecting handset, charger or holder to shocks may cause malfunction or injury. Should the handset break, remove the battery and contact Vodafone Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter should get inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

If an abnormality occurs:
Should there be unusual sound, smoke or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

Handset

Preventing accidents
For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand.

Do not swing handset by handstrap
May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and ring tone settings:
Select settings carefully if you have a heart condition or pacemaker.

During lightning storms, turn power off and take shelter
There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.
- Charger: AC 100 V
- In-Car Charger: DC 12 V/24 V

Do not use In-Car Charger in cars with a positive earth
Fire may result. Use In-Car Charger only in cars with a negative earth.

Charger Care
Do not touch plug with wet hands. Electric shock may occur.

- Do not use multiple cords in one outlet. May generate excess heat or fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit charger terminals
Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

Do not use Desktop Holder in automobiles
Extreme temperature or vibration may cause fire or breakage.

If Charger or In-Car Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Assistance to replace.

Preventing accidents
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

During lightning storms:
Unplug charger to avoid breakage, fire or electric shock.

Keep Charger & Desktop Holder out of the reach of children
Failure to do so may result in electric shock or injury.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or cause fire.
- If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources. It may catch fire/burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemakers or defibrillators should keep handset more than 22 cm away

Radio waves may cause implanted pacemakers or defibrillators to malfunction.

Turn handset power off in crowded places such as trains.
People with implanted pacemakers or defibrillators may be near.

Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules when visiting medical institutions:

- Do not take handset into operating rooms, Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical institutions.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

Handset, Battery & Charger

Handset Care

- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside cars, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may enter resulting in malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside a car, etc.)

Handset may heat up and lead to burns.

Inside automobiles:

Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

Charger

Charger & In-Car Charger

Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.

- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use

May cause burns.

Long periods of disuse

Be sure to unplug Charger or In-Car Charger after use.

Handset Maintenance

When cleaning, disconnect Charger/In-Car Charger to prevent shock/injury.

Use only the specified fuse

1A fuse for In-Car Charger. Or may cause breakage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area

Avoid covering/wrapping Charger/Desktop Holder. May cause damage/fire.

Installing In-Car Charger

Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Do not use In-Car Charger when engine is off

Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or cause fire.

Do not leave battery in direct sunlight or inside cars. Overheating/fire may occur and battery performance may deteriorate.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid gets on skin or clothes, rinse with clean water immediately.

- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.
- Keep battery out of the reach of children.

- Charge battery within a range of 5℃ - 35℃. Or may leak/overheat. Performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Assistance.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or SD Memory Card data. Please keep separate records of Phone Book data, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law.
  Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Beware of Eavesdropping
  Digital signals reduce interception, however transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

In Automobiles

- Do not use handset while driving. Doing so is dangerous.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect an automobile's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).
Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5℃ - 35℃ and 35% - 85% humidity. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset displays.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the display.
- Handset is not water-proof. Keep it away from fluids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in a wet area (restroom, bathroom, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Always turn off handset before removing battery.
  If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Observe Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide.

Basic Handset Etiquette

Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or automobile traffic.

Manner-Related Features

Take advantage of built-in features to help you use your handset in public places without disturbing or endangering others.

■ Off-Line Mode

Use Off-Line Mode to suspend all handset transmissions. When Off-Line Mode is active, incoming and outgoing calls/mail as well as incoming Vodafone live! information are blocked.

■ Manner Mode

Press the Manner Key to automatically silence all ring tones and activate Vibration Mode for incoming calls, mail and information.

■ Vibration Mode

Activate Vibration Mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Lower or silence Ring Tone Volume for incoming calls/mail/information as well as tones for Web or V-Applications when carrying handset in public places.

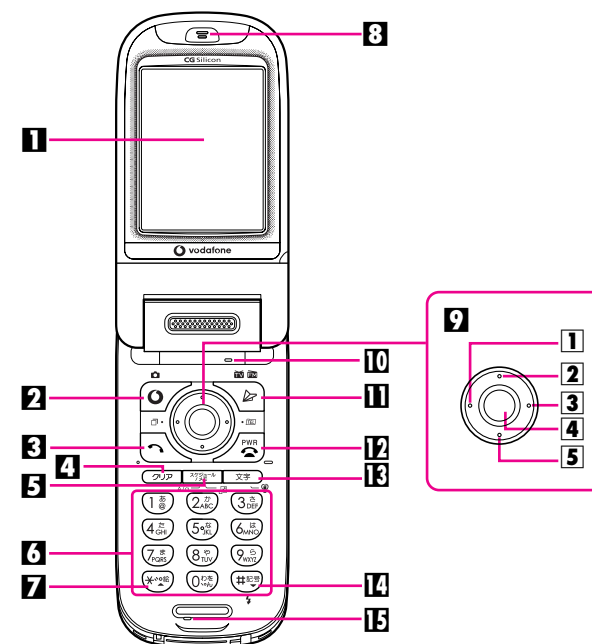
■ Whisper Mode

Use Whisper Mode to increase microphone sensitivity, allowing you to lower your voice and speak softly when you must use handset in public places.

■ Message Recorder

Use Message Recorder to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer them.

Handset Parts & Functions

Handset (Front)

1 Display
2 Vodafone live! Key/Mobile Camera Key
Initiate Vodafone live! service. Press for 1+ seconds to activate mobile camera.
3 Start Key
Initiate/answer calls.
4 Clear Key
Delete entries/return to previous window.
5 Schedule/Memo and A/a Key
Save/check schedule or record/play Voice Memos. Toggle between upper/lower case roman letters or normal/small hiragana/katakana in text entry windows and change image display sizes.
6 Keypad
7 (*) Key
While an image or message appears, press to open next one. In alphanumerics entry, open web/mail address prefixes & suffixes, and in kanji (hiragana) entry, toggle Symbol & Pictograph lists.
8 Earpiece

9 Multi Selector
Select menu items, move cursor, scroll, etc. or use for the following:

- [1] Redial/Notepad Memory Key
  Select dialed numbers. Press for 1+ seconds to open Notepad Memory.
- [2] Shortcut Guide Key
  Open the list of shortcut keys (press the key to access the function).
  Press for 1+ seconds to adjust Earpiece Volume.
- [3] Phone Book Key
  Open entries to make calls/send messages. Press for 1+ seconds to save new entries.
- [4] Function Key/Key Guard
  Access Functions menu. Press for 1+ seconds to set or release Key Guard.
- [5] Call History Key
  Open records of received calls. Press for 1+ seconds to adjust Earpiece Volume.

10 Microphone (in Viewer position)

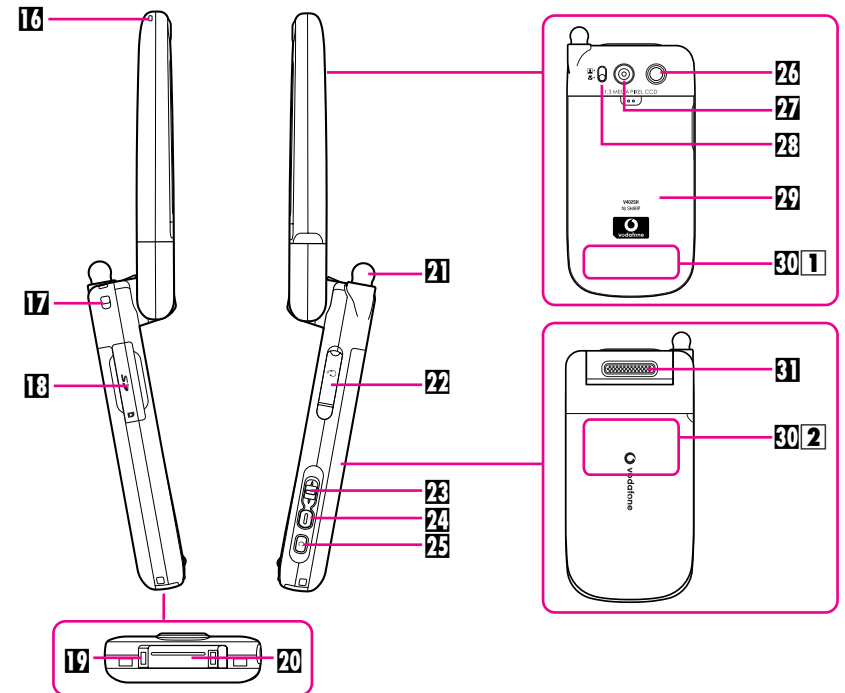
11 Mail Key/TV & FM Key
Open Mail menu/send mail. Press for 1+ seconds to activate TV/FM.

12 Power On/Off & End Key
End calls, place callers on hold or cancel operations. Press for 2+ seconds to turn handset power on/off.

13 Text/Manner Key ( )
Toggle character types or create Phone Book entries. Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner Mode.

14 Key
When mobile camera is active, press to toggle Mobile Light on/off. While an image or message appears, press to open previous one. In text entry windows, toggle Symbol & Pictograph lists.

15 Microphone (clamshell open)

Handset (Side & Back)

16 Small Light
Illuminates red while charging; flashes orange when Panel Saving is active; and flashes red, green and orange for Off-Line Mode.
Set to flash for incoming calls.

17 Strap Eyelet
Attach straps as shown.

18 Memory Card Slot
Insert SD Memory Card here.

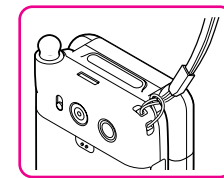
19 Charger Terminal

20 External Device Connector
Connect Charger here.

21 Antenna
Extend for TV & FM reception. Pull Antenna by top bead until it clicks.

22 Headphone Connector
Connect included headphones with TV antenna, optional LCD Remote/Mic, etc.

23 Zoom/Select Key
Select menu items, move cursor, etc.

24 Shutter Key
With handset closed and Display in Viewer position, press to open selected menu items or execute functions.

㉕ C Key
With handset closed and Display in Viewer position, press to cancel the current operation or return to the previous window, etc. In Standby, press to open Vodafone live! menu.

㉖ Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail; serves as a strobe or penlight.

㉗ Camera
Capture still and video images.

㉘ Portrait Macro Selector

㉙ Battery Cover

㉚ Internal Antenna
Handset transmits and receives signals via Internal Antenna.
1 In Viewer position
2 In other positions

㉛ Speaker

About Antenna
- Antenna is for TV & FM reception and does not affect voice quality.
- Push back into handset gently after use.

About Internal Antenna
- Avoid covering area over Internal Antenna.
- Do not place stickers on area over Internal Antenna.

Charging Battery

Battery & Charger

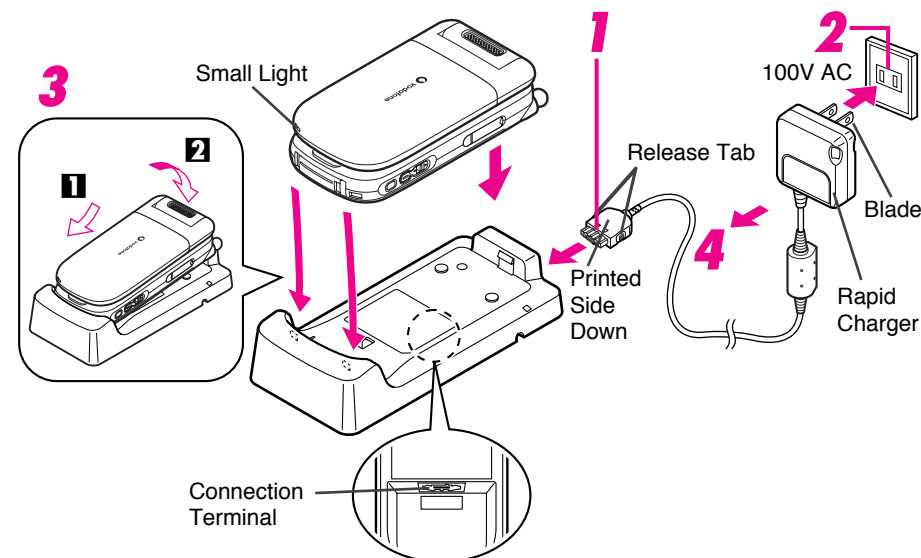
Charge a new battery before use or after a period of disuse.

■ Battery Life
- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life. Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

■ Charging
- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move charger away from TV or radio if interference occurs.

■ Precautions
- Use a dry cotton swab to keep handset, battery and charger terminals clean.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

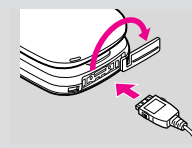
■ Battery Disposal
- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop.
  Follow local regulations.

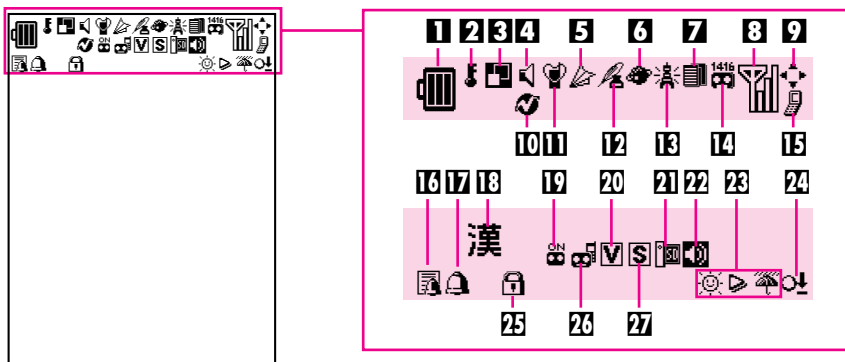
Charging with Desktop Holder

1 Insert charger connector into Desktop Holder until it clicks

2 Plug in Charger

3 Gently insert handset into Desktop Holder
- Fit tabs into slots as shown in 1 and push handset as indicated in 2 until it clicks. Small Light illuminates red (goes out when charging is complete).
- Charging takes approximately 115 minutes* (with handset power off).
  * May vary with temperature.

4 After charging, unplug Charger from outlet and remove handset

Rapid Charger
Insert charger connector into External Device Connector.

Display

Display Indicators

1 Battery Strength / Pen Light
: Strong : Moderate : Low : Empty
and flash when Pen Light is in use

2 Secret Mode Active

3 Original / Enlarged
Mail, Web or Data Folder image display size

4 Speaker Phone Active / Speaker Active / Communications Line Active
- Communications Line for Web Services
  : Data Line Active
- Station Menu Manual Update
  (gray): Station Menu Update

5 Mail
Unread mail except Long Mail

6 Web
Unread Web Information

7 Delivery Report
New Delivery Report

8 Signal Strength / Off-Line Mode
: Strong : Moderate : Low : Weak OUT: Out-of-Range

9 Scroll
Scrolling options

10 Active V-Application / Paused V-Application

11 Manner Mode Active

12 Long Mail
Unread Long Mail on the Server
Appears only when you signed up for Long Mail.

13 (red) Station
Unread Station Information

14 New Voice Mail

15 Handset / SD Memory Card
Accessing handset or SD Memory Card files.

16 / Schedule
Schedule Alarm On: / Off:

17 Alarm Set

18 Entry Mode
Character Type Icons

漢	Kanji and Hiragana
ア	Double-byte Katakana
ｱ	Single-byte Katakana
Ａ	Double-byte Alphanumerics (upper/lower case)
ａ	Double-byte Alphanumerics (lower case)
A	Single-byte Alphanumerics (upper/lower case)
a	Single-byte Alphanumerics (lower case)
1	Single-byte Numbers
絵	Pictograph Code
区	Character Code
Ｐ*	Double-byte Upper Case
P*	Single-byte Upper Case
ｐ*	Double-byte Lower Case
p*	Single-byte Lower Case

*Available in Pager Mode

19 Message Recorder Active

20 Vibration Active

21 SD Memory Card Status

22 Voice Recorder Active

23 Weather Indicators
Current forecast (A separate subscription is required.)

24 Key Guard Active

25 Keypad Lock Active

26 Message

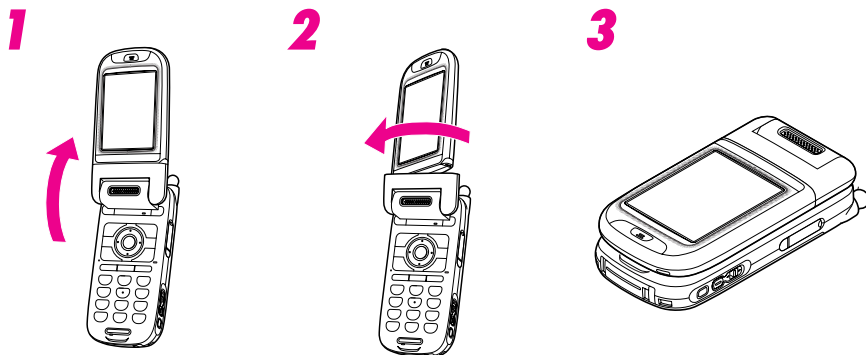
27 Silent / Rising Tone
Ringer is Silent or Rising Tone.

Although Vibration and Ring Tone Level for incoming calls and Vodafone live! functions are set separately, , , and are Incoming Call indicators.

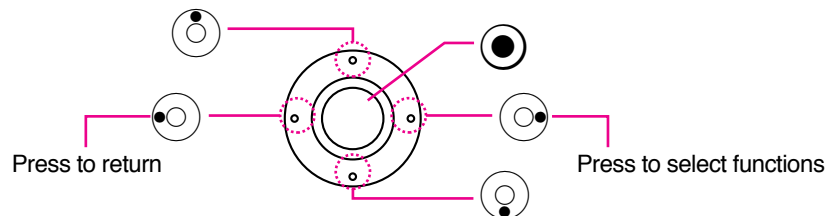
16 Abridged English Manual

Using Viewer

V402SH features a rotating Display. Rotate Display into Viewer position for use with Mobile Camera, etc. (☞P.16-31 "Mobile Camera") with handset closed.

To use Display as Viewer with handset closed: 1) Open handset; 2) rotate Display 180 degrees clockwise; and 3) close handset with Viewer facing outward.

Symbols

Multi Selector

Use Multi Selector to select menu items, move cursor, scroll, etc.
In this manual, Multi Selector operations are indicated as follows:

Basic Multi Selector Operations

- ■ Up/down : Press up or down
- ■ Left/right : Press left or right
- ■ All directions : Press up, down, left or right

Menu Items

Use down or up to select menu items. (Example: Select 1 *Sounds* and press center.)

Handset Codes

Security Code and Center Access Code are needed for handset use.

Security Code

9999 or the 4-digit number selected at initial subscription. Security Code is required to use/change some handset functions. ✻ appears when Security Code is entered.
If incorrect, ***Invalid Code*** appears.

Center Access Code

The 4-digit number in the contract, required to access optional service via landlines.

Note

- Write down Center Access Code. If lost, contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.16-40).
- Do not reveal Security Code and Center Access Code. Vodafone is not liable for damages resulting from misuse.

Tip

- Change Security Code as needed.
- Do not attempt to change Center Access Code. Contact Vodafone Customer Center, General Information (☞P.16-40) for details.

Basic Handset Operations

Turning Handset On/Off

Activate Handset Power

1. Open handset (clamshell open)
2. Press Power key for 1+ seconds

Deactivate Handset Power

1. Open handset (clamshell open)
2. Press Power key for 2+ seconds

Display Language

1. Press ● 3 5
2. Select 2 *English* and press ●

Your Phone Number

1. Press ● 0
2. Press Power key to exit

Setting Clock

1. Press ● 5 9
2. Enter current date and time
3. Press ●

Initiating a Call

1. Enter a phone number
2. Press Send key

Making an International Call

International calls can be made directly from handset. An additional contract is required to use this service. (No basic monthly charges or application fees.)
Enter 0 0 4 6 + 0 1 0 + country code + area code + phone number.
Call Vodafone Customer Center, General Information at 157 from a Vodafone handset or the number for your Subscription Area in "Customer Service".

Example: Calling the United Kingdom

1. Enter 0 0 4 6 0 1 0
2. Enter 4 4 (Country Code)
3. Enter the phone number with the area code
4. Press Send key

Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.

Redial

1. Press (navigation key) ❐
2. Select a phone number and press ●
3. Press Send key

Total Charges & Talk Time

1 Press ◉⑥⓪ (Total Charges) or ◉⑥② (Total Talk Time)
2 Press [end key] to exit

Incoming Call

1 Handset rings/vibrates and Mobile Light flashes for an incoming call.
Open handset
2 Press [send key]
Alternatively, answer calls by pressing: ⓪ - ⑨, ✱, #, [key], [key], [key], [key], [key], [key]

Placing a Caller on Hold

1 Handset rings/vibrates and Mobile Light flashes for an incoming call.
Open handset
2 Press [end key] to place caller on hold
3 Press [send key] to talk

Message Recorder & Voice Mail

Use Message Recorder or Voice Mail to record caller messages.

	Message Recorder	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Center
Setting	Press ◉[文字]	Press ◉⑦②, select Ring Tone option and press ◉
Additional Contract	Not Required	Required
Message Indicator	[icon]	[icon]
Play	Press ◉[key]	Press ◉⑦⑦ and choose 1 ***Yes*** and press ◉
Delete	During playback, press [クリア], choose 1 ***Yes*** and press ◉	After playback, press ⓪
When Handset Power is Off	Not Available	Available
When Handset is Out-of-Range	Not Available	Available

Tip When Voice Mail is off, press ◉ and [end key] to forward a call to Voice Mail Center.
Initiating Voice Mail cancels Call Forwarding.

Forwarding a Call

Forward a call to a specified phone number.

Saving Forwarding Number

1 Press ◉⑦①
2 Select 2 ***Set Fwd Number*** and press ◉
3 Enter a phone number and press ◉

Initiating Call Forwarding

1 Press ◉⑦①
2 Select 1 ***Start Fwd*** and press ◉
3 Select Ring Tone option and press ◉
1 ***Call***: Ring Tone On or 2 ***No Call***: Ring Tone Off

Note Initiating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Calling from Call History

1 Press
2 Select a phone number and press ◉
3 Press [send key]

Manner Mode

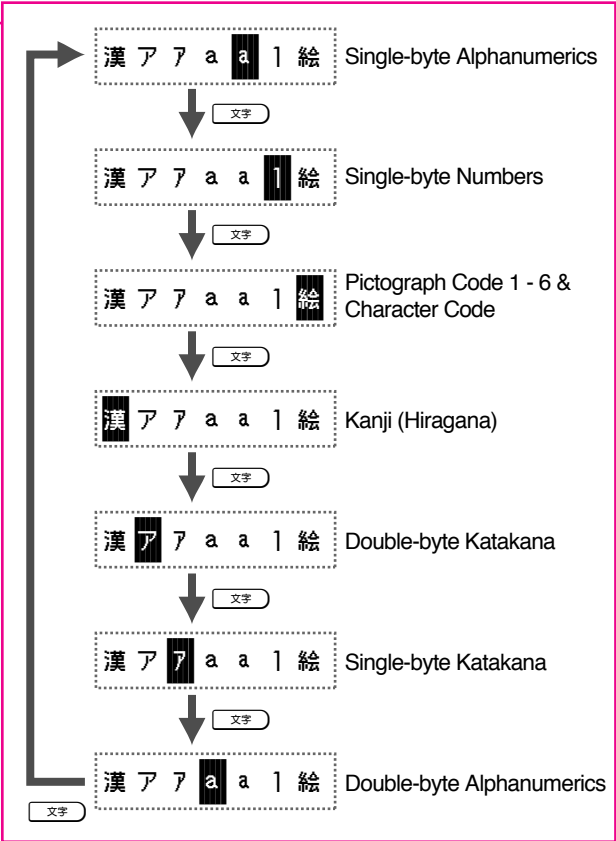
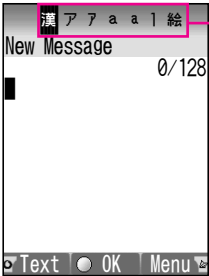
Activate Manner Mode to use handset without disturbing others.

1 In Standby, press [文字] for 1+ seconds
Default Manner Mode Settings:
①Silences Keypad Sound, Power On/Off, Error and Barcode recognition tones.
②Simultaneously invokes: Message Recorder (On), Ring Tone Level (Silent), Vibration (On), LED Indicator (Small Light), Whisper Mode (On), Sound Volume (Silent), V-Appli Volume (Silent), V-Appli Vibration (On). Adjust settings as required.

Tip Canceling Manner Mode
In Standby, press [文字] for 1+ seconds.

Entering Characters

Character Types

Press 文字 to toggle between character types.

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics: Upper & Lower Case	Single-byte Alphanumerics: Lower Case	Single-byte Numbers	Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2	ABCabc2	abc2	2	2
3	DEFdef3	def3	3	3
4	GHIghi4	ghi4	4	4
5	JKLjkl5	jkl5	5	5
6	MNOmno6	mno6	6	6
7	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8	TUVtuv8	tuv8	8	8
9	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0	, .0 (Line Break)[1]	, .0 (Line Break)[1]	0	0
*	Single-byte Mail/Web Extensions[2]		* - , (Pause)[3]	
#	Single-byte Symbols/Double-byte Pictographs		#	
Up	Cursor Up			
Down	Cursor Down (Line Break)[1]			
Left	Cursor Left			
Right	Cursor Right			
文字	Change Character Type			
スケジュール/メモ	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)			
クリア (Short Press)	Delete One Character			Delete Code/ One Character
クリア (Long Press)	Delete All			
Send	Recover up to 64 deleted characters[4]			
Center	OK			
Mail				Switch Pictograph Code 1 - 6 & Character Code

[1] Insert line breaks in Mail Text, Text Memo and BBS. Use (Down) only at the end of text.
[2] Portion of e-mail address or URL appears.
[3] Use - and , (Pause) for phone number entry.
[4] Press (Send) once for each character to recover immediately after deleting.

Tip

Entering Consecutive Characters Assigned to the Same Key
Press (Right) to move cursor to the right, then enter the next character.

Editing Characters
Use (Navigation) to move cursor to a character. Press クリア to delete it and then enter another.

Symbols, Pictographs & Emoticons

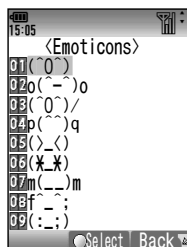
Symbols & Pictographs

1. Press (#) to open Log List (up to 20 recently entered Symbols/Pictographs are saved)
2. Press (@) to toggle the lists: Symbol List, Pictograph Code List (1 - 6) and Log List
3. Use (navigation key) to select a Symbol or Pictograph and press ●
4. Press (✉) **Back** to exit

In double-byte character entry, three Symbol Lists appear.
Press (@) to toggle between them.

Emoticons

1. Press (✉) **Menu** in a text entry window
2. Select 8 *Emoticons* and press ●

3. Select an emoticon and press ●

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, e-mail addresses, etc. to Phone Book.
Save up to three phone numbers and three mail addresses per entry.

Phone Book Entry Items

Item		Description
Name :		Up to 16 single-byte characters.
Reading :		Katakana, Alphanumerics and Symbols appear as you enter names (up to 10 single-byte characters including ゛ and ゜).
Phone Number :		Up to three phone numbers (24 digits each).
E-mail :		Up to three e-mail addresses (60 single-byte characters each).
Group :		Sort entries into ten Groups (0 - 9). Change Group names or set Ring Tone by Group.
Personal Data :		Add personal details. Use up to 60 single-byte characters.
Secret Mode :		Restrict access to Phone Book entries by saving them as Secret.
Photo :		Select an image in Data Folder or an image taken with mobile camera to appear when you open a Phone Book entry. Activate Picture Call/Mail to see the image set here for incoming calls/mail.
Option Settings	Personal Ring Tone	Set Ring Tone by caller.
	Incoming Notice	Set Ring Tone by sender.
	Picture Call/Mail	Set images to appear by caller or sender.
	Mail Folder	Messages are sorted into folders.

■ Save up to 500 entries (000 to 499) in Phone Book.

Back-up Important Information
Keep a separate copy of important information. When battery is exhausted or removed for long periods, Phone Book entries may be lost. Handset damage may also affect files. Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading, phone number and e-mail address.

1 Press 文字

2 Enter a name

3 Press ●

Characters entered for names appear after ▭ :

Confirm the reading.

Tip Correcting Spelling, etc.

Select ▭ : and press ●. Correct spelling and press ●.

4 Select ☎ : and press ●

5 Enter a phone number and press ●

6 Select an icon and press ●

7 Select ✉: and press ●

8 Enter a mail address and press ●

9 Select an icon and press ●

10 Press ✉ Save

11 Enter a 3-digit Memory Number (000 - 499)

Note Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

16 Abridged English Manual

Editing Phone Book

1 Open a Phone Book entry (☞P.16-30 "Dialing from Phone Book")

2 Press ● Menu

3 Select *Edit* and press ●

4 Select an item and press ●

5 Make corrections and press ●

6 Press ✉ Save to finish

7 Press ●

8 Choose 1 *Yes* and press ●

Saving from Call History

1 Select a phone number (☞P.16-23 "Calling from Call History")

2 Press ● Menu, select *Add to Phone Book* and press ●

3 Select 1 *New Entry* or 2 *New Item* and press ●

4 *For New Entry*

1 Follow Steps 2 -11 on ☞P.16-28

For New Item

1 Open a Phone Book entry (☞P.16-30) and press ●.
Select an icon and press ●, then perform Steps 6 - 8 in "Editing Phone Book."

16 Abridged English Manual

Dialing from Phone Book

Entry Number Search

1. Press TEL
   The search method used last appears.
2. Press Menu, select *Memory No. Search* and press ◉
3. Enter Memory No. (000 - 499)
4. Select a name and press ◉

Tip Multiple Numbers/Addresses
Use to select other numbers/addresses.

5. Press

Search by Reading

1. Press TEL
   The search method used last appears.
2. Press Menu, select *Search by Reading* and press ◉
3. Enter reading and press ◉
   Use up to 10 single-byte characters.
4. Select a name and press ◉

Tip Multiple Numbers/Addresses
Use to select other numbers/addresses.

5. Press

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from four different shooting modes.
Use ***Sha-mail Mode***, ***Wallpaper Mode*** or ***Camera Mode*** for still images and ***Action Snap Mode*** for videos.

Mode	Image Size	File Format	Save to
Sha-mail	W 120 × H 160 dots W 120 × H 128 dots	JPEG (High Color)/ PNG (Normal 256/ Soft 256)	Handset or SD Memory Card
Wallpaper	W 240 × H 320 dots	JPEG	Handset or SD Memory Card
Camera	W 1280 × H 960 dots W 1024 × H 768 dots W 640 × H 480 dots	JPEG	Handset or SD Memory Card
Action Snap	W 120 × H 88 dots	Nancy	Handset or SD Memory Card

Camera Shake
If handset moves while shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self Timer.

Note
Lens Cover
Use a soft cloth to wipe fingerprints and oil off the lens cover.
CCD Camera
- Mobile camera is a precision instrument; however, some pixels may appear brighter or darker.
- Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Subjecting the lens to direct sunlight will damage the camera's color filter.

Using Camera with Handset Closed

Open handset and rotate Display 180 degrees clockwise (☞P.16-18 "Using Viewer"). Then close handset with Display in Viewer position. Holding handset horizontally with Side Keys up, press Shutter Key for 1+ seconds to activate Camera mode.

Using Viewer for Self Portraits

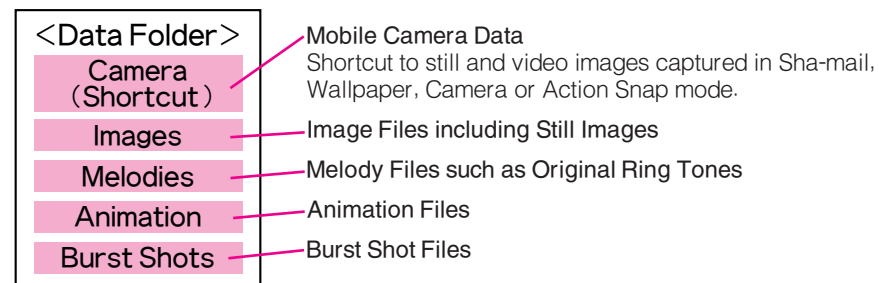
Open handset and activate handset Camera. Then rotate Display 180 degrees clockwise. Turn handset around in your hand so the lens is facing you. Your image appears on Display as a mirror image. After shutter is released, preview image appears reversed.

Capturing Still Images

1. In Standby, open handset (clamshell open) and press ◉
2. Select *Camera* and press ◉
3. Select 1 *Sha-mail Mode*, 2 *Wallpaper Mode* or 3 *Camera Mode* and press ◉
4. Frame image on Display
5. Press ◉ Shoot or Side Key
6. Press ◉ Save to save image
7. Press to exit

Data Folder

Data Folder Contents

Saved files are organized in separate folders according to file format.
Data Folder supports the file formats listed below.

Opening Data Folder

1. In Standby, open handset (clamshell open) and press ◉
2. Select *My Files* and press ◉
3. Select *Data Folder* and press ◉
4. Select a folder and press ◉
5. Select a file and press ◉
6. Press to exit

Long Mail Attachments

Example: Attaching an image from Images folder to Long Mail

1. In Standby, open handset (clamshell open) and press ◉
2. Select *My Files* and press ◉
3. Select *Data Folder* and press ◉
4. Select *Images* and press ◉
5. Select a file and press Sha-mail
6. Enter an address, title, text, and press to send Long Mail

Function Shortcuts

Select and execute handset functions by pressing the indicated keys.

[1] Available while talking
[2] Currently not available in Hokkaido, Hokuriku, Kyushu, Okinawa areas.
[3] Currently not available in Tohoku, Niigata, Chugoku, Shikoku areas.
[4] Available only when changing between two open lines. Break Away is currently not available in Hokkaido, Tohoku, Niigata, Hokuriku, Chugoku, Shikoku, Kyushu, Okinawa areas.

Shortcut	Function	Description
● Sounds		
● 1 0	Call Functions	Set Ring Tones
● 1 1[1]	Volume	Adjust Volume
● 1 3	Sound Effects	Set Sound Effects
● 1 5	Ringer Out	Set Ringer Output for Earphone use
● 1 6[1]	Speaker	Set Speaker Phone or Speaker
● 1 7	Original Tones	Save Original Tones/Original Voice
● 1 8	Instrument Effects	Save Instrument Effects
● 1 9	Tone Octave	Set Tone Octave
● Privacy		
● 2 0	Keypad Lock	Disable Keypad
● 2 1	Auto Key Lock	Disable Keypad when power is activated
● 2 2[1]	Secret Mode	Enable to see Secret Mode Phone Book entries
● 2 3	Phone Book Lock	Disable Phone Book
● 2 4	Restrict Dial	Restrict calling from Keypad
● 2 5	Accept Call	Accept calls from designated numbers
● 2 6	Reject Call	Reject calls from designated numbers
● 2 7	Reset All	Delete all saved information, restore defaults
● 2 8	Change Code	Change Security Code
● 2 9	Reset Defaults	Reset settings to default values

Shortcut	Function	Description
● Settings 1		
● 3 0[1]	Guide	Key ops for functions other than Function Shortcuts
● 3 1	Memory	Phone Book, Mail, Web Station Memory Status
● 3 2	Off-Line Mode	Suspend Handset Transmissions
● 3 3	Battery Saving	Set Power/Panel Saving
● 3 4	Light Settings	Adjust Backlight, Keypad Light, In-Car Backlight and Brightness
● 3 5	言語選択 (Language)	Toggle between Japanese and English Menus
● 3 6	Power On Message	Save a Welcome Message
● 3 7	Group Settings	Change Group Names/Ring Tones
● 3 8	Signal Alert	Activate or cancel weak signal alarm
● 3 9	SideKey Settings	Set functions for Side（C）Key Long Press
● Settings 2		
● 4 0	Display Settings	Set or adjust Display related settings
● 4 1[1]	Spending Memo	Open total expenditures and item list
● 4 2	In-Car Recorder	Set/Cancel In-Car Message Recorder
● 4 3	User Dictionary	Save dictionaries or save/edit entries
● 4 4	Answer Time	Set Message Recorder Answer Time
● 4 5	Disney Style	Set Disney-themed indicators and animation
● 4 6	Manner Settings	Change Manner Mode Settings
● 4 7	Incoming Light	Flash Small Light for incoming calls, etc. (clamshell closed)
● 4 8	Animation	Set/Create animation
● 4 9	Calculator	Open Calculator
● Clock		
● 5 0	Alarm	Set Alarm
● 5 1	Auto Power On	Auto Power On
● 5 2	Auto Power Off	Auto Power Off
● 5 3	Clock Display	Show Clock and Calendar in Standby
● 5 4	Useful Diary	Create/Save a Useful Diary Entry
● 5 5	Stopwatch	Use Stopwatch
● 5 6	Kitchen Timer	Use Kitchen Timer
● 5 9[1]	Clock Settings	Set Date & Time
● Charges		
● 6 0	Total Charges	Show Total Charges
● 6 1	Call Charge	Show Last Call Charge
● 6 2	Total Talk Time	Show Total Talk Time
● 6 3	Call Time	Show Last Call Talk Time
● 6 4	Instant Display	Show Charge/Talk Time after a call

Shortcut	Function	Description
● Services		
● 7 0 [3]	Ring Time	Set Call Forwarding/Voice Mail Answer Time
● 7 1	Call Forwarding	Activate VM and set Forwarding Number
● 7 2	Voice Mail	Activate Voice Mail
● 7 3	Cancel Secretary	Cancel Call Forwarding or Voice Mail
● 7 4	Check Secretary	Confirm Call Forwarding or Voice Mail Status
● 7 5 [2, 3]	Call Waiting	Set/Cancel Call Waiting
● 7 6 [2, 3]	Confirm Service	Check Call Waiting Setting
● 7 7	Play Voice Mail	Listen to caller messages
● 7 8 [1, 4]	3 Way Calling	Switch between two lines or talk on two lines simultaneously
● 7 9	Setup Preset	Set Prefix when dialing from Phone Book
● Mail		
● 8 1 0	Mail Box	Open Mail Box
● 8 1 1	Long Mail	Compose Long Mail
● 8 1 2	Sky Mail	Compose Sky Mail
● 8 1 3	Greeting	Compose message to open at a specific time
● 8 1 4	Sky Melody	Request Sky Melodies
● 8 1 5	One-Shot Mail	Create/Save or Send One-Shot Mail
● 8 1 6	Mail Settings	Adjust/Customize Mail Settings
● Web		
● 8 2 1	Vodafone Web	Open Vodafone live! main menu Info
● 8 2 2	Favorites	Open info saved from Mobile Internet sites
● 8 2 3	Bookmarks	Open links to Mobile Internet sites
● 8 2 4	Internet	Enter Mobile Internet URLs directly or select Log List items
● 8 2 5	Unread Messages	Open and access Auto Delivery info
● 8 2 6	Message Folder	Open Cache Memory or Message Folder
● 8 2 7	Web Settings	Adjust and customize Web Settings

Shortcut	Function	Description
● Station		
● 8 3 1	New Information	Open unread, updated information
● 8 3 2	Main List	Open Main List
● 8 3 3	My List	Open My List
● 8 3 4	Update List	Update Main list
● 8 3 5	Weather Indicator	Show weather forecast in Standby
● 8 3 6	Saved Information	Access saved Station information
● 8 3 7	Location Info	Open Location Information Log
● 8 3 8	Confirm Request	Confirm fee-based information
● 8 3 9	Station Settings	Set Station details
● V-Appli		
● 8 4 1	V-Appli Library	Open V-Appli Library
● 8 4 2	V-Appli Settings	Set V-Appli details
● 8 4 3	Vodafone Web	Open Web Main Menu
● Others		
● (Long Press)	Key Guard	Disable Keypad
● [1]	Index Menu	Open Index Menu
● 0 [1]	My Number	Show Handset Number
● 文字	Message Recorder	Activate/Cancel Message Recorder
● スケジュール/メモ	Play	Play Messages/Voice Memos
● PWR [2, 3] (Incoming call)	Transfer Voice Mail	Transfer calls to Voice Mail
● * #	On/Off	Enable/Disable Mail, Web or Station
● ✉	V-Appli Library	Open V-Appli Library
● ◎ (In Standby)	Handy Features	Open Handy Features menu

Specifications

V402SH

Weight	Approximately 131 g (with battery)
Continuous Call Time	Approximately 150 minutes
Continuous Standby Time	Approximately 450 hours (when closed)
Charging Time (Power off)	Rapid Charger: Approximately 115 minutes In-Car Charger: Approximately 115 minutes
Continuous TV/FM Reception Time	Approximately 60 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 50 × 98 × 27 mm (when closed)
Maximum Output	0.8 W

- Values above were calculated with battery installed.
- Continuous Call Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with both Power Saving and Panel Saving off, with stable signal reception. Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with normal signal reception. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal quality is poor. Battery life may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Continuous TV/FM reception time is an average measured with a new, fully charged battery. Reception time may vary by environment, signal conditions, settings, etc.
- Battery life is a nominal value, measured under stable signal conditions. Battery life may be less than half this time if handset is used in weak signal conditions.
- Talk Time and Standby Time will decrease if Display/Keypad Backlights are used frequently.
- Talk Time and Standby Time may decrease when V-Applications are active.
- Station Service may consume more power through automatic updates.
- Talk Time and Standby Time may decrease by handset operations or settings.
- Displays employ precision technology, however, some pixels may appear brighter or darker.

Rapid Charger

Power Source	AC 100 V, 50/60 Hz
Power Consumption	8 VA
Output Voltage/Current	DC 5.6 V/500 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 48 × 17 × 46 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Desktop Holder

Input Voltage/Current	DC 5.6 V/500 mA
Output Voltage/Current	DC 5.6 V/500 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 58.5 × 28 × 122.5 mm (without protruding parts)

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	740 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 36 × 5.6× 40 mm (without protruding parts)

Headphones (TV antenna built in)

Weight	Approximately 23 g
Cord Length	Approximately 1.6 m

Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at
157 for General Information or
113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Area	Service Center	Phone Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

■：設定リセットで各種設定は初期状態に戻ります。
※1　通話中も実行できます。
※2　北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合、ご利用できません。
※3　東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、ご利用できません。
※4　切替通話中に限り操作できます。また、北海道／東北・新潟／北陸／中国／四国／九州・沖縄地域でご契約の場合、現在「**通話中転送**」はご利用できません。

ファンクションメニューの項目	説明
0.ご自分の電話番号	V402SHの電話番号を表示します。
1.音関連機能	音に関するメニューを表示します。
2.管理機能	ダイヤル禁止や簡易ロックなど、管理（セキュリティ）に関するメニューを表示します。
3.表示／設定1	ディスプレイの照明設定やグループ設定、サイドキー設定などの表示、設定に関するメニューを表示します。
4.表示／設定2	画面表示設定やユーザ辞書登　などの表示、設定に関するメニューを表示します。
5.時計／アラーム機能	時計、アラームに関するメニューを表示します。
6.時間／料金機能	通話時間、料金に関するメニューを表示します。
7.付加サービス	オプションサービスに関するメニューを表示します。
8.Vodafone live！	ボーダフォンライブ！メニューを表示します。
メモリ検索	メモリダイヤルを検索します。（☞P.5-13）
メモリ登	メモリダイヤルを登　します。（☞P.5-3）
リダイヤル	以前かけた電話番号を表示します。（☞P.2-4）
着信履歴	着信履歴を表示します。（☞P.2-8）
ノートパッドメモリ	通話中に入力した数字を表示します。（☞P.2-14）

■1.音関連機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.着信設定	ー	P.9-2
1.受話音量調節※1	音量5	P.2-12
3.効果音設定	ー	P.9-6
5.着信音出力切替	イヤホン＋スピーカー	P.14-37
6.スピーカー設定※1	OFF	P.9-22
7.オリジナル着信音	ー	P.9-13
8.オリジナル音色	ー	P.9-21
9.音色オクターブ設定	ー	P.9-22

付録

■2.管理機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ダイヤル操作禁止	OFF	P.13-2
1.簡易ロック	OFF	P.13-3
2.シークレットモード※1	OFF	P.13-7
3.メモリ使用禁止	OFF	P.13-3
4.ダイヤル禁止	OFF	P.13-4
5.指定着信許可	OFF	P.13-5
6.指定着信拒否	ー	P.13-5
7.オールリセット	ー	P.13-8
8.暗証番号変更	ー	P.13-2
9.設定リセット	ー	P.13-8

■3.表示／設定1のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
0.ガイド機能※1	ー	P.1-30
1.メモリ確認	ー	P.5-6
2.オフラインモード	OFF	P.3-6
3.省電力設定	バッテリーセーブ：ON、パネルセーブ：ON／OFF設定：ON（5分）、ランプ表示設定：ランプ表示なし	P.14-31
4.照明設定	パネル照明ON／OFF：ON（15秒）、キー照明ON／OFF：ON（15秒）、車載時設定：OFF 、パネル明るさ調整：明るさ4	P.8-6
5.Language	日本語	P.8-8
6.ウェイクアップ	OFF	P.8-8
7.グループ設定	ー	P.5-10
8.通話品質アラーム	OFF	P.14-2
9.サイドキー設定	着信時：簡易留守　、待受時：OFF	P.14-3

17
付録

■４.表示／設定２のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
０.画面表示設定	壁紙設定：OFF、マイキャラクタ：すべてOFF、文字表示設定：文字１、文字拡大メニュー：OFF、マーク表示設定：ON、ビューア時表示方向：表示方向１	P.8-2
１.マネー積算メモ※1	ー	P.14-34
２.車載簡易留守	ON	P.14-6
３.ユーザー辞書	ー	P.4-18
４.応答時間	９秒	P.14-5
５.Disneyスタイル	OFF	P.8-7
６.マナー設定変更	簡易留守　：ON、着信音量：すべてサイレント、バイブレータ：すべてON、ランプ設定：スモールライト、マナートークモード：ON、サウンド再生音量：サイレント、Vアプリ再生音量：サイレント、Vアプリバイブレータ：ON	P.3-4
７.お知らせランプ設定	不在着信：ランプ表示なし、簡易留守：ランプ表示なし、メール：ランプ表示なし、ウェブ受信：ランプ表示なし、ステーション受信：ランプ表示なし、アラーム：ランプ表示なし	P.14-4
８.アニメーション設定	スクリーンアニメ：OFF、ボーダフォンライブ！アニメ：すべてON	P.8-7 P.8-8
９.簡易電卓	ー	P.14-33

■５.時計／アラーム機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
０.リピートアラーム設定	ー	P.14-8
１.自動電源ＯＮ	OFF	P.14-12
２.自動電源ＯＦＦ	OFF	P.14-13
３.時計表示設定	時計大	P.8-3
４.ユースフルダイアリー	ー	P.14-19
５.ストップウォッチ	ー	P.14-22
６.キッチンタイマー	ー	P.14-23
９.時刻設定	ー	P.1-24

■６.時間／料金機能のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
０.累積通話料金	０円	P.2-22
１.通話料金	０円	P.2-22
２.累積通話時間	０時間０分	P.2-21
３.通話時間	０分０秒	P.2-21
４.即時表示	OFF	P.2-23

■７.付加サービスのメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
０.呼出時間設定※3	20秒	P.15-5
１.転送サービス	ー	P.15-3
２.留守番サービス	留守呼出あり	P.15-4
３.秘書停止(転送／留守番電話サービス停止)	ー	P.15-3、P.15-4
４.秘書確認(転送／留守番電話サービス確認)	ー	P.15-3、P.15-5
５.割込設定※2※3	ー	P.15-6
６.割込確認※2※3	ー	P.15-6
７.留守　再生	ー	P.15-5
８.三者サービス※4	ー	P.15-7
９.プリセット登	ー	P.2-5

■８.ボーダフォンライブ！のメニュー

機能名称	お買い上げ時	参照先
１.メール	ー	別冊
２.ウェブ	ー	別冊
３.ステーション	ー	別冊
４.Vアプリ	ー	別冊

■初期状態に戻る項目（ファンクションメニュー項目以外）

機能	初期設定
マナーモード	解除
簡易留守	解除
メモリダイヤル検索モード	メモリNo検索
スポットライト	継続点灯時間：１分、点灯カラー：ライチフルーツ（白色系統）
スケジュール表示切替	スタンプ＋詳細表示
バーコード読み取り表示サイズ設定	文字中／画像等倍
テレビ／FM	音量：１、チャンネル：☞P.6-10、スキップ：OFF、URL:OFF テレビ／FM受信禁止：OFF、オートオフ時間設定：30分、本体クローズ終了設定：OFF、着信時優先動作：着信通知表示／アラーム通知表示、音声出力先：イヤホン優先、チャンネル／音量表示：表示なし、TV時パネル明るさ調整：明るさ３、横／縦表示切替：縦表示、表示方向設定：表示方向１

故障かな？と思ったら

症状	確認すること	処置
電源が入らない	●PWRを長く（1秒以上）押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックがV402SHに装着されていますか？	●PWRを長く（1秒以上）押してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。 ●正しく装着してください。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「⊙!」が表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「🔒」が表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-23） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.13-3）
ダイヤルしても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ●オフラインモードが設定されていませんか？（「📵」が表示）	●市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●オフラインモードを解除してください。（☞P.3-6）
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「⊙!」が表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「🔒」が表示） ●ダイヤル禁止が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞P.1-23） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.13-3） ●ダイヤル禁止を解除してください。（☞P.13-4）
メモリダイヤルを使って電話がかけられない	●かけたいメモリダイヤルをシークレットメモリに登　していませんか？ ●メモリ使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードにしてください。（☞P.13-7） ●メモリ使用禁止を解除してください。（☞P.13-3）
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	―

症状	確認すること	処置
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターがV402SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックがV402SHに装着されていますか？ ●V402SHが卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●V402SH、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、V402SHの外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電しないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。 ●テレビ／FMを視聴しながら充電すると、充電が完了しないことがあります。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●周囲温度5℃～35℃の場所でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。 ―
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	―
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。長時間通話すると、V402SHが熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。	―
電池の消耗が早い	●使用環境（気温・充電状況・電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●電池パックの利用可能時間、持ちについて、消耗を軽減するを参照してください。（☞P.1-14～P.1-15）
ディスプレイの表示がちらつく	●蛍光灯の下では、ディスプレイの表示がちらつくことがあります。	―
バックライト消灯時ディスプレイの表示が暗い	●ディスプレイの特性によるもので、故障ではありません。	―

故障の際の連絡先やアフターサービス：☞P.17-20

17 付録

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが１本以上表示される場所へ移動してください。

■「」表示が出ているとき

オフラインモードが設定されています。（☞P.3-6）

設定を解除しないと、電話の発信／着信、ボーダフォンライブ！の利用／受信など、電波のやりとりを行う機能は利用できません。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき

電池残量がなくなっています。（☞P.1-15、P.1-16）

電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「」表示が出ているとき

誤動作防止が設定されています。（☞P.1-23）

設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止は解除されます。エニーキーアンサー（☞P.2-6）で電話に出ることができます。

■「」表示が出ているとき

ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.13-2）

ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサー（☞P.2-6）で電話に出ることができます。

区点コード一覧

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	―― し ――									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	―― す ――									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	―― せ ――									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	―― そ ――									
332							噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	―― た ――									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	―― ち ――									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	―― つ ――									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	―― て ――									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	―― と ――									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	―― な ――									
386						奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	―― に ――									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	―― ぬ〜の ――									
390										濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	―― は ――									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	―― ひ ――									
405|									|匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	―― ふ ――									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	―― へ ――									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	―― ほ ――									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	―― ま ――									
436						摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	―― み ――									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	―― む ――									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	―― め ――									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	―― も ――									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	―― や ――									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	―― ゆ ――									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	―― よ ――									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	―― ら ――									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	―― り ――									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	―― る〜れ ――									
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	―― ろ ――									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	―― わ ――									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					

17 付録

17 付録

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋

区点1〜3桁目	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。

■V402SH

項目	仕様
質量	約131g（電池パック装着時）
連続通話時間	約150分
連続待受時間	約450時間（クローズポジション時）
充電時間 （V402SHの電源を切って充電した場合）	急速充電器：約115分 シガーライター充電器：約115分
テレビ／FM連続視聴時間	約60分
サイズ（幅　高さ　奥行）	約50×98×27mm （クローズポジション時）
最大出力	0.8W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信およびバッテリーセーブ機能を「OFF」に設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
  連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V402SHをクローズポジションにした状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- テレビ／FM連続視聴時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、テレビやFMラジオを視聴できる時間です。
  使用環境／利用場所の電波状況、機能の設定状況などによっては、ご利用可能時間が変わることがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明およびキー照明が点灯している状態での利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
- ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。
  （☞P.1-14）
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください

■急速充電器

電源	AC100V、50/60Hz共用
消費電力	8VA
出力電圧／出力電流	DC5.6V／500mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅　高さ　奥行）	約48×17×46mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5m

■卓上ホルダー

入力電圧／入力電流	DC5.6V／500mA
出力電圧／出力電流	DC5.6V／500mA
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ（幅　高さ　奥行）	約58.5×28×122.5mm（突起部 除く）

■電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	740mAh
外形サイズ（幅　高さ　奥行）	約36×5.6×40mm（突起部 除く）

■TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク

質量	約23g
コードの長さ	約1.6m

索引

英数字

１文字変換 4-14
1/4サイズで添付 12-8
４分割画像 240　320(120　160) 12-21
Disneyスタイル 8-7
DPOF 7-29
E-mailアドレス 5-2
FAX通信 14-37
FM 6-2
Language 8-8
LCD画面表示OFF 6-15
NOW ON AIR情報取得 6-9
PB一括送信 14-2
TRAIN 10-8
TVアンテナ付きステレオイヤホンマイク ... 14-36
TV時パネル明るさ調整 6-17
V アプリバイブレータ設定 3-5

あ

アカサタナ検索 5-14
明るさ選択 7-22
アクションアイテム 14-15
アクションスナップモード ....7-16、7-17
アラーム 14-8
暗証番号 1-31
インデックスプリント指定 7-31
インデックスメニュー 1-25
ウェイクアップ 8-8
エニーキーアンサー 2-6
エフェクト撮影 7-12
絵文字 4-7
応答時間変更 14-5
応答保留 2-9
オートオフ時間設定 6-14
オートリセット設定 7-24
オーナー情報 2-24
オープンポジション 1-10
オールリセット 13-8
お知らせランプ設定 14-4
オススメメニュー 1-26
オフラインモード 3-6
オリジナル着信音 9-9
オリジナル音色 9-17
音訓変換 4-13
音声出力先切替 6-16
音声メモ 14-7

か

カーソル 1-24
カーソル前(後)消去 4-22
ガイド機能 1-30
顔文字 4-9
各ボタンに割り当てられた文字 4-3
画質設定 7-23
画像一覧表示 12-7
画像回転 12-20
画像合成 12-21
画像装飾 12-17
画像分割メール添付 .... 7-28、12-9
画像分割メール結合 12-23
画像編集 12-14
カット(切り取り) 4-21
カナ英数字変換 4-15
壁紙サイズで添付 7-28
壁紙設定 8-2
壁紙モード .... 7-6、7-8、7-9
カレンダー 8-3
カレンダー作成 7-32
簡易電卓 14-33
簡易留守 14-5
簡易留守録 .... 2-10、14-5
簡易ロック 13-3
簡単アニメ 12-10
キー操作ガイド 7-19
記号 4-7
キッチンタイマー 14-23
機能一覧 17-2
急速充電器 1-19
切替通話 15-7
近似予測変換 4-13
クイックオペレーション 1-29
クイックサイレント 2-7
区点コード一覧 17-9

区点コード入力 4-11
グループ検索 5-14
グループ設定 5-10
グループ着信音設定 5-11
クローズ終話設定 2-12
クローズポジション 1-10
圏外 17-8
言語選択(日本語/英語) 8-8
効果音設定 9-6
交換機用暗証番号 1-31
国際発信登録 2-5
誤動作防止 1-23
コピー(複写) 4-21

さ

サービス呼出し時間 15-5
再生設定 10-8
サイドキー設定 14-3
サイドボタン iii
サウンド再生音量変更 9-6
撮影サイズ設定 7-22
サムネイル90度回転 7-10
サムネイルメール添付 7-29
サムネイル登録 7-10
サムネイル表示 7-25
三者通話サービス 15-7
シークレット設定 13-7
シークレットモード 13-7
シーン別撮影 7-22
しおりをはさむ 12-27
シガーライター充電器 1-21
実画像表示 7-25
指定着信音設定 5-7
指定着信許可 13-5
指定着信拒否 13-5
自動消去保護設定 14-17
自動電源OFF 14-13
自動電源ON 14-12
自分の電話番号を表示する(自局電話番号) ..2-24
車載簡易留守 14-6
車載時設定 8-7
シャッター音設定 7-19
受信エリア 6-9
受信メール自動振分け 5-9
写メールサイズで添付 7-28
写メールモード ....7-6、7-8、7-9
自由切出 12-16
縮小 12-14
受話音量調節 2-12
省電力設定 14-31
照明設定 8-6
シンプルモード 2-17
推測頭出し変換 4-17
ズーム 7-5
スクリーンアニメ 8-8
スケジュール 14-14
ストップウォッチ 14-22
スヌーズ設定 14-11
スピーカー受話 9-22
スピーカーホン 9-22
スピードダイヤル 5-15
スポットライト 14-35
スモールライト 1-6
接写切替確認表示 7-24
設定リセット 13-8
セット発信登録 2-5
セルフショットポジション 1-11
セルフタイマー 7-20
操作用暗証番号 1-31
送信メール自動振分け 5-9
ソフトキー 1-27
ソフトフォーカス 7-22

た

タイマー設定 7-20
ダイヤルボタンの割り当て 4-3
ダイヤル禁止 13-4
ダイヤル操作禁止 13-2
ダウンロード辞書 4-19
ダウンロード辞書登録 4-19
卓上ホルダー 1-20
着信 2-6
着信音出力切替 14-37
着信拒否 2-9
着信時優先動作 6-15
着信設定 9-2
着信通話 2-15
着信メニュー 2-6
着信用ボイス録音 9-8
着信呼出時間 9-6
着信履歴 2-15
着信留守電転送 15-4
チャンネル設定 6-10
通話時間/通話料金の自動表示 2-23
通話時間表示 2-21
通話中転送 15-8
通話中メニュー 2-3
通話品質アラーム 14-2
通話料金表示 2-22
ディスプレイ 1-8
データフォルダ 12-2
テキストメモ 4-24
デジタルカメラモード ....7-6、7-8、7-9
テレビ 6-2
電子ブック 12-25
転送電話サービス 15-3
電源の入れ方/切り方 ....1-22、1-23
電池パック 1-13
電池レベル表示 ....1-15、1-16
電話の受け方 2-6
電話のかけ方 ....2-2、2-8
電話の切り方 2-2
電話番号通知/非通知の設定 2-2
同サイズで添付 12-8
登録先設定 7-24
時計表示設定 8-3

な

入力方式切替 4-11
音色オクターブ設定 9-22
ノートパッドメモリ 2-14

は

バーコード作成 ....4-25、14-29
バーコード読み取り 14-24
パーソナルデータ設定 5-4
バイブ設定 9-4
バイブパターン 9-4
パソコン通信 14-37
バッテリーセーブ 14-31
パネル明るさ調整 8-7
パネル照明ON/OFF 8-6
パネルセーブ 14-32
パノラマ合成 12-22
早送り(早戻し) 10-8
パワーON/OFF効果音 9-6
ピクチャーコール/メール 5-9
秘書停止(確認) ....15-3、15-4、15-5
日付/時刻の設定 1-24
ビューア時表示方向 ....6-16、8-8
ビューアポジション 1-11
表示切替 7-19
表示設定 12-5
表示方向設定 6-17
ファンクションメニュー 1-26
フェイスアレンジ 12-18
フォト設定 5-4
フォト付メモリダイヤルリスト表示 5-13
ファイルBOX 12-2
不在着信 2-15
プッシュトーン 14-2
プリント指定(DPOF) 7-29
フレーム 12-20
フレーム設定 7-11
プロパティ 12-8
ペースト(貼り付け) 4-21
変換履歴消去 4-18
ボイスレコーダー 10-2
ボーダフォンライブ!アニメ 8-7
ボイスフォルダ 10-4
ポケベルコード一覧 4-12
ポケベルコード入力 4-11
ポストカードメーカー 7-31
保存形式変換 12-21
保存形式変更 7-23
ボタンジャンプ 12-6
保留 15-6
本体クローズ終了設定 6-14

ま

マーカースタンプ 12-16
マーク表示設定 8-3
マイキャラクタ 8-5
マイク感度設定 10-5
マイク設定 7-23
マイボイスメモ 14-7
待受画面 1-22
マナートークモード 3-4
マナーモード 3-3
マネー積算メモ 14-34

マルチガイドボタン iii
ムービングフォトフレーム 12-20
メールコール設定 5-8
メールフォルダ 5-9
メニュー 1-25
メモリNo検索 5-14
メモリカードデータ確認 11-6
メモリカードフォーマット 11-6
メモリ確認 7-26
メモリ使用禁止 13-3
メモリダイヤル 5-2
メモリダイヤル一括転送 11-10
メモリダイヤル消去 5-16
メモリダイヤルの登録件数確認 5-6
メモリダイヤルリスト 5-13
メモリダイヤル検索 5-13
メモリダイヤル修正 5-16
メモリダイヤル登録 5-2
メモリ番号 5-5
文字削除 4-20
文字修正 4-20
文字入力方法 4-4
文字入力モード 4-2
文字表示設定 8-4
モバイルカメラ 7-2
モバイルライト 7-21

や

ユーザー辞書 4-18
ユースフルダイアリー 14-19
横／縦表示切替 6-17
読み検索 5-14

ら

ランプ設定 9-5
リダイヤル 2-4
リピートアラーム設定 14-8
リンク先へアクセス 6-16
累積通話時間 2-21
累積通話料金 2-22
留守番電話サービス 15-4
留守録再生 15-5
連携予測変換 4-13
連写設定 7-14
連続表示 12-9
録音モード設定 10-5

わ

割込通話サービス 15-6
割込設定（確認） 15-6
ワンコールサイレント 2-11
ワンタッチ１文字学習 4-17
ワンタッチ変換 4-16

保証書とアフターサービス

■保証書

V402SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- **お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。**
- **内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。**
- **保証期間は、保証書に記載しております。**

■アフターサービスについて

修理をご依頼になる前に、「**故障かな？と思ったら**」（☞P.17-6）に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（☞P.17-20）にご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞P.17-20）までご連絡ください。
なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後６年です。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登　・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切なメモリダイヤルなどは控えをとっておかれることをおすすめします。
なお、故障または修理の際にV402SHに登　したデータ（メモリダイヤル／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター
総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付　ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）